

no.	用語	English	解説
※この一覧は、漕艇用語、ロウイングの現場で耳にし得る(一般にはあまりなじみのない)用語(一般、スポーツ一般、医療・医学、造船・工学、スラッグなどを収録している。略号は、読み方がわからなくても検索できるように、直読した(本来の読み方ではない)ものを含めて掲載している。つまり、聴いても、見ても、その用語を知らない場合でも、検索してその語を見つけ、その意味を理解できるように配慮している。すでに死語となっているものもできる限り収録している。また一部の日本特有の表現(例、ハバキリ)などは、できるだけ英語の説明も追加した(2009年版から順次拡充の予定)。水域・施設などは順次、地球座標(緯度・経度)を記し、GoogleEarthなどによる検索の利便性を考慮したものである。座標のポイントは、艇庫やフィニッシュ位置など様々で精度は保証できない。)			
分類:[動作](動作や身体動作に関わる体の部分)、[用具](艇・オールに関する用語、リギング、部分・部品・素材名、挙動など)、[会社](ブランド名などを含む)、[組織]、[大会](要員、種目区分、手続を含む)、[競漕]、[組織・安全]、[施設]、[クルー]、[スカラー](人物)、[スイブ漕手](人物)、[舵手](人物)、[コーチ](人物)、[一般](一般用語)、[一般・医療]、[練習]、[図書]、[動作]、[環境]、[地名・水域]、[資格] [出典、2009.x.x]			
あ	1	IMS (あいえむえす)	International Modern Style IN [動作] 国際的現代漕法。 その意味するところは、時代とともに変化するが、IMSの表記は、ポールウィルソンのモダンローイング(1968)あたりに記述され、月刊漕艇のテクニカルコラムNo.120(1977)あたりに紹介されている。 [2015-5-2]
	2	IMS (あいえむえす)	International Modern Style IN [動作] 上記のモダンローイング(ポールウィルソン, 1968)では、アダム漕法をIMSとしている。 なお現在では、近代的とはいえない。 [2015-5-2]
	3	ID (アイディー)	intellectually disabled (ID) IN [大会・種目] パラ・ロウイングのカテゴリーにおける障害のひとつ。 知的障害者クラス。 2009年世界選手権では、LTAIDMix4+として開催。 [2009.11.20]
	4	ID (アイディー)カード	ID Cards/ IDentification Card IN [大会・手続] 身分証明書。 (一般用語)
	5	IBSA (アイビーエスエー)	International Blind Sports Association (IBSA) IN [組織・スポーツ] 国際視覚障害者スポーツ協会。 パラ・ロウイングでの視覚障害の認証などに関係。
	6	INAS-FID (アイエヌエーエス-エフアイディー)	Sports Federation for Persons with Intellectual Disability (INAS-FID). IN [組織・スポーツ] 知的障害を持つ人のためのスポーツ連盟。
	7	アイズ・イン・ザ・ボート	Eyes in the boat [漕技・格言] 「よそ見」をせず自艇のロウイングに集中すること。 [漕艇術,1920, 2014-4-7]
	8	愛知池 (あいちいけ)	Aichi Pond JP [水域・固有] 愛知県の公認漕艇コース。 貯水池を利用した1000mコース。 2008年から全日本マスターズ開催。 (N35° 07' 12. 63" / E137° 04' 14. 19") Rowing Course in the artificial water reserve for agricultural and industrial use in Aichi Prefecture.
	9	アイリングス	Aylings IN [会社・造船] 英国のボート・オールメーカー(1859-2007)。 アイリングスは1859年、オールのメーカーとして出発した。 ほどなく、ロイヤル・ワラントを受賞する等高い評価を得た。 1980年代には、カーボクラフトを買収、ボートの生産も開始した。 A. J. モリス(Morris)が、1997年にアイリングスを買収、1998年にはカヌーのメーカー、コブラを買収、カヤックの生産も始めた。 トップクラスからレクリエーションクラスまで幅広くボート、カヤックを生産した。 2001年に、ロラ・グループ(Lola Group;レーシングカー、コンポジット技術)が、アイリングスを買収、Lola Aylingsが設立された。 2003年に、ウェイブリッジからハンチントンに拠点を移した。 2007年に閉業した。 [2016-10-24]
	10	アウト・スキン	outer skin IN [用具・構造] ハルのサンドイッチ構造を構成する3層のうち、外側の層。 ⇄コア、インナースキン
	11	** アウティング	outing IN [練習・乗艇] 乗艇。 乗艇練習。
	12	アウト・オブ・バウ	out of bow IN [動作] →ハンザウェイ。 (Story of World Rowingより)
	13	*** アウトサイド・ハンド	outside hand IN [動作] スイブ艇においてオールロックより遠い方の手。
	14	アウトサイド・リー	outside lean IN [動作] スイブ艇で上体がアウトサイドに傾く不良状態。 ブレードが抜きにくいとかバランスが悪い(自分のサイドに傾く)時によく発生する。
	15	*** アウト・ペア	out pair [用具] エッジペア。 フォアあるいはエイトにおけるパウと整調。
	16	** アウト・ボード	out board [用具] オールのブレード先端からピボットまでのこと。 その長さ。 なお、ブレードの圧力中心までの長さとして「実効アウトボード」を用いることもある。
	17	* アウト・リガー	out rigger IN [用具] リガー。 特に艇本体から外にはり出したという意味を含む。
	18	アウトワード・アングル	outward angle [用具] オールロックを外に向けたときのフェイスの傾斜。
	19	青ブッシュ (あお…)	blue bush [部品、スラッグ] コンセプトのオールロックのブッシュの内、内径13mmの標準のもの。 他に、内径の異なる黒ブッシュ(14. 3mm)、白ブッシュ(12. 7mm)がある。 [2018-5-15]
	20	アカデミック・ロウイン	Academic rowing IN [大会] →イングリッシュ・ロウイング (Story of World Rowingより)
	21	** アーク	arc IN [用具] 弧、ブレードアーク。 水中のブレード軌跡。
	22	アクシオール	AxioR IR [用具・商標] ピッチ調整可能なソールピン機構。 カール・ダグラスの商標。(Rowing, Feb, 1989)
	23	アクスル	axle IN [用具・部品] シートローラーの軸。
	24	アクスル	boat axle [用具・部分] 艇軸。 バウからスターンまでを貫く幾何学的軸線のこと。
	25	アクスル・スクウェア	axle square IN [用具・部品] シートの下部構造、軸を保持する部品。 シートホーンとほぼ同義。 特にエンパツハの部品の中で、長方形の板状のパーツを言う。 これに脱線防止のシートクランプを組み付ける。 [2017-4-16, エンパツハ、パーツリス]
	26	アクティブ・ツールズ	Active Tools (R) IN [会社・計測機器] 英国のデザイン会社の工具ブランド。 大きな目盛のワンセットピッチゲージ、レーザービームハイトゲージ、セルフセンタリングスパンゲージなどを市販。 URLは、www.active-tools.com。 [2005.4.6]
	27	アーゴメーター	ergometer IN [用具] →エルゴメータ、ロウイング・マシーン。 特に、日本に紹介・導入された初期に、「アーゴ…」との記載が見られる。 Ergometerの発音としてはこのほうが近いかもしれない。 [2014.3.10]
	28	旭型 (あさひがた)	Asahi type JR [用具・艇] ハル形状のひとつ。 四角形に近い。 バランスは良くなるが、表面積が増し、摩擦抵抗の点では不利となる。
	29	朝日レガッタ (あさひれがた)	Asahi Regatta JP [大会] 毎年5月、琵琶湖漕艇場で開催される朝日新聞社主催のレガッタ。 国内最大規模。 1948(昭和23)年、大阪・堂島川で始まり、第6回大会から大津市、第24回大会から琵琶湖漕艇場で開催。 国内第一線の選手から中学生、マスターズまで多数参加。 2016年大会では、26都府県から約450クルー、約1300人が参加。 The biggest regatta in Japan, sponsored by Asahi Shimbun (one of biggest news paper company), held in Biwako, in the end of April -
	30	朝日茨戸レガッタ (あさひばらと…)	Asahi Barato Regatta JP [大会] 毎年6月、北海道・茨戸漕艇場で開催されるレガッタ。 1973年茨戸レガッタとして始まり、1978年(第6回大会)から朝日新聞社主催となる。

no.	用語	English	解説
31	足置き板	foot plate, step plate	[用具・部分] 乗艇する際に足を置き、踏んでも良い板、部分。フット・プレート。JARAテキスト2007・エントリーレベルで提唱。
32 ***	脚蹴り (あしけり)	"Ashikeri" =leg drive	IN [動作] (1)漕動作における脚の伸展動作。なお、2005年頃から、動作の技術表現上、脚「けり」という言い方を嫌う傾向も見られる。ストレッチャーを蹴り返すようなイメージでは艇の減速要因にもなるといったことだろう。[2009. 6. 15] In Japan, some coaches often say "Ashikeri" as "leg drive". "Ashi" means "leg", and "-keri" means "kicking". "Ashikeri" also means "strong work out", "work out" or "spurt/ power ten".
33 ***	脚蹴り (あしけり)	paddle, spurt	JP [練習、競漕] (2)競漕(レース)やトライアル中に、艇速を上げるまたは艇速の低下を食い止めるために強くドライブをするように発する指示用語。いわゆるスパートがライトを上げるイメージであるのに対し、「脚けり」は、ドライブを強くし、一方でフォワードの時間は維持したままであるという点が異なる。最初にこの言葉を使い始めたのは、京都大・高村仁コーチらしい。[月刊漕艇No.119(1975. 7) p8, 2009. 6. 16]
34	芦田川漕艇場 (あしだがわそうていじょう)	Ashidagawa Course	JP [施設] 広島県福山市の河口堰にある漕艇場。A級コース。1994年にアジア大会開催。Regatta course in Ashida River, Fukuyama city, Hiroshima Prefecture. International regatta available. Asian Games 1994 was held.
35	芦田川ロングレース	Ashidagawa Long Race	JP [大会] 芦田川漕艇場で開催されるロングレース。
36	アジャスタブル・ロッド	adjustable rod	IN [艇・部品] バックステイの長さ調整機構のひとつ。ダブル・アジャスターはロッドの両側を右ネジと左ネジとし、回転によりロッド部を伸長・収縮させるしくみ。ワイヤーやチェーンの張りを調整するターンバックルに似ている。[2016.11.27]
37	アスターン	astern	IN [用具] 艇尾方向へ。
38	アスリート・コミッション, 日本ボート	Athlete comision, Japan Rowing	JP [組織] →日本ボート・アスリート・コミッション。
39	アスリート・レーン・セレクション	athlete lane selection, ALS	IN [大会] ALS, 選手がレーンを選択できる制度。勝ち上がったクルーが、次のステップでのレーンを、クルー自身が選択できる制度。2018年のワールドカップ1(ベルグランド)で試行された。国内では2021年10月に開催された全日本・全日本大学選手権で適用された。このときは、艇のパウナンバーと選択したレーンが異なるシステムだったため、一部で分りにくさや運営ミスが生じた。[20180530作成, 20201108改訂, FISA]
40	アセトン	acetone	IN [用具・素材] FRP作業・補修などで使う溶剤のひとつ。ポリエステル樹脂で使用したローラー、ハケの洗浄、ハル表面のクリーニングなど。一般生活ではマニキュア除光液として知られる。ホームセンターでFRPなどがあるところで入手可能。[20180530作成 20211108改訂]
41	アダプティブ・ロウイング	Adaptive Rowing	IN [大会] 身体的・精神的な障害を持つ人たちのためのロウイング。漕艇の世界選手権では2002年セビア大会から、パラリンピックでは2008年北京大会から開始された。2017年までの種目表記:A(AS)1X, TA2X, LTA4+など、2018年からPR1, PR2, PR3に表記が改訂された。2009年には知的障害・精神障害クラスの追加も決まったが、具体的には開催されていない。2012年から競技名称が「パラ・ロウイング」に改称された。[20171008改訂 20211108改]
42	アダプト・ツー・ロウ	Adapt2row	IN [用具・商標] コンセプト2のインドアローアーモデルEのレール部と交換して、車椅子をそのまま乗り付けて漕げるようなアタッチメント。その商品名および会社名。[2018-5-30]
43 *	アダム漕法(一そうほう)	Adam Style	IN [動作] ドイツのコーチ、カール・アダムが1950年代に開発した漕艇技術。ラツツェブルグスタイルとも言う。脚の完全利用を主眼としたハイライト、ロングレール技術。現在では用いられないが、それ以前の技術からの革新の功績は大きかった。関連:筑波漕法(つくばそうほう) [2020-1-28改訂]
44	アップ・ダウン・ドリル	up-down drill	[練習・技術練習] =ワグル。左右のオールを交互に上下させるバランスの確認のドリル。JARAテキスト2007・エントリーレベルでは「アップ・ダウン」を提唱。[2018-5-30]
45	アップワード・モーション	upward motion	[動作] ドライブ前半のハンドルの上向きの運動および上体の上向き(前傾姿勢を戻すイメージ)の運動。いわゆるエンドレス・チェーン・ムーブメントに関連し、相対的に大きな円を描いて深く下げたハンドルを、小さな円で送られるキャッチの位置まで上昇させるための運動。現在の動作理論では、フォワードも水平に戻すことが求められるので、このイメージがそのままではまるわけではないが、一般に、キャッチ前にハンドルを下げてしまう間違いが多いので、その矯正のイメージとしては補助的に使える。[参考:「漕艇術の基本」(日漕, 1975), 2009.]
46	圧力抵抗 (あつりよくていこう)	pressure drag	[流体力学] 物体の形状に依存する抵抗で、形状抵抗とも言う。水上を移動する船体は、水と空気の抵抗を受けるが、水による抵抗には、摩擦抵抗、圧力抵抗(形状抵抗)、造波抵抗の3つがある。船体周囲の流れの変化・乱れなどによって、船体周囲の圧力のバランスが崩れることで発生する。
47	アテネ艇委員会		[組織] アトランタ造艇研究会を継承し、アテネ五輪(2004)への先進艇の開発供給を目的として組織された委員会。[2018-5-30]
48	アテンション, ゴー	"Attention, Go!"	IN [競漕] スタートの合図。従来は、「レディ, ゴー」であったが、2005年10月に日本ボート協会は競漕規則を改訂し、この号令になった。
49	アトランタ造艇研究会		JP [組織] 1993年創立~2000年、アトランタ五輪後に閉会、造艇研究会に受け継がれる。
50	アーネスティン・ベイヤー	Ernestine Bayer, "Ernie"	IN [人名・スカラー] 米国女子ロウイングの草分け。「女子ロウイングの母(Mother of Women's Rowing)」とも呼ばれる。1938年、フィラデルフィア女子RC(Philadelphia Girls Rowing Club)を創立。1940~50年代に多くのレースで漕ぎ続け、女子ロウイングのために活動を続けた。夫もオアズマンで、NAAOの会長などを務めた人物。娘、ティナ・ベイヤーもまた、1966年に第1回全国女子漕艇協会選手権に出場、1967年に初代米国女子チーム、1969年欧州選手権(オーストリア)の米国代表シングルになった。[2009. 6. 26]
51	AHA (アハ)	AHA; American Heart Association	IN [組織・医療] アメリカ心臓協会(米国心臓協会)。「心肺蘇生と救急心血管治療のための国際ガイドライン」を提供。心肺蘇生の国際標準を提供し、特に2000年ガイドライン以降、日本でも認知・準拠が進んだ。2005, 2010, 2015年と、5年ごとにガイドラインが改訂されている。余談:ハッと気づくひらめき体験を「Aha!(アハ!)体験」と呼ぶが、AHAはそれにかけてもいる。[2018-5-30]

no.	用語	English	解説
52	アピトン	Apiton	IN [艇・素材] 木造船に用いる木材のひとつ。フタバガキ科の南洋広葉樹で、ラワンと近い。ラワンは、アピトンを含めた総称としても使われることがあるが、アピトンは比重がやや大きく(0.72-0.80)強度が高い、木レーン受けやストレッチャーバーなど強度の必要な部分に用いられる。[木材関係サイト、「漕艇術の基本」などより。2008.7.18]
53	アビーム	abeam	IN [用具] 横方向へ。キールラインに垂直の方向。
54	アピール	appeal	IN [競漕] →上訴。FISAの競漕規則にある、4つのリーガルステップの第3段階。異議(objection)、提訴(protest)が認められなかった場合に、チームマネージャーからFISAの実行委員会に対して出される申し出。[2017-10-30]
55	アフター・キャンバス	after canvas	[用具] スターンキャンバス。
56	アフター・デッキ	after deck	[用具] スターンデッキ。後部のデッキという意味で。[2020-1-28改訂]
57	アフト	aft	IN [用具] 艇尾・スターン、艇尾の方向へ(スターンワードとも)。(⇔fore)
58	アフト・ショルダー	aft shoulder	IN [用具] 後部補強版。ガンネルの後部、スターンデッキ側への延長部分。
59	アフト・デッキ	aft deck	IN [用具] スターンデッキ。スターンキャンバス。(Story of World Rowingより)
60	油止めゴム (あぶらどめー)	front/back stops	IN [用具・部品] フロント・ストップおよびバック・ストップ。レールの前後(両端)のストップ。日本での1970年頃までの古典型的な呼称である。2020年代では、フロント・ストップ、バック・ストップが一般的。[2020-1-28改訂]
61 **	アーム	arm	[施設] (1)艇を収容するための腕木。ラック、ボートラック。日本では、ラックというよりアームと呼ばれることも多いが、欧米ではボートラック。[2020-1-28改訂]
62 *	アーム	arm	IN [漕手・部位、動作] 漕手の「腕」のこと、またはロウイング動作で「腕を曲げてオールを引く」こと。[2020-1-28改訂]
63	アムロン	Amlon(R)	[用具、素材] 炭素繊維の一種。BPケミカルズの商標。80%PAN;ポリアクリニトリル、20%メチルアクリレートからなる。[2020-1-28改訂]
64 *	アメリカン・ロウイング	American Rowing	IN [図書] USRA発行の漕艇誌。旧名:「オアズマン」、「ロウイングUSA」。
65	アライメント・コントロール・メカニズム	Alignment Control Mechanism	IN [施設] 世界選手権などで設備される、パウを保持するスタート装置。スタート号令とともに沈み、艇の方向維持の目的のほか、フライングができない仕組みになっている。[2008.12.15]
66	アリアンテ	Aliante	IN [部品・商標] フィリッピのパウ・ウィング・リガー(リバース・ウィング・リガー)の商標。2010年登場。アリアンテとは、グライダーといった意味。[2010.5.29]
67 ***	ありがとう	"Easy all", "Hold (her)" "Rest", "Drop" "Weigh enough"	[動作・指示] 各種動作の停止指示。In Japan, we say "Arigato"(that means "Thank you" in usual life) as the same means of "Easy all" and/or "Weigh enough".
68	RRM	RRM, River and Rowing Museum	IN,GE [施設・固有有名] 英国ヘンリーオンテムズにある川とロウイングの博物館。
69 *	R (あーる、ろういんぐ)	rowing	[一般] ロウイング。漕艇。
70 **	R, r (あーる、れい)	rate	[練習] レイト。SR(Stroke Rate)と略記することもある。
71 *	R, Regt. (あーる、れがった)	regatta	[大会] レガッタ。競漕会。
72	RA (あーる・えー)	Rowing Association	IN [組織] 漕艇協会。ボート協会。ロウイング・アソシエーション。
73	RSR (あーる・えす・あーる)	RSR; rec.sport.rowing (news group)	IN [ネット] rec.sport.rowingの略称。→レク・スポーツ・ロウイング。1981年に解説されたユーズネット(Usenet)・掲示板サービス(ニュースグループ)をヤフーが引き継いだニュース・グループ。英国をはじめとする海外の漕艇情報を入手するのに非常に強力なツールである。登録し自分が発信することもできる。 http://groups.google.co.jp/group/rec.sport.rowing
74	RNLI (あーる・えぬ・える・あい)	RNLI; Royal National Lifeboat Institution	IN [組織・安全] 英国の王立全国救助艇協会。救助例:2007.1.4、エジンバラ・タイン川の浸水事故では、沿岸警備からの連絡でRNLIの救助艇が展開。警察艇、消防艇とあわせて20名を救助。[2008.12.15]
75	RO (あーる・おー、ロウド・オンリー)	rowed only	IN [大会・競漕記録] 独漕。その種目において、エントリーが1艇のみ、または他の艇が除外・失格などで1艇だけのレースとなった場合の記録。例:HWR, 2005年。[2007.2.9]
76 ***	RC (あーる・しー)	rowing club	IN [一般] ロウイングクラブ。漕艇部
77	RCA (あーる・しー・えー)	RCA; Rowing Canada Aviron	IN [組織・協会] カナダ漕艇協会(CARA)の通称、運用名称。1880年にRC有志によって設立されたCAAO;The Canadian Association of Amateur Oarsmenを前身とし、1974年にCARA;The Canadian Amateur Rowing Association/Association Canadienne d'Aviron Amateur となる。その名称は、2007年現在も法的に生きているが、現在は、通称・運用名称(operating name)としては、RC A;Rowing Canada Aviron が常用されている。[ウェブサイト www.rowingcanada.org より] [2007.6.15]
78	アルデン	Alden Rowing Shells	IN [会社] (1)米国マサチューセッツ州の漕艇メーカー。海洋型小艇。SUPなど。[2018-6-26]
79	アルデン	Alden	IN [用具] (2)海域やラフウォーター用のスカル。(1)に由来。
80	RP3 (アール・ピー・スリー)	RP3, Row Perfect 3	IN [ソフトウェア・商品名] ロウパーフェクト3。負荷ホイールが前後にスライドするタイプのエルゴメータ。[2017-10-17]
81	RPW (アール・ピー・ダブリュー)	RPW; RowPerfect for Windows	IN [ソフトウェア・商品名] ロウパーフェクトに附属のPC用ソフトウェア。SEANの簡易版。
82	アルミニウム・プレート	Aluminium plate	JP [用具・商品名] 略称:アルミ・プレート。ストレッチャーボードにシューズを取り付ける際の多孔式のプレート。上下に取り付け位置を変えることでヒール・デプスを調整。アルミでできている場合にアルミ・プレート、炭素繊維でできているものをカーボン・プレート。[Martinoli, 桑野造船, 2013-10-28]
83	アロンドライト	Arondight®	IN [計測機器・商品名] クローカーがリリースしているひずみ、加速度センサ内蔵型の計測ハンドル。(スイープ用)。負荷、ブレードピッチ、ロール(バランス)をサンプリングレート128/sで2時間記憶。アロンドライトの名は、アーサー王の部下ランスロットの持つ剣の名前(ちなみにアーサー王の剣がエクスカリバー)。
84	泡(あわ)、オールの	puddle	[動作] 漕ぎ跡。パドル(注:puddle)。漕いだ跡に残る乱れた渦、水塊。「気泡」のあるなしにかかわらず象徴的に使う。[2008.12.15, JARAテキスト2007・エントリーレベル(漕ぎ出そう! 君も)]

no.	用語	English	解説	
85	泡をかく(掻く)		[動作] エイトなどで、スターン(艇尾)付近の漕手が、バウ(艇首)付近の漕手の泡=漕ぎ跡の中を漕ぐ状態。すでに動いて乱れている状態では、ブレードの固定や流体力学的な効率が悪くなり、効率が落ちるので好ましくないと言われる。スタート時などには必然的に起きてしまうが、できるだけ早くその状態から抜けなければならぬ。 [2020-1-28 改訂]	
86	泡(あわ)を噛ます		[レース・状況] ヘッドレースなどオープン・レーンの競漕で、先行する艇が後続艇の針路にかぶさり、その泡(漕ぎ跡)の中を後続艇に漕がせること。なお、レーンに分かれているコースでは通常、発生しない。 [2020-1-28改訂]	
87	アンカード・ブレード	anchored blade	JP [動作] 水中によく固定されたブレード。ロウイング運動での基本の機構は、ブレードを水中にできるだけ固定し、漕手の運動でスリーブでポールロックを押すことで前進するわけで、ブレードができるだけ固定するほうが良いわけである。ただし、実際のブレードは水中で錨のように固定されず、また左右の動きの中で揚力も発生するので、力学的に単純ではない。 [2020-1-28改訂]	
88	アングル	angle	[一般] 「角度」を表し、リギングに関しては様々な部分の角度を示す。たとえば、オールの水水平移動の範囲(レンジ、オール角)、ストレッチャーボードの傾斜角(フット・ストレッチャー・アングル)、両足の開きの角度(オープニング・アングル)。なお、ブレードのカバー角のように、基準の方向からわずかに傾けたような要素には、「アングル」よりも「ピッチ」の言葉がよく用いられる。例えば、ブレードのカバー角は、ブレード・ピッチと呼ばれる。 [2008.12.15]	
89	アングル	angle	[用具] ストレッチャーバー両端を支持するブラケット。その他、「角度」や「角材」の意味で、多様に用いられることがある。 [2020-1-28改訂]	
90	アングル・ファインダー	Angle Finder	IN [商品名・計測器] ロウフィット(オーストラリアの会社)がリリースしているオールの稼動角度を計測する器具。ソールピンの上部に取り付けた扇形の角度表示板の上を、オールのシャフトにリンクしたベンがなぞるようにになっている。 [2020-	
91	アンブル・ウォーター	ample water	[施設] 安全のために競漕レーン周囲に設けられる余裕の水域。コースの規格規定で設けられている。自由水域とも言う。決勝線後方で「100m」が規定されている。スタートの手前やオールの幅に対して十分な余裕を持たせたレーンの幅において、その余裕分もアンブルウォーターと呼ばれることがある。 [2020-	
い	92	EXC(イーエックスシー)	ESC	IN [競漕・記録記述略号] EXCluded(エクスクルーデッド)の略。除外の場合の記述。なお、失格はDSQ。 [2009.4.20 FISA ウェブサイト, Result/Database
93	イエロー・カード	Yellow Card	IN [競漕・審判] 発艇時刻に遅刻、不正スタート(フライング)、航行ルールの違反など場合に審判から発せられるペナルティ。イエローカードが2回出されると「除外」となる。従来は、「警告(Warning)」と書いていたが、2005年にFISAはこの呼び方に変更した。→警告(Warning) [2017-10-30]	
94	異議 (いぎ)	objection	IN [競漕・] 競漕の結果、他艇からのレーン侵害などに対し、クルーから主審(審判艇)に行う申し立て。漕了後、主審艇が各艇の異議がないか確認している間に行う必要がある。 [2017-10-30]	
95 **	イクステンシブ・(インターバル・)トレーニング	extensive (interval) training	JP [練習・メニュー] 超強度インターバルトレーニング。レーススピード(コンスタント)よりも速い、つまりスパートで、1分強~2分(200~300m)を漕ぎ、心拍数が120程度に低下はしたら次のワークアウトに入る(ワーク:インターバル≒1:1.25~1:1.5)、高強度のトレーニング。 [「ボート競技用語解説(1)」1982, 全国漕艇クラブ連盟, 2009.5.1]	
96 ***	“イージー”	“Easy” “Rest”, “Drop”	JP [動作・指示] ①ブレードを水面に落として休息に移ること。その指示。 [2006.7.7]	
97 ***	“イージー・オール”	“Easy all”, (“Easy oar”)	IN [動作・指示] 漕ぎをやめて、フェザー状態で停止すること。 ※この語は、従来、“Easy all”と一般の英語辞書、英和辞典に記載され、一方で“Easy oar”が認められなかったことから、“Easy All”のみを正規表現とし、“Easy oar. - oar”ではなく“- all”と理解してきた。しかしWikipediaのRowing Termsに“Easy oar”の記載が見られた。インターネットの検索では、“-all”と“-oar”の比率は、44:1で、圧倒的に“-all”が多い。しかし、英語を母国語とする、ある程度信頼できるサイトで、両者を併記し、“-oar”が許容されている状況も確認できた。そのため、RM2009以降は、“-oar”も許容されるものとして、併記することとした。 [Know the Game/Rowing, p55, 2008.12.15]	
98	“イージー・ゼア”	“Easy there”	IN [動作・指示] 漕ぎをやめて、フェザー状態で停止すること。イージー・オールと同義。ここでのthereは、名前を知っている友人にHello Taro!と呼びかけるのと同様に、名前を知らない人や文章で、Hello thereといったあいさつをするのにとた、深い意味のない調子をとるthereのようである。 [2006.7.7]	
99	イージー・ロウイング	easy rowing	[練習] 歩行的ロウイング状態。リラックスし、緩やかなロウイング。ノーワークとほぼ同義。 [2020-1-28改訂]	
100 **	イタリアン・リグ	Italian rig	IN [用具] 8+のミドルフォアを、あるいはバウペアと5・6番ペアを逆配置にするリグレイアウトのこと。フォアのバウペアを逆配置にするレイアウトのこと。cf. ノーマルリグ、ジャーマンリグ	
101 ***	1× (いちかけ、いち べけ、いちえっくす)	single scull	IN [用具] シングルスカルの略号。“シングルスカル”と読んで良い。1は一人の漕手、×はスカリングを意味する。	
102	1×A	1XA Single -Arm	[大会] パラロウイングのカテゴリーのひとつ。A; arm(腕)だけをつけて漕ぐ固定席の1×。男子は1×MAまたはAM1X、女子は1×WAまたはAW1Xなどと表現される。 [2008.12.15]	
103	1×SLTA (いちかけ エス…)	1x Single-Leg Trunk Arm	IN [大会] パラロウイングのカテゴリーのひとつ。片足、上体、腕だけをつけて漕ぐ1×。男子は1×MSLTA、女子は1×WSLTAとも表現される。	
104	一次安定性		[艇設計・要素] 艇がローリングする際の安定性について、水平状態から最初少し傾くときの傾きにくさが一次安定性、さらに傾いていったときの踏ん張りのようなところが二次安定性である。船底が平たく側面が鉛直であれば、一次安定性は高く二次安定性が低い。全体が楕円断面でも側面が広がっていけば、一次安定性は低いが二次安定性が高い。 [新版カヤック工房, p15 2020-6-4]	

no.	用語	English	解説
105	「一艇ありて一人なし」 (いっていありて、いち にんなし)	"Ittei arite, Ichinin nashi."	JP [格言] ボート競技の団体精神の極みを象徴する言葉としてよく用いられる。クルーのユニフォームティ:どんなに苦しくても動作を一つにすること、心一つにすること、チームロウイングでは一人のエリートやヒーローを必要とせず、また求めず、チームとして行動する精神・姿勢を象徴する。「東北大学漕艇部百年史」(p52)によれば、1927(昭和2)年、関南会会報第6号にすでにこの言葉が(現在使われている意味で)用いられている。その後、松島湾遭難(1934.12.28)の弔辞で、の引用が、後に「発見された艇に一人の姿もなかった」とこのように伝わったようだ(「改訂新版ボート百年」p157「一艇ありて一人なし」) [本項は漕艇譜Ⅲで訂正 2009.5.22]
106 **	1本オール (いっぼ んおーる)	sweep oar	IN [用具] スイブ。スイブオールの俗称。
107 *	1本漕ぎ (いっぼんこ ぎ)	single stroke, rusties	[練習] 技術漕の一つ。1ストロークを間欠的に反復する。→ラストィーズ。
108	ETS (イーティーエ ス)	English Traditional Style	IN [動作] イギリスの伝統的漕法。動作の姿勢を重視する。ポールウィルソンのモダンローイング(1968)あたりに記述され、月刊漕艇のテクニカルコラム No.120(1977)で紹介されている。 [2015-5-2]
109	イートン	Eton Rowing Boat	IR [会社] 英国の漕艇メーカー。
110 *	Eリング (いーりんぐ)	e-ring	[用具] "e"の字状の抜け止め。JISでの正式呼称は、「E型止め輪」。ローラーシャフトなどに取り付け。ボートでは用いられていないが、O型止め輪(Cリング)などと合わせての総称で、スナップ・リングと呼ばれることもある。なお、この着脱には、専用のEリングプライヤーが便利。(スナップジョイントプライヤーは、スナップジョイント(Cリング)専用で、Eリングには使えない。) [2006.7.6]
111	e-ロウ (いーろう)	e-Row	[用具・ソフト] コンセプト2のロウイングエルゴメータのパフォーマンス・モニターにコンピュータを接続して使用するためのソフトウェア。 [2006.7.6]
112	イワノフ, V		[スカラー] ソ連のシングルスカラー。1956年メルボルン五輪から、1964年東京五輪まで、オリンピック3連覇を成し遂げた。 [2008.12.15]
113	インウエール	inwhale	E [艇・部分] シアーラインの内側辺りの縦通構造材。 [Rowing/Meiyey&Meyer Sport, p30 Fig.3, 2020-6-1]
114 **	インカレ	Intercolleage Championships	JP [大会] 略称。インターカレッジ選手権、大学選手権。 [2020-6-1]
115	イングリッシュ・ロウ イング	English Rowing	IN [大会] アウトリガーのシェル艇を使用し、後ろ向きに座って漕ぐいわゆる漕艇競技のこと。広範な意味でのロウイング(例:カッター漕ぎや公園のいわゆるお椀ボート、舟遊びなど)に対しての漕艇競技。 [Story of World Rowingより、
116	インサイド・オールロッ ク・ディスタンス	inside oarlock distance	IN [用具] スカルの両オールロックのピボット接触面の間隔。
117 **	インサイド・ハンド	inside hand	IN [動作] スイブ艇においてオールロックに近い方の手。
118	インサート	insert	IN [用具] コンセプト2のオールロックの、軸受けとして差し込むプラスチックの部品。フッシュ。
119	インシデント	incident	IN [一般・安全] 前事故事象とも。事故には至らなかったが危険な状況。事故になってもおかしな事象。日本の産業分野では「ヒヤリ・ハット」と呼ばれるものに相当。アクシデントに対する言葉だが、広義にはアクシデントも含むことは多い。
120 **	インシデント・リポート	incident report	IN [一般・安全] インシデントを報告すること、報告用紙、報告するシステム。インシデントを広く吸い上げ、公開することにより、事故の潜在的リスクを分析し、また情報公開によって広く認知させることで直接的に同様の事故の発生を防ぐことに意味がある。そのため、レポートしやすく匿名性を上げ、懲罰的な性格にしないことが重要。事故報告を含めたシステムとしてインシデントリポートと称することもある(ARAセーフティコードなど)。また、児童保護のための虐待懸念に関する報告などもインシデントリポートと呼ばれている。 [2009.9.24]
121	インスペクション・カ バー	inspection cover	JR [用具] デッキ内部の点検のための孔(インスペクションポート)の蓋。
122	インスペクション・ポー ト	inspection port	IN [用具・部分] デッキに開けられた点検孔、排水口。水栓(ウォータープラグ)と同義にも用いられるが、インスペクション・ポートは、レールの裏のネジを回すために手を入れられるような口径の大きなもの、点検機能を持った開口部を指して用いられる。ボートには、港の他に、門・出入り口といった意味がある。
123	インター・アクスル・ ディスタンス	Inter-Axle Distance	JP [リギング・計測要素] →スプレッド。 [月刊漕艇No112(1974.11)p12 2009.6.16]
124 **	インターハイ	interhighschool championships	JP [大会] 全国高校総合体育大会。ボート競技は8月開催、種目は4×+, 2×, 1×。
125 **	インターバル	interval	[練習] メニュー間の休息、休息的漕状態。
126 **	インターバル漕	interval rowing	[練習] トレーニング漕の一つ。パドルとノーワークの交互反復。
127	インターポートレース	inter-port race	[大会] 明治時代に、上海、長崎、神戸、横浜の港で持ち回りで開催された、各港対抗のポートレース。「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男(古城康夫、2016)p.26 [2018-2-8]
128	“イン・ツー”	"In two(2)"	IN [指示用語] 指示を出す場合に、準備のために2本の余裕を持たせるための指示。「○○行こう、さあ行こう」と、ほぼ同義。 [Wikipedia: Rowing Terms/
129	イン2 (いんつー)	In2	IN [会社・漕艇電子機器] イン2ロウイング(下記)の略称。その会社、またはその製品としてのコックス用アンプ、GPSを組み込んだモデルなどを指す。 [2006.
130	イン2ロウイング (い んつー…)	In2rowing	IN [会社・漕艇電子機器] 米国の漕艇関係の電子部品の開発・販売をする会社。2005年に安価なコックスボックス互換の音声装置をリリースし、2006年2月にはGPSによる艇速測定装置を組み込んだモデルをリリースした。 URL: www.in2rowing.com [2006.7.24]
131	インテンシブ・(イン ターバル・)トレーニ ング	intensive interval training	JPN [練習] 高強度インターバルトレーニング。最大に近いレイトでの1分前後のパドルの反復。ワークアウト:インターバル≒1:2~1:1。総距離≒競漕距離の2~3倍。 [「ボート競技用語解説(I)」1982, 全国漕艇クラブ連盟, 2009.5.1]
132	インドア・ロウワー	Indoor Rower (R)	[用具] コンセプト2社のロウイングエルゴメータのより商品名。日本国内では約2021年まで、2022年から、ロウエルゴ(RowERG)に改称され、モデルDはスタンダード(Standard)、モデルEはトール(Tall)に改称された。 [20220128, スラ ラインジャパン公告より]
133	インナー・スキン	inner skin	IN [用具・構造] ハルのサンドイッチ構造を構成する3層のうち、内側の層。⇔コア(芯材)、アウター・スキン(外側の層)

no.	用語	English	解説
134	インビルト・ピッチ	inbuilt pitch	IN [用具] オール固有のピッチ。ピボットテーパー、ブレードの基準面に対し、スリーブのフェイス(ドライブ中にオールロックに圧着する面)にあらかじめわずかな角度をつけておくこと。オールの発注時、または後加工、スリーブの交換調整などによる。[Rowing Faster 2004 C11:Rigging, 他] [2019-12-13]
135	インフュージョン, 工法	Infusion, method	IN [造船・工法] FRP艇の積層工法のひとつで、積層型に繊維を配置した上にフィルムをかけて減圧し、片側から樹脂を吸引注入して、硬化させる工法。必要最小限樹脂注入量、施工環境の改善(樹脂の揮発成分の拡散がない)、脱泡作業が不要などの利点がある。[2019-12-13]
136	*** インボード	inboard	IN [用具] オールのハンドル端からピボットのフェイスまでの寸法。アウトボードと対比される。なお、ブレード端ではなく、リガースプレッドあるいはスィフハンドルの左右のグリップ位置の中心までを計測し、「実効インボード」としてとらえる場合もある。[2009. 6. 16]
137	インボード	inboard	[用具] オールロックあるいはガンネルより内側。
138	イン・リガー	in-rigger	IN [艇・構造] 古典的なガンネル上にロウロックがある構造、アウトリガーがない艇。[漕艇術,1920, 2014-7-9]
139	インワード・アングル	inward angle	[用具] オールロックを内側に向けたときのフェイスの傾斜。
140	ウィットワース(ねじ)	Whitworth thread	IN [用具・機械要素] ネジ(ボルト, ナット)のネジ山の規格のひとつ。いわゆるインチネジのうち、やや古いものでイギリス・インチネジなどとも呼ばれる。並目ネジはBSW, 細目ネジはBSFである。例えば1980-88年代のベスポリ・スカル艇のピン・トップ・ボルトには、BSF3/8インチ(20TPI)が用いられていた。なおこれより新しく国際統一されたインチネジはユニファイネジ(UNC, UNF)と呼ばれる。[2015-12-25]
141	** ウィーバ・スポーツ	Weba Sport unt Medical Artikel GmbH	IN/R [会社] オーストリア・ウィーンの、エルゴメータ関連のソフトウェア、乗艇中の計測装置のメーカー。ROWER ERGO, FITRO DYNEなどのソフトウェア、ROWER EXPERT LIGHT, RowX OUTDOORなどの計測装置を販売。URLは、 http://www.weba-sport.com/ [2005. 4. 6収集]
142	ウィフ	whiff	IN/T [用具] 古い競漕用スカルのタイプのひとつ。現在の競漕用スカルに比べてまだ幅も広く短いタイプ。(⇨best boat: The Story of World Rowing/C. Dodd より)
143	ウィフ	whiff	IN/T [用具] オールの支点の古典的様式のひとつで、ガンネルに立てられたソールピンにロープを輪をかけ、それにオールを通して、その「輪」のこと。[www.virtualmuseum.ca/より。Winterton Boat Building and Community Museum (Canada)のTraditional Boat Building of Winterton/13- Outfitting the Boat/Thole pin and whiff に写真がある。2005. 4. 6収集]
144	ウィリス(WILIS)	WILIS; Watercraft Inspired Lateral Instability Simulator	IN [用具・トレーニング機器・商品名] ロウ・バランス社のエルゴ懸架装置。ローリングバランスを再現できる。[2011.8.15]
145	ウィング・ブレード	Wing blade (R)	IN [用具・オール・商品名] ブラウチャ・スポーツのオールのブレードで、C2・スムーシーのように上縁が(スムーシー1以上に)顕著に被せた状態になっているブレード。2015年現在はずでに製品群から外れ、ダブルウィングブレードに交代している。[2015.4.30]
う	146 ウィング・リガー	wing rigger	IN [用具・部分] 翼断面をした空気抵抗の少ないアウトリガー。ストレッチャー付近から1枚でオールロックを支える。エアロウィングなど。
147	ウィンテック・レーシング	WinTech Racing (R)	IN/R [会社・造船] ドリユー・ハリソンが2004年に起業し、生産を中国のWudi(フライング・イーグル)がOEM生産していたが、Wudiがブランドを買収し現在に至る。生産数で世界最大規模となる。日本では桑野造船が輸入販売。[2015-7-28]
148	ウィン・ローイング	Win Rowing (R)	IN/R [会社] ガルス・グルエンボーン/(有)J2が立ち上げたポート・ブランドで、中国の造船会社でOEM生産していた。現在は、ウィンテックとのブランド名の重複を避け、2005年から「スウィフト・レーシング」にブランド名を変更、企業名もしている。[2015-7-28]
149	ウィンドワード	windward	IN [環境] 風上側。
150	ウェア・プレート	Wear Plate ®	IN [用具・オール・部品] コンセプト2のオールのスリーブで、ロウイング中にオールロックと圧接するフェイス面の板状部品。磨耗したときにここだけ交換できる。(旧タイプ)。[2014.12.26]
151	ウェイ・イナフ	"Weigh enough", ("Wain.....'nuff")	IN [動作・指示] (米国)動作をやめること、その指示。イージ・オール、日本語の「ありがとう」と同義。陸上でも用いる。[Coxswain's Locker/www.coxing.com, Wikipedia:Rowing Terms/2006. 7. 7]
152	ウェーガー・ボート	Wager Boat	IN [艇種] 古典的な呼称。競漕用の軽量アウトリガースカル。[Rowing and Sculling,1904 2014-7-9]
153	ウェザー・システム・コード	Weather System Code(s)	CAN [安全・気象] CARA(カナダ漕艇協会)のウェザー・プロトコル(2005-3-22)に記述の、レガッタ(あるいは乗艇練習)のための気象状況の記述コード。全く問題のないコード・グリーンから、嵐がコースに非常に近く来ており最寄の可能な退避場所への避難を警告するコード・レッドまで、状況を6種類に区分し、手短かに得た発表ができるようにと構築されたシステム。→ストーム・カラー・コード・ワーニング、コードイエロー~コード・レッド [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-
154	ウェッジ	wedge	[用具] くさび。レールの角度調整のためのスペーサーなど。
155	ウェブ・フレーム	web frame	[用具] キールとガンネルを直線的につなぐ補強フレーム。
156	ウェリー	wherry	IN [用具・艇] 渡し舟、はしけ、スカルなどの意味。欧州で使われている幅広のオープンデッキの練習用スカル。いわゆる公園ボート、お椀ボートに近いもの。「フェリー(ferry)」(渡し舟)と同じ語源の言葉。フェリーとは、古い英語の「運ぶ」に由来する。
157	ウェルフェア・オフィサー	Welfare Officer	IN,GB [組織・役員] 福祉役員。ARA(英国漕艇協会)の児童保護の方針・手順(2006)が、未成年を含むクラブにおいて設置すべきと規定している役割。児童保護(虐待防止)などのために活動する。CWO: Club Welfare Officer, クラブ福祉役(競漕・マナー) 競漕に勝ったとき、相手をいたわる言葉。([「ボート百年」p. 32
158	ウェル・ロウ	"Well row(ed)"	IN [団体・RC] 兵庫県・神戸市の魚崎運河で活動する一般ローイングクラブ。週末の午前を中心に活動。マップコード:12 438 749*05 [2018-9-10]
159	魚崎ローイングクラブ (うおぎき...)	Uozaki Rowing Club, URC	[団体・RC] 兵庫県・神戸市の魚崎運河で活動する一般ローイングクラブ。週末の午前を中心に活動。マップコード:12 438 749*05 [2018-9-10]
160 *	ウォッシュ	wash	[動作・失敗] キャッチでエントリーできず、ブレードが水面を滑ること。
161	ウォッシュ	wash	IN [動作・失敗] フィニッシュで水を持ち上げ、飛ばしてしまうこと。フィニッシュでの不良動作や、他の船の波を受けてそうなることがある。(Coxswain's Locker /www.coxing.com より)

no.	用語	English	解説
162 *	ウォッシュ・アウト	wash out	IN [動作・失敗] ドライブ中に(フィニッシュでの適切な上昇動作ではなく、それ以前に)ブレードが浅くなり、水上に出てしまうこと。(Rowing Canada Aviron, Glossaryより) [2007. 9. 17]
163	ウォッシュ・ボックス	wash box	IN [用具] ガンネルのパウ側の端で、V字型になった部分。ウォーターブレイク。
164	ウォッシュ・ボード	wash board	[用具] スブラッシュボード。ウォーターブレイク。
165	ウォッシング・アウト	washing out	IN [動作] →ウォッシュアウト (Rowing Canada Aviron, Glossaryより) [2007. 9.
166	ウォーターサイド	waterside	IN [用具・位置] 発艇場などにおいて、艇が岸に平行にあるとき、その陸側と水側(沖側)に分かれて漕手がいる場合などの、水側(沖側)のこと。その側にいる漕手のこと。cf: ショアサイド。
167	ウォーター・シュート	water shoot	IN [用具] 水落とし。斜めに勾配をつけた艇尾側のバルクヘッド。艇を加速した際に艇内に浸水した水を排出しやすくなっている。排水板。
168	ウォーター・ターン	water turn	JP [動作・技術] ブレードを斜めのまま水中にエントリーさせ、ブレードにかかる水圧を利用してスクウェアにする技術概念。「(ボート競技用語の解説(I))」1982. 全国漕艇クラブ連盟)。実際には、ドライブの初期を弱め、また水圧でスクウェアに整う過程で同時に深くもぐりこむことになるため、現在の高い艇速、先鋭的なブレードではナンセンス。 [2009.5.1]
169	ウォーター・チャンネル	water channel	IN [艇・構造] デッキ下の浮力室の底部にある、前後のスペースをつなぐ排水管。前後の艇最低部を連絡し、浸水を平均化、または排水部に集約させる働きがある反面、前後に傾いた艇において内部の水を傾いた側に集める作用もあるため評価はひとつにまとまらない。 [2016.12.15]
170	ウォーター・シュートブ レーク	(break water), splash board	[用具] →ブレイク・ウォーター、スブラッシュ・ボード
171	ウォーターマン	waterman	IN [一般] 一般的には、ウォーターマンとは水夫(水上作業員)や水辺で暮らす、働く人、あるいは漕ぎ手のこと。英国では昔、手漕ぎの水上タクシーがいてその漕ぎ手をウォーターマンと呼んだ。 [Know the Game/ Rowing. p. 8, 2007. 12. 24]
172 **	ウォーターマン	(waterman) stake boat holder	JP [大会・要員] (日本で)ステイクボートに乗り、艇を発艇線に揃える要員のこと。日本でも、2015年に、正式名称をステイク・ボート・ホルダー、ボート・ホルダーに改称した。 [2015-12-25]
173	ウォーターマンシップ	watermanship	IN ボートを推進するために必要な技術に加えて、ボートと水域の環境についての知識のこと。
174 *	ウォーターライン	water line	[用具] 喫水線。
175	ウォーターローワー	Water Rower (R)	[用具] 密閉された水槽内で羽根のついたホイールを回すことで負荷体とするロウイングマシン。国内ではジェイツーが販売していた。(2015年現在は取扱を終了)。 [2015-12-25]
176	ウォームアップ・エリア	warm-up area, warming-up area	IN [施設] 漕艇コースなどでの練習水域。
177	受け木 (うけぎ)		[用具] ネコともいう。ストレッチャーをキールに固定するための台座。
178 **	右舷 (うげん)	starboard	[用具] 艇の進行方向に向かって右側。
179	渦抵抗 (うずていこ)		[用具] 造渦抵抗(ぞうかていこう)。渦を発生するために生じる抵抗。
180	内キール (うちきール)	inner keel	[用具] 艇体内のキール。キールソール。
181	ウッディ	WUDI (HangZhou Flying Eagle Boat Co. Ltd)	IN [会社・造船] 中国の造船会社。杭州市富陽区。杭州飛鷹船艇有限公司。(フライング・イーグル)1985年創業。2016年現在、世界最大規模の施設と造船数を誇る。WUDIはその中国国内向けブランドネームだが、日本でもよく用いられる。WinTechブランドの艇を製造、輸出している。日本国内には桑野造船が扱う。 [2019-12-13 改訂]
182	ウッディ	woodie or (dougier)	IN [用具・工具] →ダウガー。ウイング・ナットを緩めたり締めたりするための手作りの工具。(Coxswain's Locker/www. coxing. com より)
183	腕が残る (うでがのこ る)		[動作・欠陥(動詞)] 腕の引きが弱く、スウィングのあとに、腕の引きが弱く、遅く残る状態。
184 *	腕漕ぎ (うでこぎ)		[練習・乗艇] スライドと上体のスウィングをつけないで漕ぐ技術漕の一つ。
185 **	ウマ	stretcher, trestle, sawhorse, horse, sling, stool	IN [用具] 艇をおく台。船台。英語では、トレスル(trestle, 架台・橋脚などの意)、ストレッチャー(stretcher, 担架の意味。担架に似た折りたたみ式のウマを指す)、ホース(horse, (馬のような四足の)架台、脚立の意味がある)、ソーホース(sawhorse, (米)鋸を引くための木挽き台)、スリング(sling, boat sling 吊り帯の意味がある)、スツール(stool)など、様々な呼び方がある。 [2010.8.23]
186	海の森水上競技場	Sea Forest Waterway	JP [水域・漕艇場] 2020年東京五輪のボート・カヌー競技開催地。2016年に着工。途中、建設費高騰等の問題で候補地見直しの小池百合子都知事によるかきませの後、最終決定、2019年に竣工し同年、世界ジュニア選手権が開催された [2019-12-13 改訂]
187 **	ウルトラ・ライト(シャフ ト, オール)	Ultra Light Shaft	IN [用具・オール] コンセプト2のシャフトタイプの一つ。炭素繊維主体で非常に軽い。2016年現在では、競技用オールの主流(標準)はウルトラライトである。 [2017-1-14]
188	ウルトラ・ライト(・ロウ ワー)	ultra light (rower)	IN [漕手・区分] →フライ・ウェイトと同義。(Coxswain's Locker/www. coxing. com より)
189 **	ウレタン(樹脂)	poly-urethane	IN [用具・素材] ポリウレタン樹脂。塗料および接着剤などとして用いられる。コンセプト2では、スリーブの接着、交換作業に2液式のウレタン接着剤を指定して
え	190 エア・ストローク	air stroke	IN [練習・メニュー] ブレードを水中に入れずに漕ぐこと。ドリルのひとつ。 [2019-12-13改訂]
191	A (えー, あーむ)・ク ラス	A: Arm	[大会] パラロウイング(障害者漕艇)のカテゴリー(クラス)のひとつ。脚と上体を使わず、腕だけを使って漕ぐクラス。ASクラス(ArmとShoulderを使用)と同義。A1×(Aクラスのシングルスカル)などがある。
192	AIS (えー・アイ・エ ス)	AIS: Australian Institute of Sports	IN [組織] オーストラリア・スポーツ研究所。ロウイングについても様々な研究やデータの蓄積をして、オーストラリアの強化に貢献している。2004年FISAコーチカンファレンスではGPSを導入した記録装置などを発表し注目された。
193	ARA (えーあーる えー)	(The) Amateur Rowing Association	IN [組織・協会・固有名] 英国漕艇協会。各国の漕艇協会組織の中でも最も老舗のひとつ。
194	ARA (えーあーる えー)	Amateur Rowing Association	[組織・協会] 漕艇協会。(英国漕艇協会に限定せず)各国・地域の(プロでない)アマチュアのロウイング愛好者のための協会のこと。
195	ARAクラブニュース (えーあーるえー)	ARA Club News	IN [図書] ARA発行の月刊漕艇誌。

no.	用語	English	解説
196	ARF (エーアールエフ)	Asian Rowing Federation	IN [組織] アジア漕艇連盟
197	エアロ(スカル), ドレハー	"Aero" Scull, Dreher	IN [用具・製品名] ドレハー社が2009年にリリースしたシャフトとブレードのフォワード時の空気抵抗を低減するよう工夫を凝らしたスカルオール. [2009.4.30]
198	エアロウイング	AeRoWing (TM)	IN [用具・商標] 空気抵抗軽減や波にひっかかりにくいステイレリアウトをデザインしたアウトリガー. カールダグラスの商標. [2016-6-5]
199	エアロビック	aerobic	IN [スポーツ一般・生理/練習] 有酸素運動; 運動負荷に対し呼吸による酸素供給・エネルギー産生が間に合っている継続可能な運動状態のこと. その能力を伸ばすトレーニング, エクササイズのこと. ⇨アナロビク(無酸素運動)
200	エアロウフィン	AeRowFin (TM)	IN/TH [用具・商標] 流体的に流れを乱さないようにフィンとラダー部を滑らかに接続したフィン・ラダーの商品名. カナード・フィン(TM)とあわせて, ハイバーステア(TM)を構成する. カール・ダグラスによる. [2018-5-20,
201	英国スタイリッシュ漕法 (えいこく…)	English Traditional Style	IN [動作・漕法] →オーソドックス漕法.
202	H (えいち)	Hombres	IN [大会] 男子. フランス語. ⇨F:Femmes(女子). 現在では, 男子をM, 女子をWと標記するのが一般的であるが, フランス語でH/Fと標記する利点は, 文字が識別しやすい点である(MとWの類似性に対してメリットがある). [2006. 7.
203 *	HR, hr (えいちあーる, はーとれいと)	heart rate	IN [練習] 心拍数.
204	HRR (えいちあーる…, ヘンリー…)	HRR: Henley Royal Regatta	IN [大会] ヘンリー・ロイヤル・レガッタの略称.
205	HM (えいちえむ)	HM: Heaveweight Men	IN [種目区分] 重量級男子(Heavyweight Men)の略. 無差別級とも呼ばれる. 対語は, LM:Lightweight Men(軽量級).
206	HORR, HoRR (えいちおー…)	HORR: Head Of the River Race	IN [大会] ヘッド・オブ・ザ・リバー・レースの略. HRRと略しても良さそうだが, 上述のHRR:ヘンリーレガッタと混同するためHORRとしているのだらうと解釈.
207	HW (えいちだぶりゅー)	HW: Heavey Women	IN [種目区分] 重量級女子(Heavyweight Women)の略. 無差別級女子とも呼ばれる. 対語は, LW:Lightweight Women. なお, HW, Hw, Heavy-Weightの略として用いられていることもあるので注意が必要.
208	HW, Hw (えいちだぶりゅー)	Heavy Weight	IN [種目区分] 重量級(Heavy-Weight)の略. 一般には, 前出の「重量級女子(Heavyweight Women)」のことが多いが, Hwと, Wが小文字の場合は, こちら.
209	HWR (えいちだぶりゅーあーる)	HWR, The Henley Women's Regatta	GB [大会・固有名] →ヘンリー・ウイメンズ・レガッタ. (1988年に始まる) 公式ウェブサイト: www.hwr.org.uk [2007. 2. 9]
210	HPL (えいちぴーえる)	Hombres Poids Legers	IN [種目区分] 男子軽量級. フランス語.
211 *	AED (えーいーでいー)	AED: Automatic External Defibricator	IN [一般・医療] 自動体外式除細動器. 心室細動による心停止の際に, 細動を除去するために電気ショックを自動で与える装置. これを利用したPAD(一般人による除細動処置)が日本でも2004年から認められ, 06年以降, 公共の場所での設置が急速に進んだ. 漕艇場での設置も進みつつある. [2009. 4. 25]
212	エイティーズ, (株)	Eightie's	JP [企業・衣料] 兵庫県尼崎市. チームユニフォームなど取扱. [2016-5-24]
213 ***	エイト	eight/eight oars	IN [用具・艇種] 8人漕ぎの艇. 8+. 8o. 艇重量93kg以上. 2000m=約5'25" (世界トップレベル).
214	エイリングス (アイリリングス)	Aylings	IN [会社・造船] イギリスの造船会社. →アイリリングス
215	AHA (エーエイチエー)	AHA: American Heart Association	IN [組織・安全] アメリカ心臓協会(米国心臓協会). 「心肺蘇生と救急心血管治療のための国際ガイドライン」を提供し, これが救急法, 心肺蘇生の国際標準となっている. 2000年度版に続き, 2005年版がリリースされており, 心肺蘇生の方法も, 順次より最適な方法へと進化している.
216	AS(エーエス)・クラス	AS Class	IN [パラ・クラス] パラウイングにおけるクラスわけのひとつ. 脚と体幹を固定し, Arm(腕)とShoulder(肩)の筋群を使用するクラス. Aクラスとされていたが, 脊髄損傷でも肩の筋群の動員も許容されるようになり, ASクラスと定義しなおされた. A1Xと定義されたときでも, ボディの上半身を動員しているケースが多かった. 2018年から, 種目名称が改訂されPR1種目となり, PR1M1×, PR1W1×となった. [2017-10-7]
217	ALS(エーエルエス)	ALS: Athlete Lane Selection	IN [大会・レーン選択方式] →アスリート・レーン・セレクション [2021-11-8]
218	エキストラクション	extraction	[動作] ドライブの最後のブレードを水中から引き抜く動作. リリース. フィニッシュ.
219	エキスパート(オール)	Expert Oar (R)	JP/R [用具・商標] 桑野造船が2004年に販売開始した小径化(=シャフトの細い)オール. 空気抵抗の低減を目的としたもの. (桑野造船, パンフレット, ウェブサイト, 2004)
220	エキスパート(ソフトウェア)	Expert 2.0, software (R)	IN/R [用具・ソフトウェア] オーストリアのウィーバ・スポーツの供給するエルゴメータなどのデータの計測・解析・表示のソフトウェア.
221 *	A級コース (えーきゅーこうす)	A class course	[施設・クラス] 6レーン, 流速10cm/s以下の漕艇コース. 国際大会の開催が可能.
222	A級コーチ (えーきゅーこうし)	A class coach	JP [資格] 日本体育協会制定の公認コーチ制度の資格のひとつ. 2005年4月から, 従来の(B級コーチ)とともに「上級コーチ」のカテゴリーに統合された.
223	A級審判員 (えーきゅーうしんぱんいん)	A class umpire	JP [資格] 日本漕艇協会制定の公認審判員制度の資格のひとつ. B級審判員として4年以上の実務経験を受検資格.
224	ACM (エーシーエム)	Alignment Control Mechanism	IN [施設] →アライメント・コントロール・メカニズム. 発艇装置のひとつ.
225 *	S (えす, すとろーく)	stroke	IN [動作] 漕ぎ, ひと漕ぎ. 1ストロークサイクルをさす場合と, 水中(キャッチからフィニッシュまで)を指す場合がある. [2016-8-17]
226	S (えす, すとろーく)	stroke	IN [クルー・ポジション] ストローク. 整調(漕手)の略号. [2016-8-17]
227	S (えす, すとろーくさいど)	Strokeside	IN [艇・サイド] 艇の左舷. ノーマルリグで整調が左舷を漕ぐことに由来. この定義では, いわゆるパウサイド整調・オルタネイトリグ(交互配置)の場合は, パウサイドが左舷, 整調サイドが右舷となることもある. [2016-8-17]
228	S (えす, スターボード)	starboard	IN [艇・サイド] 艇の右舷. ステアボード(舵板)が港に接岸する左舷(ポートサイド)の逆にあったことに由来. ドイツ語でもSteuerbordだが, ストロークサイド(左舷)と混同しやすいので注意. [2016-7-18]
229	S (えす, シルバー)	S, Silver	IN [大会・順位] 準優勝. 銀メダル [2010.8.4]

no.	用語	English		解説
230	SR (えすあーるすとろーくれいと)	stroke rate		[動作] ストロークレイト, レイトの略称として用いられる。
231	SRD(えすあーるでいー)	SRD	IN	[用具・商品名] シマノがリリースしている, シューズ着脱・回転式ストレッチャー, 型番から通称, SRDと呼ばれることが多い。 [2016-5-23]
232	SARA (エス・エー…、サラ)	Scottish Amateur Rowing Association, Shizuoka ARA, etc	IN	[組織・協会] スコットランド漕艇協会(英国の北部), 静岡県ボート協会など, Sを頭文字とする漕艇協会, ボート協会の略称。
233 **	SS (えすえす, しんぐるすかる)	single scull		[用具・艇・略号] シングルスカルの略号として用いられることがある。次項の「ステディステート」(定常漕)との混同を避けるためには, より一般的な略号の「1×」を用いるほうが良い。(余談:本書では×は全角の乗算の「×」を使用しているが, 英文では, X(エックス)の大文字を使い1Xと表現する。1×と小文字の場合もある。) [2016-5-24]
234	SS (えすえす, すていでいすてーと)	SS :Steady State		[練習, 略号] ステディ・ステート(定常漕)の略。シングルスカルとの混同を避けるためには, StStなどと略記するほうがよいかも。 [2016-5-24]
235 **	SF (えすえふ, しゑるふおあ)	shell four		[用具・艇・略号] シェルフォアの略号として用いられることがある。舵手付クフォアとしては, 4+のほうがより一般的。 [2016-5-24]
236	SLW(エスエルダブリュー)	SLW(Super Light Weight)		[ボート, 重量クラス区分] 女子軽量級クラスに設計されたボート。 [2013.1.30]
237	SCR(エスシーアル)	SCR; Scratched	IN	[レース・記録の記述] Scratchedの略。棄権(Withdrew, W/D)と同義。 [2016-11-1 New South Wales Rowing 他]
238	STS (えすていえす)	STS	IN	[用具] イタリアのオール, ビッグブレードと同様の非対称ブレードを供給。
239	Stm (エスティエム)	Steuermann	GER	[クルー, 舵手] 舵手, コックスのこと。Steer-man, Rudergänger(ルーダーゲンガー)と言う場合もある。 [2016-8-17, Empacher rigging資料]
240	SPM	SPM, strokes per minute	IN	一分間の漕ぎ数, ストロークレイトの数値表現の単位。1分間あたりの漕ぎ数。 [2018-7-22]
241	SUP (エスユーピー→サップ)	SUP : Stand Up Paddle	IN	[用具・漕艇外] →サップ。 [2017-1-14]
242 *	エッジ・フォア	edge four		[用具] エイトにおけるB, 2, 7, Sの4漕手。
243 *	エッジ・ペア	edge pair		[用具] フォアにおけるパウと整調。
244	エッセン	essen (germany)	JP	[練習] ドイツ語のエッセン(essen)(=英語のeat)に由来し, 「食事」を意味する。明治期の大学スポーツでは, インテリぶってドイツ語が使われたものひとつ。フライも同類。 [2012.5.8]
245 **	AT (えーていー)	Anaerobic Threshold		[一般・スポーツ] 無酸素的作業閾値。
246	江戸川区ボート協会(えどがわく…)	Edogawa-ku Rowing Association	JP	[組織・協会] 東京都江戸川区のボート協会。2000年, 小松川地区の旧中川で, ボート未経験の市民によって始まる。経験者や行政(区, 河川管理者など)との連携が好循環して発展, ロウイング普及のモデル的存在。(N35° 41' 36.07" / E139° 50' 52.98") [2016-5-24]
247	NRDノラチコ(えぬあーる…)	New Rowing Donoratico	IN	[会社] イタリアの造艇会社。
248	NAASH (えぬえーえーえす…)	NAASH; National Agency for the Advancement of Sports and Health		[組織] ナーシュ(NAASH)とも。独立行政法人・日本スポーツ振興センター。
249	NAAO (えぬえーえーおー)	National Association of American Oarsman.	IN	[組織] National Association of American Oarsman. 米国・USRAの前身。
250	NSPCC (えぬえすぴー…)	NSPCC; National Society for the Prevention of Cruelty to Children	IN, GI	[組織] 英国の児童虐待防止全国協会。虐待の相談, ヘルプラインなどが設置されている。
251	NJRF (エヌジェーアールエフ)	NJRF: National Junior High school Rowing Federation	JP	[組織] 全国中学校ボート連盟。2008年現在21団体。 [2009.5.26]
252 **	NW, nw	no work	JP	[動作] ノーワーク。
253	NTC	NTC, National Training Center	JP	[固有名称・施設・組織名] 一般には, 西が丘のナショナルトレーニングセンターを指すが, ロウイングでは特に競技別拠点としての, 国立戸田艇庫およびその一角のナショナルチーム専用のトレーニングルームを指すことが多い。 [2017-1-1]
254	NTT(エヌティティー)	NTT, No Time Taken	IN	[レース・記録の略号] タイムの記述ができないこと, 計時装置の操作ミス・故障などで起こりえる。順位などは認められる状況で, タイムの代わりにNTTと記述される。 [2016-11-1, New South Wales Rowing より。]
255	NTBC.(株)(エヌティービーシー)	NTBC	JP	[企業, ディーラー] 2016年創業, 日体大OB関係者らによるロウイング関連ショップ。フィリップ部品およびスウィフト艇等の輸入販売。J2(ジェイツー)廃業を引き継ぎ設立された。 [2017-1-14]
256	A final (エーファイナル, エー決勝)	A final	IN	[大会・決勝の区分] 多レーンで競われる準決勝の一着のクルーによる決勝競漕。文字通りの決勝。 [2019.8.26]
257 **	F (えふ, ふいめーる)	Femmes, Female	IN	[大会] 女子。Femmesの対語はHommes(フランス語)。Femaleの対語はMale(英語)。
258	F (えふ, ふおあ)	four		[用具] フォア。4人漕ぎ艇。
259	F (えふ, ふいにつしゅ)	finish		[動作] フィニッシュ
260 ***	FISA (えふあい…→ふいさ)	F.I.S.A.	IN	[組織] →フィサ。国際漕艇連盟。
261 ***	FRP (えふあーるぴー)	Fiber Reinforced Plastics	IN	[用具] 繊維強化プラスチック。通常はGFRPをさす。cf. CFRP。
262	FES (エフィーエス…)	FES		[組織] Institut für Forschung und Entwicklung von Sportgeräten (FES)。 「ドイツのスポーツ用具開発機構」の略。さまざまなスポーツ用具の研究開発を行っている。 [2017-11-22]

no.	用語	English	解説
263	FES(エフイーエス)ロウイング	FES Rowing	IN [医学・リハビリ] Functional Electronic Stimulation: 機能的電気刺激ロウイング。電気刺激を利用したリハビリテーション手法で、座位で安全に全身運動ができるロウイングマシンの特性を活かしたメリットと効果が注目されている。使いすぎ症候群(オーバーユース)、循環系疾患、Ⅱ型糖尿病のための運動、パラ・ロウイングのA、TAのためのトレーニング(脚へのFESで、循環系のトレーニングとしての活用が期待されている(腕・上体のオーバーユースを防ぐことができる)。[Know the Game/Rowing, p. 50, アダプティブ関係論文より, 2009. 4. 30]
264 **	FTSブレード (エフティーエス…)	FTS Blade	IN [用具] バルセロナ五輪でドイツ女子4+, 女子8+が使用した、非対称特殊シャフト系のオール。
265	Aフレーム・ポート・ラック (えーふれーむ)	A Frame Boat Racks, Portable	IN [用具・商品名] ウィンテックの携帯型のポートラックで、A型のフレーム構造を持つタイプ。[2006. 11. 18]
266 **	エポキシ樹脂 (…じゅし)	epoxy resin	IN [用具] 合成樹脂の一つ。接着剤、塗料、FRPのための樹脂として用いる。2液型(主材、硬化剤/A剤・B剤)が基本であるが、プレブリグでは樹脂に予め含浸させた状態で製品となっており、型にセットした状態で加熱・硬化させる形で使用。
267	M (えむ)	M, Men	IN [種目区分] 男子(Men, Male)の略語。H: Hommesも男子として用いられることがあるが、これは重量級のHeavyと混同されるおそれがある。対語は、W: WomenまたはF: Female。
268 *	MEKPO (えむいーけー…、またはメクポ、メボ)	MEKPO; Methyl ethyl ketone peroxide	IN [用具] メチル・エチル・ケトン・パーオキシド。不飽和ポリエステル樹脂のための硬化剤。商品名では、カヤメック、パーメック、メボックスなどがある。
269	MK1(エムケーワン)ロウロック	MK1(Rowlock)	IN [用具] マジックロウイング(Magik Rowing)社(オーストラリア)が2005年1月にリリースした、衝撃吸収機構のついたタイプのオールロック。ネジ式のゲートピンではなく簡単に片手でロック/リリースできるゲート構造と、スリーブがオールロックの中で暴れないように、衝撃吸収機構(テンションバンド)で、テンションアームがスリーブをオールロックのフェイスに接触した状態を維持する。
270	MK1エボリューション	MK1 evolution	IN [用具・商品名] MK1の初期モデルに続き、安全性を改良した第2世代(スカル用は07年11月、スリーブ用は08年3月にリリース(予定)) [2007. 11. 27, Magik Rowing ウェブサイト参照]
271	エリート	Elite	[大会・選手区分] シニアで6回以上の優勝者。
272	エール大・ハーバード大対抗戦	Yale univ. - Harvard Univ.	IN [大会, 固有名詞] 米国の最も歴史が古い大学対抗戦。1852年に始まった。[2016.1.28]
273	L (える、らいと)	L, Light(-weight)	IN [種目区分] ライトウェイト(Light Weight); 軽量級の略。対語はH: Heavy weight; 重量級、または無座別級。
274 **	L, l (エル、レングス)	boat Length	[用具] 艇身。艇差を表すときの単位。2Lとあれば、「2艇身」、「トウー・ボート・レングス」などと読めばよい。
275	LM (えるえむ)	LM: Lightweight Men	IN [種目区分] ライトウェイト・メン(Lightweight Men); 軽量級男子の略。対語はHM: Heavyweight Men; 重量級男子(または無座別級男子とも)。
276	LSD (えるえすでいー)	Long Slow Distance	IN [練習] 長い距離をゆっくり漕ぐメニュー。30分以上の定常漕。陸上競技のトレーニング方法に由来。
277	LOA(エルオーエー)	LOA, Length Over All	IN [艇設計, 要素] 艇長の内、特にハルの全長のこと。競漕艇では、バウの先端からスターンの後端まで。バウの先端とは、バウボールの先端、バウボールの中心、バウボールを除いた船体の前端と細分できる。ナックルのようにスターンにラダーを持つ艇では、ラダーを含めるかどうかなど、目的によって選択する。⇨LWL(喫水線長) [新版カヤック工房, p13他, 2020-6-4]
278	LOC (えるおーしー)	LOC; Local Organising Committee	IN [組織] (レガッタにおけるそのコースでの運営を司るような) 地方組織委員会、国内組織委員会。(場合によって、地方のオリンピック委員会; Local Olympic Committee を指す可能性もある。⇨NOC, IOC)
279 **	Lゲージ (えるげー)	L gauge	[用具] リギング棒。L。ワーク高やリガー・スプレッドを計測する器具。
280	エルガー	erger	IN [「人稱」] エルゴを引く人のこと。漕手=rowerに対し陸上で漕ぐ人を指す。[2016-8-17]
281	(エルグ)	erg	IN [用具・練習] 名詞として、エルゴメータおよびエルゴメータによるトレーニングの略称。動詞として、エルゴを引くことも指す。(例えば, "I erged 2000m.", "erging is too hard." などというふうには)
282	エルゴ	(ergo)	[用具・練習] エルゴメータ, ロウイングエルゴメータの略称。英語では, "erg" と略称する。
283	エルゴ・チャッター	Erg Chatter	IN [用具・ソフトウェア] C2のロウイングマシンのモニター; PM2以降で利用可能なベースの音声読み上げソフト。(サードパーティによるフリーウェア。XP以降のパソコンを接続して使う。視覚障害でのエルゴ活用にもある。[2016-12-15, C2ウェブサイト, ほか])
284 ***	エルゴメータ	ergometer	IN [用具・練習] 漕動作近似型のトレーニングマシン。
285	LW (えるだぶりゅー)	LW: Lightweight Women	IN [種目区分] ライトウェイト・ウイメン(Lightweight Women); 軽量級女子の略。対語は、HW: Heavyweight Women。なお、LW(や特にLw)は、Light Weightの意味で用いられることがあるので文脈によって注意が必要。
286	LW, Lw (えるだぶりゅー)	Light Weight	IN [種目区分] ライトウェイト(Lightweight); 軽量級の略。対語は、HW, Hw: Heavyweight。一般には、LWは前出のLightweight Women; 軽量級女子の意味で用いられることが多い。
287	LWL (エルダブリューエル)	LWL, Length on the WaterLine	IN [艇設計, 要素] 艇長の内、特に設計喫水線での全長のこと。競漕艇では、バウ・システムの喫水点からスターンの喫水点まで。⇨LOA(全長) [新版カヤック工房, p13他, 2020-6-4]
288	LTA (えるていーえー)	LTA: Leg+Trunk+Arm	IN [大会] パラロウイング(障害者漕艇)のカテゴリーのひとつ。片足や腕の障害などを伴っても脚(Leg)・上体(Trunk)・腕(Arm)を使って漕ぐクラス。Mixed4+ LTA(LTAのつきフォアで、男女2名ずつで漕ぐ)などがある。2018年から種目名称が改訂され、PR3クラスとなった。PR3Mix4+と表記。[2017-10-8]
289	LTAIDMix4+(エルティーエーミックスフォープラス)	LTAIDMix4+	IN [大会・種目] パラ・ロウイングのカテゴリーのひとつ。(脚・体幹・腕を使う) LTA漕手およびID(知的障害)漕手で構成し、男女混成(Mix)による舵手付フォア。2009年世界選手権で実施。[2009.11.21]
290 ***	L板 (えるばん)	L plate, Base Plate	[用具] ワーク高を調節できる多孔式のオールロック台座。
291	LP (ライト・パドル)	LP: Light Paddle	JP [動作・出カレベル] ライトパドルの略称。

no.	用語	English	解説	
292	LPP (ロー・ピッチ・パドル)	LPP; Low Pitch Paddle	JP [動作・出力レベル] ロー・ピッチ・パドルの略称。ライトパドルをドライブフェイズの出力状態を落とす設定に対し、水中をフルプレッシャーとしてフォワードに十分な余裕を持たせレイトを落として漕ぐ状態を表現したもの。ただし、クラブ、クルーによって定義がゆれる部分でもあるので、この種の略号は、定義をよく注意して理解、適用しなければならない。[某練習計画シートより。2007.12.22]	
293	L棒 (えるぼう)	L bar, Height Stick	[用具] Lゲージ。	
294	A1 (代表)選手 (えーわん…)	A1 athlete	JP [強化施策、カテゴリー] 日本ボート協会が北京五輪のメダル獲得を目指して奨める強化施策の中で、重点強化の対象とする選手枠のこと。	
295	A1 (えーわん)	A1 model in Kuwano Boat	JP [用具・モデル名] 桑野造船のA1選手への供給を目的とした艇のモデル名。	
296 **	エンジン・フォア	engine four	[漕手・ポジション] ミドルフォア。エイトにおける3, 4, 5, 6番漕手。	
297 **	エンジン・ペア	engine pair	[漕手・ポジション] ミドルペア。フォアにおける2, 3番漕手。	
298	エンジン・ルーム	engine room	IN [漕手・ポジション] エイトにおける3~6番の4人の漕手。ミドルフォア, ミドルクルー, エンジンフォアなどとも呼ばれる。クルーの中で最も重くパワフルな漕手を、ピッチングの影響をより少なくするために、艇の中央付近に配置するためにこう呼ばれる。(出典例:Wikipedia/Sport of Rowing) [2006.7.6]	
299	遠漕 (えんそう)	long distance	[練習・メニュー] (1)遠距離漕。(ロングディスタンス)	
300 **	遠漕 (えんそう)	rowing treck, rowing tour	[活動・メニュー] 漕艇旅行。遠足的漕行	
301	エンド・ポア	end-pours	IN [造船・工法] 特にスティッチ&グルー工法などによるカヌーの造船工程のうち、バウとスターンの内側に、エポキシ樹脂などを充填し、衝突や座礁のリスクが高い部位の強化を図る工程、またはそれで形成された充填部分。競漕艇ではあまり重視されないが、重量規定のある競漕艇では、端より重量を配分することで、同じ重量でもよりピッチングモーメントを拡大し、高速化を図ることにつながる場合もある。(「新版カヤック工法」舵社, p100) [2007.9.6]	
302	エンドレス・チェーン・ムーブメント	endless chain movement	JP [動作・概念] ハンドルの動作軌跡を丸く円滑に連続させるべきだという動作概念。	
303 ***	エントリー	entry	IN [動作・通常] (1)キャッチの時、ブレードが水中に入っていく過程。	
304 **	エントリー	entry	[大会・手続] (2)競漕への参加申請。	
305	エンパ	Empa.	JP/S [会社・造船] エンパツハの略称。スラング。→エンパツハ [2017-1-24]	
306 **	エンパツハ	Bootswerft Empacher GMBH	IN [会社・造船] ドイツのフランクフルト郊外(エバーパツハ)にある漕艇メーカー。トップアスリートにおける用艇シェアとして世界のトップレベルにある。オリンピックや世界選手権のトップレベルクルーの半数以上が使用している。[2017-1-	
307	エンパワー・ワイヤレス・オアロック (R)	Empower Wireless Oarlock (R)	IN [計測装置・商品名] NK(ニールセン・ケラーマン)が2016年にリリースした計測装置。オールロックの背後に装着し、無線(Blue Tooth)で、スピードコーチにデータを送信し漕力などを表示させることができる。[2016-8-17, NKウェブサイ	
お	308 **	オアズウーマン	oarswoman	IN [漕手・一般、分類] 女性漕手。女性漕艇選手
309 *	オアズパーソン	oarsperson	IN [漕手・一般、分類] 漕手。漕艇選手。「オアズマン」が男性名詞であることに配慮。	
310 *	オアズピープル	oarspeople	IN [漕手・一般、分類] 漕手。漕艇選手。「オアズマン」が男性名詞であることに配慮。	
311 **	オアズマン	oarsman	IN [漕手・一般、分類] 漕手。漕艇選手。男子漕手。	
312	オアズマン	Oarsman	IN [図書・固有名] (2)USRA発行の機関誌; アメリカンロウイングの前身。	
313 ***	オアズマンシップ	oarsmanship	IN [技術概念] (1)漕艇技術。漕法。漕技。英語本来の定義としては、このとおりであり、英和辞典などもこの説明である。しかし、(特に往年の日本のオアズマンたちの間では、どちらかといえば後述の(2)漕艇精神として用いられることが多い。[2010.8.4]	
314 **	オアズマンシップ	oarsmanship	JP [方針・精神] (2)漕艇精神。日本では、本来の(1)の意味よりも、「精神」として表現される。どちらかといえば(英語本来の意味からすれば)誤用であるが、漕艇活動を通しての精神的向上の姿勢が希薄になっている現在、精神的啓蒙をはかる言葉としての存在を付加することも重要かもしれない。技術と精神が表裏一体という意味では、精神的意味合いも尊重したい。 In Japan, many oarsmen often use "oarsmanship" as (only) "the Spirit of oarsman" rather than as/with "technical manner, method". [2006.7.6]	
315	オアテック	OarTec	IN オーストラリアのロウイングマシンなどの会社。[2009.10.11]	
316	オアテック・ロウイングシミュレーター	OarTec(R) Rowing Simulator	IN [用具・製品名] ウォーターロウワートと同じ水車負荷方式と、リガーとオール・インボードを組み合わせたロウイング・マシン。	
317	オアボード	oarboard	IN [艇種] サーフボードのような平たい浮力体に、スライディングリガー機構のロウイングユニットを装着し、初心者が気軽に水上に出られるように考案した漕艇種。2014年頃から登場し、FISAも普及の一手段として啓蒙している。[2016-8-17]	
318	オアロック	oarlock	IN [用具・部品] オールロック、クラッチ、ロウロックなどと同義。JARAテキスト2007・エントリーレベルでは「オアロック」を提唱(予定) ※「漕艇語」では、英語圏での現在の使用頻度が最も高いと思われるoarlockに揃え、表記法は、意味を理解しやすいことに重点を置き「オールロック」としている。発音としては「オアロック」のほうが良い。[2012.3.10]	
319	追う (おう)		[動作・欠陥] 後方の漕手が、整調よりスライドを先行させ、先にキャッチすること。[2012.3.10]	
320 **	大きく (おおきく)		[動作・通常] セトルダウン。レンジの拡大あるいはレイトの降下を表現する言葉。[2012.3.12]	
321	大倉 (おおくら)	Ookura	JP/L [組織・歴史的略称] 東京経済大およびその漕艇部の略称。前身の大倉高等商業学校に因む。[2017.1.3, FB私信より]	
322	太田川放水路 (おおたがわほうすいろ)	Ohtagawa Drainage	JP [地名・水域] 広島県広島市の太田川に造成された放水路。太田川BC, 広島大学, 広島工大, 広島修道大, 広島皆実高, 広島工大高などが活動。(N34°22'35.32"/E132°24'50.99")	
323 *	太田川ボートクラブ (おおたがわ…)	Ohtagawa Boat Club	JP [組織・固有名] 広島市・太田川放水路で活動中のクラブ。1981年、広島大・中井賢津雄, 広島皆実(コーチ)小沢哲史らが、国体に出漕することを目的として団体登録した。初期の名称は広島太田川ボートクラブ。その後、社会人クラブとして発展し、1時期は通信会員を含めると50名以上の時機もあったが、2020年現在では約10名前後の小規模団体である [2019-12-13前回改訂 2020-3-16]	

no.	用語	English	解説
324	太田川ローイングクラブ	Ohtagawa Rowing Club	JP [組織・固有名] 県立舟入高校漕艇部(廃部)のOBらが市民レガッタ出漕のために登録したクラブ名。この登録があるため、別記・太田川ボートクラブは、太田川ローイングクラブの名称を採用しなかった(できなかった)。[2020-3-16初記]
325	おか(岡・陸)	forward	[動作・スラング?] ブレードが空中にあるとき、フィニッシュからキャッチまで。
326	荻野漕艇場, 福島県立(おぎの…)	Ogino Rowing Course, Fukushima	[施設・水域] 福島県北西部, 喜多方市高郷(たかさど)町(=旧・高郷村)の阿賀川(下流は新潟県で阿賀野川となる)の新郷(しんごう)ダム湖に作られた国内有数の福島県営漕艇コース。B級・1000m。[2012.3.12]
327	オクトブル(・スカル)	octuple (-scull)	IN [用具・艇種] 舵手つきの8人漕ぎスカル。エイトをスカル化したもの。オクトビードと同義。余談:オクト(oct-)は「8」を意味する接頭語で、オクトバス(タク, 8本足), オクターブ(8音階)などもこれによる。ところでオクトーバー(10月)があるために、(注:これも「8番目の月」の意味で、なぜ10月かは英語の辞書に任せるとして)オクト≒10と誤まって連想し、オクトブルは10人漕ぎだったかな?と誤まりそうになることがある。オクトからオクトーバーでなく8本足のタクを連想しよう。とはいえ、オクトブルから出ているブレードは、8本でなく16本だけ…
328	オクトビード	octpede	IN [用具・艇] 舵手つきの8人漕ぎスカル。オクトブルと同義。[Coxswain's Locker/www.coxing.com, 2007.12.23]
329	オーサム	Oarsome, Simply	IN [会社・衣類] オーストラリアのロウイング・スーツなど衣料関係のメーカー。マーチン・エリオットが自分の小さなクラブのために1988年に始めたが、すぐにオーストラリア中に広まり、2005年には20カ国以上に輸出するまでになった。
330	オーサム・フォーサム	Oarsome Foursome	IN [クルー・固有名] 1990年から1996年にかけて、3度の世界選手権、2度の五輪優勝(バルセロナ, アトランタ)を果たしたなしフォア・クルーのチーム(艇)名。特にアトランタの優勝で、国民的英雄になった。「すばらしき4人組のオアズマン」などと言われる。OarsomeはAwesome!にかけた造語。foursomeは4人組。
331 **	オーシャン・スカル	ocean scull	JR [用具] 外洋型スカル。安定性と排水性を高く設計。例:ヤマハROW20-SS, ウァイラス・ヨール
332	オーストラリアン・ロウイング	Australian Rowing	IN [図書] オーストラリアの漕艇誌。
333 *	オーソドックス・スタイル	orthodox style	IN [動作・漕法] 固定席艇時代の旧式技術。上体を真直に伸ばし大きくスウィングする。このスタイルからの脱却が、フェアバーススタイルである。
334 *	オックスフォード盾(たて)	Oxford Shield Memorial Regatta	JP [大会・固有名] 1959年(昭和34年)のオックスフォード大エイトの来日, 全日本選手権に特別参加など, 親善レースを開催し, 帰国時に贈呈された楯を記念に, 全日本選手権のエイトの2軍戦として, 1961年(昭和36年)に始まった。
335	オックスフォード・ケンブリッジ対抗レース	The Race	IN [大会名] 英国のオックスフォード大学とケンブリッジ大学の伝統的な対抗レース。4マイル374ヤード(6779m)で競漕。[2015.5.31]
336	オデッセイ(オデュッセイ)	Odyssey	IN [用具・製品名] 桑野造船, ウィンテックなどで共同開発した改良型のナックルフォア(2006年から販売)。基本形状は従来艇と似ている。全長:10.68m, 船体幅:88.5cm, 深さ:34.5cm。ハルはケブラー×ガラスの単板構造(従来の新型KFはアルミハニカム)で、重量は約80kg(昔の木造KFより30~40kg以上軽い)。価格は約110万円。
337	オツ盾, OX盾, (おつたて)	Ottate	JP [大会・固有名] →オックスフォード盾。
338	オーニング	awning	IN [用具・周辺装備] 艇にかける覆い。カバー
339	小野湖(おのこ)	Lake Ono	JP [水域・固有名] 山口県小野田市にある厚東川ダムによるダム湖。山口大が活動。山間にあり, 気象のコンディションに恵まれるが, 増水後の流木などがリスクとなっている。
340	お花見レガッタ(おはなみ…)	Ohanami Regatta	JP [大会・固有名] 4月上旬に戸田コースで開催されるシーズンの始まりを告げるレガッタ。東京都ボート協会主催。他にも各地で「お花見レガッタ」がある。The Regatta in Spring (=“Ohanami” season) in Toda Rowing course, Saitama. “Ohanami” means “Watching Flower Party”. (In this case, flower mean especially/only “Sakura”. “Ohanami is one of most popular pleasure for japanese. there are so many drinkers.)
341 **	オーバーラップ	overlap	IN [用具・構築] スカルのハンドルのミドルでの重なり。クロスオーバーと同義。インターネットのキーワード検索では、クロスオーバーとオーバーラップの使用比率は約1:2。JARAのエントリーレベルテキスト(2007)での用語共通化としては、クロスオーバーを提唱。(2007.6.15)
342 **	オーバーラップ	overlap	IN [用具・構築] スイブ艇でのインボードとリガースプレッドとの差。
343	オーバー・リーチ	over reach	[動作・欠陥] 過度の前傾姿勢。
344	オブジェクション	objection	IN [競漕] 漕了後の「異議」 審判艇が白旗を上げる前に、クルーから主審艇に対して行う。レーン侵害などに対する主張。[2017-10-30]
345	オフセット表	off set table	IN [艇設計・図面] 特定の横断面位置(ステーション)における、中心線からハルの端までの寸法を表にしたもの。[新版カヤック工房, p23, 2020-6-4]
346	オープン・ウォーター・ロウイング	open water rowing	IN [一般・分野] 主に静水面での漕艇を主体とする(一般的な)内水面(河川・運河, 湖沼, 人工水域など)でのロウイングに対し, 外海での波の高い水域でのロウイング活動。沿岸, 海峡横断, 大洋横断などを含む概念。艇は(一般的な競漕艇ではなく)オープンウォーターに適した安定性・排水性・耐久性・総合安全性にすぐれたものが必要となる。
347	オープン(クラス)	open class	IN [大会・種別] 軽量級に対し, 無制限クラスのこと。重量級とほぼ同義だが, 要するに体重の軽重にかかわらずエントリーができる。
348	オープニング・アングル	opening angle (of the two feet)	IN [用具・構築] ストレッチャーの左右の足の開き角度(=中心軸からの開き角×2)。通常, 約25°前後。
349	O-リング(おーりんぐ)	O-ring	IN [用具・部品] 水抜き栓(ドレン・プラグ)やハッチ・カバーに使われている弾性材(ゴム)製のリング。水・空気の漏れをなくし密封するために用いられる。通常, 確実な密閉のためには, シリコン・グリスなどを併用する。通常の油性グリスを用いると, 耐油性でないゴムは変質(軟化・膨張)し, 使い物にならなくなるので注意。
350	オリンピック型	Olympic type	JR [用具・船型] 艇断面の船型のひとつ。東京オリンピック時に使用したこと由来する。[2009.4.24]
351	オリンピック・ディスタンス	Olympic distance	IN [大会・距離] オリンピックでの競漕距離。2000mのこと。(もともと, 過去のオリンピックでは, 競漕距離が2000mでなかったときもあった。(参照:ヘンリー・ディスタンス) [2009.4.24])
352 ***	オール	oar	IN [用具・一般] オール。スカルとスイブに大別しての, 特にスイブ・オールのこと。

no.	用語	English		解説
353 **	オール角	oar angle	IN	[用具・艀装] アビームとオールシャフトの為す角度。 オールの水平方向への振れ角。 ミドル位置をゼロとして、キャッチ側を負、フィニッシュ側を正として表記することが多い。
354	オール・ケア	oar care		[動作・指示用語] →ブレード・ケア。
355 *	オルタネイト漕	alternate rowing		[練習・メニュー] 交互漕。 低レイトの全力漕(1分前後)と、75%強度のライトパドル(4分前後)の反復(計約3~6分)の5~10セットの反復。 [参考:「ボート競技用語解説(I)」1982, 全国漕艇クラブ連盟 2009. 5. 1]
356	オール平皮	sleeve, leather of the oar's pivot	IN	[用具・部分] スリーブ。 オールの支点となる部分。 現在は硬質プラスチック製スリーブになっているが、それ以前の木製オールの時代には、熱収縮性のビニル材(ビニル皮)、さらにそれ以前は牛皮が使われていた。 皮と呼ぶのはその名残である。 ちなみに、皮を巻く場合、重ねた部分が(ドライブ中にオールロックの下に来ないように)スクウェア状態でシャフトの斜め前・上になるようにし、まためくれないように上下に注意して重ねて貼っていた。 このため、オールには(ブレードが対象であっても)、サイドが決まっていた。
357 **	オール・メン	all men, whole crew	IN	全漕手。 両舷。
358 ***	オールロック	oarlock	IN	[用具] オールを保持する台座。 オアロック。 クラッチ。 ローロック。 ララック。 ※「漕艇誌」での表記は、英語圏で使用頻度が高いoarlock、(意味を理解しやすい)「オールロック」を標準で用いている(ただ発音は「オアロック」がより英語発音に)
359	オン・キール	on keel	IN	[用具・挙動] 艇のバランスがとれ、左右に傾いていない状態。 セットともいう。(Coxswain's Locker/www.coxing.com より)。
360	遠賀川 (おんががわ)	Onga-gawa Rowing Course	JP	[地名・水域] 福岡県北九州市遠賀川に設置された漕艇コース。 河口堰で安定した水位が得られている。 福岡国体開催地。(N33° 52' 47. 62" / E130° 40' 35. 14")
361	オン・ザ・スクウェア	"On the square"	IN	[動作・指示] ブレードをフェザーしないで、スクウェアのまま漕ぐこと。 その指示。 [Wikipedia: Rowing Terms/2006.7.7]
か 362	櫂 (かい)	Kai (= oar)	JP	[用具・一般] オールのこと。 ロウイングではあまり「櫂」とは言わない。 なお日本における伝統的な船の推進具としては、棹(さお)、櫂(かい)、櫓(ろ)がある。 櫂は、オールのような支点をもつタイプにもカヌーのパドルのようなものにも使う。 他に、楫(かじ=舵)も良く使う。 "Kai" is the same word as "oar" and/or "scull", but using especially in rowing the Japanese traditional hand-propelling boat.
363	外皮 (がいひ)	skin (of the hull)		[用具・部分] 船体(ハル)の外殻を形成する曲面状の薄い板の部分。 外板。 スキン。
364 ***	外傾 (がいけい)	lateral pitch, (lateral) outward pitch	IN	[用具・艀装] オールロック回転軸の、アビーム方向外側への傾斜。 その角度。
365 **	外傾角 (がいけいかく)	lateral pitch		[用具・艀装] オールロック回転軸(ソール・ピン)の外傾の角度。 通常0° ~2°
366	開織 (かいせん)	spread tow	IN	[造船・素] カーボン繊維などの織物で、繊維束を平たく均質に伸ばした織物。 [2016-10-19]
367	回漕 (かいそう)	transportation ((a) boat(s) by water way); shipping		[一般・漕行] 目的地までの艇(およびクルー)の水上的移動・搬送。 漕ぐことそのものよりも、位置の移動に目的・意識を置いた表現。 例:「発艇場からスタート地点までの艇の回漕」, 「艇庫から大会会場までの回漕」。
368	櫂立て (かいたて)	Toss the oars	IN	[動作・指示] カッター、チャーチポートなどで、表敬(敬礼)の動作として行う。 オールをローロックから外してブレードを上に向けて鉛直に立てる動作。 漕行不自由で攻撃のできない姿勢を表し、敵意がない姿勢であることに由来する。 なお、一般競争艇ではこの動作はできないので行わない。 [2017-9-19]
369	外長 (がいちょう)	out board		[用具・艀装] アウトボード。
370 *	外板 (がいはん)	(hull), skin		[用具・部分] スキン。 外皮。 ハルの外殻を形成する曲面状の薄い板の部分。 ハルとほぼ同義だが、ハルは、広義には船体(本体)全体、つまりポートからリガーやストレッチャーなどの艀装を除いた部分も指す場合があるのに対し、外皮・外板、スキンなどは、外殻を形成する薄い板状の部分のみを指し、内側から支えるフレームなどは含まれない。
371	回復体位 (かいふくたいい)	Recovery Position	IN	[一般・医療] 心拍・呼吸が回復した被害者にとらせるべき姿勢。 昏睡体位とも。
372	踵皮 (かかとかがわ)	heel cup, heel holder		[用具・部分] ストレッチャーの踵(かかど)の皮。 ヒールカップ。
373	角座ボルト (かくざ…)	Square based bolt	JP	[用具・部品] ストレッチャーをギアレールに固定するための、矩形または菱形の台座を持つボルト。 [2016-10-19]
374	角棒 (かくぼう)		JP	[用具・部分] ストレッチャーの中央部分を艇に固定するための金具。
375	舵金具 (かじかなぐ)		JP	[用具・部分] ナックルフォアのラダーに取り付けられた金具。 cf: ヒンジ、ブリーナーなど。
376	カシタス湖	Lake Casitas	IN	[地名・水域] 米国・ロサンジェルス市の漕艇コース。 1984年ロス五輪の開催地。(N34° 24' 20" / W119° 20' 21")
377 *	舵付きフォア	coxed four	NG	[用具・艇種] →舵手付きフォア。 つきフォア。
378 *	舵付きペア	coxed pair	NG	[用具・艇種] →舵手付きペア。 つきペア。
379 *	舵なしフォア	coxless four	NG	[用具・艇種] →舵手無しフォア。 なしフォア。 舵手はいないがラダーはあり、操舵漕手(パウカ整調が多い)が操作する。
380 *	舵なしペア	coxless pair	NG	[用具・艇種] →舵手無しペア。 なしペア。 舵手はいないがラダーはあり。
381	カシパー	Kaschper Racing Shells, Ltd.	IN	[会社・造船] カナダ、オンタリオの漕艇メーカー。 現在は小艇(1×, 2×)中心。 [2018-6-26]
382	ガース	girth	IN	[用具・艀装] ハルの横断面の外周長。 船幅(最大幅)は、ビーム(beam)。 [2012.5.16]
383	ガスト	gust	IN	[一般・気象] 突風。 風の揺らぎの中で、瞬間的に強くなるころ。 瞬間最大風速に相当する。
384	ガスト・ファクター	gust factor	IN	[一般・気象] ガスト(瞬間最大風速)と平均風速の比。 通常でも概ね1. 5程度はあるが、気象条件や地域特性により、さらに大きくなることもある。
385	ガセット	gusset	IN	[用具・部分] フレームに付属している補強板。

no.	用語	English	解説
386	加速度漕法 (かそくどそうほう)	accelerative action	JP [動作・漕法] 1975年頃の漕法概念のひとつ。月刊漕艇「連載・漕艇入門」東教大付属高の加速度漕法(1976~77, 小田嶋和徳)に詳しい。連載は、漕艇の基本事項全般にわたるが、中心的技術は、「ドライブ中にファイナルへ向かって加速度的に強く引くこと」(連載7)や、「加速度フォワード(=艇が受ける抵抗に見合った大きさの加速度で、フォワード終了ぎりぎりまで等加速度的にスライドし、艇速の揺らぎを低減し、艇の総抵抗を減らそうとする概念)」、「フォワード終盤のギャザーから(キャッチに先行する)強いレグドライブの開始によって強力な脚進展パワーが発揮できること」など(連載9~11)。[2009. 5. 1]
387	加速フォワード、加速度フォワード	accelerative forward	JP [動作・漕法] 堀内寿郎の提唱した「等加速度的フォワード」技術の概念。艇が受ける抵抗に見合った大きさの加速度で、フォワード終了ぎりぎりまで等加速度的にスライドし、艇速の揺らぎを低減し、艇の総抵抗を減らそうとする論理。加速中の艇の安定と抵抗低減には有効だが、その分、フォワード終盤での急減速を余儀なくされる。(または、フォワード前半での休みすぎか。) そのため、キャッチ部分での大きな減速を生む危険がある。現代の漕艇技術は、フォワードは等速度的であることを示唆する。[「一科学者の成長」北大図書刊行会, 1972, p245-259/未確認。月刊漕艇No.118(1975. 6)p10より [2009. 5. 1]
388	カタマラン	catamaran	IN [用具・艇] 双胴船。単胴船(モノハル)に対しマルチ・ハル(複胴船)のなかでも典型的なダブル・ハルの船。ロウイングでは、審判艇やコーチ艇として用いられ、特に波があまり立たないように工夫されている。
389	滑座 (かつざ)	Katsu-za	JP [部品・艇] スライディングシートの、明治時代の呼称。Katsuzsa means sliding seat. Katsu means sliding, Za means seat. Old term in Meiji period. [2007.11.20]
390 **	滑席艇 (かっせきてい)	sliding seat boat	IN [用具・艇] スライディングシート艇。固定席艇に対する用語。
391	カッター	cutter	IN [用具・艇] 船首と船尾が同じ形ではなく、船尾が切り落とされ舵を取り付けている姿の艇。日清戦争後、英国の軍艦が本線と陸地の往来に使っていたもの。「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男(古城康夫, 2016)p. 24より [2018-2-
392	かっぱく(掻っぱく)	wash out	[動作・失敗](動詞) ウォッシュ・アウト。ブレードが水中にとどまらず、水面に外れて水上を滑ってしまうこと。
393	カップ	cup	IN [用具・オール] シャフト(軸線)に垂直な断面でのブレードの深み。(参照:スプーン)
394	可動ピボット	Movable Button	JP? [用具・オール] オールのてこ比を(ロウイング中に?)調整できるピボット機構(と思われる。)詳細は不明。月刊漕艇No.115(1975. 1) 2009. 6. 16]
395 **	可動リガー(艇) (かどうりがー)	sliding rigger	IN [用具・艇] 一体化されたストレッチャーとリガーを前後にスライドし、シートを固定した艇。漕手の重心移動が大幅に減り、艇速変動が抑制できるために高速化できる。レースでは1981年に登場したが、1983年にはFISA主催の大会では禁止となった。
396	カナード	Canard	IN [用具・部品] もとの意味は、「鴨」の跳ぶ姿に似て、主翼を後ろに配置し永く首が伸びた形で、鴨のアタマの頬の膨らみあたりに小翼が配置されたもの。そこから「先尾翼」など。ロウイングでは、パウ付近に配置されるフィンやラダーをこう呼ぶことがある。ロウイングでは、可動機構にすれば、ステアリングの改善設計として機能し得るが、固定的では(リバーレースでも直線競漕でも、オーバーステア気味に不安定要因になるリスクが大きい。[2018-5-20]
397	カナードフィン	CanardFin (TM)	IN/TA [用具・商標] パウ付近にセンターフィンをつけるもの。カールダグラスが商標としている。エアロフィンとあわせて、ハイパーステア(TM)を構成するとしている。[2018-5-20, Carldouglasrowing.com]
398	カーネギー湖	Lake Carnegie	IN [水域] 1906年に完成したプリンストン大学所有のダム湖。米国で初めてのロウイングのための人工水域でもある。鉄鋼王アンドリュー・カーネギーが、プリンストン大OBの親友の話を聞いて思いつき、「ロー・スクール(Law School)よりロウイング」と、寄付したもの。後の第28代大統領となるウッドロー・ウィルソンは、「パンを頼んだのにケーキをくれた」と。(N40° 20' 21. 75" / W74° 39' 0 1. 66"; プリンストン大艇庫)
399 ***	カバー角 (かばーかく)	pitch	IN [用具・艪装] ブレードの伏せ角度。ブレードの深さを制御するのに重要。
400	カーバチュア	curvature	[用具・オール] キャンバー。
401	カバード	covered	[動作] キャッチにおけるエントリー終了時点。
402 ***	かぶせる	over pitch(ed)	[動作](動詞) ブレードをカバー角増加の方向へ回すこと。
403	かぶせる		[競漕](動詞) 先行する艇が、後続艇の針路上に、妨害の状態を重ねること。
404	カーベル	carvel, carvel built hull, carvel hull	IN [用具・艇・構造] 木造艇の板張りの一方式。なめらかな表面にするために、プランキングの端(継ぎ目)を平らにそろえたタイプ。「平張り(ひらばり)とも言う。対照的な構造として、「クリンカー張り」がある。[Story of World Rowing, 他 2020-1-28改訂]
405	可変式リガー (かへんしきぎー)	adjustable rigger	JP [用具] リガースプレッドなどを調整できるタイプのリガー。なお、ユーロリガーやL板式も広義にはリガースプレッドを調整できるが、ここでいう可変式とは、リガースティが伸縮式になっているタイプのものである。[2020-1-28改訂]
406	カポック	kapok	JP [用具] 救命胴衣をカポックと呼ぶことがある。またカヌー競技(日本ではカナディアンと呼ぶことが多い)の膝あて(ニーパッド)も、日本ではカポックと呼ぶのが一般的である。その語源は、インドネシア語(kapuk)で、アオイ科(パンヤ科)セイバ属の落葉高木のこである。学名はCeiba pentandrae, アメリカ・アフリカ原産であるアメリカ、東南アジアで栽培されている。パンヤ(panha), パンヤノキとも言い、カポックもパンヤも、その木の実から採れる繊維材のこでもある。その繊維材は、糸への加工には不向きで燃えやすい短所があるが、撥水性に優れて軽量であるため、枕の詰め物、ソフトボールの芯、第二次世界大戦頃までの救命胴衣や救難用浮き輪に利用されていた。そのため、競艇や海上自衛隊などで救命胴衣のことをカポックと呼ぶ習慣がある。油をよく吸うので、油吸収材としても使用され
407	カーボクラフト	Carbocraft	IN [会社] 1972年、ミュンヘン五輪の頃、英国に登場した造船会社で、競漕艇にハニカム構造などの航空工学技術を採用した初めての会社。その技術は、米国のベスポリなどに引き継がれたが、カーボクラフト自体は今はない。[2009.4.30]

no.	用語	English		解説
408	カーボン(繊維)	carbon fiber	IN	[用具・素材] 炭素繊維(カーボンファイバー)。現在の競漕艇の船体は、特に中〜上級艇のほとんどで、主素材をカーボン繊維(+樹脂)としている。[2020-1-28改訂]
409	カーボン強化オール	CFR.ed wood oar	JP	[用具] 木製シャフトを炭素繊維で補強したオール。木製のシャフトの前面(通常ドライブで張力がかかる側)にカーボンテープを貼り、バンド剛性の強化を図ったもの。木地の前面だけ黒い帯がはいっているため識別できる(飾りで塗っている場合を除く)。[2020-1-28 改訂]
410 **	カーボン・シャフト	carbon shaft	IN	[用具・(オール)] オールに置いて、シャフト部分が炭素繊維製のものを言う。2020年代、標準的な競漕用オールのすべてが、カーボンシャフトである。なお、カーボン繊維でできたリガーステイなどに対してもカーボンシャフトと呼ぶことがある。[2020-1-28改訂]
411	カーボン・チューブ・リガー	carbon tube rigger	IN	[用具・部品] リガーステイが、カーボン(炭素繊維)製のチューブで構成されたりガー。
412	カーボン・パイプ・リガー	carbon pipe rigger		[用具・部品] =カーボン・チューブ・リガー。リガーステイが、カーボン(炭素繊維)製のパイプで構成されたりガー。
413	カーボン・プレート	carbon plate	IN/T	[用具・商品名] ストレッチャーボードにシューズを取り付ける際の多孔式のプレート。上下に取り付け位置を変えることでヒール・デプスを調整。炭素繊維でできているものをカーボン・プレート、アルミニウムでできている場合はアルミニウム・プレート(またはアルミ・プレート)。[Martinoli, 桑野造船, 2013-10-28]
414	カーボン・リガー	carbon rigger	IN	[用具・部品] カーボン(+樹脂)で成形されたりガー。アルミニウム・リガーなどに対して用いられる用語で、広義には(別記の)「カーボン・チューブ・リガー」なども含まれるが、2020年代では、カーボン製のスターン・ウィング・リガーとパウ・ウィング・リガーを指す。[2020-1-28改訂]
415 **	カーボン艇	carbon shell		[用具・艇] ハルの主要素材として炭素繊維強化プラスチックを使用した艇。木造船、GFRP艇に対する言葉。[2020-1-28改訂]
416	”カム・フォワード”	”Come Forward”	IN	[動作・指示] 漕ぐ用意として、脚を曲げシートを一番前に出すこと。その指示。「用意して」とほぼ同義。また、トップ・スライドと同様の意味。[Know the Game/Rowing, p54, 他。2020-1-28改訂]
417	ガムブーツ・シート	gumboot seat		[漕手・ポジション] エイトにおけるエンジルームの中の3番。パワーはあっても5番ほどではなく、整調ベアやパウベアほど技術にも長けていないという位置。原意は「ゴム長」[Wikipedia/2006.7.7]
418	カヤメック	Kayamek(R)	JP	[造船・資材] ポリエステル樹脂を硬化させる硬化剤、MEKPO(メチルエチレンパーオキシサイド)を主材とする硬化剤の一商品名。[2020-1-28改訂]
419 *	カラー	collar	IN	[用具・オール] ビボット。つば。ハトン。オールのスリーブに装着される環状の部品。[2020-1-28改訂]
420	カラピロ湖	Lake Karapiro	IN	[地名・漕艇場] ニュージーランド北島、ハミルトン市にある湖。2010年世界選手権開催。[2010.11.1]
421	カラントス	Kalantas	IN	[用具・素材] 木造船に使用される木材の種名。センダン科トナ属に属する南洋広葉樹。産地・地域により、スリアン(インドネシア)、レッドシダー(ニューギニア)などとも呼ばれる。比重0.36-0.40と軽量である。[2020-1-28改訂]
422 **	カール・アダム	Karl Adam	IN	[人名・コーチ] (1912-5-2~1976-6-18)。ドイツ、ラッツェルブルグ漕艇アカデミーの初代所長。マコンオール、アダム漕法(ラッツェルブルグ・スタイル)を開発した。[2020-1-28改訂]
423	カール・ダグラス	Carl Douglas	IN	[人名・ビルダー] 英国人。漕艇メーカー;カール・ダグラスRSを営み、小艇を中心に製作。ニュースグループrec.sport.rowingなどで積極的に投稿し、ポート製造、安全対策に一家言を持っている。
424	カール・ダグラス・レーシング・シェルス	Carl Douglas Racing Shells	IN	[会社・造船] 英国の漕艇メーカー。小艇のほか、エアロウィング、アクシオール、ローグライドなどの艀装部品を供給。
425	カルピネン, P		IN	[人名・スカラー] フィンランドの偉大なスカラー。五輪で3連覇(1976年モントリオール~1984年ロサンゼルス)。同時代のもう一人のトップスカラー、コルベと名勝負を展開した。
426	カルボクラフト		in	[会社・造船] →カーボクラフト
427	ガレー(船)	galley	IN/T	[用具・艇] 古代ローマ・中世に地中海で用いられた大型船。奴隷や罪人に漕がせた。(Story of World Rowingより)
428	皮(かわ), オールの	leather (of the sleeve)	IN	[用具・部分] →オール平皮
429	川辺漕艇場 (かわべ...)	Kawabe Rowing Course		[施設・水域] 岐阜県川辺町の川辺ダムに作られた漕艇コース。
430	川辺ボートアカデミー	Kawabe Boat Academy	JP	[講座名] 川辺ボートコミュニティが企画、開講するボート教室。[2016-8-23]
431	川辺ボートコミュニティ	Kawabe Boat Community		[団体名] 佐伯総合建設が地域貢献のひとつとして設立した地域漕艇の普及向上を目指す団体。2015年から活動開始。[2016-8-23]
432	乾舷 (かんげん)	free board	JP	[用具・部分] フリーボード。船体の外殻のうち、喫水線から舷(上縁、ふなべり)までの部分。[2017-1-31]
433	関西ボートマン倶楽部	Kansai Boatman Club	JP	[団体・固有名] 1993年に、関西河川スポーツ振興協会(神崎川共同艇庫を管理運営)を母体とする親睦団体として設立。神崎川で活動する関学、関大、甲南大のほか関西圏の大学OB会(団体、個人)が参加している。入会資格要件は特になし。コアメンバー:田中重次郎(同志社)、田中俊彦(関学)ら。[2017-1-31]
434	監視 (かんし)		IN	[競漕・手続き] 競漕会において、レース前にクルーの人数(選手が登録された本人であるかどうか)、ユニフォームの統一、ブレードカラーなどを点検・確認し、また軽量選手や舵手の計量を行う手続き。通常、レースの2時間前から1時間前に行われることが多い。より進化した競漕会では、監視の一部は、発艇場(棧橋)で、控えめに確認され、選手に余計な手間をかけさせないよう改良され[大会・役員] 審判員が担う担当役員一つ。監視の手続き(クルーが規定を守っていることの点検、舵手の計量など)をする係。
435	監視員 (かんしん)			[大会・役員] 「審判員の心得と号令・動作」において記述され、複数の監視員からなる監視セクションの統括責任者。
436	監視員長			[大会・役員] 圧力抵抗(形状抵抗)と同義。粘性抵抗(表面抵抗、摩擦抵抗)に対する用語として用いる。
437	慣性抵抗 (かんせい ていこう)	inertial drag	IN	[流体力学] 圧力抵抗(形状抵抗)と同義。粘性抵抗(表面抵抗、摩擦抵抗)に対する用語として用いる。
438	乾性溺水 (かんせい できすい)	dry drowning	IN	[一般・医療] 水が鼻・喉を急に刺激することで、気管支が水を飲まないように過剰反応し、呼吸もできずに窒息する溺死のタイプ。溺水の約15%程度がこのタイプ。肺に水が入っていないのが特徴。⇔湿性溺水。

no.	用語	English	解説
439	観漕会 (かんそうかい)	exhibition	[行事] クルーの状態を観る(見せる)ための比較的気軽?な雰囲気で行われるエキシビション。観るのは指導者, OB, 報道など。報道観漕会, プレス観漕会などがある。
440	キャンバス	canvas	IN/T [用具・部分] =キャンバス。艇の前・後部のデッキ部分。 [2016-8-23]
441	カンファ	Kangfa	[造艇・メーカー] 中国のボートメーカー。 [2016.12.15]
442 ***	ガンネル	gunnel, gunwale	IN [用具] 舷側。乾舷。艇の縁の部分。そこに水平に渡した縁どり。(Story of World Rowingより)
443	キアス	Kirs	IN [会社・造艇] Kiwi International Rowing Skiffs; キウイ・インターナショナル・ロウイング・スキフスの略。
444 **	ギア比 (ぎあひ)	gear ratio	[用具・構築] オールの支点・力点・作用点の位置関係によるてこ比。
445	キウイ・インターナショナル・ロウイング・スキフス	Kiwi International Rowing Skiffs	IN [会社・造艇] ニュージーランド, ケンブリッジの造艇メーカー。略称: KIRS
446 ***	規格艇 (きかくてい)	JARA's standard boat	JP [用具・船の規格] 日本ボート協会が、主要部分の寸法を規定した艇。国体や高校総体の配艇制度における艇の仕様として規定し、登録企業が生産・販売している。 [2016-8-23]
447	ギグ	gig	IN [用具・船のタイプ] 直線的なガンネルを持つボート。インボードリグあるいはアウトボードリグで、水遊びあるいは競漕に用いられた。(Story of World Rowing)
448	棄権 (きけん)	Withdraw, W/D, SCR, Scratched	IN [レース・届け] レースにおいて、競漕参加の権利をレース前に放棄し届け出ること。棄権, W/D, Withdrewなどと記録される。なお、Withdraw(棄権する/現在形, 名詞)に対して、Withdrewは棄権した(過去形) [2016-11-1]
449	ギザビエ・ドルフマン	Xavier Dorfman	IN/JF [人名・コーチ] フランス人, 金メダリスト。2016年から日本のナショナルチームを指導。 [2016-12-15]
450 *	きざみ	"kizami" (=chopping or mincing)	JP [練習] ダッシュ。パドル開始時のショートレンジ・ハイレイトの数ストローク。現在ではこのようなスタイルは稀である。
451	岸蹴り (きしけり)	Kishikeri, launching	JP [操作] 乗艇開始。岸を蹴って艇に乗ること。蹴りだしたも、ロウイングクラブ、地域によって言い方は多様。戸田水域での記述例から用例採取w [2016-12-
452	岸記念体育会館 (きしきねんたいいくかいかん)	Kishi Memorial Sports Hall	[施設] 東京都渋谷区神南1-1-1にあり日本スポーツ協会ほかスポーツ競技団体本部が集結していた施設。第2代大日本体育協会会長・岸清一の遺言で100万円(現在の約28億円相当)の寄付により、1940年に東京府神田駿河台に建設された。設計者は丹下健三。1964年東京オリンピック開催時に渋谷区神南に移転。岸清一の銅像が設置され、地下1階に体育協会資料室が併設されていた。屋上に「岸体育館」と表記されていたが、体育館機能はなかった。建物の老朽化・耐震問題と、2011年の日体協創立100周年記念行事として、新宿区霞ヶ丘町地区に地上14F・地下1Fの「JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE」が2019年に完成。各競技団体が移転した。館内には「岸清一メモリアルルーム」が設けられている。
453	岸 清一 (きし せい いち)	Kishi, Seiichi	JP [人物] 1867-1933。弁護士, 政治家で、日本のスポーツ発展に尽力した近代スポーツの父と呼ばれる。島根県松江出身、第一中(松江北高)。東京帝国大で漕艇選手。卒業後、法律事務所を開設。法界界の重鎮、民事訴訟法の権威となった。日本漕艇協会の初代会長、大日本体育協会の第2代会長、IOCの委員。死後、遺言による寄付で岸記念体育会館が建設された。島根県庁にある銅像の除幕(1964)にはブランデー・IOC会長も参列、「東京五輪の開催は岸の偉業」と讃えた。 [作成20160914 改訂230311, Wikipedia他]
454	岸体 (きしたい)	Kishi-Tai	JP [施設] 岸記念体育会館の略称 [作成20230311]
455 **	構築 (ぎそう)	rig, rigging	IN [用具・構築] リギング。
456 **	喫水線/吃水線(きつすいせん)	DWL, Designed Water Line	IN [用具・艇] 設計された体重で乗艇した時の、水面の線。
457	キッピー・リドル・セーフティ・キット	Kippy Liddle Safety Kit	IN [用具・安全] USRAが頒布しているコーチ艇用の救助安全キット(PFD, エアホーン, 救急箱, ライト等)。\$ 150。1984年フィラデルフィアで女性コーチ; キッピー・リドルの遭難死亡事故にちなみ、遺族が基金運用で設立した頒布制度。 [2013.10.28]
458	帰艇	docking	JP [練習, 操艇] 乗艇練習を終え、発艇場(棧橋など)に戻ることに、戻りつくこと。着岸すること。
459	木ベリ	beeding, molding	[用具・部分] ガンネルまたはその上端の棧木。
460 *	逆風 (ぎやくふう)	head wind	IN [環境・気象] 向い風。
461	逆風用オール	Window Resistantce Ozaw	JP [用具] 逆風のために全長を切りつめ、アウトボードを短く設定したオール。 [月刊漕艇No.113(1974.12) P12]
462 *	逆流 (ぎやくりゅう)	back current	[環境・水象] 艇の進行方向に対し、逆方向の水流。
463	ギャザー	gather	JP [動作・イメージ] 身体動作・運動方向が急変するフォワードエンドからキャッチにおいて、艇にネガティブな影響を与えず、またドライブを強力に開始するために、フォワード終盤に向かっての体の前傾と脚の畳み込みの姿勢の制御、足裏に体重を感じてドライブに備える。またはキャッチに向かっての体全体の筋肉・神経の集中の高まりなどといった技術・イメージの概念。クラブ、コーチによってその技術概念は異なる。垂直とびの際の沈み込みからの強い反発のような動作概念の場合、ブレードが先にエントリーしていなければ、艇を減速させることになるので、注意が必要。 [2015-7-28]
464 ***	キャッチ	catch	IN [動作] ブレードを水中に入れる動作、そのタイミングのこと。広義には、フォワード終端でブレードを下降させて水中に入れてドライブを始める一連の動作を示し、狭義にはブレードが水面に触れ(タッチ)、水中に入っていく(エントリー)、完全に水没する(カバード)(または、さらに下降動作がとまる)までを挿す。なお、団体・指導者によっては別の定義(=例:「水をつかむ」の意からドライブ開始(ブレードが水を水平に押し始めるタイミング)を挿す)など、異なる場合もある。 [2016-8-17]
465	キャッチ	Catch	IN [図書・雑誌] CARA(カナダ漕艇協会)が発行していた漕艇雑誌。後に、ROWING CANADA AVIRONに改題。 [2016-5-24]
466 *	キャッチ角	catch angle	[用具・構築] キャッチにおけるオール角。

no.	用語	English	解説
467	キャッチ・ドリル	catch drill	[練習・技術練習] トップスライドでのキャッチ(ブレード下降・入水)のみ, 10cm(水の引っ掛かりを感じるだけ), 脚漕ぎ(上体スウィングなし), ボディスウィング付加, 腕引きの付加と, 進めるドリル. キャッチの振込みとも.
468	キャッチ・レングス	catch length	[用具・艀装] キャッチ時の, ハンドル端とオールロックフェイスの前後距離.
469	キャッピング	capping	[用具・部分] トップボード.
470	キャップ	cap	IN [用具・部品] キャップ, 栓. 前後のデッキなどの浮力室にあいた孔にとりつける
471	キャリッジ	carriage	[用具・部分] シートの下部構造. ホイール+アクスル+前後アクスル接合部. シャシーと同義. [2016-3-28, 要出典]
472	ギャロッピング・リカバリ	galloping recovery	[動作・欠陥] 急激なりカバリー動作. 現在ではあまり使用しない(?).
473 **	キャンバー	camber	[用具・オール] ブレードのそり. その寸法. シャフトからブレード・チップまでの寸法.
474 **	キャンバス	canvas	IN [用具・部分] 艇の前面および後面を覆う布地部分. (Story of World Rowingよ
475	キャンバス(差)	canvas distance, canvas length	IN [競漕・艇差] 先行艇のフロントキャンバス分の艇差. (Story of World Rowingより) デッキ差(デッキ・レングス)ともいう. (Coxswain's locker/www.coxing.comより)
476	救助艇	rescue launch, safety launch	IN [施設・装備] 救助用のモーターボート.
477	救命具	PFD: Personal Floating Device	JP [用具・安全] 個人用の浮き輪など. いわゆるライフジャケット(ベスト)タイプのものや, 簡単な浮き輪まで含めた総称. ろ権舟に分類される競漕艇では法的な着用義務は無いが, 国内の競漕規則では, 1985年の遭難事故を契機に1986年に練習時・競漕会での常時搭載が義務化された. しかし2009年には, 競漕規則の国際規則との共通化の流れの中で, 救命具の搭載は, 各水域ごとの安全規則や大会ごとの要項に委ねられ, 競漕規則からは削除された. [2009.5.31]
478	競技会検査		[スポーツ一般・ドーピング] 競技会において, 競技の終了直後に通知され実施されるドーピング検査. これとは別に, 競技外検査がある.
479	競技外検査		[スポーツ一般・ドーピング] 競技会(大会)開催中, または通常の練習時などに, (競技参加に支障のないようには配慮されるはずだが)原則として予告なしで実施されるドーピング検査.
480 **	競漕(きょうそう)	race, regatta	IN [競漕一般] ボートによる競争.
481 ***	競漕規則(きょうそうきそく)	rules of rowing	IN 競漕時の規則. 国際大会はFISAの国際競漕規則, 国内の大会は日本ボート協会の競漕規則が適用される.
482	競漕艇(きょうそうてい)	racing boat	IN [用具・艇種] 競漕用のボート. 練習用の艇, ツーリング用の艇などと区別して, 特にレースで高速で漕ぐための艇をさす言葉.
483	切り込み(きりこみ), 切り込む(きりこむ)	catch a crab	[動作・失敗] キャッチからピギニングに, ブレードが過度に深くなること. ブレードのスクウェア・ターンが不十分だったり, ブレードピッチが不足していたりすると発生する. [2016-8-23]
484 **	キール	keel	IN [用具・部分] 竜骨. 船底中央部を縦に通っている骨組み. 伝統的な木造艇では, キールがまず決められて, これに他の部品が組み付けられる. 現在の新素材の艇では, キールのない場合も多い. [Story of World Rowing, 2014-7-9]
485	“キール”	“Keel”	IN [動作・指示] (米国)艇のバランスをとること, その指示. 漕手の重心をキール上に乗せるというイメージ. スタート直後にバランスが悪いときなどに用いられる. →“セット” [Wikipedia: Rowing Terms/2006.7.7]
486	キル・コード	kill cord, kill switch	IN [用具・モーターボート] 操縦者の身体とエンジストップスイッチを結ぶコード(紐). 操縦者の落水時にエンジンが自動でストップするための安全装置. すべてのモーターボート(船外機)に装備されているはず.
487	キールソン, (ケルソン)	keelson	IN [用具・部分] 内キール. 特に艇内部のキールを指す. また, キールとシートの支えを結ぶ鉛直の補強板もキールソンと呼ぶことがある. [Story of World Rowingより, 2014-7-9]
488	キール・バンド	keel band	[用具・部分] ナックル艇などに見られる外キール保護のための帯状の金属.
489	キール・ライン	keel line	[用具・部分] 艇軸. アクスル.
490	キング・レーシング	King	IN [艇・メーカー] ボートのメーカー, ブランド名. 2016年にウインテックが買収し, そのブランドのひとつとなった. [2016-12-15]
491	キングストン(キングストン・バルブ, キングストン・コック)	kingston valve kingston cock	IN [用具・部分] キングストン弁, 金氏弁とも. 英国人John Kingston(1786年-1847)と, 彼が創業したロサンジェルスF.C.キングストン社に由来. 古典的な艇(カッターやフィックス, ナックルなど)の船底に取り付けられた排水栓をこう呼ぶことがある. もともとはより大型の船舶の, 船底や, バラストタンク, 水タンク, バラストタンクなどの底部に設けられた弁で, エンジンの冷却系への取水弁, バラストへの注水, あるいはドック入りした際の水垢の排水のためのバルブ. 関連用語→スカッパー(scupper) [2011.4.27]
492 ***	クイック・スタート	quick start call	[競漕・様式] コースコンディションの悪い場合に, 各艇の確認を簡略化してかけられる発艇号令の定型的様式のひとつ.
493	クイック・ターン	quick turn	[動作] シャープターン. キャッチ直前にすばやくターンすること.
494	クイック・リリース	quick release	IN [用具・部品] 艇体にパウウイングアルミリガーなどを取り付けたり, ギアレールにストレッチャーをつけたりするところの, レバーで簡単に着脱できる部品の名称. [2021-11-8]
495	クイディ・ビディ湖	Quidi Vidhi Lake	IN [地名・水域] カナダ東岸ニューファンドランド島のセント・ジョーンズにある湖. 北米最古のレガッタ(ロイヤル・セント・ジョーンズ・レガッタ)の開催地.
496	空気抵抗(くうきていこう)	aerodynamic drag	喫水より上部にある艇体, シャフト, 漕手の受ける空気抵抗.
497 *	クォーター	quarter	[レース] 競漕距離の1/4ずつの区間. 2000mレースを500mずつ, 第1クォーター~第4クォーターと呼ぶ.
498	クォーター	quarter	[練習・乗艇] 1/4出力漕.
499	クォーター・ファイナル	quarter final	IN [大会・レース階層] 準々決勝のこと. [2019.8.26]
500 *	クオド	quad.	IN [用具・艇種] クオドルプル.
501 ***	クオドルプル	quadruple, quadruple scull	IN [用具・艇種] 4人漕ぎスカル. 4×. フォアスカルともいう. 8+を100としての速度約96. [2009.11.21]
502	靴板(くついた)	stretcher board	[用具・部分] ストレッチャーボード.
503	クレゲセル, R	Klegecell,R	[造船・素材] FRPサンドイッチ工法のコア材となる硬質塩化ビニル発泡体の商標. 同様の素材にデビニセル, クレゲセルなどがある. カネカ(鐘淵化学工業, 東京都)などが扱っている(いた?). ナビセルに継承(?) [2019-12-13,

no.	用語	English		解説
504	クラウス・フィルター	Klaus Filter	IN	[人名・造船技術者] ドイツのボートデザイナー。 FISA船型やFISA競漕規則の艇・オールに関する規定・基準を手がけた第一人者。 2004年、桑野造船の招聘で来日、瀬田RCおよび戸田でセミナーを開催し、日本でもよく知られるようになった。 [2009.11.21]
505	クラシファイア	classifier	IN	[パラロウイング] パラロウイングにおいて、選手の障害の識別・区分を行う資格のある人。 医師やPT(理学療法士)が所定の研修を受けて資格を獲得するもの [2017-10-30]
506	クラシフィケーション	classification	IN	[パラロウイング] パラロウイングにおいて、選手の障害の区分分け。 資格を有する「クラシファイヤー」が認定し、PR1, PR2, PR3や視覚障害に区分される。 [2017-10-30]
507	グラス・ファイバー	grass fiber		[用具・素材] ガラス繊維。 FRP。
508	クラッシュBスプリント	C.R.A.S.H.-B. Sprints	IN	[大会・固有名] Charles River All-Star Has-Beens Sprintsの略。 米国ボストン市で開催されるエルゴメータ選手権。
509 ***	クラッチ	clutch < oarlock	JP	[用具・部分] オールロック。 ロウロック。 オールの支点となる回転式の台座。 クラッチという言い方は日本だけのよう。 英語では大抵、オールロックかロウロックである。
510	クラッチ、(エルゴの)	clutch (in ergometer)	IN	[用具・部品] エルゴメータ・フライホイールの1方向回転(逆方向フリー)機構のための部品。 カムクラッチ。
511 **	クラッチ・アセンブリ	oarlock assembly	JP	[用具・部分] オールロックと、それをリガーに取り付ける台座部分の一揃え。
512 **	クラッチの固有カバー角	oarlock pitch		[用具・機装] オールロックのソールピンとフェイスの為(な)す角度。 [2009.11.21]
513 *	クラッチ・シャフト	thole pin		[用具・部分] ソールピン。 オールロックの回転軸
514	クラブ	club	IN	[組織・一般] いわゆるクラブ。 ロウイング・クラブ。
515	クラブ	crab	IN	[動作・失敗] →ハラキリ。 "catch a crab". この場合のクラブとは蟹(カニ)のこと(スペル/つづりに注意)。 [2009.11.21]
516	クラボラ、ピーター	Klabora, Peter	IN	[人名・コーチ] カナダの漕艇スタッフ。
517	くらまえ (蔵前)	Kuramae	JP/L	[組織・歴史的略称] 東京工業大学およびその漕艇部。 前身の「蔵前工業」にちなみ、年輩の方がそう呼ぶことがある。 [2017.1.3, FB私信より]
518	クラム	C.L.A.M.	IN	[用具・オール] Clip-on Load Adjusting Mechanism。 オールのバトンにクリップオンするスペーサー。 インボード長を手軽に調整できる。 コンセプト社の商標。
519 **	グリス	grease	IN	[用具・素材] フェザー/スクウェアのターン動作時の抵抗軽減のためにピボットに塗布する油脂。 ただし現在のプラスチックスリーブでは、一般に塗られなく
520	クリストファー・ドッド	Christpher Dodd	IN	[人名・漕艇史家] 英国の漕艇歴史家。「The Story of World Rowing」の著者(同著の邦訳版が、「世界漕艇物語」(東北大学出版会, 2009年))。 ヘンリー・オン・テムズのリバー・アンド・ロウイング・ミュージアムの漕艇部門の責任者。 [2009.11.21]
521	クリッピング	clipping	IN	[漕技・欠陥・古典] 古典的な言い方。 短い漕ぎ。 キャッチしてすぐにリリースするような短い状態。 [Rowing and Sculling, 1904, 2014-7-9]
522	クリップ	clip	IN	[用具・部分] シートに取り付けられて、レールからの脱線防止の役目を果たす部品。 部分。(Coxswain's locker/www.coxing.com より)
523	クリップ	clip, bow-clip	IN	[用具・部品] バウにとりつけられて、レーンナンバープレートをとりつけるためのホルダー。
524 *	グリップ	grip/hundle	IN	[用具・オール] 広義にはオールの握り部分。 ハンドルと同義。 狭義には、ハンドルを被覆するラバー、テーピングなどの表面部分、素材のこと。 JARAテキスト2007・エントリーレベルでは「グリップ」と「ハンドル」を区別して表記(予定)。
525	グリップ	grip	IN	[動作・一般] オールのハンドル(グリップ)を握ること、握り方。 一般に、デリケートに優しつかみ(時には「ひっかけるだけ、とさえ表現される)、強く緊張して握り締めないようにこたえられる。
526	グリップ・ゴム	grip rubber		[用具・オール] グリップの滑り防止のためのゴム。
527	クリーパー(ブレード)	cleaver (blade)	IN	[用具・オール] ブレード型の呼称。 非対称ブレードで、長方形の肉切り包丁の形に由来。 ハチェット、ビッグブレードと同義。 [Know the Game/Rowing, p54, 2007.12.24]
528	クリーパー・ブレード	Cleaver Blade	IN	[用具・オール・商品名] クローカーのブレード型の一つ。 リッジの通った非対称ブレードで、コンセプト2のビッグ・ブレードに相当。(→スリック・ブレードとの対
529	クリンカー(張り)	clinker(-built) hull		[用具・艇] 古典的な木造船のハルの板張りの一方式。 鏝(よろい)張り、ラップストレーキ(lapstrake)ともいう。 細長い板を少し重ね(ラップさせ)ながら鏝状に継ぎ合わせた古典的な造船工法、構造のこと。 上の板が外にくる。 クリンカーエイト、クリンカーフォアなどがあつた。 北欧で開発された。 なめらかな丸い船底の伝統的なテムズ・スキフにも見られる。 対照的な造船工法として、継ぎ目を外面で段差をつけない貼り合わせ方として、「カーベル」がある。 なお、日本の漕艇史の中で、古典的な艇種として「クリンカーエイト」の記述・呼称が使われていることがあるが、概ね明治期のものはカッターボートのような艇で両舷に4人ずつが座って漕ぐタイプの艇であつたと考えられる(例:秋田中, 1910年=明治43年)。 またそれより後期の昭和期の記述では、フィックス艇に近い船型の艇であつたと考えられる(例:二高松島湾遭難, 1934年=昭和9年)。 また、専門的にはカーベル・ビルトと呼ぶべき艇をクリンカーと呼んでいる場合もあるので、艇種の記述には注意を要することがある。 語源: [Story of World Rowing, Wikipedia/Clinker (boat building), 他。 2020-1-28改訂]
530	グリンコ・スタイル	Grinko Style	IN	[動作・漕法] 1990年代から2000年代のロシアのコーチ、イゴール・グリンコに由来する漕法。 上体の前傾・後傾をあまり取らずレグドライブを主体とするテクニック。 ローゼンバーク、アダム、DDRに続く第4の漕法と記述されることもある。 [2007.11.27, Rowing/IOC/Blackwell Publishing]
531	グリーン・スリーブ	Green Sleeve (R)	IN	[用具・オール] コンセプト2のブラックスリーブに代わったスリーブ。「ブラックスリーブは、磨耗が早い」との指摘に対応して、2003年11月から材質の変更が行われ、それを明確に区別するために、色を変えた。 ⇨ブラックスリーブ
532	クリーン・フィニッシュ	clean finish		[動作] スブラッシュをあげず、エネルギー損失の少ないフィニッシュ。
533 ***	クルー	crew, team	IN	[一般] 漕艇の1チーム。 乗組員。 一人一人を指す場合と、チーム全体を指す場合がある。 また(舵手を含まず)漕手のみをさすこともある。

no.	用語	English		解説
534	クルー・カット	crew cut	IN	[一般・理容(参考)] 短く刈り上げたヘアスタイル。どちらかといえば一般船舶のクルーからの用語と思われる(必ずしもロウイングのクルーではない、と)。第二次世界大戦中の米軍のGIカットとほぼ同義。1960年前後に流行。[2012-
535	クルー・ネック(・セーター)	crew neck (sweater)	IN	[一般・服飾] ラウンド・ネックライン(丸い首周りのデザイン)の代表的なもので、首もとが丸く詰まった「丸首型」のネックラインのこと。ロウイングに由来するとされる。アイビー・ルックによく用いられるセーターにも多く、アイビー・ネックともい
536	クルー・ハット	crew hat	IN	[一般・服飾] 白い木綿やリネン製の「はぎ」のある帽子。典型は、「セミ取り帽」とも呼ばれた幼稚園児の帽子。ステッチ飾りを施した垂れ気味のプリムと、8枚はぎや6枚はぎの丸型クラウンが特徴。由来は、船員か漕艇用に考案されたから(と、いわれる)。キャンボペローズとも。[2009.11.21]
537	クルー・ワーク	crew work		クルーにおけるチームワーク、協力作業。
538	クローカー	Croker	IN	[会社・オール] オーストラリアのオールのメーカー。
539 ***	クロスオーバー	cross over	IN	[リギング、テクニック] スカルにおけるハンドルのミドル位置での重複。オーバーラップと同義。インターネットのキーワード検索では、クロスオーバーとオーバーラップの使用比率は約1:2。JARAのエントリーレベルテキスト(2007)での用語共通化としては、クロスオーバーを提唱(見込)。[2007.6.15]
540	クロストレーニング	cross training		あるスポーツ種目のトレーニングにおいて、その種目に密接にかかわる動作様式のトレーニングばかりでなく、それ以外のスポーツやその(異なる様式の)トレーニングを取り入れること。ある特定様式の運動ばかりしていると、鍛えられる筋肉・機能の偏りが拡大し、それはパフォーマンスの低下だけにとどまらず、スポーツ障害、怪我のリスクも高める。[2021-11-08]
541	クログス	clogs		[用具・部分] ストレッチャーを構成する木製の下駄状の板。泥地を歩く木靴に由来する。通常1足で複数形で言う。[2018-10-11]
542	クロノストローク	chronostroke	IR	[用具・計測機器] レイト計、ストップウォッチ。ニールセンの登録商標。
543	黒ブッシュ (くろ…)	Black bush/insert		[部品、スラッグ] コンセプトのオールロックのブッシュのうち、内径が9/16(14.3mm)のもの。青:13mm, 白:12.7mm [2018-5-15]
544 **	桑野造船(株) (くわのぞうせん)	Kuwano Zosen	JP	[会社・造船] 造船会社。滋賀県大津市山百合の丘10-1。www.k-boat.co.jp 1868年(明治元年)創業。2014年現在、日本国内で競漕艇を製造する唯一の造船所。 Japanese Boat builder founded in 1868, manufacturing in Ohtsu city, Shiga prefecture. [2017-1-31]
け	545 K8 (けいえいと、→ ナックル・エイト)	K8, Knuckle eight	JP	[用具・艇種] ナックル・エイトの略号として用いられることがある。[2009.9.24]
546	KF (けいえふ)	Knuckle Four	JP	[用具・艇種] ナックルフォアの略号。ちなみに、K4という略号も使われることがあるが、K4は、カヌー種目のカヤック・フォアと混同されることがあるので注意。[2009.11.21] Japanese Traditional Style boat. "kuckle" is named the shape of hull. (the cut section looks like a folding fingers)
547	警告 (けいこく)	Warning	IN	[競漕] 発艇時刻に遅れたり、不正スタート(フライング)した場合に審判から発せられるペナルティ。警告が2回出されると、「除外」となる。FISAでは、2005年から、警告(Warning)に代えて、サッカーでよく知られている「イエロー・カード」を出す、という呼び方に変更された。→Yellow Card
548	K6 (けいしっくす、→ ナックルシックス)	Knucle Six	JP	[用具・艇種] ナックルシックスの略号。見出し用語としてケイシックスとしたがナックルシックスと読むのが一般的。ナックルシックスの略号としては、KSとなることよりこのほうがわかりやすい。
549	形状抵抗 (けいじょうていこう)	form drag	IN	[用具] 圧力抵抗とも言う。水上を移動する船体に働く流体力学的抵抗は、圧力抵抗(形状抵抗)、表面抵抗(摩擦抵抗)、造波抵抗がある。形状抵抗(圧力抵抗)は、船体の形状に依存する抵抗で、形状と速度に関係して渦や波が生じることで増加する抵抗の総称である。
550	K2 (けいつー、→ ナックルペア)			[用具・艇種] ナックルペアの略号として用いられることがある。ただし、K2(またはK-2)はカヌー競技のカヤック・ダブルの略号としても定着しているので、混同に注意したい。ナックルペアの略号としては、KPもある。[2014-7-9]
551	ケイデンス	cadence	IN	[動作] リズム、レイトとほぼ同義。(coxswain's Locker/www.coxing.comより)
552	ケイデンス (T1)	Cadence, (- T1)	IN	[用具・計測機器] NK社が2006年に発表した腕時計型のストロークレイト、タイム等の計測器の商標。T1は、その一形式。腕時計のように手首またはオールのインボードシャフトに装着し、フェザリング時のオールの回転動作に感知してストロークサイクルを認識し、演算処理して諸データを出力する。
553	K4 (けいふおー、→ ナックルフォア)	Knuckle Four	JP	[用具・艇種] ナックルフォアの略号としては通常KFがよく用いられるが、K4が用いられることもある。しかし、K4(またはK-4)は、カヌー競技としてのカヤック・フォアの略号としても定着しているので、混同に注意したい。[2009-9-24記載、2020-3-16改訂]
554	計量 (けいりょう)	weigh-in	IN	[大会] 規定重量の計測。舵手の規定重量の計測や、艇の規定重量の計測な
555 **	軽量級 (けいりょうきゅう)	light weight	IN	[大会・種目] 漕手の体重に基づく競技カテゴリーのひとつ。定義は、改訂されてきた経緯があるので、過去の記録を比較する際は注意が必要。例:2013年:男子は漕手個人の体重が72.5kg以下(クルーボートは平均体重70kg以下)、女子は、漕手個人の体重が59kg以下(クルーボートは平均体重57kg以下)。アジア・インドアロウイング選手権2017年:男子75kg未満、女子61.5kg未満 [2017.9.28]
556	下駄を履く(げたをはく)		JP	[競漕・艇差](動詞) 左右の艇を半艇身~1艇身離して従えている状態。(注:「スポーツ大辞典」(大修館, 1987)の漕艇の項に記載。その根拠は不明。本項の旧記載では、「足をそろえて靴を履くのと違って、下駄などは片方をつけてそのまま歩き出し左右で前後差があるようなイメージか」と述べたがこれもそれほど説得力はない。なお、ゴルゴ13「パンプ・ザ・ガリバー」に東大ボート部OBが出てくる話があり、そのサブタイトルにpart9「げたにはく」1983.1.11とある。これもほぼ同類かと思われる。[2019-12-20]
557	月刊漕艇 (げっかんそうてい)	Gekkan Sotei (Japanese Rowing Monthly)	JP	[図書・雑誌] 日本漕艇協会(現:日本ボート協会)発行の月刊の漕艇誌。1998年4月から月刊ローイングに改題。
558 *	月刊ローイング (げっかん…)	Gekkan Rowing/JARA	JP	[図書・雑誌] 日本ボート協会が発行する月刊の機関誌。(旧名:月刊漕艇)。Japanese monthly rowing magazine published by Japan Rowing Association. former name is "Gekkan Sotei"

no.	用語	English	解説
559	決勝線 (けっしょうせん)	finish line	[施設] フィニッシュライン。 レースの到着点(ゴール)。
560 *	決定競漕(けつていきょうそう)		同着の場合の、順位決定のためのレース。
561 *	ゲート	gate, gate pin	IN [用具・部品] オールロック。 古くは、2本のソールピンで構成され、横にバーが渡されていた。(The Story of World Rowing/C. Doddより)
562	ゲート	gate	IN [用具・部品] オールロックを構成する部分のうち、オールを出し入れし、ロウイング中に飛び出さないようにするための開閉部分。 ゲート・ピン。
563	ゲート・クランプ	gate clump	IN [用具・部分] ゲート・ピン。 ゲートを閉じてオールが飛び出さないようにする構
564	ゲート・ピン	gate pin	IN [用具・部分] オールロックの開閉部分。
565 **	ケブラー	Kevlar	IN [用具・素材] 一般名称はアラミド繊維。 ケブラーは開発したデュボン社の登録商標だが、通称となっている。 靱性、耐破断性に優れ(切れにくく)、防弾ベストなどの主材でもある。 ただし紫外線には弱い。
566	ケーブル・クランプ	cable clamp	IN [用具・部品] ラダーワイヤーの索端をループにして留める部品。 カシメ式のもの(スリーブとも)、ネジ式のものがある。 [2015.7.8]
567	ケーブル・シンブル	cable thimble	IN [用具・部品] ケーブル(ワイヤー、ロープ)の索端のループの内側にはめる損耗防止の外形:涙滴形、断面:U字型の保護部品。 [2015.7.8]
568	ケーブル・リール	cable reel	IN [工具・名称] 電気延長コードの内、巻取り式のリールに巻くタイプのもの。 電工ドラム、コード・リールなどとも言う。 大電力で継続使用の場合は、短距離であってもすべて引き出して使用することが大切。 巻いたままだと放熱ができず加熱し発火のおそれがある。 [20211112作成]
569	ケヤキ	Keyaki; Japanese Zelkova	IN [艇・素材] 木造船に用いる木材のひとつ。 堅く強靱なので、ラダーティラーなどに用いる。 [木材関係サイト、「漕艇術の基本」などより。 20080718作成 20211112改訂]
570 **	ゲルコート	gel coat	IN [用具・素材] FRP艇の従来の製造方法で、最も外面(表層)に使用される硬質のポリエステル樹脂。 ただし、カーボン艇時代になって、表層をゲルコートを用いず、アクリルウレタン樹脂塗料とする製造法も主流となっている。 [20211112
571	ケルソン	keelson	IN [艇・部分名] →「キールソン」 [2016-12-15]
572 ***	舷 (げん)	gunnel, gunwale	[用具・部分] ガンネル。 船縁(ふなべり)。
573	剣牛レース (けんぎゅう…)	Oxford Cambridge Boat Race	[大会・名称] 英国の名門、オックスフォード大学とケンブリッジ大学の伝統ある対抗レース。 日本の古い漕艇図書で、「剣牛…」と表されることが多い。 剣がケンブリッジ、牛がオックスフォードの略。
574	ケンブリッジ・ロウイング・クラブ	Cambridge Rowing Club/USA	[団体] 米国ボストンの名門RC。 ヘッド・オブ・チャールズを主催。 [BoatTimes Vol. 45/桑野造船/2007. 10. 25]
575	コア、コア材	core	IN [用具・素材] ハルのサンドイッチ構造を構成する3層のうち、芯になる層、その素材。 ⇒インナー・スキン、アウター・スキン
576	コア・(ストレングス・) トレーニング	Core Training, Core Strength Training	IN [トレーニング] コアとは、体の中心部:体幹～骨盤の筋群(腹筋群、股関節の筋群、脊柱筋)のことで、これらの筋群は、スタビライザ(運動の基本姿勢の安定保持)、モビライザ(運動体)として必要な役割を担っている。 そのコアの強化を行うトレーニングのこと。 体全体の姿勢保持、バランス、柔軟性確保、障害予防、呼吸効率向上などのために重要である。 コアトレーニングは特にコア筋群を協調連携させて運動させることにポイントをおき、神経-筋の効率を上げようとする。 したがって、単純な1軸的な動きにとどまらない方向を目指す。 一般に、最初のステージではわかりやすい2~3の筋に対して静的に行い、進展するに従い、動的にまた複数の筋群を加えて、そのスポーツの特徴的なトレーニングへと
577	コア・パフォーマンス	Core Perform	IN [用具・商標] ロウイングマシン(C2インドアロウワーシイーズ)用のシートで、固定モードと左右に自由に傾くアンステーブル(不安定)モードの切り替えができる。 [2010.1.20, Rowing News 2010.2月号]
578 **	後傾 (こうけい)	negative pitch	[用具・構築] ソールピンのバウ方向への傾斜。
579 **	後傾 (こうけい)	lean back	[動作] 上体のバウ方向への傾斜。 特にフィニッシュ時の上体の姿勢。
580	降艇 (こうてい)	set down	[操艇・手順] 艇を降りること。 つまり乗艇練習やレースを終え、艇を棧橋などに着岸し、クルーが艇から降りること。 記述例: 2020-3-16FaceBook投稿コメントより「…氏名省略… 昨日の淀川は天候が急変して途中降艇しました。」[2020-3-16採用例採取] 英語では、少し大げさに「下船」で検索すると、「set down, debark, disembark」などがヒットする。 乗船のboarding!に対して後2社はあまり聴きなれない、大げさな感じか。 [2020-3-16]
581	公認コーチ (こうにんこーち)	official coach	JP 日本スポーツ協会が養成・検定を実施して公認し、日本ボート協会が専門科目を主管する公認の指導者資格のひとつ。 ボート競技では、2018年度までの資格段階:公認指導員、公認上級指導員、公認コーチ、公認上級コーチの4つの資格があった。 そして競技種目全体にわたる指導者資格名称の再編の中で、2019年度からは、それぞれ、公認コーチ1、公認コーチ2、公認コーチ3、公認コーチ4と、4つの資格名称に呼称が改訂された。 そのため、「公認コーチ」という呼称は、2018年度以前の記述では上位の2資格を示し、2019年度以降は全4資格を示す。 資料や会話の中で、どのカテゴリーを指すかは、注意する必要がある。
582	公認指導員 (こうにんしどういん)	official instruction stuff	JP 日本スポーツ協会が養成・検定を実施して公認し、日本ボート協会が専門科目を主管する公認の指導者資格のひとつ。 ボート競技では、2018年度まで公認指導員、公認上級指導員の2つの資格があったが、競技種目全体にわたる指導者資格名称の再編の中で、2019年度から、公認コーチ1、公認コーチ2と呼称が改訂された。 なお、左記英語表記は未確認。 インストラクターの呼称は、他の競技種目ではコーチより上級の「教師」を指す場合もあるので、左記ではその表記を選じた。 [2020-3-16]
583	公認審判員	Official Jury	JP [資格・審判員] 日本ボート協会の公認審判員規定により規格・権威化された資格で、公認競漕会の審判業務に従事する際の必要条件となるもの。 C級審判員/B級審判員/A級審判員/参与審判員/名誉審判員の5種類がある。
584	公認審判員規定 (こうにんしんぱんいんきてい)	The Rule of Official Jury in JARA	JP [図書、規定] 日本ボート協会が制定する審判員の資格・任用される大会・資格試験の手順などを定めた規定。 現行は平成13年版。
585	公認審判員手帳	Official Jury Log Book	JP [図書・登録証] 公認審判員に交付される手帳で、公認競漕会で審判業務に従事する際に携行し、従事した記録が記され、更新の際に証明の書類となるもの。

no.	用語	English		解説
586	コーキング	caulking, calking	IN	[用具・工程] 水・空気が漏れないように隙間・漏水箇所などに充填剤の充填や、詰め物を詰めること。(→シーリング、シーラント) 元々、船の水漏れ防止として、「まいはだ／まきはだ(楨肌)」(oakum; ヒノキやマキ(楨)などの内皮、古い麻綱などをよりあわせ、ピッチ／タールなどをしみこませたもの)を詰め、ピッチを流し込んで水漏れを止めていたことに由来する。
587 ***	国際漕艇連盟 (こくさい FISA いそうていれんめい)	FISA	IN	[組織・協会] →FISA(フィサ)。本部スイス。世界の漕艇機関を統括。
588	国際ボート連盟 (こく FISA さいぼーとれんめい)	FISA	IN	[組織・協会] 上記と同義・同一団体だが、特に日本の「漕艇、日本漕艇協会」を「ボート競技、日本ボート協会」として改称された頃から、FISAの日本語表記も「国際ボート連盟」と表記されるようになった。[2017-1-4]
589	コクシング	coxing	IN	[舵手・活動] コックスの活動・作業。コックスをすること。
590	コクスン	coxswain	IN	[一般・選手] →コックス。舵手。
591 *	国体 (こくたい)、国 民体育大会 (こくみ んたいいくたいかい)	National Athletic Game (Kokutai)	JP	[大会] 各種スポーツを都道府県対抗で得点制で競う日本の全国規模の大会。戦後復興の一事業でもあり、各地を巡回開催。1946年(昭和21年)の第1回大会(京都)は、滋賀(瀬田川)でフィックスとナックルフォアで開催。フィックスの最後は1968年、2巡目の1988年(昭和63年)からナックルが廃止されすべてシェル艇となった。開催地では全県を挙げての一大行事、産業振興ともなり、地域スポーツ振興にも大きく寄与してきた。半面過剰な勝利至上主義、渡り歩き の選手、規模の肥大化、全日本選手権との二重構造などの弊害・課題が指摘される面もある。 Japanese famous and biggest sports games. "Koku-"(Kokumin" means "National", and "-Tai"(Taiiku" means Sports or sports education. But There are "national rowing championships" anotherly. Kokutai started in 1946 (just after the War II) to encouraging the people and recovering the local economy
592	国立スポーツ科学セ ンター (こくりつ…)	Japan Institute of Sports Science, JISS		[組織] 独立行政法人・日本スポーツ振興センターの下部組織。東京都北区の西が丘競技場にある。JISSとも。2001年(H13)開所。国際競技力の向上を目的としたスポーツ医・科学・情報の中枢機関。利用は、JOC強化指定選手などトップアスリートが対象。なお、戸田艇庫(国立艇庫)も、JISSの下部組織となっている。(N35° 46' 03.58" / E139° 42' 31.46")
593	国体選手必携書 (こ くたいせんしゅひつけ いしょ)		JP	[図書] 国体のブロック大会および本大会の参加者(選手・監督・役員)に配布される。ドーピング関係情報を集約したポケットブック。
594	国艇(こくてい)	Kokutei, National Boat house in Toda	JP	[固有名称・施設名] 埼玉県戸田市戸田公園にある国立戸田艇庫の略称、スラ ング。[2017-1-14]
595 *	50%スライド (ご じゅっぱーせんと…)	half slide		[練習] ハーフスライド。
596	御所湖 (ごしよこ)	Lake Gosho	JP	[水域・固有名] 岩手県盛岡市。御所ダムによるダム湖。B級・6レーン×20 00m。冬季には閉鎖される。
597 **	コース	course		[施設] 競漕を行うための水上の範囲。漕艇会場。(なお、「レーン」は、各艇 が漕ぐそれぞれの幅の範囲を言う。)
598 *	コース規格、コース規 格規定	course regulation		[施設] 競漕規格の付則としてのコースの規格。日本ボート協会の競漕規則で は、30条からなる。
599 **	コース侵害 (…しん がい)	interfair		[競漕] →レーン侵害。自己レーンから逸脱、他レーンに侵入すること。
600	コースタル・ロウイング	coastal rowing	IN	[競漕・種目] FISA競漕規則(2017年版)の付則22で定義・規定される沿岸域 での競漕様式。専用の規格の1×, 2×, 4×+, 4+で行う。類似の競技に 付則23で定義・規定されるビーチ・スプリントがある。[2017-10-30]
601	こだま型	Kodama type	JP	[用具] ハル形状の1型。横断面がV字に近く、キールラインが明確。
602	コーチ・シート	coach seat	JP	[用具] コーチャー(ズ)・ボックス。ナックル艇のコックスシートの後ろにある補 助席。
603	コーチャー・ボックス	coach's box		[用具] →コーチシート
604	コック・アンド・ヘン	cock and hen	IN	[用具] スキフのタイプのひとつ。パウポジションがストロークに比べて極端に狭 い。(Story of World Rowingより)
605 ***	コックス、(コクスン)	cox, coxswain	IN	[一般・クルー] 舵手。ラダーの操作と漕手への指示により、艇の挙動をコント ロールするポジション。基本的な能力に加え、できるだけ軽量であることが望ま れる。日本の競漕規則では、男子55kg以上、女子50kg以上、規定に満たな い場合のデッドウェイトは最大10kg(2017年2月現在)。FISAは2017年、 (オリンピック関係を除き)コックスの性別を不問とし体重規定を統一(体重55kg 以上、最大重量を15kg以下)とした。[2017-2-12]
606 *	コックス・シート	cox seat, coxswain's seat		[用具] 舵手席。コックスのすわるポジション。スターンまたはパウのいずれ か。
607	コックス・ダンキング	cox dunking	IN	[習慣] →コックス・トス [2016-3-5]
608	コックス・トス	cox toss, cox dunking	IN	[習慣] レースの後(主に優勝した)クルーが、コックスを水に投げ込む習慣。メ ダルや貴重品をなくすことがあるので用心。また日本では2件の溺死事故があ る。禁止するようなのでもないが、水温、泳力、心臓疾患リスクなど(誰かが) 冷静な用心を保つことが必要である。[2016-3-5]
609	コックス・ヴォックス	Cox Vox	IN	[用具・装備・商標] コックスボックスから拡声装置(マイクアンプ機能)のみとした 機種。NK社製。[2009.10.10]
610 **	コックス・ボックス	Cox Box	IN	[用具] 舵手の声を漕手に伝える電氣的な音声伝達装置。マイク・アンプ・ケー ブル・スピーカーで構成され、またストローク数の計数、レイト計測、ストップウォ ッチ機能などを搭載。NK(ニールセン&ケラーマン)社の商標だが、(ウォークマ ンのように)一般用語となっている。[2009.10.10]
611	コックス・メイト	Cox Mate (R)	IN	[用具・商品名] オーストラリア製のコックス・アンプ・システム。レイト表示も可 能で、NKのコックスボックス代替装置(互換性がある)。日本国内販売は、一時 期、桑野造船が扱っていたが、不具合(浸水→回路腐食など)があり、取扱いは 停止されて2016年現在に至る。[2016-12-15]
612	コックピット	cockpit	IN	[用具・部分名称] 競漕艇の1漕手分のスペースのこと。(Story of World Rowingより)
613	コック・ボート	cock boat	IN	[用具・艇種] はしけ。小舟。大型船と岸の連絡用小ボートの総称。

no.	用語	English	解説
614	御殿浜(ごてんはま)	Gotenhama beach	JP [水域・固有名] 滋賀県琵琶湖の漕艇水域の固有名。琵琶湖・南湖(なんこ=琵琶湖大橋以南)のさらに南部、近江大橋以南のうち、東岸には県立琵琶湖漕艇場があるが、その対岸(西岸)に地名:「御殿浜」(ごてんはま)があり、そこに滋賀大学、膳所高などの艇庫がある。その前に広がるおよそ近江大橋以南の西半の水域が御殿浜水域ということになる。[2020-3-16初記載]
615	コード・イエロー	Code Yellow	CAN [安全・気象] CARA(カナダ漕艇協会)のウェザー・プロトコル(2005-3-22)に記述の、レガッタ(あるいは乗艇練習)のための(特に嵐に対する)気象状況を記述するコード6種類のうちのひとつ。 「要注意(Caution)8. 嵐が派生する恐れが大。水上の全ての審判、発艇員に、上空を見て危険な状況(雲の形や色の急な変化、近接した落雷、風向の変化、気温の急変など)が進行していないかを監視し始めるよう要請。」→ウェザー・システム・コード、ストーム・カラー・コード・ワーニング [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
616	コード・オレンジ	Code Orange	CAN [安全・気象] 同上。気象状況を記述するコード6種類のうちのひとつ。 「新規の出艇を見合わせる。進行中のレースを終了し、選手や装備を保護すること。」→ウェザー・システム・コード、ストーム・カラー・コード・ワーニング [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
617	コード・グリーン	Code Green	CAN [安全・気象] 同上。気象状況を記述するコード6種類のうちのひとつ。 「まったくの晴天で、当該地域に気象に関する問題がない状況。」→ウェザー・システム・コード、ストーム・カラー・コード・ワーニング [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
618	コード・グレイ	Code Gray	CAN [安全・気象] 同上。気象状況を記述するコード6種類のうちのひとつ。 「コース上のボートは全て退避し、全ての役員も退避。15分以内に8km以内に嵐(Storm)がある状況。この警告は、嵐が過ぎてから15分以上経つまで、あるいは8km以上遠ざかるまで継続する。」→ウェザー・システム・コード、ストーム・カラー・コード・ワーニング [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
619	コード・ブルー	Code Blue	CAN [安全・気象] 同上。気象状況を記述するコード6種類のうちのひとつ。 「悪天候の可能性あり。雷の発生の恐れあり。」→ウェザー・システム・コード、ストーム・カラー・コード・ワーニング [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
620	コード・レッド	Code Red	CAN [安全・気象] 同上。気象状況を記述するコード6種類のうちのひとつ。 「コースが嵐に入っているか非常に近い状況。最寄の可能な防護施設への避難を警告。」→ウェザー・システム・コード、ストーム・カラー・コード・ワーニング [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
621	コートニー, チャールズ	Courtney, Charles E.	IN [人名・スカラー, コーチ] 19世紀末、ネッド・ハンランと同時代の米国・ニューヨーク出身の偉大なスカラー(1849-1920)。ハンランとは3度対戦するがどれもいわくつきで、特に最後の1880年の対戦では、折り返し地点を誤って早く折り返し、しかもハンランに破れ、「米国漕艇史上最もなまげな失敗」と揶揄される。しかし1884年に他のスポーツに先駆けてコーネル大学でフルタイムのプロコーチとなり、彼のチームは輝かしい戦績を誇った。
622	コニーベア・スタイル	Conibear Style	IN [動作・漕法] ハイラム・コニーベアにより確立された古典的なロウイングスタイル。フィニッシュから腕、上体、スライドを一つの動きですばやく前進させ、フォワード後半は減速させてソフトなキャッチの後、すぐに最大プレッシャーでドライブ
623	コニーベア・ストローク	Conibear Stroke	IN [動作・漕法] →コニーベアスタイル
624	コニーベア, ハイラム	Conibear, Hiram	IN [人名・コーチ] 1870年-1917年。米国、ワシントン大学漕艇部の伝説的コーチ。いわゆるコニーベア・スタイルを確立。1917年に事故死(46歳)。
625 *	5番 (ごばん)	five, number 5	IN [用具・配置] 8+で、バウから5番目の漕手。ノーマルリグではバウサイド。
626	コフィン・シェイブ・ブレード	coffin shape blade	IN [用具・オール] コフィン・シェイブとかコフィン・ブレードと呼ばれる。古典的なブレード型の一つ。直線的な外形で、西洋の棺のような平面形状。最大幅はシャフト寄り。[Rowing and Sculling, 1904, 2014-7-9]
627	コブラ	COBRA/WinTech	IN [艇・ブランド] ウィンテックが2016年頃からリリースした最上位モデル(2016年現在、1×および2×/2-)。[2016-12-15]
628	コマンド	command	IN [動作・指示] 舵手の指示、命令。コールとも。
629	コーミング	coaming	IN [用具・部品] 縁材。水が入らないように立ち上げた部分。例:ハッチ周りの立ち上げ。競漕艇では、スカルの後部斜め隔壁に続いてガンネルの開き止めに金属板が取り付けられこれが「コーミング」であったと思われるが、派生してその部分に開き止めとして渡された横梁をコーミング(ステイ)と呼ぶようになったと推定される。[2013.10.28]
630	コーミングステイ	coaming stay	JP [用具・部品] コーミング相当部分に渡された(ガンネルの)開き止めの横梁の俗称。コーミングステイ自体にコーミングの役割はない。[桑野造船部品名称, 2013.10.28]
631	ゴーメット型エルゴメータ	Gamut type ergometer	IN [用具・練習機器] ピボットを中心としたオールの回転運動を再現できるエルゴメータ
632	湖山池 (こやまいけ)	Koyama-ike (-pond)	JP [水域・固有名] 鳥取県東部、鳥取市内にある自然湖沼。池と名のつくものでは日本最大。北岸に、県立艇庫・鳥取大学艇庫があり、鳥取県高、鳥取湖陵高(鳥取西工と鳥取農業が併合)、鳥取商業高、鳥取大学が活動。
633	固有振動数, オール		[用具・機装] オールを振子とみなした場合の固有振動数。調和漕法に関連。
634	コール	call (of the cox)	IN [動作・指示] 舵手の指示、命令。コマンドとも。
635	ゴール	goal	JP/IN [施設・一般] →フィニッシュ。レース・コースの決勝線の意味でゴールという言い方は多用されるが、競漕規則では「フィニッシュ(ライン)、決勝線」に統一する。(もっとも、本来ゴールは、目標地点、目的地、サッカーのゴールなどの意味で用い、フィニッシュラインの意味で用いても誤用とはいえず一般用語としてもよく使
636	ゴールド・コーチ	gold coach	GB [資格] 英国におけるコーチの資格認定システムの一つ。
637	コールド・ショック	cold shock	IN [一般・医療] 低温ショック。急に冷水に入ったときに息が小さく、速くなる反応。それ自体は数分で収まるが、パニックや心不全の引き金になるので要注意。
638 *	コロ	wheel, roller, "Koro" in JPN	[用具・部品] シートに取り付けられた車輪(ホイール)、ローラー。
639 ***	コンスタント	constant	[競漕, 練習] レースでの基本的速度。その速度を実現する漕状態。より高速のスパートやパワーテンに対するモード。(2007. 6. 28)

no.	用語	English	解説
640 *	コンセプト2(=ツー)	Concept 2	[会社・オール他] オールおよびエルゴメーターのメーカー。略称はC2。従来、「Concept II」、「CII」と表記されていたが、現在では(ローマ数字ではなく)アラビア数字の2になっている。(なお、同社のロゴマークは、CIIをデフォルメしたものが続いている。)
641	コンセプト5(=ファイブ)	Concept 5 Inc.	IR [会社] 漕艇用品取扱い。大阪。1900年代。
642	コンタクト・グリース	contact grease, electrical contact grease	IN [用具・潤滑剤] 電気接点の潤滑, 防食, 導電性確保のために用いる導電性のグリース。商標名: ナイオジェルなど。[2009.10.10]
643	コントロール・ラス	Control Lath	JP? [リギング・計測器具] リギング用のゲージ。直線棒状のもの。L棒。[月刊漕艇 No.113(1074.12)p12, 2009.6.15] ※一般用語かどうか、また語源不明。Lathには木片といった意味もあるが、このゲージとあまり結びつかない印象がある。
644	コンパートメント	compartment	IN [用具・部分] 艇の水密区画。パウデッキ, スターンデッキのそれぞれの水密区画(空気室)のほか, 各シート下に形成される区画などが, コンパートメントと呼ばれる。コンパートメントは, それぞれ独立していることが重要で, 2005~06年頃にはFISAの練習安全ガイドラインや安全規格に盛り込まれることとなった。
645	コンベンショナル・ラダー	conventional rudder	[用具・部分] 伝統的な(旧式)のラダー。ナックルフォアのラダーのように, 艇尾にとりつけられた大きなラダーのこと。これに対して, 船底にとりつけられた小型のものをさしてフィンラダーということがある。ただし今日では, フォインラダーとは, センターフィンに複合的に取り付けられたタイプの意味で用いられる。
646	コンベンショナル・リガー	conventional rigger	IN [用具・部分] 通常タイプのリガー。金属製のパイプ・ステイが, メイン・ステイ, フォア・ステイ, バックステイの3本でレイアウトされた伝統的なスタイルを言う。ウィング・リガーに対して「通常の」リガーという意味で用いられる。
さ	647 *** さあ行こう	"Go!" "On the next!"	IN [動作・指示] 動作開始の指示用語。レースでの発艇号令。
648	サイクス	Sykes	IN [会社・造船] オーストラリアの漕艇メーカー。
649	彩湖 (さいこ)	Saiko Lake	JP [水域・固有名] 埼玉県戸田市, 戸田漕艇場より上流にある荒川沿いの洪水調整池。2020年オリンピックの候補地として選定対象となった。[2016-10-19]
650	賽艇 (さいてい)	rowing	[一般・中国語] 中国語で「漕艇」のこと。
651	サイド・バイ・サイド	side by side (race(s) format	IN [大会・様式] 横1列に並び個別のレーンで競漕する通常のレース, レガッタの様式。[Wikipedia, Rowing, 2008.1.25]
652	サイド・ブランキング	side plunking	[用具・部分] ナックル艇外板の側面部分。側板。
653	サイド負け (さいどまけ)	uneven pull of one side	IN [動作・欠陥] 左右の舷側のロウイング・パワーが同等でないことにより, どちらか(弱い)サイドに艇の進行方向が曲がること。
654	サイド・ラダー	side rudder	IN [用具・部品] →ステアリングラダー。
655	サイド・リガー	side rigger	[用具・部分] 現在のアウトリガー時代以前の, 舷側上に設置したオールロック。リガーとは船体に取り付けられた艀装全般のことで, 必ずしも張り出した狭義のリガーだけを意味するのではない。
656	坂本ローイング・プロジェクト	Sakamoto Rowing Project	JP 熊本県・(旧)坂本村で, 1993~1997年に, 国の過疎地域活性化事業「緑のふるさと・ふれあいプロジェクト」の指定を受けて展開された「Doプロジェクト(坂本村若者定住促進等緊急プログラム)」の一環として展開された, 荒瀬ダムに荒瀬ダムポートハウスなどの操艇施設を整備した事業活動。[Wikipedia:「荒瀬ダム」]
657	サギング, (サグ)	sagging, (sag)v.	IN [用具・挙動] 艇が浮力や荷重の配分などの影響を受け, 艇体中央部を押し下げ, 前後端を押し上げるような力を受け変形すること。艇の前後が波の山, 中央部が谷間に入ったとき, あるいはコックピットに浸水し, 艇の中央部の荷重が過大となり前後のキャンパスの浮力との関係で, サギングが発生する。競漕艇の場合, フォアやエイトのような長い艇では, 浸水にともなうサギングがしばしば艇を折る原因となる。⇔ホギング [2015-7-28]
658	サックスボード	saxboard	IN [用具・部分] 最上外板。ガンネル部分。ハル最上部の補強部分。→サックスボード
659	ザーク・プロジェクト・ジャパン	Zarg Project Japan	[会社・ディーラー] ロウイングウェアなど取扱い。東京都足立区。
660 *	左舷 (さげん)	port side	[用具・部分] 艇の進行方向に向かって左側。ノーマルリグでは, ストロークサ
661	サージング	surging	[用具・挙動] 漕行する艇の前後動。艇速変動。
662	サスペンション	suspension	[動作・技術] 水平に強くドライブするための技術概念, 感覚概念。静かに休んだ上体では, 上体の質量はほとんどシートにかかるが, 強くドライブしているストローク中は, 漕手の体重は, ストレッチャーを水平に押す力とハンドルを水平に引く力の間にぶら下がった(サスペンド)された状態になり, シートにかかる重量が減少する。このことは方向を間違えれば初心者がシートからお尻を落としてしまうことにもつながるが, 上級の競技者では, より強く漕ぐことのイメージのひとつとして重要となる。(2007.6.12)
663	サックスボード, サクスボード	saxboard	IN [用具・部分] ガンネルと同義。ハル上端の部分。
664	サックスボード・カットオフ	saxboard cutt off	IN [用具・艀装] サックスボード形状のひとつで, リガーステイを接続する部分だけを高く張り出し, その他の部分を低くしたデザイン。またはその段差形状の高さの差のこと。出典:「ストローカー・ジャパン, ウェブサイトより」
665	サックスボード・リップ	saxboard lip	IN [用具・部分] サックスボード(ガンネル)上端の, 水平・外側(アビーム)方向への張り出し。補強および(または)内部構造(製造方法)上必要となった, 接続(接着)しろとしての必要形状。
666	サックスボード・リップ・ディプス	saxboard lip depth	IN [用具・部分] サックスボードのリップの厚み。
667	サットン	J.Sutton	IN [会社・オール] 英国のオールメーカー。
668	サップ(SUP)	SUP: Stand Up Paddle	IN [用具・漕艇外] 少し大型のサーフボードに立位で乗り長めの専用のパドルを使って漕ぎ進むスポーツ。レジャー向け。2010年頃から認知されはじめ, 日本では2015年頃から急速に知名度が向上。ゆっくりのんびり楽しむイメージが主流だが, 高速で波乗りするスタイルも一部にはあり, 2014年にはサーファーに衝突し死亡させる事故も発生している。[2017-1-14]
669	佐鳴湖 (さなるこ)	Sanaru Lake	JP [地名・水域] 静岡県浜松市にある湖。静岡大, 浜松BC佐鳴会などが活動。(N34°42'25.46"/E137°41'02.07")
670	鞘 (さや)	sleeve	[用具・オール] スリーブ, 皮(レザー)と同義。現在では, スリーブとよばれることがほとんどである。[2014-7-9]

no.	用語	English	解説
671	サラニ	Salani	IN [会社・造船] イタリア・フィレンツェにあるボートメーカー。1950年創業。現在はコースタルなどにも注力。 [2014-7-9]
672	棧木 (さんぎ)	mo(u)lding	[用具・部分] モールディング。 サックスボード上縁の保護に張られた部分。
673	サンドイッチ構造	sandwich structure	IN [用具・部分] ハルの構造様式のひとつ。 コア材(心材, 芯材)を外, 内の2つの繊維層(CFRP, GFRPなどで構成され, 内側をインナー・スキン, 外側をアウター・スキンと呼ぶ)ではさんだ構造。 コア材としてハニカムを用いたものをハニカム・サンドイッチ, 発泡塩ビシートなどを用いたものをフォーム・コア・サンドイッチと呼ぶ。 2000年代の高品質の競漕艇はほとんどサンドイッチ構造艇である。
674 **	3番 (さんばん)	three, number 3	[用具・配置] バウから3番目の漕手。 ノーマルリグでは通常バウサイド。
675 *	3枚貼 (さんまいばり)	3 plied oar shaft	[用具・部分] 木製オール shaft の木材貼合わせ構造の一つ。 上下2枚の他に背面に1枚を追加する。
676	参与審判員 (さんよしんぱんいん)		JP [審判・役職] 公認審判員規定・第10条において規定されている役職で, A級審判員として多年の経験と功績があり満65歳に達した者や, 加盟協会主催・主管の公認競漕会で審判長・副審判長として多年の功労があった者が該当し, 所定の推薦手続きによって委嘱される。
677 **	C	cox, coxswain	コックス。 舵手。
678 **	C	catch	[動作] キャッチ。
679	G	G, Gold	IN [大会・順位] 優勝, 金メダルのG。 [2010.8.4]
680	シアー (ウィンドシアー)	(wind) shear	IN [気象] 風向・風速などが異なる2つの空気塊の境界部分。 風向や風速の極端な不連続, 乱気流が発生する。 [2007. 9. 5]
681	シアー, シアーライン	shear line	IN [用具・部分] 舷弧。 ハル(広義)のうち, 水に浮かぶハル(狭義)とデッキの境界の部分。 一般の船舶では前後がそりがあっているため「舷弧」の語で呼ばれるが, 現代の競漕艇のほとんどは, このラインは, (側面から見て)水平・直線的である。 [2010.8.5]
682	シアークランプ	shear clamp	IN [用具・構造] シアーラインの船体内側に走る縦通材。 ハルとデッキを接合する重要部分。 (「新版カヤック工房」舵社) [2007. 9. 5]
683	CRC (シーアールシー)	CRC, CRC5-56, CRC6-56 (6-66 in Japan)	IN [一般・工具] 石油系浸透潤滑剤・防錆剤の品名だが, 一般名としてもよく用いられる。 CRCはもともとCorrosion Reaction Consultants(社名)の略。 汎用のCRC5-56, マリン用のCRC6-66(6並びを嫌う海外ではCRC6-56の品番)などがある。
684	CRB (シーアールビー)	CRB, Criminal Records Bureau	IN,GB [組織] 犯罪記録局。 英国において犯歴情報を管理・提供する政府機関。 ARAの児童保護の方針・手順に従えば, 児童と活動する職員・ボランティアを採用する際には, ARA(英国漕艇協会)を介しCRBに犯歴を照会しなければならぬ。
685 *	GRP (じーあーるびー)	Glass fiber Reinforced Plastics	IN [用具・素材] ガラス繊維強化プラスチック。
686	CARA (しーえーあーるえー)	Canadian A.R.A.	IN [組織・協会] カナダ漕艇協会。 1880年にRC有志によって設立されたCAAO; The Canadian Association of Amateur Oarsmen から, 1974年にCARA; The Canadian Amateur Rowing Association / Association Canadienne d'Aviron Amateur となり, その名前は2007年現在も法的に生きているが, 通称(operating name)としては, RCA; Rowing Canada Aviron が用いられるようになっている。 [ウェブサイトwww. rowingcanada. org, 2007. 6. 15]
687	CARA (しーえーあーるえー)	Coast Amateur Rowing Association	IN [組織・協会] 英国の沿岸ロウイング漕艇協会。 [Know the Game/Rowing, p52, 2007. 12. 22]
688	JISS (じえいあいえずえす)	JISS; Japan Institute of Sports Science	JP [組織・一般] →国立スポーツ科学センター。 「ジス」とも呼ばれるが, 一般にジスといえばJIS(日本工業規格)である。
689 *	JARA (じえいえーあーるえー)	Japan Amateur Rowing Association, Japan Rowing Association	IN [組織・協会] JARAはもともと, Japan Amateur Rowing Associationで, (社)日本漕艇協会の略称で, ジャラと読まれていた。 日本ボート協会と改称された際, 英語表記は, Japan Rowing Associationとなったが, JRAの略称がすでに日本競馬協会として世間に広く知れ渡っていたため, 略称は現在でもJARAである。 Japan Rowing Associationの略というところだろうか。
690	JAA (ジェイエーエー)	Japan Adaptive Rowing Association	IN [組織・協会] NPO・日本アダプティブローイング協会。 →2013年に日本パラローイング協会に改称。
691	JSAA (じえいえすえーえー)	Japan Sports Arbitration Agency	JP [組織・一般] 一般財団法人・日本スポーツ仲裁機構。 スポーツ団体等とスポーツ競技者等との紛争の仲裁・調停を行う公的機関。 2003~2011年度に17件を扱った。 2012年には, ボート・ロンドン五輪の男子軽量級2xの代表選考に絡み, 武田大作(愛媛県・ダイキ)からの仲裁申立を扱った。 URLは, www. jsaa. jp. [2012.3.12]
692	JSC (じえいえすしー)	JSC, Japan Sports Council	IN [組織] 日本スポーツ振興センター。 独立行政法人。 [2015.7.8]
693	JADA (じえいえーでいーえー, ジャダ)	JADA; Japan Anti Doping Agency	JP [スポーツ一般・ドーピング] 日本アンチドーピング機構。 JADAをそのまま「ジャダ」と読むことが一般的。 URLは, www. anti-doping. or. jp. [2005. 7. 6]
694	JOC (じえいおしー)	JOC; Japan Olympic Committee	JP [組織・一般] 日本オリンピック委員会。 URLは, www. joc. or. jp. [2005. 4. 6]
695	JSPO (じえいすぽ)	JSPO, Japan Sport Association	IN,JP [組織・一般] 公益財団法人・日本スポーツ協会。 2018年4月に, 日本体育協会から改称。 各競技団体を統括する組織。 [2018-9-10]
696	J2 (ジェイツー), 有限会社	J2, Rowing Center	IN [会社・ディーラー] ガルス・グルエンボーン(英国人)が創業したボート・漕艇部品を扱う有限会社。 2006年から戸塚喜之(慶応大OB)が継承, 2016年に廃業。 店舗名が, 「ローイングセンター」。 埼玉県戸田市。 販売したボートは, 初期にはウィン・ローイングだったが, WinTech(ウィンテック)と紛らわしいことから, スウィフトに改称した。 事業は, NTBCが継承している。 (N35° 48' 14. 10" / E139° 40' 50. 07") [2018-9-10]
697	JPRA (じえいぴーあーるえー)	JPRA, Japan Para Rowing Association	IN [組織・漕艇] (特定非営利法人)日本パラローイング協会。 パラローイングを統括する協会。 2013年に(競技名の変更に伴い, 日本アダプティブローイング協会から)この名称に改称された。 また2018年に解散し, (公社)日本ボート協会のパラローイング委員会として再編された。 [2010-10-10]
698	JPC (ジェイピーシー)	JPC, Japanese Paralympic Committee	IN [組織, スポーツ] 日本パラリンピック委員会(JPC=Japanese Paralympic Committee) [2018-6-22]
699 *	CFRP (しーえふあーるびー)	Carbon F.R.P.	IN [用具・素材] Carbon Fiber Reinforced Plastics。 炭素繊維強化プラスチック。
700	GFRP (じーえふあーるびー)	Glass F.R.P.	IN [用具・素材] ガラス繊維強化プラスチック。

no.	用語	English	解説
701	CFD (シーエフディー)	CFD, Computational Fluid Dynamics	IN [設計, 解析手法] 数値流体力学(すうちりゆうたいりきがく, CFD; Computational Fluid Dynamics). 流体の運動に関する方程式(オイラー方程式, ナビエ-ストークス方程式, またはその派生式)を, コンピュータで解くことによる流れを再現・計測する数値解析・シミュレーションの手法. 計算流体力学ともいう. [2017-
702	CM (シーえむ)	CM, Center of Mass	IN [工学, バイオメカニクス] 重心, 質量中心. センター・オブ・マスの略号. 通常, CGと同義. [2018-6-22, The Biomechanics of ROWING, 2016, p80]
703 ***	シェル, シェル艇	shell	IN [用具・艇] 船体の横断面形状が丸く滑らかな艇. 競漕艇としての一般名称. クリンカーやナックルに対する用語.
704 *	シェル・エイト	shell eight	[用具・艇種] エイト.
705	シェル・ハウス	shell house	[施設・一般] 艇庫 (出典例:「漕艇術の基本…」(日本漕艇協会, 1975, p5) [2006. 7. 6]
706 **	シェル・フォア	shell four	[用具・艇種] つきフォア. またはなしフォア
707	シェル・ペア	shell pair	[用具・艇種] なしペア. またはつきペア.
708	しがけい (滋賀経)	Shiga-kei	JP/L [組織・歴史的略称] 滋賀大経済学部およびその漕艇部の略称. 滋賀大ではキャンパスがわかれていることから, 滋賀大経済と滋賀大教育の2つの漕艇部があり, 前者は「滋賀経」と愛称されてきた. 2017年4月から学部再編で, 経済学部はなく, 滋賀大経済学部漕艇部は, 「滋賀大漕艇部」となった. なお, 滋賀大教育学部漕艇部はその名称のまま継続. [2017.1.3, FB私信より]
709	シカモア	sycamore	IN [用具・素材] 木材の一種. ビームなどに使用.
710 *	C級コース (シーきゅう…)	C-class course	JP [施設] コースのランク. 3レーン以上. 流速30cm/sec以下.
711 *	C級コーチ (公認) (シーきゅう…)	C-class Coach	JP/T [資格] 日本体育協会の公認コーチ制度によるコーチレベルの基本クラス. 漕艇競技では1990年代後半に養成活動が活発化. 2005年4月からはカテゴリーの再編で, C級コーチは単に「公認コーチ」と称されることとなった.
712	C級審判員 (シーきゅうしんぱんいん)	C-class umpire	JP [資格] 日本漕艇協会制定の審判員制度の基本クラス.
713	舳手 (じくしゅ)	bow	IN [用具・配置] バウ漕手.
714	CG (シージー)	CG, Center of Gravity	IN [工学, バイオメカニクス] 重心, 質量中心. センター・オブ・グラヴィティの略号. 通常, CM=CGと考えてよい. [2018-6-22,]
715	JISS (じす)	JISS; Japan Institute of Sports Science	JP [組織・一般] 国立スポーツ科学センター(その項参照). ※一般に「ジス」といえば, JIS(日本工業規格)を指すので, 口頭でジスというときは注意が必要であ
716	シース	sheath	[用具・オール] スリーブ.
717	C2 (シーツー, こんせふとつー)	C2, Concept 2	IN [会社] オールやロウイング・マシンのメーカーであるコンセプト2社の略称. →コンセプト2
718 **	失格 (しっかく)	disqualification	[競漕] 以後のレースへの出漕の権利を失う措置. («棄権」がクルー側からの自発的な競漕権の放棄であるのに対し, 「失格」は審判からの競漕権の剥奪を意味する.
719	実効アウトボード	Actual Outboard	[リギング・計測要素] カラーのフェイスからブレードの圧力中心までの長さ. ブレード端までの一般的なアウトボードの代わりに, (ブレード形状の異なるオールについて)てこ比を比較検討する際などに用いることがある. [月刊漕艇No.115 (1975. 1) 2009. 6. 15]
720	実効インボード	Actual Inboard	[リギング・計測要素] カラーのフェイスからグリップの中心(スイープでは両手の中間位置)までの長さ, またはスプレッド, ハンドル端までの一般的なインボードの代わりに, てこ比を比較検討する際などに用いることがある. [月刊漕艇No.115 (1975. 1) 2009. 6. 15]
721	湿性溺水 (しっせいできすい)	wet drowning	IN [一般・医療] 水を飲んで(肺に入れて)溺れる溺水. 多くの溺水がこのタイプだが, 一部に「湿性溺水」と呼ばれるものがある. ⇨乾性溺水(かんせいできすい) [2012.3.12]
722	自艇 (じてい)	own boat, my boat	[一般, 大会・手続] 自分の艇. 特に大会では, 自分が所有する艇で出漕すること. 大会には, 自艇で参加できる大会と, 主宰者が配艇する大会, 混在可能な大会がある. ⇨配艇
723 **	シート	sliding seat	[用具・部分] 漕手の座るスライドする座席. スライディングシート.
724	シート	seat length/distance	IN [競漕・艇差] 漕手の座る1ポジション分(コックピット)の艇差のこと. 例えば, 漕手の動きが横から見て1ポジション分ずれて, 例えば, A艇のバウがB艇の2番と重なるとき, B艇が1シート分の艇差先行, と表現できる.
725	シート	coxswain's seat	[用具・部分] コックスの座る座席.
726	シート	sheet cover	[用具・付属品] 艇にかけるカバー. オーニング(awning)とも言う.
727	シート滑車 (シートかつしゃ)	roller	[用具・部分] シートローラー.
728	シート・クランプ	seat clamp	IN [用具・部品] シートの下部構造のうち, レールからの脱線を防ぐためにレールの張り出し部分にかける突起部分. シート止め板. エンパツハの部品構成では, アクスル・スクウェア(軸を固定する本体部)に組み付けて使う. [2017-4-16, kuwanoパーツショップ, エンパツハ部品名称]
729	シート座金 (シートざがね)	seat metal	[用具・部品] シートメタル. スライディングシートのローラーの転がりを受ける金属板. 最近ではエンジニアリングプラスチックやベアリング方式になり, みられなくなった.
730	シート棧木 (シートざんぎ)		[用具・部分] シートのローラーを保持する部分. シート・ホーン.
731	シート・ステイ	seat stay	[用具・部分] シートを支える梁?.
732	シート・スライド	seat slide	[用具・挙動] スライド. シートの前後運動.
733	シートはね止め	guide pannel of the seat	[用具・部分] 古い木製シートでは, はね(脱線)防止のために, 下・内側に木製の部品, 「はね止め」がついていた. 足板と裏板で構成される. その後, 金属製のものに代わった. [2007. 3. 17]
734	シートはね止め用足板		[用具・部分] 古い木製シートでは, はね(脱線)防止のために, 内側に木製の「はね止め」の板がついていた. その, 脚の部分のこと.
735	シートはね止め裏板	carriage	[用具・部分] 古い木製シートでは, はね(脱線)防止のために, 内側に木製の「はね止め」の板がついていた. その, 底板の部分のこと.
736	シート・ビーム	seat beam	[用具・部分] 前後のローラーシャフトをつなぐ板部分. 脱線を防ぐ.

no.	用語	English	解説
737	シート・ホーン	seat horn	IN [用具・部品] シート・サポート. シート棧木. シートの車台(シャシー), ローラーの軸を受ける部分. 補足:martinoliのウェブサイトでは, この部分について, furkという用語も用いられているが, 原意, 読み, 和訳などが不明(2016-3-26現在) [2016-3-28]
738	シート・メタル	seat metal	[用具・部品] シート座金. 古典的な木製シート・ホーンのホイールの接触面に取り付けられる金属製の帯板. 消耗部品. [2014-7-9]
739	シート用止め板	guide panel of the seat	[用具・部分] シートが脱線しないように取り付けられた部品.
740	シート・レール	track, rail	[用具・部分] レール.
741	しなり(撓り)	bend	[用具・構築] ベンド.
742	シニアB	Senior B	IN [大会・種目] 23歳未満のカテゴリー. U23と同義. [Rowing Canada Avironウェブサイト・Glossary, 2014-7-9]
743	CP (シー・ピー)	CP: cerebral palsy	IN [大会・種目] パラロウイング(障害者漕艇)におけるハンディキャップのカテゴリーのひとつ. 脳性小児麻痺. CP1, CP2…といくつかに分けられる. [2014-]
744	CP, C. P. (シー・ピー)	center of pressure	[用具] ブレードの圧力中心.
745	CPR (シー・ピー・アール)	CPR, Cardiopulmonary Resuscitation	IN [一般・救急] 心肺蘇生の応急処置. 胸骨圧迫(通称:心臓マッサージ)と人工呼吸を含む一連の処置. [2014-7-9]
746	CPSU (シー・ピー・エス…)	NSPCC Child Protection in Sport Unit (CPSU)	IN,GE [組織] NSPCC(英国の虐待防止全国協会)における活動のうち, 特にスポーツにおける児童保護の活動のこと.
747	CPO (シーピーオー)	Child Protection Officer	IN,GE [組織] 児童保護役員. 例:ARA(英国漕艇協会)に設けられた児童保護(虐待などの防止)施策を遂行する担当役員.
748	CPD (シーピーディー)	CPD; Continuing Professional Development	IN [コーチ, 学習方針] Continuing Professional Developmentの略. コーチがその専門知識を絶えず継続的に向上させなければならないこと. コーチとしての基本的なスタンスである. (しかし, 多くの指導者は, ある程度, 一通りできるようになると自分でうぬぼれたあたりで, あるいは運良く? 選手が成果を残したあたりで向上を辞め, 偉そうに指図ばかりして選手をよく見なくなる傾向が見られる. [Know the Game/Rowing, p46, 2007. 12. 22])
749	シー・ブリーズ	C Breeze (R)	IN [用具・練習機器] PSスポーツが市販するエルゴメータ用のダクト. フライホイールのカバーにとりつけると, 風が漕手の方向に流れ快適となるというもの. 参考URLは, www. ps-sport. net [2005. 4. 6]
750	シマノ	Shimano	IN [メーカー] 自転車パーツや釣具などで有名なメーカーで, 2009年にロウイングパーツの生産・販売に乗り出した. 最初の製品は, ストレッチャーシューズのS RD. [2009.11.21]
751 *	シム	shim	IN [用具・部品] スペーサーとも. ワーク高や角度の調整のために挟む, 板または座金状の「挟みもの」のこと. [2008. 3. 24]
752	シーム	seam	IN [一般, 工学] 布や革の「縫い目」, 板やパイプなどの「継ぎ目」を意味する一般的な用語. ボートやオールでは, ハルを構成する木の板やFRP製品の繊維の「継ぎ目」のこと. シームの位置や重ね合わせの処理は, 設計, 造船技術, 職人の腕などを知る手がかりでもある. [2016.1.20]
753	シームレス(構造)	seamless	IN [一般, 工学] 縫い目・継ぎ目のない構造. リガーステイなどを構成する金属管の製造方法として板を丸めて溶接したものには溶接した継ぎ目(シーム)があるが, 別の工法で製造した継ぎ目のないパイプをシームレスパイプという. 板から溶接した管でも後で継ぎ目を処理したセミ・シームレス・パイプもある. [2014-7-]
754	下手(側)(しもて(がわ))	“Shimote (gawa)”	JP [施設・方向] レースコースにおいて, 決勝線から(レーン側ではなく)自由水域の側, その方向.
755	杓う(しゃくう)	“shaku-u” (verb in Japanese)	[動作・欠陥] 水中でフェザリング動作を開始し, 水をブレードで跳ね上げる状態. 強く速すぎる水中フェザーで発生する.
756	シャーク・シリーズ	Shark Series	IN [一般, 商標] ハドソンのボートデザインのシリーズの一つ [2016.1.20]
757	借艇(しゃくてい)	renting a boat, rented boat	[一般, 大会, 練習] 他者の所有する艇を借りること. 借りた艇のこと. 例:「遠征に自艇を持っていけないので, 借艇をお願いします.」
758	シャシー, シャーシetc.	schassis	IN [用具・部分] スライディング・シートの車台部分(つまり, 座る座板の部分を除く, 下部のフレーム構造). 動かない物を載せて動かすための枠組み構造といった意味. 日本語表記は, シャーシ, シャーシー, シャシ, シャシーなど多様. 自動車関連では, 「車台」とも訳される. [2016-3-28, martinoli/パーツリ]
759	ジャズ・ロウイング	jazz rowing	IN [漕艇技術・開発] 位相をずらして漕ぐロウイング技術概念. シンクペーティッド・ロウイング, フェイズシフト・ロウイングとも. [2010.4.13]
760	JADA (じゃだ)	JADA; Japan Anti Doping Agency	IN [スポーツ一般・ドーピング] →日本アンチ・ドーピング機構の略称. 通称的呼称. [2006. 7. 6]
761	シャックル	shackle	IN [用具・部品] ラダーステイにラダーワイヤーと留める際に使われるD字型(U字の本体とI字のピン)の部品. ファスナーとも(エンパツハ艇などでの呼)
762	ジャバラ	JPRA, Japan Para Rowing Association	[組織・略称] ⇒日本パラローイング協会. [2014-7-9]
763	ジャパンカップ(全日本軽量級選手権)	Japan Cup	JP [大会・固有名] 全日本軽量級選手権の冠称. 特にアジア諸国での軽量級種目の振興強化を計るため, 外国クルーの参加に門戸を開いていることから, この名を冠する. 1979年に第1回, 1990年(第12回)から女子種目を追加. 2004年(第26回)からジャパンカップの名称を加えた. [2007. 11. 25]
764	ジャパンレディースレガッタ	Japan Ladies Regatta	JP [大会・固有名] 日本女子ボート連盟が主催する女子選手の世界改善, 技術向上, 交流, 活性化を目的とした大会. 第1回は, 2007年11月, 愛知池で開催. [2007. 7. 29, 松江市民レガッタプログラム, p27]
765 *	シャープ・ターン	sharp turn	[動作] クイックターン.
766 ***	シャフト	shaft	IN [用具・オール] オールの柄, 棒状の部分. ルームとも言う.
767	シャフト・スティフネス	shaft stiffness	IN [用具・オール] シャフトの剛性のこと. ベンドと対応する言葉.
768 **	ジャブ・ロー	jab row	[動作・様式] スライドをつけず腕だけを使って小刻みにブレードを上下させ, 停止中の艇の方向維持・修正等をする動作モード. チャブロー, チャボリなどとも呼ばれる. どれが正統ということもなさそうである. (誰か教えて!), jab-rowを使ってワード検索しても, ネイティブの漕艇関係ではうまく出てこない… cf: チャブロー, チャボリ [2007. 3. 30]

no.	用語	English	解説
769 *	ジャーマン・リグ	German Rig	IN [用具・配置] 8+でパウフォアを逆サイドにしたりガーレイアウト。4番と5番は同じサイドになる。スィブ艇で左右舷の漕手が全く同じ能力として、左右の漕力バランスを正確にとるには、このようなレイアウトかあるいはイタリアンリグが必要
770	シャペロン	chaperon または chaperone)	IN [スポーツ一般・ドーピング] 通告・誘導係員, エスコート, 介添え人などと呼ばれることもある。ドーピング検査において、検査対象となった選手に対し、検査の実施を通告し、検査まで同伴する役員。(語源:若い女性が社交界にデビューする際に付き添う年上の女性を意味し、また生化学における専門用語:分子シャペロン, 蛋白質シャペロンにも用いられている。)[2006. 7. 6]
771 *	JARA (じやら)	Japan Amateur Rowing Association, Japan Rowing Association	IN [組織・協会] JARAはもともと、Japan Amateur Rowing Associationで、(社)日本漕艇協会の略称で、ジャラと読まれていた。日本ボート協会と改称された際、英語表記は、Japan Rowing Associationとなったが、JRAの略称がすでに日本競馬協会として世間に広く知れ渡っていたため、略称は現在でもJARAである。Japan Rowing Associationの略というところだろうか。
772	シャンク	shank	IN [オール・部分] シャフトのうち、アウトボード部分(ブレードネックからパトンまで)。これに対してルーム(loom)は、インボード、またはハンドル部分を呼んだようだ [Rowing and Sculling, 1904, 2014-7-9]
773	“シャント”	“Shunt”	IN [戦術] 接戦の展開で、終盤に導入されることがある。6本程度のハイレイトの漕ぎ。数シート分前に出ることができるとは限らないがそればかりの選択であり、多くの場合は、他に打つ手をもう使い果たしての、悪あがきの最後の手段にすぎない。フラッターとも言う。[Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
774	シャント, (肺内シャント)	shunt	IN [医学, 循環器] 静脈混合。肺泡で、混合静脈血が十分ガス交換されず、そのまま左心系に流入すること。原因として、解剖学的シャント(生理的)、心内シャント、無気肺(溺水で水で満たされた状態もこれに含まれる?)、肺炎などがある。
775	ジャンニ・ポストイリオーネ	Gianni Postiglione	IN [人名・コーチ] イタリア人のプロコーチ。日本ボート協会が北京五輪のメダル獲得を目標に招聘。(→2008年)日本ボート協会・テクニカルディレクター
776	ジャンプト・シート	jumped seat	IN [動作・失敗] ロウイング中に漕手がシートから落ちてしまうこと。(Coxswain's Locker/www.coxing.comより)これを防ぐには、正しいロウイングテクニックや動作イメージとともに、シートやロウイング・パンツの表面の摩擦係数を高める工夫が必要である。
777	シャンパン・ナイツ	Champagne nights	[練習・慣習] 練習が低迷しているときの雨の日などに気分転換に遊ぶ(遊ばせる)こと。古典的な言い方。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]
778	ジャンプト・スライド	jumped slide	IN [動作・失敗] ロウイング中にシートがスライド(レール)から外れてしまうこと。(Coxswain's Locker/www.coxing.comより)脱線。従来のシート・レール構造では、シートの脱線は(特に未熟なクルーでは)比較的高い頻度で発生し、競漕中のハブニングとして注意しなければならなかったが、現在のシート・レール構造では、取り扱いさえ適切で正しく整備されていれば、まず発生しなくなった。
779	周航艇 (しゅうこうてい)	Shuko-tei	JP [艇・艇種] 琵琶湖周航のために京大濃青会が発注し桑野造船が製作した6人漕ぎの遠漕用艇。[2017-10-30]
780	縦通材 (じゅうつうざい)	stringer	IN [用具・部分] 艇を縦に通る骨組み。縦梁とも。航空機のフレーム構造などでは、主縦通材をロンジェロン(longeron)、小縦通材をストリンガーというが、競漕艇などの船艇では、船底の中心軸を通るものを竜骨(キール)と呼び、シアラインを通るものをストリンガーと呼ぶ。
781	シュガラー	sugarer	IN [漕手・状態] 古典的な言い方。漕いでいるように見せながら手を抜いている漕手。[Rowing and Sculling, 1904 2014-7-9]
782	シュガリング	sugaring	IN [漕技・状態] 古典的な言い方。強く漕いでいるように見せながら、手を抜いている状態。[Rowing and Sculling, 1904 2014-7-9]
783 **	主審 (しゅしん)	(chief) referee	[競漕] レースの進行を監視し、レースの成立を宣言する中心的審判。
784 ***	出漕 (しゅつそう)	entry	[競漕] レースに参加(出場)すること。例:「レース番号20に出漕するくーを照会します…」
785	出艇 (しゅつてい)	launching	[行動] ボートを水上に出すこと。例:「Aクルーは9時に出艇した。」レースに出場すること(出漕)の意味で用いられることもある。例:「このレースには4艇が出艇(出漕)している。」
786	シュトレッケ	strecke	[施設] コース。(ドイツ語)
787 **	ジュニア	junior, Jr.	IN [大会・種目] 少年。その年の年末までに19才に達しない選手。
788	ジュニア・オリンピックカップ	Junior Olympic Cup	JP [大会・固有名] 2003年から始まった大会。=全日本ジュニア選手権大会。世界ジュニア選手権やアジア・ジュニア選手権の予選として行われる選手権。6月に熊本県・斑蛇口湖で開催。2000m。
789	ジュニア競漕規定 (ーきょうそうきてい)	Race Code for Juniors (by JARA)	[競漕] 従来、日本漕艇協会競漕規則の付則としてあった。10条のジュニアの競漕に関する規定。日本ボート協会の競漕規則改訂で、競漕規則本則などに吸収されたため、今はない。
790	しゅんい(順義)オリンピック水上公園	Syunyi Olympic Rowing-Canoeing Park	IN 順義(または簡易体では「順义」)奥林匹克水上公園。(Shūnyì Àolínpǐ kè Shuǐ shàng Gōngyuán) 2008年北京五輪のために作られた人工コース。N40° 10' 28"・E116° 41' 13"。[2009. 4. 30]
791	順位決定戦 (じゅんいけつていせん)	petite final	IN [大会・一般] 順位を決定するためのレース。
792 **	順風 (じゅんぷう)	fair wind, downwind, tail wind	[環境・気象] 進行方向に一致した風。
793 **	順流 (じゅんりゅう)	downflow, fair current, following current	[水域・環境・水流] 水の流れが、艇の進行方向と一致している状況。[2015.4.30]
794	ショアサイド	shoreside	IN [用具・配置] 発艇場などにおいて、艇が岸に平行にあるとき、その陸側と水側(沖側)に分かれて漕手がいる場合などの、陸側のこと。その側にいる漕手のこと。cf: ウォーターサイド
795	上級コーチ, 公認	Senior Coach, Official	JP [資格] 公認スポーツ指導者の認定制度の1カテゴリー。従来の公認A級とB級が統合され、2005年4月から、「上級コーチ」のカテゴリーとなった。
796	上訴	appeal	IN [競漕・FISA] →アピール。[2017-10-30]
797 **	上体 (じょうたい)	upper body	[動作・部分] 狭義としては体幹の特に上の部分。腰部を含まない。ただしボディ(体幹部)全体をさすことも多い(脚, 上体, 腕の3区分のひとつとして)。
798 **	上体漕ぎ (じょうたいこぎ)	rowing without slide	[練習] 部分漕の一つ。スライドをつけずに、上体のスウィングだけで漕ぐ技術漕。

no.	用語	English	解説
799 **	小艇 (しょうてい)	small boat	IN [用具・艇種] 1×ないし2人漕ぎ艇。または、エイト以外の全ての艇(フォアを含む)。フォアを含んでいるか否かは、話者・記述の文脈による。[2015.7.8]
800 ***	乗艇 (じょうてい)	outing	IN [練習・一般] 艇に乗ること。艇に乗って競漕のために練習すること。
801	上流 (じょうりゅう)	upstream	[環境・水象] 流れの上流側。
802 ***	除外 (じょがい)	hors course	[競漕] そのレースの最下位とする措置。タイムは記録されない。
803	女子競漕規定 (じょしきょうそうきてい)	Race Code for Women (by JARA)	[競漕] 女子の競漕に関する規定。全5条。日本漕艇協会競漕規則の付則として5条で構成されていたが、日本ボート協会の1998年の競漕規則改訂で、競漕規則本則などに吸収された。
804	ショックス・ボックス	Shox-Box	IN [用具・商標] ローイングマシーン(C2インドアローワーシリーズ)の後部脚の下に置く緩衝装置。ファイナル動作における上下方向の強い荷重が陸上のマシンでは吸収されない点に着目し、上下方向の動きを緩衝するスプリング(とダンパ)を仕込んだもの。故障防止などの効果をうたい文句とする。Blackstone Automation, LLC 製。[2010.1.20, Rowing News 2010.2月号]
805	ショルダー	shoulder	IN [用具・部分] ガンネルとキールを接続する補強部材。ニーと同義。[Wikipedia/2006. 7. 7]
806	ショルダー・キャッチ	shoulder catch	[動作] 英国のオーソドックス漕法の開祖、レーマン(Leaman)、ヘイグ・トーマスらによって「漕法」としてはじめて体系化された英国オーソドックス漕法の中で記述されている。「正しい姿勢で、腕の先ではなく肩で水をつかむ」という技術概念。あるいは、肩を後方に飛ばす動作で水をつかむという技術概念。いずれにしても、この動作は、固定席時代の動作イメージを引きずったもので、現代のスライディングシートのローイング・テクニックの中では、「ショルダー」の過度の強調はむしろ欠陥的で、別な言い方をすれば、むしろ「足で」つかむべき、という
807	ショルダー・リフト	shoulder lift	[動作] キャッチからドライブ前半に発生し得る、肩の上方向への運動。
808	シーラント	sealant	IN [用具・素材] 水・空気などが漏れないように密閉・密封(シール, seal)するための充填剤。コーキング剤などともいう。シリコン・シーラントなど。
809	シリコン・オフ	Silicon-off	IN [用具・素材] 塗装前に表面のシリコンや油分などを落とすための溶剤。(商標)。通常の塗料の中に含まれる溶剤(シンナー)ほど強烈でなく、下塗りした下地や塗膜を犯さないように配慮されている。
810 ***	尻逃げ (しりにげ)	shooting the tail, bucking, bum shoving, slide shoving	[動作・欠陥] ドライブ中、レグドライブに上体が保持できず、肩の後方移動よりシートの後方移動が早い不良状態。バム・ショヴィング [Know the Game/Rowing p. 26, 2007. 12. 23] スライド・ショヴィング [月刊漕艇No.149(1978. 1)p6/ 2009.6.25]
811	シーリング	sealing	IN [用具・工程] 水・空気などが漏れないように密閉・密封(シール, seal)すること。密閉のために用いる充填剤は、シーラント(sealant)や、コーキング材などという。
812	Cリング (シー・りんぐ)	C-ring, snap ring	IN [用具・部品] シートのベアリングの抜け止めなどに用いられているC型止め輪。広義には、eリングなどととも、スナップリングと言う。[2016-12-15]
813 *	シル	sill	[用具] 弓などのオールロックの保持部品を取り付けられるリガーの台座部分。
814 **	シル	sill (of the oarlock)	IN [用具] オールロックの部分のうち、底の水平部分。[Rowing and Sculling,1904, 2014-7-9]
815	シルケン・ローマン	Silken Laumann	IN [人名・スカラー] カナダのトップスカラー。1992年、ドイツのレガッタでの練習中、衝突事故で大腿部の重症、骨折。10日おきの5度の手術を経て、事故から10週間後のバルセロナ五輪でF1×で銅メダル獲得。1996年アトランタ五輪で銀メダル。[2009.6.16]
816	シルバー・コーチ	silver coach	IN,GE [資格] 英国のコーチの資格認定の一つ。
817	白ブッシュ	white bush/insert	[部品, スラング] コンセプトのオールロックのブッシュのうち、内径が1/2インチ(12.7mm)のもの。青:13mm 黒:9/16(14.3mm) [2018-5-15]
818	Cワッシャー、C型ハイトワッシャー	C washer, C height washer	IN [用具・部品] ワーク・ハイトの調節のために、オールロックの上下にはさむプラスチック・スプーサ(ナイロン・ワッシャー)は、通常閉じたリング状(ブレーンワッシャー)だが、これをC型として、オールロックをピンから抜かなくても着脱できるようにしたワッシャー。厚さは3mm, 6mmなど。[J2, 桑野ウェブサイトより]
819	SEAN(シーン)	SEAN	IN [ソフトウェア・商品名] 「Session Analysis」に由来する略語で、ローイング・マシン「ロウパーフェクト」に附属するPC用ソフトウェアの上級バージョン。RPW (Rowperfect for Windows)は、SEANの簡易版である。両者は完全互換。[2007. 4. 15] (cf. www.rowware.com)
820	真空成形法 (しんくうせいけいほう)	vaccum forming, vacuum molding	IN [用具・造船工法] サンドイッチ構造のハルを製造するときなどに用いる工法。雌型に置かれたアウトースキン、コア材、インナースキンの接着の際、型にフィルムをかぶせてその内部を吸引・減圧し、大気圧によって積層構造を均質に加圧して成形する方法。このとき、繊維・樹脂などには、プリプレグ材がよく用いられ
821	シングル・アクション・シート	single-action seat	IN [用具・部分] シートのスライド構造として、ベアリングの入ったシャフトをシート側に固定するタイプ。(従来のダブルアクションに比べて)機構は複雑だが脱線などのトラブルが少なく、現在主流となりつつある。[08, 09, 20]
822 ***	シングル・スカル	single scull	IN [用具・艇種] 一人乗り艇。エイトを100としての速度は約80。全長約8m。艇の重量(規定)は14kg以上。
823	シンコペーティッド・ロウイング	syncopated drowing	IN [漕艇技術・開発] 漕手が同一位相で動きを繰り返す一般的なロウイング(=シンクロナイズド・ロウイング)に対し、位相をずらして漕ぎ、艇速変動を抑制する漕艇技術。実際に、1929年にはエイトで実験されたりしている。フェイスシフト・ロウイング、ジャズ・ロウイングとも。[2010.4.13]
824	浸水表面積	Wetted Surface Area	IN [艇設計, 流体力学] 濡れ面積とも。喫水線より下の水に接しているハルの表面積。大きいほど、水に対する表面抵抗(摩擦抵抗)が大きくなる。[新版カヤック工房, p16, 2020-6-4]
825	シンスカ	Sing-scu..	Jp [用具・艇種] シングルスカルの略称、くだけた言い方。[2016.12.15]
826	新日本産業(株) (しんにっぽんさんぎょう)	Shin N. Sangyo	JP,T [会社・オール他] 1980年代にロウイングエルゴメータ、アルミシャフトオールなどを販売した。
827	審判員 (しんぱんいん)	jury, referee	IN [大会・一般] 審判長、主審、発艇員、線審、監視員で構成する。
828	審判員手帳 (しんぱんいんてちょう)		[大会・審判用具] 公認審判員に交付される手帳。競漕会では必携。審判業務に従事したことを記録、認証されるシステムになっている。
829	審判員バッジ		[大会・装備] 「審判員の心得と号令・動作」に記述され、大会時に審判員が必携しなければならないものの一つ。
830	審判長 (しんぱんちょう)	chief referee	IN [大会] 審判団の代表責任者。

no.	用語	English	解説
831	審判員の心得と号令・動作 (しんばんいんのころえとごうれい・どうさしゅう)		JP [図書、規定] 日本ボート協会・審判委員会編の審判の心得、号令・動作の規定、またはそれを記述した小冊子。初版が昭和53年に制定・発行依頼、部分・全面改訂・補筆を繰り返して、審判の必修として審判業務の規格化に使われてきた。2006年現在の最新版は、2006年2月版。「～動作集」と呼ばれることもある(当該書p28)
832	(公認)審判員の服装規定		[審判・服装規定] 公認審判員規定の第14条とその附則で、審判員の服装が定められている。標準的には、「上衣が紺(ネイビーブルー)、ズボンが鼠(グレー)のプレザー、制帽、制式ネクタイを着用する。ただし、国体や、審判委員会(審判長)が、別の規定を用いることも認められている。
833	審判艇 (しんばんてい)	referee launch(es)	IN [大会・装備] 審判が乗りレースを監理するモーターボート。
834	シンブル	thimble	IN [用具・部品] ケーブル(ワイヤー、ロープ)の索端のループの内側にはめる損耗防止の外形:涙滴形、断面:U字型の保護部品。シンブルの一般的な意味は、裁縫道具の指抜き。[2015.7.8]
835	シンメトリカル・フォーム	Symmetrical form	IN [艇設計・要素] 船体の平面形状で、最大幅が艇の前後中心よりバウよりにある船型をフィッシュフォーム、ほぼ中心にあって前後がほぼ対称な船型をシンメトリカル・フォーム、スターンよりある船型を「スウェード・フォーム」という。[新版カヤック工房, p18, 2020-6-4]
836 **	進路妨害 (しんろぼうがい)		[競漕・違反] 他のレーンに侵入し、他艇の進行を妨げること。
す 837 *	水圧中心 (すいあつちゅうしん)	center of press.	[用具・オール] ドライブ中にブレードにかかる水圧の中心。
838	水準器 (すいじゅんき)	spirit level	IN [用具・計測機器] 水平を計測する汎用の計器。スピリット・レベル。ロウイングではリギングに使用。液(アルコール類)を封入した気泡式のものを目指す。spiritはアルコールに由来。
839 ***	水中 (すいちゅう)	drive (phase), stroke (phase)	[動作] ブレードが水中にあり、水を押ししている状態。
840 **	水中フェザー (すいちゅうふえざー)	feather too early	[動作・欠陥] ブレードが水から離れる前にフェザーを開始すること。
841 ***	スイープ・オール	sweep oar	IN [用具・オール] 1本を、両手でもって漕ぐタイプのオール。スカルオールに対する言葉。
842	スイープ・ボート	sweep boat	IN [用具・艇種] スイープオールを使用するタイプのボート。
843	スイーベル	swivel	IN [用具・部分] オールロック。特に回転式の受け座に対する名称で、古いタイプのオールロックに限定的に用いることもある。
844	水路 (すいろ)	water way, watercourse, water route	IN [競漕・水域、係員] 一般には、水域において漕いで通行できるエリアのこと。特に大会では、発艇桟橋を出てから練習・回漕し、コースを経て着岸するまでの一連の活動を行う区域とその管理、管理をする役員のことを指す。例:(監督主催会議で)「次に、水路から説明を行います(この場合の「水路から」は、「水路を(管理する役員)から」の意味であり、コンビニの「千円からお預かりします」と異なり、誤用ではない。
845	スウィフト・レーシング	Swift Racing	IN [会社・ブランド] スウィフト・インターナショナルのボート・ブランド。(有)J2のボート・ブランドのひとつ。中国の造船会社、富春江が製造。2005年からリリース。[2015-7-28]
846	スウィングュレーター	Swingulator R	IN [陸上トレーニング機器、商標] 米国バーモント州のローイング・イノベーションズ社が2011年にリリースした、ロウイングのハンドルの円弧運動を再現したトレーニングマシン。負荷機構は、C2のエルゴ(インドアローワーモデルD)の前面ユニットを装着し、ハンドルからのリンクを、擬似オールのアウトボード側に特別なラインで接続する。[2016-5-25]
847	スウィング	swing	IN [動作] 上体の前傾から後傾に至る動作。また広義には、前後方向の動作として前傾動作も含むことがある。
848	スウィング	swing	IN [動作] 漕手全員の動作が完全に一致し、艇速変動も最小限に抑えられてチェックすることなく艇が進んでいる理想的な状態のこと。そのときに感じられる表現しがたい感触。(Coxswain's Locker/www.coxing.com, Rowing Canada Aviron/Glossary より) [2007.9.17]
849	スウィング・ウェイト(オールの)	swing weight	IN [用具・構築] オールのスウィング(主には水平方向の回転動作)における、振り回しの重さ。慣性モーメント。インボードの慣性モーメント;回転中心(ほぼピボット;カラーのフェイス)からの距離×インボードの重心と、アウトボードの慣性モーメント;回転中心×アウトボードの重心の合計。
850	スウェイド・フォーム	swayed form	IN [艇設計・要素] 船体の平面形状で、最大幅が艇の前後中心よりバウよりにある船型をフィッシュフォーム、ほぼ中心にあって前後がほぼ対称な船型をシンメトリカル・フォーム、スターンよりある船型を「スウェード・フォーム」という。[新版カヤック工房, p18, 2020-6-4]
851	スウェイング	swaying	IN [用具・挙動] 艇の動揺の6成分(回転3軸、平行運動3方向)のうち、艇が左右方向に平行に揺れ動くこと。波による揺れなどで生じる。[2015-7-28]
852	スウォート	thwart	IN [用具・部分] 艇内の横断方向に渡した座席。カッターボートの座席などの呼びかたで用いる。[2017-2-21]
853	スカイ	sky	IN [動作・欠陥] フォワード終末で、ブレードが空中に高く上がる不良状態。フライアップ。ハングと同義。
854	スカッパー	scupper	IN [用具・部品] 排水口の意味。デッキや船底(生簧、いけす)に取り付けられた水抜き栓。生簧の水抜き栓は、フィッシングボートの生簧の水の交換のために設けられている。転じて競漕艇では、フィックスやナックル艇の船底の水抜き栓(→キングストーン)をスカッパーと呼ぶ場合がある。また、デッキからの波や雨の排水のための排水栓もスカッパーと呼ぶことから、デッキのウォータープラグ、インスペクション・カバー(ノポート)などもスカッパーと呼ぶケースがある。(これは、本来の意味と乖離するので使わない方が良いと思われる。[2015-7-28])
855	スカーフ(ジョイント)	scarf (- joint)	IN [造船、補修] 板や棒材を接合する際に、斜めに接合面を整形し、接合強度を高める接合法。一般に、素材の厚さの8倍以上を目安とする。関連用語:ベベル(⇒バット・ジョイント;端と端をつきあわせ裏板を当てて接合する工法。強度の不連続、重量増、曲面でのフラットスポットの発生リスクなどのためやむを得ない場合に限定的にしか用いない)。「新版カヤック工房」舵社, p. 80)
856 ***	スカルー	sculler	IN [一般] スカルを漕ぐ人。

no.	用語	English		解説
857	スカラーズ・キャッチ	sculler's catch	IN	[動作] 非常に速い動作でキャッチすること。特にスイブ艇で、そのような動作を表現するときに用いられるようである。(Coxswain's Locker/ www. coxing. com より)
858 ***	スカリング	sculling	IN	[動作・一般] スカルを漕ぐこと。これに対しスイブを漕ぐことを、狭義にロウイングという。
859 ***	スカル(オール)	scull	IN	[用具・オール] 1漕手が、両手に1本ずつ持つタイプのオール。
860 **	スカル(艇)	scull	IN	[用具・艇種] スカルオールを使用する艇。スイブ(艇)に対する呼称。
861	スカル・オール	scull oar	IN	[用具・オール] (一漕手が左右それぞれに持つ)スカルタイプのオール。スイブオールに対する呼称。
862	スカル・フロート	Scull Float	JP	[用具・バラ] ポンツーン。バラ種目のA1×などのリガーに装着される転覆防止のフロートの、桑野造船での商品名。(2007. 12. 23. 桑野造船ウェブサイト)
863	スキニー(・オール)	Skinny (shaft) oar	IN	[用具・オール] 小径シャフトのオールの通称、商品名。空気抵抗を低減するために細くしたもの。小径オールは桑野造船が早くからリリースしていたが、世界的に注目され使われ始めたのは、C2製の2012年のロンドン五輪から。その後2014年にクローカーから、2015年にウインテックからもリリースされた。
864	スキニアス・コース (スキニヤス～)	Schinias Rowing Center	IN	[施設・固有名] ギリシャのアテネ郊外の人工コース。季節風(メルテミ)の強風でコンディションが悪いことが多いので有名。2003年に世界ジュニア選手権、2004年にアテネ五輪開催。(N38° 08' 35" / E024° 00' 48")
865	スキフ	skiff	IN	[用具・艇種] 艇の種類。ほぼ「スカル」と同義。
866 **	スキン	skin	IN	[用具・部分] ハルの外板。外皮。
867 ***	スクウェア	square (blades)	IN	[動作] ブレードをフェザー状態から垂直に起こす動作。または垂直にした状態
868	スクウェア・シェイプ (ブレード)	square shape (blade)	IN	[用具・形状] ブレード形状のうち、先端が最大幅となるタイプの古典的な呼称。[Rowing and Sculling, 1904. 2014-7-9]
869 **	スクウェア・ターン	square turn		[動作] スクウェアにすること。スクウェア。
870 *	スクウェア・フィニッシュ	square finish		[動作] スクウェアの状態を保ってフィニッシュすること。
871	スクラッチド	Scratched	IN	[レース・記録の記述] 棄権。SCRと略記されることもある。Withdraw(W/D)と同義。[2016-11-1 New South Wales Rowing 他]
872	スクラッチ・レース	scratch race		[大会・種目] 通常の国際レースより短い競漕。1000mなど。
873	スクラッチング	scratching, scratch on, parallel row	(in)	[動作] パラレル・ロウとも。レースでスタートに着けた艇の方向維持の方法の一つで、バウ寄りの漕手のオール(ハンドル)を、一つ前(スターンより)の漕手が持ち、シャフトを艇にほぼ平行に近くして、艇を風上方向に動かす、艇の方向を維持する方法。[ARA Junior Rowing Leaders Junior Officials Handbook, http://www.curtinuniversityboatclub.org/faqs/rowing-terminology/, 2018-5-9]
874	スクリューイング	screwing	IN	[漕技・欠陥] 古典的な言い方。スイブロウイングで、上体が外(漕いでいる側と逆の側)に傾くこと。Slewingとか、Swinging outとも言う。アウトサイド・リーニング。[Rowing and Sculling, 1904. 2014-7-9]
875	スクワット	squat		[練習・陸トレ] ウェイトトレーニングの一種目。バーベルを肩に担ぎ、立った姿勢からしゃがみこみと立ち上がり方を反復する。
876	スケグ	skeg	IN	[用具・部分] 船体の外側・底部(中央)を縦に走る直進性やバランス保持を目的とした構造物。現代のシェル艇はみられないが、ナックルフォアの外キール(その特に後部)や、クリンカー艇のラダーに繋がるフィン形状の部分もスケグと呼ぶ。(同じものをキールと呼ぶこともあるが、キールは構造・強度の機能に、スケグは流体効果の機能に対応する。)フィンと同義で用いられることもある。
877	スコエンブロッド	Schoenbrod		[会社・造船] アメリカの造船会社。シェーンブラッド?
878	すじかい	strut		[用具・部分] ストラット。特にねじれを防ぐ斜め方向の梁。
879 *	頭上懸架標識板(ず じょうけんかひょうしき ばん)	lane mark		[施設] →レーン・マーク。cf: ランドマーク
880	スタティック・アンパイ ヤリング	static umpiring	IN	[競漕・審判] レースコースを複数に区分し、それぞれの区画を審判艇が待機して分担する審判の連携体制。造波の課題を解消するための体制。staticという語が何もしない・動かない審判という印象を与えたことから、「ゾーナル・アンパイヤリング」(zonal umpiring)に改称された。[2017-10-28]
881	スターティング・ゲート	starting gate	IN	[施設・発艇] 発艇棧橋と同義。(Rowing Canada Aviron ウェブサイト Glossaryより。) [2007. 9. 17]
882	スターティング・ドック	starting dock	IN	[施設・発艇] 発艇棧橋。発艇のために、艇を押さえるための棧橋。橋状の施設。≒スターティング・プラットフォーム
883	スターティング・プラ ットフォーム	starting platform	IN	[施設・発艇] 発艇棧橋。発艇のために、艇を押さえるための棧橋。橋状の施設。スターティング・ブリッジ、スターティングドックもほぼ同義。スターティング・プラットフォームのうち、特にステイクポートホルダー(ウオーターマン)がうつぶせになってスターンを持つために張り出した板の部分は、プランクなどと呼ばれる。
884	スターティング・ブリ ッジ	starting bridge	IN	[施設・発艇] 発艇棧橋。発艇のために、艇を押さえるための棧橋。橋状の施設。≒スターティング・プラットフォーム
885	スターティング・ポン ツーン	starting pontoon	IN	[施設・発艇] 発艇浮き船台。ステイクポートと同義。[ARA Junior Rowing Leaders Junior Officials Handbook, 2008. 3. 27]
886 *	スタート	start		[競漕] レースの開始。トップボールをそろえて、号令に従い一斉に漕ぎ出す。ヘッドレースなどでは、スタートラインを順次ランニングスタートで通過していく場合もある。
887	スタートコール	starting call		[競漕] スタートの号令。現在の統一号令は、海外・国内とも、「アテンション…ゴー」となった。スタートコールは、時代とともに改訂されてきた。国内では、「スタート用意…(レーンのロールコール)…用意…ロウ」から、「…ゴー」となり、国際レースで、フランス語の「エトウ・プレ?…パルテ!」や英語の「レディ?…ロウ!」から、「レディ?…ゴー!」を経て現在の「アテンション…」になった。スタートでどの号令を用いるかで、育った年代がわかる… [2012.3.10]
888 **	スタートスパート	start spurt, initial high stroke	IN	[競漕] スタート直後のスパート。ロウイングでは漕手が後方を向いて漕ぐため特にスタートで先頭に立ち、後続艇を視野に入れながら漕ぐことが心理的に有利で、逆だと不利になる傾向が強い。そのため運動生理的にはイーブンペースで漕ぐことが有利とされているが、スタートではできるだけ先行しようとする傾向が強くなって、スタートスパートを明確に実施する傾向が生まれる。[2012.3.12]
889	スタッピング	stabbing	(in)	[動作] 艇の方向修正のために刺すように短く漕ぐこと。ジャブロウ、チャブロウなど同義。「Small Stabbing Strokes」といったコマンドとして用いられる。[ARA Junior Rowing Leaders Junior Officials Handbook, 2008. 3. 27]

no.	用語	English	解説
890	スターボード、(スターボード)	starboard	IN [用具・一般] 右舷のこと。ノーマルリグではパウサイドが同義となる。昔の船の舵(ステアリング・オール)を取り付けた板(ステア・ボード, steering board)が、通常、右舷に取り付けられていたことに由来する。そして左舷に荷役の積み下ろし口があり、左舷を港につけていた。関連→ポート, port.
891	スターボード・リグ(ド)	starboard rigged	IN [用具・リギング] スイフ艇の漕手配置のひとつで、調整を右舷側に配置すること。いわゆるパウサイド調整。⇔ポート・リグ [Coxswain's Locker/www.coxing.com, Wikipedia/2006. 7. 7]
892	スターライン・ジャパン	StarLine Japan	[会社] ポート, リガー(ニープス), オール, エルゴなどの輸入代理店。神奈川県横浜市。
893	すだれ (簾)	"Sudare" (Drops like a curtain from the shaft)	JP [動作] シャフトが水中にある時やそれを抜くときの水のしたたり。シャフトが深く水中に潜り、その上昇中に、艇を減速させている(シャフトが艇の進行方向と同じ方向に進んでいる)時に発生する。 "Sudare" is traditional bamboo or reed made blind in Japan. Drops like a curtain from oar shaft looks like a "Sudare". It shows "too deep" blade.
894 **	スターン	stern	[用具] とも(舳)。艇尾。
895	スターン・アングル	stern angle	[用具・艀装] →スターン・キャンバス。ピッチ。(ピンの前傾角)
896	スターン・キャンバス	stern canvas	IN [用具・部分] 艇尾側のキャンバス。バックキャンバスともいう。
897 **	スタンダード(ブレード)	standard	[用具・オール] ブレード型の一つ。カッターやフィックスなどに用いられた細長い古典的なブレードタイプで、ニードルということもある。マコンブレードの時代に、一世代前の標準型という意味で用いられたが、ビッグブレードの登場以降は、マコンブレードをスタンダードと呼ぶことも見受けられる。[2009.5.2]
898	スタンダード・リグ	standard rig	[用具・配置] 通常のリガーレイアウト。ノーマルリグ。
899	スタンディング・スタート	standing start	IN [競漕・様式] 静止状態でスタートラインに並びスタートする様式。⇔ランニング・スタート, ローリングスタート [Know the Game/Rowing, p59, ARAボランティアヘルパーガイド, 2008. 6. 17]
900	スタンディング(・ドリル)	standing drill	[練習・技術練習] ワグル(リフト・アンド・ローウ)や「チャボリ」の応用で、空中でブレードを静止しバランスを維持すること。そのドリル。
901	スターン・チェック	stern check	IN [動作・欠陥] スターンの沈み込み挙動。ピッチングの一部分をなす。キャッチ前の上体の突っ込みすぎや、ドライブの遅れなどに起因する。
902	スタンプリー	Stämpfli	[会社・造艇] スイスの造艇会社。英国に移った。
903	スタンプリー・エクスプレス, スタンプリー-24	Stämpfli Express, Stämpfli 24	[用具・ボート・個室名] スタンプリー社による24人漕ぎスカル艇。6分割艇で、断面形状の共通化で、8人漕ぎスイフ, 16人漕ぎスカルとして組むこともできる。2001年の世界選手権(ルツェルン)でのトライアルでは、2000mの世界記録を出したが、その後、オランダの男子エイトが5分22秒を出した。[2016.2.4]
904	スターン・ピッチ	stern pitch	IN [用具・艀装] →(ピンの)前傾角。
905	スターン・ポスト	stern post	IN [用具・部分] 艇尾にとりつけられた舵のための支柱(艀金具)。および舳金具を支える内部材。スターンの端を構成する構造部材。[1904 Rowing and Sculling, 2014-7-9]
906	スターン・ワード	sternward	IN [用具・方向] 艇尾の方向へ。アフト(aft)とも。⇔パウワード
907	スターン・マウンテッド・ウィング・リガー	stern mounted wing rigger	IN [用具・部品] ストレッチャー付近からオールロックに伸びるウィングリガー。パックスティを付加することも珍しくない。⇔パウ・ウィング・リガー[2010.3.23, Empacherウェブサイト他]
908	スチール座金	seat metal	[用具・部品] シートメタル。スライディングシートのローラーの転がりを受ける金属板の部分。最近はずべてプラスチック化されたりベアリング方式になってみられなくなった。
909	スチレン・モノマー	styrene, Ethenyl benzene	IN [用具・素材] 樹脂の粘度調整などに用いられる用材。不飽和ポリエステル樹脂に含まれる。
910 *	ステアズマン	steersman	IN 操舵漕手。なしフォアやなしペアでラダーを操作する漕手のこと。パウが整調が多い。
911	ステアリング・オール	steering oar	IN [用具・古式] 舵取りオール。サイドラダー。初期のバイキング艇やドラゴンボートなどに用いられるオール状のサイドラダー。スターボードの語源でもある(一般に右舷側に出ていることで、ステア・ボードがなまってスターボード)。
912	ステアリング・ケーブル	steering cable	IN [用具・部品] ラダーを操作するラインの部分。ラダーロープ, ラダーワイヤーと同義。[2015.7.8]
913	ステアリング・フィンガー	steering finger	IN [用具・部品] 操舵漕手のシューズの先端にとりつけて、ステアリングワイヤーを接続し、シューズの回転動作でワイヤーの左右の動きをするための部品。例、エンパッハーの部品呼称 [2016-8-17, エンパッハ]
914	ステアリング・フット	steering foot	IN [用具・部分] 操舵漕手(ステアズマン)の足(シューズ)のうち、操舵機構(トウ・エクステンション)が取り付けられ、操舵の操作を行うほうの足(シューズ)。
915 **	ステアリング・マーカー	sterring marker	[施設] 操舵標識。発艇線の後方に設置される、舵手無し艇の直進のための目印。
916	ステアリング・ワイヤー	steering wire	IN [用具・部品] ラダーを操作するラインの部分。ラダーロープ, ステアリング・ケーブルと同義。[2015.7.8]
917	ステイ・アングル	stay angle	[用具・部分] ガンネルと補強ビームの接合部を強化する金具。
918 **	ステイク・ボート	stake boat stakeboat stake-boat	IN [施設] レースコースの発艇用の施設で、固定されたボートのこと。ウォーターマンが乗り、スタートまで艇尾を押さえておく。ステイク(stake)とは、杭・棒のこと。日本では、ステッキボートと記述されることが多かった。
919	ステイクボート・パーソネル	stakeboat personnel(s)	IN ステイクボート・ホルダーと同義。ステイクボート要員というニュアンス。日本ではウォーターマン。(2007. 7. 1)
920	ステイクボート・ボーイ/ガール	stakeboat boy(s)/girl(s)	IN ステイクボート・ホルダーと同義。テニスの球拾いをするボール・ボーイ/ガールという言い方と同類。日本ではウォーターマン。(2007. 7. 1)
921	ステイク・ボート・ホルダー	stake boat holder, stakeboat holder	IN [大会・要員] ステイクボートに乗り、スタートまで艇を押さえておく要員。日本では、通常、ウォーターマンといわれることが多い。2015年から、「ボートホルダー」が正式名称となった [2015-12-25]
922	ステイク・レース, ステイク方式	stake race(s), stake format	IN [大会・様式] スタートとフィニッシュを同じラインとし、遠方の杭(ステイク)や係留船を回ってくる往復型のレース。初期の米国などで2艇の対戦でよく行われた方式。[Wikipedia, Rowing, 2008. 1. 25]
923	スティーブ(ン)・レドグレイブ	Steven Redgrave	IN [人名・スイフ漕手] 英国の偉大なスイフ漕手。糖尿病と戦いながら、シドニー五輪では5個目の金メダル。

no.	用語	English	解説
924	スティルウォーター	stillwater	[環境・水象] 静水。"still"は、副詞の「まだ」が一番に思い浮かぶが、「スチール写真」のスティールでもあり、中心的な意味は「静止している」である。「しんとした、音ない、黙った、静止した、じっとした、流れのない、無風の、凪いだ、なだめる、和らげる、止める、黙らせる」といった意味である。ロウイングでは、stillwaterが静水、stillwater launchが静水向けのモーターボート(審判艇に使われるカタマラン)などを指す。[2017-1-27]
925	スティル・ウォーター・デザイン	Still Water Design Inc.	IN [造船・会社名] 米国マサチューセッツ州ボストンのメーカー。ロウイングタンク、練習用バージ(カタマラン型)などを製作している。
926	ステーションナリー	stationary	IN [施設] スタイクボートやスターティング・プラットフォーム(発艇棧橋)などの固定されたスター施設。ステーションナリーとは固定されたものといった意味。[Know the Game/Rowing p57, ARAボランティアヘルパーガイド, 他 2008. 7.]
927	ステーション	station	IN [艇設計・図面] ボートの設計図面の中で、「オフセット表」を作成する特定の横断面のこと。「新版カヤック工房, p23, 2020-6-4]
928 ***	ステディ・ステート漕	steady state	IN [練習・乗艇] 定常漕。トレーニングメニューのひとつで、定常状態を維持する。
929	ステッキ・ボート	stake boat	NG [施設・発艇] →スタイクボート。(スタイク・ボート(stake boat)が正しい。ステッキ(stick, 棒・杖)の意味ではない。
930 *	ステップ・プレート	step plate	[用具・部分] 艇に乗降するときのための、レールの間に取り付けられた踏み板。艇の構造によっては、省略されている。一般に体重をかけられるのは、レールの限られた部分だけである。
931	ステート・ルーム	state room	IN [用具・部分] →コックピット。両舷のガンネルに挟まれた空間。[Story of World Rowing, Wikipedia/2006. 7. 7]
932 *	ステム	stem	[用具・部分] 艇首(パウ)。船首材。キール(船底竜骨)に連続する艇首付近の曲がった反り上がりの部分、水面上に出る部分 パウポスト。⇔スターンポスト [1904 Rowing and Sculling, 2014.7.9]
933	ステム	stem	IN [用具・部分] →ラダー・ステム。(Coxswain's Locker/www. coxing. comより)
934	ステム・バンド	stem band	[用具・部分] 古い木造艇にみられる、ステム保護のための帯状金具。
935	ストウル	stool	[用具・周辺装備] 艇をおく台。船台。ウマ。
936	ストップ、ストッパー	stop, stopper	IN [用具・部品] 古典的なロウロック(2本のピンが立ったタイプ)のロウイング荷重を受けるピンをソール(ピン)、もう一本の(スターン側)のピンをストップ(またはストッパー)と言っていた。[Rowing and Sculling, 1904, 2014-7-9]
937 **	ストップ・ロウ	"Hold her!", "Check it!", "Check the boat!", "Check!"	[動作] 艇の進行を止めること。ブレードを水中でスクウェアにすること。艇を止めること。国内では、様々な言い方がされている。ホールド(ハー)、ブレーキ、テイトメ(テイドメ、艇止め)、テトメ、テドメ、ネガなど。[2018-9-25] ※JARAテキスト2007・エントリーレベルでは「ブレーキ」を提唱(予定) [2021-1-
938	ストーム・カラー・コード・ワーニング	Storm Colour Code Warning	CAN [安全・気象] CARA(カナダ漕艇協会)のウェザー・プロトコル(2005-3-22)に記述の、レガッタ(あるいは乗艇練習)のための気象状況(特に嵐に対するもの)の記述コード。全く問題のないコード・グリーンから、嵐がコースに非常に近く来ており最寄の可能な退避場所への避難を警告するコード・レッドまで、状況を6種類に区分し、手短かに得た発表ができるようにしたものである。→ウェザー・システム・コード、コードイエロー～コード・レッド [Weather Protocol/ CARA, 2005-03-22] (2007. 6. 15)
939 *	ストラット	strut, diagonal frame	[用具・部分] すじかい。艇内部の骨組みのひとつで、特に艇の捻れ剛性を高めるたすきがけに張られた骨組み。
940 **	ストラップ	strap	[用具・部分] ストレッチャーにとりつけられた足を留めるベルト。シューズタイプのストレッチャーでは省略される。
941	ストラップ・ドリル	Strap Drill	(US) [技術練習] エルゴのシートとハンドルをストラップで結んで、ボディスウィングのコンビネーションなどを習得するヒントを得る方法。[Rowing News 2009.2より, 2009.5.25]
942	ストリンガー	stringer	[用具・部分] 縦通材。梁受け材。艇の伸長方向に平行に貫通し、梁(レールやデッキパネルを乗せる)横方向の骨組みを支える骨組み。関連:シアークランプ [2007. 9. 5]
943	ストリング	string	[用具・部品] 古典的な2本のピンが立ち上がったロウロックにおいて、オールがはずれないようにピンの上端をつなぐ紐の部分。金属の棒を渡す場合もある。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]
944 ***	ストレッチャー	stretcher	IN [用具・部分] (1)足を固定する部品。ストレッチャーボードとシューズなどで構成される装置全体をさす。
945	ストレッチャー	stretcher	IN [用具・周辺装備] (2)折りたたみ式のウマ。ポート・スリング
946	ストレッチャー受け材	angle	[用具・部分] アングル。
947 *	ストレッチャー高さ	heel height	[用具・リギング] →ストレッチャー・ハイト
948 *	ストレッチャー・スライ	stretcher slide	[用具・艇種] →スライディングリガー。
949	ストレッチャー・チャネ	stretcher channel	[用具] ストレッチャーをとりつける金具。ストレッチャー・トラックと同義。
950	ストレッチャー・トラック	stretcher track	[用具・部品] ストレッチャーの前後調整用金具。
951 *	ストレッチャー・バー	stretcher bar	[用具・部分] ストレッチャー・ボードを支える横棒の部分。
952	ストレッチャー・ハイト	heel height	IN [用具・リギング] リギングの調整要素のひとつ。ストレッチャー(シューズ)の高さで、一般にかかと部(内面)の高さを、シート上面最低部を基準として計測する。
953	ストレッチャー・ボード	stretcher board	IN [用具・部分] (フット・)ストレッチャーを構成する部品のうち、本体となる板状の部分。ストレッチャーバーなどで船体に固定され、シューズを取り付ける。
954	ストレッチャー横棒	stretcher bar	[用具・部品] →ストレッチャーバー。
955	ストレート・フォア	straight four	IN [用具・艇種] なしフォア。ストレート(straight)は、まっすぐな、純粋な、生のといった意味であるが、「何も足さない、ただのフォア」と理解したら良いだろう。参考:「ウイスキーをストレートで」。ということは舵手は「お水」か?(笑)(頻出) [2007. 1. 30]
956	ストレート・ペア	straight pair	IN [用具・艇種] なしペア。ストレートについては、ストレート・フォアの項を参照。(頻出) [2007. 1. 30]

no.	用語	English	解説
957 *	ストレンジ, F. W.	F. W. Strange	JP [人名・コーチ] 1854-1889. 日本漕艇の黎明期における指導者。 ロンドン西部のチズィックに育ち、グローブ・パークRCで漕ぎ、ロンドン大学予科UCS(ユニバーシティ・カレッジ・スクール)を出て1875年来日、東京英語学校(後の東京大学予備門、一高)などで、ボート、クリケット他スポーツを指導した。 [ボート百年、月刊ローイングNo. 479(2008. 4/5)p29-33「日本にスポーツを広めた男」(高橋孝蔵) 2009. 1. 17]
958 *	ストローカージャパン	Stroke-oar Japan Corp.	IR [企業・ディーラー] 故・倉本哲次氏による漕艇用品の輸入販売会社。 1988-2011年。 山梨県川口湖町。 事業は2011年に閉業し、関連業務は、桑野造船に承継された。 倉本哲次: 法政二高OB, 1968-1973頃まで二高コーチ。 2011.12.7逝去。 [2012.3.2]
959 ***	ストローク	stroke	(1)ドライブ。 水中。 ロウイング動作の中で、ブレードが水中にあり水を押し艇を進めている状態。
960 ***	ストローク	stroke	(2)整調。 漕手のシートポジションの中で、最も艇尾よりの漕手。 クルー全体のロウイングのリズムをリードする。
961	ストローク・ウォッチ	stroke-watch	IN ストロークレイトを計測するためのストップウォッチ(Coxswain's Locker/www.coxing.comより)。 レイト計。 日本では、いわゆる「ピッチ計」と呼ばれてきたもの。
962	ストローク角 (…かく)	stroke angle	キャッチからフィニッシュまでのオールの水移動角度。 キャッチ角とフィニッシュ角の合計。
963	ストローク・コーチ	Stroke Coach(TM)	IN ニールセン・ケラーマン社製の計器。 タイム、レイト、ストローク数を計測する。
964	ストローク・サイクル	stroke cycle	漕動作の一循環。 サイクル。
965 ***	ストローク・サイド	stroke side	[用具・部分、漕手・配置] (1)整調の漕ぐ側。 ノーマルリグでは左舷。 (2)そのサイドを漕ぐ漕手。
966	ストローク・シックス	stroke six	[漕手・配置] エイトの漕手グループのうち、3番から整調までの6漕手。
967	ストローク・フォア	stroke four	[漕手・配置] エイトの漕手グループのうち、5番から整調までの4漕手。
968 **	ストローク・プレイ	stroke play	練習メニューの呼称のひとつ。 少しの全力漕と長めのライトワークの反復練習。
969 **	ストローク・ペア	stroke pair	エイトの7番・整調、あるいはフォアの3番・整調のペア。
970	ストロークマン	strokeman	IN 整調。 ストロークのポジションを漕ぐ漕手。
971	ストローク・メーター	stroke-meter	IN ストロークレイトを計測・表示する装置。 (商標)ストローク・コーチなどのこと。
972	ストローク・レイト	stroke rate	レイト。 単位はストローク/分, [strokes per minute], s/m, SPMなど。
973	ストローク・レンジス	stroke length	キャッチからフィニッシュまでのブレードチップの動きのうち、水平前後方向の移動成分(距離)。 ⇄ワーク・ディスタンス [2011.2.21]
974	ストローク・レンジ	stroke range	レンジ。
975	ストーン	stone	IN 古い重さの単位。 1stone=14lb(ポンド)=6.3504kg。 艇の重さを測る際、その排水量を記述する場合などに用いられていた。 現在では、SI単位系の統一で、一般に[kg]が用いられる。 (参考: Story of World Rowing) [2015.5.31]
976	スナップ・リング	snap ring	IN 軸や穴に差し込む「止め輪」の総称で、ローイングでは、スライディング・シートのベアリングホイールのベアリングの抜け止めに「Cリング」が使われている。 また、ダブルアクションのシートの軸の抜け止めに、「Eリング」が用いられている。 スナップリングは、これらの総称として、また特にCリングのこととして使われる。
977	スパイン	spine	[用具・オール・部分名称] ブレードの部分名称で、軸線上の膨らみ部分。 スパインとは「脊柱」などの意味がある。 強度の確保のほか、ブレードの上下方向の振動を抑制する働きがあるといわれるが、近年では流体力学的な悪影響があるとみて、スパインをなくしたブレードもある。 (なお、プラーチャなどではこれをスプラインと呼ぶ)[2015.4.30]
978 **	スパート	spurt	[競漕] コンスタント以上の(全力の)艇速・レイトで漕ぐこと。
979	スバナ	spanner	IN [一般・工具] →レンチ
980	スパニッシュ・シダー	Spanish cedar	[用具・素材] 木造艇に使用される木材のひとつ。 センダン科チャンチン属に属する南洋の落葉広葉樹だが、杉のような香りに由来しこの名前がある。 競漕艇では、スプルスと共に外板(スキン)に用いる。 [2008. 7. 18]
981 **	スパン	span	[用具・リギング] リギングの調整要素のひとつ。 両舷のオールロックの軸間距離。 特にスカルで計測。 スイブではスプレッドを計測。
982	スパン	span	[用具・リギング] 艇幅。 ビーム。 ガンネルの最大幅。
983	スピード・コーチ	Speed Coach	[用具・計器] NK(ニールセン・ケラーマン社)製の艇載計器。 スピード、距離、タイム、レイトを計測する。他に、ストローク・コーチ(レイト、タイムの計測)などもあるが、2019年現在は、スピードコーチ(GPS)が主流。 [2019-112-13]
984 **	スピード・トレーニング	speed training	[練習] インターバル漕の一種。 コンスタント以上とコンスタントの半分の出力を交互に繰り返す。
985	スピード・ボス	Speed Boss	IN [用具・計器] 艇載用速度計のひとつ(商標)。 B&G Rowing製。 おそらく廃盤。 ※すでに使われなくなった用語、ネット検索でヒットしない用語も、古典を検索する場合に備えて、削除していません。 [2016.1.20]
986	スピード・レイル	Speed Rail (R)	IN [用具・商標] ハドソンが開発した「凸型断面」のレール。 2015年。 断面積を減らすことでの軽量化と、オーソドックスな「凹型断面」ではゴミがたまるのがたつき、またスケールがたまるのを防ぐ効果がある。 [2016.1.20]
987	スピリット・レベル	spirit level	IN 水準器。 "スピリット"の名は、アルコール式水準器に由来。(アルコール飲料をスピリッツという。) [2009.6.25]
988	スプライン	spline	[用具・オール・部分名称] プラーチャのウェブサイトに見られる呼称で、スパインのこと⇒ スパイン [2015.4.30]
989	スブラックレン, マイク	Mike Sprackren	IN [コーチ] 英国の著名なコーチ。 カナダ、米国でも指導。 1992年五輪でカナダ男子エイトを優勝に導く。 2001年にカナダのコーチングスタッフに再び加わり、2002-03年の世界選手権で男子エイトを優勝させ、2002年のFISAコーチ・オブ・ザ・イヤーを受賞。
990 ***	スプラッシュ	splash	[用具・挙動] 水の跳ね上がり、しぶき。 特にキャッチとフィニッシュでのスプラッシュを言う。 前後方向のスプラッシュは一般に不良状態の指標となる。
991 **	スプラッシュ・ボード	splash board	IN [用具・部分] ガンネルに続くパウデッキ上の波よけ。 ブレーク・ウォーター・ウォッシュボード。
992 *	スプラッシュ・ボード	splash board	[用具・部品] ラフウォーター時にリガーなどに取り付ける波よけ。 艇内への浸水を防ぐ効果をねらうが、風や波に煽られてかえって不利になることもある。
993 **	スプリント	sprint	IN [大会] スクラッチ。 基準的な競漕距離(2000m)に対して、より短い500m, 1000mなどの短距離競漕。

no.	用語	English	解説
994	スプール	spool	[用具・部品] 自動感知・膨張式ライフジャケットの水感知センサー部品名(商品固有の呼称) [2013.1.18]
995 *	スプルース, (スブルス)	spruce	IN [用具・素材] 木造船に使用される最も主要な木材のひとつ。マツ科。ペイトウヒ、ハリモミ、エズマツ、シトカスプルース等の総称として呼ぶこともある。白色から淡黄褐色で軽くて軟らか。木目はやや粗い。 [2008. 7. 18]
996	スプレッド	spread	IN [用具・部分] →リガー・スプレッド。スパンの意味で用いられることもある。 [Rowing and Sculling, 1904, 2014-7-9]
997	スプレッド・トウ	spread tow	IN [造船・素材] 開織(かいせん)。繊維の束を均質に薄く平らに延ばした織物、その技術。 [2016-10-19]
998	スプーン	spoon	[用具・オール] ブレード型のひとつ。円形に近いもの。
999	スプーン	spoon	[用具・オール・リギング] ブレードネックとチップを結ぶ直線からのブレード面の深さ。(参照:カップ)
1000	スプーン	spoon	IN [用具・オール・部分] ブレードの凹面形状の側。水を受ける表(おもて)側。ただ単に、ブレードと同義で用いられることもある。
1001	スペーサー	spacer	[用具・部品] ワークハイトを調整するために挟むワッシャーなど。リガーとガンネル、L板とリガーの間などに挟むものは、シムともいう。
1002 ***	スペーシング	spacing	IN フィニッシュから次のキャッチまでの間(ラン)に進んだ距離の目安のひとつ。ノーマルリグのエイトの例では、バウの漕ぎ跡(泡)と、次のキャッチの7番の漕ぎ跡の間隔。パドル・クリアランス。
1003	スベード・ブレード	spade blade	IN [用具・オール] 古いブレード型のひとつ。最大幅がブレード中央よりネック側に近いタイプ。マコンもスベードと呼ばれているケースがある。この反対がデルタブレード。 [2011.5.14]
1004	隅田川 (すみだがわ)	Sumida River.	JP [地名・水域] 東京都北区、岩淵水門から東京湾までの延長23.5kmの都市河川。1883(M16)年、海軍天覧競漕大会が開催されたことから、特にテムズ川との対比も含め、日本の競漕発祥の地とされることもある(ただし、日本にロウイングが持ち込まれたのは、それより古い)。2016年、隅田川左岸・向島堤防/東武鉄橋上流60mに、同建設委員会によって建立された。向島は、かつて(戸田漕艇場が開設される前に)漕艇の中心地だったところである。
1005	スムーシー	Smoothie (R)	IN [用具・オール・商標] コンセプトⅡのデザインによるブレード型。狭義には、1997~2006年版の初期型。センターリッジをなくし横キャンバーはわずかである他、縦キャンバーをシャフトから10°の方向に沿わせた。
1006	スムーシー2	Smoothie 2 (R)	IN [用具・オール・商標] コンセプト2のデザインによるブレード型。スムーシー(初期型; 1997~2006年)から、断面形状(横キャンバー)などを変更し2006年末にリリース。 [Concept2 ウェブサイト, 2009.6.6]
1007	スライダー, オアテック	Slider, Oartec	IN [用具・周辺機器] オアテック社のロウイングマシン。2009年登場、2010年リリース。 [2009.10.11]
1008 **	スライディング・シート	sliding seat	IN [用具・部品] シート。滑席。漕手の座る前後に可動する座席。
1009	スライディング・シート 艇	sliding seat boat	IN [用具・艇種] 滑席艇。現行の競漕艇はすべてこのタイプ。これより古いタイプの固定席はフィックスという。しかし古代ギリシャにはすでにスライディングストロークの技術があったらしい。(日経サイエンス, 1996-7)
1010 *	スライディング・リガー	sliding rigger	IN [用具・艇種] →可動リガー(艇)。
1011 ***	スライド	slide	IN [動作] シートの前後の動き。
1012	スライド	slides	IN [用具・部品] レール。シートを前後させるためのシートとレールの機構全体。
1013 **	スライド・アップ	slide up	[動作] スライドの前進(艇尾方向への動き)開始。
1014	スライド・トラック	slide track	IN [用具・部品] →スライド。レール。
1015	スライド・パン	slide pan	IN/T [用具・部品] スライディングシートのこと。古い言い方である。
1016	スライド・フォワード	slide forward	IN [動作] スライドの前進(艇尾方向への動き)動作。
1017	スライド・レール	slide rail	[用具・部品] →レール。
1018 *	スリー・クォーター	three quarters slide	IN [練習、動作] フルスライドの4分の3のスライドを使用したドリル。4分の3スライド。
1019	スリー・クォーター	three quarters	[練習] フルプレッシャー(全力漕)の4分の3の出力漕。
1020	スリー・クォーター	three quarters	[競漕] 競漕距離(2000m)の4分の3の距離。
1021	スリック・ブレード	Slick Blade (TR)	IN [用具・オール・固有名] クローカーのブレード型の一つ。リッジのない非対称ブレードで、コンセプト2社のスムーシーブレードに相当する。
1022 **	スリット	slit	[施設・装置] 発艇線や決勝線を見通す、鉛直方向に張った2本の糸による見通し器具。
1023 *	スリット・タイム	slit time	艇がスリット(見通し線)上を通過する際の所要時間。艇の全長をスリットタイムで割ることで、艇の瞬間艇速を知ることができる。ただし、力漕中は、計時精度と艇速変動の要素が含まれるために、精度には限界がある。目安として使うか、何度か測定して平均する。停止している艇では流速や風の影響を知る手がかりにもなる。また、艇が直進していれば、離れて少し斜めに向けた艇でも計測できる利点がある。 [2009. 6. 16]
1024 **	スリーブ	sleeve	IN [用具・部品] ピボットに使用されるプラスチック製の鞘。レザーともいい、昔は牛皮などで作られていた。
1025	スリング, (ボート・ス リング)	sling, (boat sling)	IN [用具・周辺機器] ウマ、船台。特にシート張りの吊り帯タイプのものを言う。
1026	スルーイング	slewing	IN [漕技・欠陥] 古典的な言い方。slue(回す, ねじる)より。スイプロウイングで、上体が外(漕いでいる側と逆の側)に傾くこと。Screwingとか、Swinging outとも言う。アウトサイド・リール。 [Rowing and Sculling, 1904, 2014-7-9]
1027	スルカバ	Sulkava	IN [地名、大会名] フィンランド、スルカバ地方。スルカバ地方で毎年7月に開催されるチャーチボートの世界最大の大会。14人漕ぎ以外に、1人漕ぎや2人漕ぎのレースもあり、距離も2~60kmとバラエティーに富む。60kmチャーチボートレースの優勝タイムは約4時間、平均速度は15km/h(≒4分/1km)と、結構速
1028	スロー・インターバル	slow interval	[練習] 低出力のインターバル漕。
1029	スロー・バッグ	throw bag, throw line	IN [用具・安全] 救助用に15m程度のロープが入ったバッグ。岸や救助艇から遭難者に向かって投げるためのもの。
1030	スロー・ライン	throw line, throw bag,	IN [用具・安全] スローバッグとほぼ同義。ただし、投げるロープを指しており、バッグに入っている必然性はない。
1031	スワート	thwart	IN [用具・部品] 古典的な固定席艇に、横渡しにとりつけられた座席部分。 [Rowing and Sculling, 1904 2014-7-9]

no.	用語	English	解説
1032	スワート・ディスタンス, スワート・シップ・ディ スワンブ	thwart distance, thwart ship distance	IN [用具・リギング] スプレッドまたはスパンのこと。 TD。 [月刊漕艇No.149(1978. 1) 2009.6.25]
1033	スワンブ	swamp, swamping	IN [一般・安全] 波、漏れ、雨などで艇内が水で満たされてしまうこと。 沈。 ただし、必ずしも転覆を意味しない。 転覆を表現するときは、フリックアウト、ターンオーバー、ロールオーバーなどが使われる。
せ 1034 ***	静水 (せいすい)	stillwater	[環境・水象] 流れがない状態の水、水面、水域。
1035 ***	整調 (せいちょう)	stroke oar	IN [漕手] ストローク。 最も艇尾よりの漕手。
1036 ***	世界漕艇選手権 (せ かいせんしゅけん)	World Rowing Championships	IN [大会] 世界各地を巡回開催する国際的な漕艇選手権。 FISA主催。
1037	世界漕艇U23選手権	World Rowing Under 23 Championships	IN [大会] 23歳未満を参加資格とする世界選手権。 FISA主催。
1038	隻 (せき)	"seki"; one of counting units for relatively big boat (ship) in Japanese.	[一般] 船を数える単位のひとつ。 比較的大きな船舶に使うことが多いが、手漕ぎボートなどに使われることもある。 競漕艇の数え方では、「艇(てい)」が最も一般的。 ほかに、「杯(はい、ばい)」、「艘(そう)」なども使われる。 [2012.3.10]
1039	セクショナル・ボート	sectional boat	[用具・艇] 分割可能な艇。 分割艇。
1040	セクションズ	sections	IN [艇設計・図面] ボディ・プランとも。 前面図を左半分に、背面図を右半分に描いた横断面図。 [新版カヤック工房, p23, 2020-6-4]
1041	瀬田漕艇倶楽部 (せ たそうていくらぶ)	Seta rowing Club	JP [組織・RC] 滋賀県大津市で活動するロウイングクラブ。 NPO。 日本で最も意欲的に活動している一般RCのひとつ。 (N34° 59' 35. 25" / E135° 54' 39. 98") One of the most successful and active private rowing club in Japan. based in Ohtsu city, Shiga prefecture.
1042	ゼッケン	pin-on number	IN [用具・漕衣] パウの背中与スターンコックスの背中(またはパウコックス艇の場合は、整調の胸)などにつけるクルー名やヘッドレースのクルー・ナンバーを表示するゼッケン。
1043 **	接触 (せつしよく)	foul	[競漕] 競漕中に複数のクルーの艇・オール・漕手が互いに触れること。
1044	"セット"	"Oet", "On keel"	IN [動作・指示] 艇のバランスがとれ、左右に傾いていない状態のこと。 オン・キールともいう。 そしてその指示。 [Coxswain's Locker/www. coxing. com, Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1045 **	セーフティ・アドバイザー	Safety Advisor	IN [人・役職] クラブ、漕艇協会、大会などで、安全を審査し指導・勧告を行う役職、その人のこと。 例: ARA(英国漕艇協会)の安全規定に記載がある。 また、日本ボート協会は、2006年から各都道府県ボート協会に1名以上を設置するよう、制度化した(現所轄部署は、安全環境委員会)。 [2012.3.10]
1046	セーフティ・ストラップ	Safety Strap	JP [用具・安全] サーフィンのリーシュコード(Leash Cord)にヒントを得た艇と足首を結ぶ紐。 溺水時に艇から離れない工夫として熊本県ボート協会が2001年に考案。 ただし、2002年に高校総体で試行されたものの、うまく伸びずに溺れかけた事例があり、試行が中止された。 このとき採用された仕様は、熊本協会のオリジナルの仕様とは細部で異なっていた。 [2012.3.12]
1047	セミファイナル	semi-final	IN [大会・一般] 準決勝。 決勝レースに進出するクルーを選定するためのレース。
1048	セミマコン	semi-macon	JP [用具・オール] ブレード型のひとつ。 スタンダードとマコンの中間型。 マコンの登場後、スタンダードからの更新形状として生まれた。 [2009.5.15]
1049 **	セトル・ダウン	settle down	[練習] レートあるいは艇速を落とすこと。 スパートからコンスタントへの移行。
1050	セブン・ワーク	seven work	[練習] エイトで漕手を一人欠いて漕ぐこと。 その状態。 参考: Ozawa Rowing では定員を欠いての乗艇を推奨しない。 [2016-8-17]
1051	セラミックス・ボンド	Celamics Bond	[用具・素材] サンドイッチ構造のコア材の補修、接着などに用いられる接着剤。
1052	セルフ・ベイリング	Self Bailing (-shell, - design, -system)	IN [用具・構造] 自己排水設計(構造)。 ボートの艇速変動を利用して、コックピットにたまった水を、後部の傾斜させたバルクヘッドから排水する構造。 古くからシングルスカルでは一般的な構造である。 WinTechのエイトなどでも採用されている。 ただしガンネルを超えて浸水するようなラフコンディションでは、後部の排水口がガンネルより低い設計では、なんらかの弁構造を付加させないと逆に浸水経路となることもある。 シングルスカルではそれでもあまり重要ではないが、大きな艇ほど、注意深い設計が要求される。 [2006. 11. 8]
1053 ***	前傾 (ぜんけい)	positive pitch, longitudal (forth) pitch	[用具・構築] リギングの調整要素のひとつ。 オールロック回転軸の艇尾方向への傾斜。 ブレード深さの制御に重要。
1054 **	前傾 (ぜんけい)	bend	[動作・姿勢] →前傾姿勢。 漕手の上体を艇尾方向へ傾けた状態。
1055	前傾角 (ぜんけいかく)	paralell pin pitch, stern pitch	[用具・構築] ソールピンの前傾角度。 時にオールロック固有カバー角との合計値。
1056	前傾姿勢 (ぜんけいしせい)	lean foward	[動作・姿勢] 体を艇尾方向に傾けた状態。
1057	全国高等学校選抜 ボート大会 (ぜんこく こうとうがっこうせんば つ…)	National High School Selection Boat Convention	JP [大会・固有有名] 1990年(平成2年)に第1回を開催。 毎年3月に、静岡県・天竜漕艇場で開催。 当初は1500m、途中1000mの時期を経て、現在は、2000m。
1058 *	全国高等学校総合体 育大会	Interhighschool athletic game	JP [大会・固有有名] いわゆるインターハイ。 →全日本高等学校選手権競漕大会。
1059	全国中学校ボート連 盟	NJRF: National Junior High school Rowing Federation	JP [組織] 1993年に設立された中学生を対象とした地域ボートクラブを会員とする全国組織。 2008年登録団は21団体: 大潟JrRC, 戸田中, ワセダC, 江戸川区ボート協会, 阿賀町JrBC, 新潟市JrBC, 諏訪BC, 岡谷南部中, JINZU SC, 堀川中, 津幡BC, 浜松BC佐鳴会, 名古屋港漕艇, 神戸JrRC, 神戸JrRC, 米子JrRC, 岡山JrRC, 福山RC, 北九州RC, 唐津JrRC, 大分県ボート協会
1060	全国ボート場所在市 町村協議会	Boat Summit	JP [組織] 漕艇場・市町村レガッタを活用した地域活性化のための協議会。 毎年、加盟自治体の首長会議: 「ボートサミット」を巡回開催。 1987(昭和62)年の福井レガッタを契機に、美浜町, 下諏訪町, 本荘市などを軸に交流が深まり、1988(昭和63)年に発足。 2016年現在、30自治体が加盟。 [2016-8-10]
1061 **	線審 (せんしん)	aligner	IN [大会・要員] スタートラインにトップボールをそろえる役員。
1062	線審長 (せんしん ちょう)		[大会・役員] 線審部署の統括責任者。 「審判員の心得と号令・動作」に記述されている。

no.	用語	English	解説
1063	センサーモーター・トレーニング	Sensorimotor training	IN 【トレーニング・理学療法】 感覚運動系トレーニング。中枢神経系と筋骨格系を統合する感覚運動システム。理学療法の分野から手法・概念が導入されたトレーニング方法。視覚・聴覚・皮膚刺激などの感覚器への信号刺激に連動させて動作(筋運動)をすることで、正常な筋機能の回復や、運動パターンの協調性を獲得することを目的とする。[瀬田RCコーチセミナー・2009.5.4, 他 2009.5.5]
1064 *	船台 (せんだい)	stretcher, trestle, deck,	【用具・周辺機材】 船艇を載せる台の総称。広く用いられる。結果として、いわゆる艇を置くウマ(艇置き台)も、造艇時に用いられる基盤となる台座も、船台と呼ばれる。[2016-5-24]
1065	船台 (せんだい)	dock	【施設】 発艇場(棧橋や浮き棧橋など)のことも、船台と呼ばれることがある。「ボンツーン」, 「浮き船台」などという、一般に船を載せるところとして用いられてきた施設との共通のため。[2016-5-24]
1066 **	センター・ステイ	center stay	【用具・部分】 リガーステイの内フロントストップ付近からオールロックにいたるステイ。
1067 **	センター・フィン	center fin	【用具・部分】 フィン。
1068 **	全日本軽量級選手権 (ぜんにほんけいりょうきゅう…)	Japan Cup- All Japan International Lightweight Rowing Championships	JP 【大会・固有名】 軽量級の全日本選手権。毎年5~7月頃に戸田コースで開催されてきた。1979(昭和54)年に始まり、第12回(1990(H2)年)から女子種目を追加。第26回(2004(H16)年)からジャパンカップの名を冠した。アジア地区での軽量級の振興・強化を計る目的から、外国クルーも参加できた。2018(H30)年大会をもって最終となり、2019年から、軽量級種目は、全日本選手権の中に取り入れられることとなった。[2018-10-31]
1069	全日本高等学校選手権競漕大会 (ぜんにほんこうこうがっこう)	All Japan Inter-highschool Championships	JP 【大会・固有名】 いわゆるインターハイ(高校総体)。1953(昭和28)年に滋賀・瀬田川で第1回が男子フィックス、男子KF、女子KFで始まる。現在はすべてスカル化され、4×+, 2×, 1×の男女計6種目で開催。8月上旬に全国を
1070	全日本社会人実業団選手権 (ぜんにほんしゃかいじんじつぎょうだん…)		JP 【大会・固有名】 実業団、一般クラブ(成人)による選手権。1951年(昭和26年)に社会人、実業団のそれぞれの種目で始まり、1961年から統合、各地を巡回開催。
1071 **	全日本社会人選手権 (ぜんにほんしゃかいじん…)		JP 【大会・固有名】 全日本社会人実業団選手権が、1999年(平成11年)から、「全日本社会人選手権」と改称された。
1072	全日本ジュニア選手権大会	All Japan Junior Championships	JP 【大会・固有名】 2003(平成15)年からはじまる。=JOCジュニアオリンピックカップ、世界ジュニア選手権およびアジアジュニア選手権の選考レースを兼ねる、シングルスカルのレース。6月頃、熊本県・斑蛇口湖で開催。2000m。[2016-5-24]
1073 **	全日本女子選手権	All Japan Women's Rowing Championships	JP/T 【大会・固有名】 女子種目の全日本選手権。1970年(昭和45年)にシングルスカルとナックルフォアの1000mで始まり、1985年から1500m化、1992年から2000m化。1993年からは全日本選手権に統合された。
1074 **	全日本新人選手権	All Japan	JP 【大会・固有名】 1960年(昭和35年)に始まった新人(中学・高校~23才未満の大学生)のための選手権。毎年10~11月頃に、戸田コースで開催。
1075 **	全日本選手権	All Japan Rowing Championships	JP 【大会・固有名】 1920年(大正9年)に関東大学高専選手権のエイト競漕(隅田川2マイル)として始まった全日本選手権。現在は、毎年5~6月頃に戸田コースで開催される。※国際大会スケジュールと派遣選考の関係で、会期は流動的。[2016-5-24]
1076 **	全日本大学選手権	All Japan University Championships	JP 【大会・固有名】 1974年(昭和49年)に始まった大学の全日本選手権(ただし第1回は荒天で決勝は中止)。毎年8月頃に戸田コースで開催。※国際大会スケジュールと代表選考の関係で、会期は流動的。[2016-5-24]
1077	全日本マスターズレガッタ	All Japan Masters regatta	JP 【大会・固有名】 27歳以上を対象とした全日本レガッタ。2008(平成20)年に第1回を愛知池で開催、以降、全国を巡回開催。2016年は熊本(菊池)が熊本自身のため休催 [2016-5-24]
1078	そー	"soooo..."	JP 【掛け声】 フォワード中の一般的(伝統的または慣習的)な掛け声のひとつ。上がり調子で、「キャッチ」につなげることが多い。クルーで、フォワードのスピードや、キャッチへのタイミングを合わせるために使われている。コックスが発することが多いが、必須というわけでもない。[2016-9-14, 朝日新聞・滋賀・2016-9-
そ 1079	艘(そう)	"sou" : - boats	JP 【一般・単位】 ボートの数え方のひとつ。「隻(せき)」が比較的大型の船舶に用いられるのに対して、競漕艇のような比較的小さなボートに用いる。「艇」で数えるほうがより一般的。「Sou」 is one of counting units for small boat in Japanese. [2016-5-24]
1080	走舸組(そうかぐみ)	Souka-gumi	JP 【団体・固有名】 東京大学漕艇部の前身、草分け的存在。東京帝国大学(現・東京大学)では、1883(明治16)年頃から多くのクラブが組織されはじめ、1884(明治17)年には、その統括組織として、後の帝国大学漕艇部の前身となる「走舸組」(そうかぐみ)が結成された。走舸組のメンバーは、学内対抗の競漕会を開催するなど、後につくられる運動部の中心的役割を担っていた。[論文「学歴エリートの誕生とスポーツ-帝国大学ボート部の歴史社会学的研究から-」(石坂友司, 2002, スポーツ社会学研究・2002・10)より。2016.9.5] A
1081	早慶レガッタ (そうけい…)	The Regatta, Waseda vs. Keio/ The So-Kei regatta	JP 【大会・固有名】 早稲田大学と慶応義塾の「三大早慶戦」(野球, ラグビー, 漕艇)の一つとなる両大学の対抗競漕。隅田川の春の風物詩としても有名。野球の早慶戦(1903)に次ぎ1905(明治38)年に隅田川・向島で第1回を開催(フィックス・1250m)。1944-46年の戦争による中断の後再開し、1957年(昭和32)年の「沈没レース」(向島・6000m)は小学校の国語教科書にも載り特に有名。2013年(第82回)大会から、対抗男子エイト、第2エイトは3750m(新大橋上流から遡上し桜橋上流まで)で開催。Waseda University vs. Keio University. One of the most famous regatta in Japan like the Oxford vs.
1082 ***	漕手(そうしゅ)	rower, oarsman	IN 漕ぐ人。漕ぎ手。ローワー。ローヤー。
1083	漕手・舵手計量長 (そうしゅだしゅけいりょうちよう)		【大会・役員】 舵手および軽量級の漕手の体重を計量するセッションにおける統括責任者。「審判員の心得と号令・動作」に記述されている。
1084 **	操舵漕手(そうだそうしゅ)	steers man	IN 【クルー・配置】 ステアズマン。舵手なし艇であるところの、なしフォア、(なし)クオド、なしペアなどで、操舵装置をストレッチャーにとりつけて操舵を担当する漕
1085 **	操舵標識 (そうだひょうしき)	steering marker	IN 【施設】 スタート地点の後方に設置される、舵手無し艇のステアリング(直進保持)のための標識。黄色地に黒い縦帯が描かれた板が2枚、レーンの中心線上で、前後に配置される。→ステアリングマーカー。

no.	用語	English	解説
1086	漕艇 (そうてい)	rowing	IN [一般] ボートによる競争, 競漕.
1087	漕艇 (そうてい)	rowing boat	IN [一般] 漕艇で使うボート, 艇そのもののこと.
1088 **	造波抵抗 (ぞうはていこう)	wave drag	IN [流体力学] 水面を進行するときに, 波を発生させることで生じる抵抗. 競漕艇の造波はそれほど大きくはないが, それでもピッチング, ローリング, 艇速変動に伴う造波は無視できない.
1089 ***	漕法 (そうほう)	rowing style, rowing technical criteria	IN [テクニック] ロウイング動作の方法・技術. 過去の「漕法」論では, 特にボディワーク, (体をどう動かすか, 中でもキャッチの姿勢と, 脚進展と上体後傾のコンビネーション)のありかたに重点がおかれた. 漕法という言い方には, 漕艇術, 流派的なイメージが伴う.
1090	側板 (そくばん)	side planking	IN [用具・部分] →サイドプランキング.
1091	ソーシャル・サービス・(デパートメント)	Social Service Department	IN,GE [組織・機関] 社会サービス局. 英国において福祉(虐待防止)などの調査, 相談を受ける機関.
1092	外キール (そときーる)	outer keel	IN 竜骨(船底中央を縦通する骨組)のうち, 船体の外側に突き出た部分. ナックルフォアなどでみられるが, 現代のシェル艇では, キールそのものがない構造になりつつある.
1093	ゾーナル・アンパイアリング	zonal umpiring	IN [競漕・審判] レースコースを複数の区画に区分し, それぞれの区画に審判艇が待機し, 連携して審判(主審艇)として従事する体制. 特に異常がなければ競漕に追従しない. 異常があれば追従し, 区画を超えて追従しても良い. 審判艇同士は無線レースと審判任務状況を共有し, 最終区画の審判艇が漕した時の主審業務を行う. 波による影響を最小限とするための制度. 従来は, static umpiringと言った. [2017-10-29]
1094	ゾーナル・レフェリング	zonal refereing	IN [大会・審判] → zonal umpiring (ゾーナル・アンパイアリング). [2017-10-30]
1095	ソール	thole, thowl	IN [用具・部分] →ソールピン. tholeはスコットランドまたは古代ギリシャ語の「文句を言わず堪え忍ぶ, かがまんする」という意味があり, toleranceに繋がる言葉で, 踏ん張る辛抱(心棒)に付けられた呼び方としては的を得ている. 辞書には, tholeだけでソールピンの意味で載っている. Thowlのつづりも使われていた. [Rowing and Sculling, 1904. 2014-7-9]
1096 **	ソール・ピン	thole pin	IN [用具・部分] オールロックの回転軸となる芯棒.
た 1097	大回転漕法 (だいかいてんそうほう)		JP [漕法・固有名] 日本における過去の漕法技術のひとつ. キャッチ前の回転動作を特徴とする(アダムスタイルと同様).
1098 **	大差(たいさ)	"easily"	IN [競漕・艇差] レースでの艇差の表現のひとつ. レース結果の記述で, (タイムとは別に)艇差として, 1艇身(1L)などと記述する際, 大きな差となった場合に記載. 明確な定義はないが, 事例として, HWRの2006年の記録では, 4艇身まで4Lと記載されているリストでeasilyがあるのでおよそ5艇身以上を大差と記述しているようである. (easilyとはつまり勝者側の欄における記述として, 「大差で容易に勝利した」の意味である. 最近のレースではあまり記載されない傾向にある. [2010.10.28]
1099	ダイナミック・インドア・ロウワ	Dynamic Indoor Rower	IN [用具・商標] コンセプト2が2010年にリリースした上級競技者向けのインドアロウワ(エルゴメータ). シートが小さく, ストレッチャーが大きくスライドする構造である. [2010.10.28]
1100	ダウガー	douger or (woodie)	[用具・工具] ウィング・ナットを緩めたり締めたりするための手作りの工具. ウッディ(woodie)とも. (Coxswain's Locker / www.coxing.com より) / 註: まさにそのものを考案しているときにウェブサイトでこの言葉を発見した. ショック! 2006. 5)
1101	タグ	tug	IN [用具・部品] 懸命に漕ぐこと. タグボートのタグ. 奴隷船のように苦しんで漕ぐことの意味もある.
1102	タグ, (タッグ)	tag	IN [用具・部品] ラダラーインの持ち手となる木片. ノッカー, タブ, トグルなどとも. [2012.5.15]
1103	ターゲット	target	IN [競漕・施設] →レーンマーク (Coxswain's Locker / www.coxing.com より)
1104	ターゲット	target	IN [水域] 陸上の目標物. (Coxswain's Locker / www.coxing.com より)
1105 ***	舵手(だしゆ)	cox, coxswain	IN [舵手] →コックス.
1106	舵手つきクオド	coxed quadruple	IN [用具・艇種] →つきクオド
1107 **	舵手つきシェルフォア	coxed four	IN [用具・艇種] →つきフォア.
1108 **	舵手つきシェルペア	coxed pair	IN [用具・艇種] →つきペア.
1109 **	舵手なしシェルフォア	coxless four	IN [用具・艇種] →なしフォア.
1110 **	舵手なしシェルペア	coxless pair	IN [用具・艇種] →なしペア.
1111 ***	ダッシュ	dash	[競漕] (1)スパート.
1112 ***	ダッシュ	dash	[練習] (2)従来, 一部で用いられたパドル移行時に付加するハイライト・ショートレンジの漕ぎ. 現在はあまりみられない.
1113	ダッシュ	dash	IN [競漕] (3)短距離(1/4マイルか場合によっては500m)の競漕. cf: スプリン
1114	脱線 (だっせん)	run off the slides, jump the slides	IN [動作・失敗] シートがレールから脱線すること.
1115 **	タッチ	touch	[動作・タイミング] キャッチ動作のうちブレードが水面に触れる瞬間.
1116	タッチ(・イット)・アップ	touch it up	IN [動作・指示] 艇の方向や位置を適切に微調整すること, その指示. (Coxswain's Locker / www.coxing.com より)
1117	タップ, タッピング	tap, tapping	[動作・ドリル] 左右のブレードを同時に漬けてはすぐに出す動作, メニューで, ディップ・ディップ…とも. 日本では, チャボリと呼ばれることもある. 基本的にバランス感覚をチェックするためのドリルだったり, 艇を微調整するために漬けたところで少し水を押す動作を伴うこともあり, 定義と実際にする内容とは, 少し注意すべき用語である. [2020-8-26]
1118	縦剛性 (たてごうせい)	longitudal stability	[用具・構築] 艇軸方向のハルの剛性. 艇の全体的な剛性は, 高いほど良い(とされる). 艇の剛性は, 製品によって異なるほか, 管理状態にも大きく左右さ
1119	縦張り (たてばり)		[コース, 設置工法] コースのブイを設置する工法のひとつ. レーンを分ける縦列方向のラインに縦列の一連のブイを設置する工法. (⇨横張り) これに, たとえば500mごとに横張りのワイヤーを張り, レーンをそろえる.
1120	ターニング・ポイント	turning point	[動作・タイミング] ドライブにおいて, オールは, ブレード先端と同様に艇尾方向に動く部分と, 艇と同様に艇首方向に動く部分とに分けられるが, その境界点のこと. ブレードネック付近にあるが, 実際には技術, 艇速, ブレード深さなどによって変化し, 1ストロークの間でも固定的ではない. [2015.7.8]
1121	ダーハム・ボート・カンパニー	Durham Boat Company	IN [会社・造船] 米国ニューハンプシャー州ダーハムにある漕艇メーカー. ドレハーブランドのオールなどを制作. [2015.7.8]

no.	用語	English	解説
1122	タブ	tab	[用具・部品] つまみ。ラダーラインの持ち手。タグ(タッグ)、ノッカー、トグルとも言う。[2012.5.15]
1123	タブ	tub	[用具・艇種] 練習用の艇の一種。
1124	ダブルスカ	double scu...	[用具・艇種] ダブルスカルのくだけた略称。[2016.12.30]
1125	ダブラー	Dabller Oars	[用具・商標] 桑野造船から発売されている、初心者、レクリエーション、トレーニング用の低価格オール。細かい仕様選択はないが、シャフトはスーパーライト(炭素繊維90%)、ブレードはビッグブレード、ハンドルはアジャスタブルハンドルとなっている。(参考:桑野造船・ウェブサイト)
1126	WS ×	w scull	[用具・艇種・略号] →ダブルスカル。"W"をダブルの意味で使うのは和製英語で、ダブルスカルをWSと表記するのはやめたほうが良い。書くならDSと書こう。余談:とはいえ、"W"(ダブリュー)の字・発音は、UU(ダブルU)に由来があるようだ。つまりダブリュー(W)の語源にはダブル;"2つ"の意味もあったようだ。
1127	W/D (ダブリューディー)	W/D Withdrew	[レース・記録の記述] 棄権のこと。Scratched, SCRと同義。[2016-11-1 New South Wales Rowing 他]
1128	WPS(ダブリュー・ピー・エス)	WPS	[運動・指標] →ワーク・パー・ストロークを参照。(なお、ワット・パー・ストロークは日本国内での記述)[2016-12-15]
1129	ダブル	double	[用具・艇種] →ダブルスカル (Story of World Rowingより)
1130	ダブル・アクション・シート	double action seat	[用具・部品] シートのローラー軸をシート側に固定せず転がり軸とすることで摩擦抵抗を軽減する構造。従来のシートがこの構造であったが、部品がシンプルである反面、脱線などのトラブルに対して基本的に弱点があった。
1131	ダブル・アップ	double-up	[大会・手続] 一つの競漕会で2種目に出漕すること。日本では、「ダブル・エントリー」とよく言われる。[2012.3.12]
1132	ダブル・ウイング・ブレード	Double Wing Blade	[用具・オール・商品名] プラーチャスポーツが販売しているブレード型の一つ。上縁のみ強く被せていた「ウイングブレード」から進化した位置づけであるが、上縁の特徴はなくなっている。[2015.4.30]
1133	ダブル・エンディッド	double ended	[用具・船型] パウとスターンが同じ形状で、どちらが前でも良いタイプの艇。古い固定座席の競漕艇にはあったようである。(Story of World Rowingより)
1134 ***	ダブルスカル	double scull	[用具・艇種] 2人漕ぎスカル艇。略号は2×, 2Sc, DSなど。エイトを100とした艇速は約87。艇の規定重量は27kg以上。全長約10m。
1135	ダブル・バンク	double banked	[用具・艇種] 一つのシートに2人の漕手が座るタイプ。カッターなどに見られる様式。(Story of World Rowingより)
1136 **	ターン	turn	[動作] オールの動きのうち、シャフトを軸としたブレードの回転動作。フェザーターンとスクウェアターンがある。ロールとも。
1137 **	段漕ぎ (だんこぎ)		[動作・欠陥] ブレードの深さが水中で安定しないこと。
1138	淡青会 (たんせいかい)	Tansei-kai	[団体・OB] 東京大学漕艇部のOB会。淡青(ライトブルー)のブレードカラーに由来する。[2017-10-30]
1139 *	端艇 (たんでい)	boat	[用具・艇種] 競漕艇。カヌーなどを含む場合がある。漕艇に対し、カッター漕ぎを端艇と使い分ける事例もある。例:神戸大学漕艇部, 神戸大学端艇部(2009. 1. 15)
1140 *	短艇 (たんでい)	boat, cutter	[用具・艇種] →端艇。競漕艇あるいはカッター。「櫓と槳・漕艇百科」(宮田勝善, 1943)によれば、外国艦船搭載のバッテリーが、海軍用に改良された艇。[2018-2-8]
1141	タンデム・リグ	tandem rig, -rigged boat	[リギング・配置] 前後に並んで同じサイドを漕ぐリグレイアウトのこと。パケットリグともいう。
1142	単板(艇) (たんぱん-てい)	(Single layered hull)	[用具・艇] ハルの構造のひとつ。サンドイッチ構造に対して、単一の繊維層(積層を含む)で構成されたハル。およびその構造の艇。
1143 **	短力 (たんりき)	paddle	[練習・乗艇] 短距離(短時間)力漕。少ない本数の全力漕。
ち 1144 ***	チップ	tip (of the blade)	[用具・オール] ブレードの先端。
1145	チップカール	tip curl	[用具・オール] チップ付近で強く曲がった縦キャンバーのブレード。2016年現在主流のC2スムーシー2などは概ねラウンドカールではなくどちらかといえばチップカールである。(⇨ラウンドチップカール)。[2016-2-25]
1146	千葉 四郎 (ちばしろう)	Shiro Chiba	[造船, 人物] 1896?-1976. 11. 15 一高, 帝大(東大)で漕ぎ, 大正10年には卒業製図に「つきフォア」をただ一枚提出し造船科を卒業。尾久でデルタ造船所を興し, 競漕艇建造を始める。後, 横浜ヨット工作所の代表も務めた。1936(昭和11)年, 東大が遠征したベルリン五輪で惜敗したが, マローレガッタで優勝, ヘンリーレガッタでもデルタ造船の軽量の短い艇(104kg, 15. 8m, ⇨当時の外国艇は130kg, 18m)は高く評価され, リアンダークラブが英国大使館を通じて艇を注文した。千葉県の富家に育ち, 弟の五郎氏も早大~デルタ造船所で活躍。[月刊漕艇No. 126(1976. 2), 近代ポート競技歴史研究所2007. 12. 26, 東京朝日新聞1936. 8. 30/ 2009. 6. 15]
1147	チャイン	chine	[用具・部分] 船底(ボトム)とトップサイド(船側)の境をなすライン, そこを縦通する構造材。ナックル艇のナックルラインと同義。chineの元の意味は, 動物の背骨を指す言葉である。シェル艇では, 少なくとも外側にチャインはない。
1148	チャイパツハ (チャイパツハ)	"Chi-pacher"	[用具・艇・スラング] (1)中国でOEM生産されたエンパツハ艇, (2)エンパツハを真似た(コピーした)中国艇。※どちらの意味で用いられているかは, 人によって異なるので, よく注意して聴き取ろう。といっても, いずれにしてもスラングで
1149	チャーチボート	church boat	[用具・ボート] 北欧で, 田舎から街の協会にいく交通手段として用いられてきたボート。船型はバイキングに由来する。幅広で2列で漕ぎ, 数名から20名程度乗れる。チャーチボートによるレースも行われ, 最大のもはフィンランドのスルカバ地方で行なわれている。日本初導入は2011年, 芳野法一, 岸田光佑らによるライナーズクラブの風神丸(14人漕ぎ)。[2017-9-19]
1150	チャボリ (ちやぼり)	"Chabori?" "Touch it"	[動作モード・スラング?] ジャブロー, チャブ・ローとほぼ同義? ノースライドで, 腕だけでブレードを短く上下させながら少しだけ漕ぎ, 艇の向きを変えたり, 維持したりする動作モードのこと。水面でちやぶちやぶさせるところからきた言葉だろうか? チャボリ, チャブロー, ジャブローのどれを使うかはクラブによって違い, またどれが正統ということもなさそうである。(よくわからない。)両舷を同時にブレードを出し入れするバランスのドリルとして呼ばれることもある。英語圏では, タッピング, タップ, ディップ・ディップ...などと呼ばれることもある(2020-8-20ネット検索結果)

no.	用語	English	解説	
1151 **	ちゃんばら	"Chambara" = the contact of blades of two boats.	JP [競漕・干渉] 競漕中または併漕中、他の艇とブレードどうしが接触すること。同じ艇の前後のブレードが接触する場合にも用いる。 "Chambara" means "the battle of Samurai with Katana; long swords" originally. I think "Cham" came from the sound of katana, and "bara" from the confusion of battle.	
1152	肘材 (ちゅうざい)	knee	IN [用具・部分] →ニイ	
1153	柱状係数 (ちゅうじょうけいすう)	Cp,	IN [艇設計, 要素] 柱状係数 = (排水容積) ÷ (喫水船長 × 喫水線幅最大位置での喫水横断面積)。0 < Cp ≤ 1。最大横断面の形状が前後に長く伸びているほど、柱状係数(Cp)は1に近づく。丸太であればCp=1。[新版カヤック工房, p17, 2020-6-4]	
1154 *	チューリップ	tulip	JP [用具・オール・古語] 古いブレード型の1つ。最大幅の位置がチップよりネック側に近く、チューリップのシルエットに似ている。なお、マコンと同義で用いられることもある。[Wikipedia:Rowing Sport/2006. 7. 7]	
1155	チュンジュ(漕艇コース)	Chungju Rowing Course, South Korea	IN [水域・漕艇コース] 韓国中部の忠州(チュンジュ)市にある漕艇コース。ダム湖。2014年ワールドカップ開催。[2015.7.8]	
1156 **	チェック	check	[動作・欠陥] 艇をぎくしゃくさせること。減速させること。発揮されたエネルギーを無駄に捨てる現象と捉えられる。	
1157	"チェック", ("チェック・イット/ハー・ダウン")	"Check", "Check it/her down"	IN [動作・指示用語] ブレードを水面に落として引きずり艇を減速させ、停止させることの指示用語。[Coxswain's locker/www.coxing.com] ブレードをスクウェアにして沈めて艇を止めること、その指示。[Wikipedia:Rowing Terms/2006. 7. 7]	
1158	チェックマーク漕ぎ	check mark	[動作・欠陥] キャッチ直後に最も深く、フィニッシュに向け次第に浅くなる不良状態。ブレードは水平に動かすのが良い。このような不良状態は日常的によく視られるが、2015年現在では、それを「チェックマーク漕ぎ」というのはほとんど聴かれなくなった印象がある。[2015.7.8]	
1159 *	調節リガー (ちょうせつ...)	adjustable rigger	[用具・部品] リギング要素(スプレッド, 前傾, 外傾など)を調節可能なリガー(商標)。	
1160 **	調和漕法 (ちょうわそうほう)	Chouwa Soho, Rowing style	JP [動作・漕法] 堀内浩太郎(1926-2016)が1970年代に、東北大の漕法として提唱したもの。単にロウイングテクニックだけでなく、リギングなどの周辺技術も含めた技術体系である。漕法に科学的視点を多く導入し、2016年現在も、少なくとも指導者レベルは一読すべきである。[2016.1.20]	
1161 *	チョッパー	Chopper Blade	JP [用具・オール] ビッグブレードの俗称。ビッグブレードが登場した当時から、インターナショナルでは「ハチェット; hatchet, 斧」と呼ぶほうが多かったが、日本では、「チョッパー; chopper, 肉切り包丁」と呼ばれることのほうが多かった。	
1162	チョッピング	chopping	[動作・欠陥] フライアアップ後、ブレードが深く潜ること。	
1163 ***	沈(ちん)	capsize	[安全] 艇が浸水して、漕げなくなること。	
つ	1164	つか(柄)	button	[用具・オール] →バトン。ピボット。
1165 **	つかむ, 水を	fix a blade in the water, lock on	[動作・状態] ブレードが水中によく固定され、スリップの少ない状態。	
1166	月ヶ瀬 (つきがせ)	Tsukigase	JP/T [地名・水域] 奈良県月ヶ瀬にあるダム湖・1000m。奈良国体開催地。2015年現在は、この水域での活動はほとんどされていないようである。残念。(N 34° 44' 47. 44" / E 136° 00' 50. 91") [2015.7.8]	
1167	つきクオド	coxed quadruple	IN [用具・艇] 舵手つきのクオドルプル。国際的な種目としては、過去に女子種目としてあったが、現在は舵手無しのクオドに統一され、世界選手権の種目ではない。しかし日本では、ジュニアと女子のつきフォアが、(スィブからスカルへの変更の流れの中)つきクオドに転換され、主要な種目となっている。成長過程の傷害予防や、ナショナルクルー編成が動機となっている。なお、2015年現在、つきクオドからなしクオドへの種目変更の動きもあるようである。[2015.7.8]	
1168 ***	つきフォア	coxed four, four with	IN [用具・艇] 舵手付きシェルフォア。4+。エイトを100としての艇速は約90。規定重量は51kg以上。[2015.7.8]	
1169 ***	つきペア	coxed pair, pair with	IN [用具・艇] 舵手付きシェルペア。略号2+。エイトを100としての艇速約79。規定重量は32kg以上。	
1170 *	筑波漕法 (つくばそうほう)	Tsukuba style	JP [動作・漕法] 1978頃に筑波大が適用した漕法。フォワードトップ以前に上体のスウィングを開始し、後傾状態で脚力を最大限に生かす。ハイレイト。現在ではこのような技術はほとんど用いられない。[月刊漕艇No. 162(1979. 12)~. 2009.6.25] One of the rowing style used by Tsukuba University in apx. 1978. It is similar to "Adam style".	
1171 *	突っ込む (つっこむ)		[動作・欠陥] フォワード・トップ到達後にも継続される上体の欠陥的前傾動作。	
1172 **	綱引き (つなひき)	"Tsunahiki" (=Tug-of-War)	JP [練習・陸トレ] バック台を向い合わせ、ロープを持ち、一方が負荷となる技術練習。	
1173	つば (鐙)	button	[用具・オール] →バトン。ピボット。	
1174	鶴見川漕艇場, 横浜市 (つるみがわ~)	Tsurumigawa Rowing Course	JP [施設・水域] 正式名称は、「横浜市鶴見川漕艇場」。神奈川県横浜市・鶴見川にある横浜市営の漕艇場。管理・運営は、横浜市体育協会。(N35° 31' 07. 08" / E139° 40' 39. 51")	
て	1175	「テ!」, 「テー!」	"Te!", "Tee!"	JP [競漕・号令] レースのフィニッシュ、艇の決勝線通過の瞬間に、スリットを透視する判定員が、計時する判定員に伝えるための合図。語源は、軍隊において銃砲などを「撃てー(ウテー)!」の「ウ」が省略され、短く明瞭に発声でき、また明確に聞き取りやすい(子音から始まる)「テー」に簡略化されたもの。もちろん、判定員がボートを狙っているわけではない。「審判員の心得と動作・号令」でも使用を明記されている公式用語。[2015-5-2]
1176 ***	艇 (てい)	"Tei" shell, boat	IN [用具・艇] 競漕艇。ボート。ボートを数えるときの単位のひとつ。When Japanese count boats, they say "ichi-tei, ni-tei, " as "one boat, two boats, etc". And also there are many counting units; "-hai (pai, bai)", "sou", "seki".	
1177	DRSV (でいーあーる...)	Dutscher R. S. Verband	IN [組織・協会] Dutscher Ruder Sport Verband. 東ドイツ漕艇協会。1990年にはドイツ統一に伴い、DRVとして統合。	
1178	DRV (でいーあーるぶい)	Dutscher Rudern Verband	IN [組織・協会] ドイツ漕艇協会(現行)	

no.	用語	English	解説
1179	TA (ていーえー)	TA: Trunk+Arm	IN [大会・種目] パラロウイング(障害者漕艇)のカテゴリーのひとつ。脚を使わず、上体と腕だけを使って漕ぐ固定席のクラス。Mixed2×TAなどと表記された。2018年から種目名称の改訂で、PR2クラスとなった。[2017-10-8]
1180	DS (でいーえす, ダブルスカル)	double scull	IN [用具・艇] ダブルスカルの略号。
1181	DSQ (ディエスキュー)	DSQ	IN [競漕・記録記述略号] Disqualified の略。失格の場合の記述。なお、除外はEXC。[2009.4.20 FISA ウェブサイト, Result/Database より。]
1182	DNA (ディエヌエー)	DNA	IN [競漕・記録記述略号] Data Not Available の略。タイムの記録が取れなかった場合の記述。[2009.4.20 FISA ウェブサイト, Result/Database より。]
1183	DNS (ディエヌエス)	DNS	IN [競漕・記録記述略号] Did Not Start の略。発艇(スタート)しなかった場合の記述。[2009.4.20 FISA ウェブサイト, Result/Database より。]
1184	DNF (ディエヌエフ)	DNF	IN [競漕・記録記述略号] Did Not Finish の略。漕了(フィニッシュ)しなかった場合の記述。例えば、あるクルーがスタートしたが途中で艇の故障で漕げなくなりレースを漕了できなかったなど。[2016-11-1 FISA ウェブサイト, Result/Database , 他。]
1185	低温ショック (ていおん…)	cold shock	IN [一般・医療] 冷水に入った瞬間に、凍えて、呼吸が速まり過換気になったり、悴(かじか)み動けなくなる状態。これ自体は、まだ低体温症ではないが、呼吸困難や溺れる一因となり得る。1~3分でこの状態は脱するので、あわてずパニックを避け、この反応をやりすぎさなければならない。[2015-5-2]
1186	ディグ	dig	IN [動作・欠陥] 深く漕ぎいれてしまうこと。山漕ぎ。[漕艇術,1920, 2014-7-9]
1187	テイク・オール	"Take oar"	[動作・指示] 「漕ぐ用意をして」の意味の指示用語。レディ。
1188	テイク・ザ・ラン・オフ	"Take the run off"	IN [動作・指示] 漕ぐのを止め、ブレードを45°にして水面に当て、減速〜停止させること。その指示。[Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1189	艇計量長 (ていけいりょうちょう)		[大会・役員] 艇重量を計量するセクションにおける、統括責任者。「審判員の心得と動作・号令」に記述されている。
1190 **	艇庫 (ていこ)	boat house	IN [施設・一般] 艇を収容する倉庫。クラブハウスを含めたロウイングクラブの施設全体を指すこともあるが、「クラブハウス」と区別して指すこともある。クラブハウスとは、(艇を収容する機能部分とは別に)、クラブメンバーが集い「くつろぎ機能部分」を明確に区別して用いる場合もある。[2015-5-2]
1191	抵抗 (ていこう)	drag, resistance	[用語・工学] ボートに働く抵抗。水の抵抗と空気抵抗に、それぞれ表面抵抗および形状抵抗などがあり、また境界面の問題として造波抵抗もある。
1192	“テイクウ”(抵抗)	Teikou, Hold it(her)	[用語・指示] ブレードをスクウェアにして艇を制動させる動作。その指示。ホールド、ブレーキ、テイトメ、ストップロウなどと同義。主に関西圏での主流。[2018-9-25]
1193 **	艇差 (ていさ)	distance	[競漕・艇差] 競漕中の2艇間の距離差。キャンパス差、1艇身、などと表現す
1194	艇軸 (ていじく)	boat axle	IN [用具・部分] 艇の伸長方向。アクスル。
1195 **	艇首 (ていしゅ)	bow	IN [用具・部分] 艇の先端。バウ。舳。
1196	艇種 (ていしゅ)	kinds of boat	[用語・艇] 艇の種類。約9種類(エイト、クオド、なしフォア、つきフォア、ダブルスカル、ナンベア、シングルスカルなどがある。
1197	艇重量確認票		JP 「審判員の心得と号令・動作」の、「艇重量計量の心得と任務」の項で、「計量場所に常備する物」の中に、記録用紙として記述されているもののひとつ。計量結果をクルーが確認し署名する。
1198 ***	定常漕 (ていじょうそう)	stady state	[練習・乗艇] ステディステート漕。ロングなどと同義。JARAテキスト2007・エントリーレベルで提唱。[2017-10-17]
1199 ***	艇身 (ていしん)	boat length	[競漕・艇差] 艇差の表現単位。1艇身=先行艇艇尾と後続艇バウが同位置。
1200	提訴 (ていそ)	protest	IN [競漕] 水上でのクルーから主審艇への異議(objection)が認められなかった場合、チームマネージャー(監督)から審判長に、文書で速やかに(FISA競漕規則では1時間以内)に提出する申し出。[2017-10-30]
1201	艇速指数(艇種による)	Boat speed Index	PRV [解析/造語] (※一般用語ではなく、Ozawa Rowingの中での造語。)艇種によって艇速が異なることはよく知られた事実だが、それを数値化して定量的に比較できるようにしようとする試み。世界選手権などのタイムをもとに集計し、エイトを100として、シングルスカルは約80など。艇速指数を把握すれば種目間や男女、軽量級/重量級、メーカー、ジュニアとシニアetc. 様々なカテゴリーや条件の違いによるタイムなどを比較する手がかりが得られる。[2015-7-28]
1202 **	艇速変動 (ていそくへんどう)	surging	IN [動作・拳動] 艇の前後動。断続的なドライブ状態と漕手の前後運動に起因し、抵抗の大きな原因となる。
1203	低体温症 (ていたいおんしょう)	Hypothermia	IN [一般・医療] 体幹温度(深部体温)が35℃以下に下がる状態。体温が維持できず、危険な状態に陥るリスクがある。
1204	DWL (でいーだぶりゅー…)	designed water line	IN [用具・工学] 設計水線長。設計された喫水線の長さ。
1205	ディップ、ディップ…	dip,dip(drill)	[練習・ドリル] 左右のブレードを同時に水面に落としてはあげる、バランス感覚を養う、あるいは確認するドリル。他に、タッピングと呼ばれることもある。日本では「チャボリ」とか「チャブロウ」などと呼ばれることもある。ただし、それは、艇の方向を微調整するために、わずかにブレード面で押す作業についてそう呼ぶこともある。[2020-8-26]
1206 *	TT (ていーていー)	time trial	[練習・一般] タイムトライアル。一定区間の最短時間を目的とした漕ぎ。
1207	TD (ていーていー)	thwart distance	IN [用具・構築] スパン。リガースプレッド。
1208	DDR (でいーでいーあー)	Deutsche D.R.	IN [国名・一般] 東ドイツ(Deutsche Demokratik Republik)。1990年に東西ドイツ統合。cf:DRSV, DRV。
1209 *	DDRスタイル (でいーでいーあーすたいる)	DDR style	IN [動作・漕法] 1980年代における漕法分類のひとつ。東独漕法。ノーマルレーンル技術に属し、レグドライブとスウィングを同時に開始する。1990年代~2000年代の漕法は多かれ少なかれこのようなコンビネーションが主流である。
1210	“テイトメ”(テイトメ、艇止め)	Teitome, Teidome	[用語・指示] ブレードをスクウェアにして水中に沈め、艇を制動させる動作とその指示。ホールド、ストップ、テイクウ、ブレーキなどと同義。主に、関東以北の主流。[2018-9-25]
1211	ティー・バー	T-bar	IN [用具・部分] 舵柄、ティラー、ラダー・バー、ヨークと同義。ラダー・ポストの上端に取り付けられた水平に伸びた柄の部分。
1212	底板 (ていばん)	bottom plunking	[用具・部分] ボトム・プランキング。
1213 **	艇番 (ていばん)	boat house keeper	艇庫の管理人。

no.	用語	English	解説
1214	TUE (ティーユーイー)	TUE; Therapeutic Use Exemption	IN [スポーツ一般・ドーピング] (競技力向上ではなく)治療目的として、ドーピング禁止物質や禁止方法に抵触する処置を適用すること。事前に所定の手続きにより、TUEを申請し、承認されれば、例外的にその禁止物質・禁止方法を使用することができる。 [2006. 7. 6]
1215	TUE申請 (ティーユーイー…)		IN [スポーツ一般・ドーピング] TUEを申請すること。例えば国体では、都道府県体協を通じて日本体育協会に提出され、JADAのTUE委員会が審査し、承認/非承認が通知される。承認されなければ、治療目的でもTUEとみなされず、適用した場合にはドーピングとみなされる。 [2006. 7. 6]
1216 *	ティラー	tiller	[用具・部分] → 舵柄(だへい)。ヨーク。ラダー・ポストの上端に、(ラダー・ブレードに対して直角に)取り付けられた舵柄。
1217	デイトライト	daylight	IN [競漕・艇差] デイトライトには、昼光の他、「隙間」、「隔たり」の意味もあり、ロウイングでは、「水があく」(1艇身以上の差がつく)の意味でも用いられる。
1218	ディリゴ・レーシング・シェルス	Dirigo Racing Shells (R)	IN/R [会社・造船] 米国メイン州のボートメーカー。 URLは、www.dirigousa.com.
1219 **	テイル	tail, stern	[用具・部分] → 艇尾。スターン。
1220 *	テイル・キャンバス	tail canvas	[用具・部分] → スターンキャンバス。
1221 ***	てこ比 (てこひ)	leverage	[用具・リギング] ギア比。 オールのアウトボード/インボード比。 ストロークの負荷とレンジなどに関係する。
1222 **	デッキ	deck	IN [用具・部分] 艇の前後の甲板部。 昔の材質にちなみ、キャンバスとも。 硬質のものをデッキ、柔らかいものをキャンバスと言いつけるケースもあるが、ほぼ同義で用いられる。
1223	デッキ(差)	deck length, deck-length	IN [競漕・艇差] デッキ分の艇差。 キャンバス差と同義。(Coxswain's Locker/ www.coxing.com)より。
1224	デッキ・ビーム	deck beam	[用具・艇・構造] デッキを支える艇軸に直角方向の梁、フレーム。 [2008. 6.
1225	デッキ・プラン	deck plan	IN [艇設計・図面] ボートの上面図。 ハーフ・プレズ(上半分は上から見た平面図、下半分は底面から見たハルの平面図)も同類。 [新版カヤック工房, p23, 2020-
1226	デッキング	decking	IN [用具・部分] レールを乗せた艇内の甲板部。 デッキ。
1227	デッドウェイト	dead weight	[競漕] 舵手の規定体重(男子55kg以上, 女子50kg以上)に満たない場合に課せられる錘(おもり)。 たいていは砂利の詰まったサンドバッグなどで作られている。 デッドウェイトは最大限10kgと規定されているため、結果的に男子は45kg以上, 女子は40kg以上でなければコックスになれない。(注:このデッドウェイトの上限規定は、より軽い体重の人の競技参加機会を不当に奪っているともいえる。 デッドウェイトの上限は撤廃すべきである。)
1228	デッドウェイト	dead weight	IN [用具・物理] 死荷重。 能動的移動体(乗り物, 動物など)において、推進や機械的構造・強度に直接寄与しない余計な重量・荷重のこと。 上述の舵手のためのデッドウェイトを含め、漕手や舵手の脂肪などがある。 これに対し、筋肉などは力を発揮するものとしてデッドウェイトではないが、厳密に何がデッドウェイトで、何がそうでないかの境界は、場合によって異なる。
1229	デッドヒート	deadheat	IN [レース・判定] レースの着順判定において艇差が(フォトフィニッシュにおいても)規定の計測精度以下の差で判定できない場合は、デッドヒートと定義される。 着順として同着扱いとなる。 [FISA臨時総会2017東京, 2017-2-11]
1230 *	テーパー	taper	[一般] 先細のもの。 両端で半径が異なる円柱状のもの。
1231 **	テーパー	taper	[用具・オール・リギング] ピボットテーパ。 オール固有のカバー角。 ピッチ。 ピボットフェイスの傾き。
1232	テーパー	taper of the rail	JP [用具・艇・リギング] レールの傾斜。 フロントストップに対するバックストップの高低差で表現。
1233	テーパード・ピン	tapered pin	[用具・部品] テーパー状のソールピン。
1234	デビニセル	DiVinycell® (Polymer Foam)	IN [用具・素材] サンドイッチ構造に用いられる構造用発泡コア材のひとつ(登録商標)。 低密度の発泡塩化ビニルのシート。 発泡体の気泡の連続性はなく透水しない。 ボートのハル用のコア材では、2mmと3mm厚さのシートが多く用いられる。 ハニカム材と比べて少し重いが安価。(検索:デビニセル, Divinycell)
1235	テムズ川	Thames, River	IN [地名・水域] 英国のテムズヘッド~ヘンリーオンテムズ~ロンドン~グリニッジを流す全長340kmの河川。 1716年にダゲッツ・コートアンドバッジレースが開催され、近代スポーツ(競漕)としてのロウイング発祥の地とされる。
1236	デュアル・レース	dual race	IN [競漕] 2艇競漕。 マルチレーンのレースに対し、2艇だけの競漕の様式。 マッチレース。(出典例:USRowing Registered Reatta Safety Checklist)
1237	デルタ・ジャパン、(有)	Delta Japan, Ltd.	JP [会社] デルタ造船から、ボートの修理、外国艇の輸入販売などを引き継ぐ。 埼玉県戸田市。
1238 *	デルタ造船所	Delta Shipyard	JP [会社] (東京都荒川区東尾久)。 日本の造船会社として桑野造船とともに2大メーカーであったが、経営不振で廃業。 艇の輸入販売、修理などは、デルタ・ジャパンが引き継いだ。
1239 *	デルタ・ブレード	Delta Blade	IN [用具・オール] ブレード形状のタイプ。 最大幅が先端に近く三角形に近い。
1240 **	テンポ漕 (てんぼそう)	tempo training	[練習] トレーニングメニューのひとつ。 競漕距離の50~75%をコンスタントで反復。 インターバルは充分な休息。 →レペティション。
1241	天竜漕艇場 (てんりゅうそうていじょう)	Tenryu Rowing Course, Shizuoka	JP [地名・水域] 静岡県北西部、天竜市の天竜川に建設された船明(ふなぎら)ダム湖に造られた天竜市営の漕艇コース。 公認B級・2000m。 毎年3月に全国高校選抜(2000m)を開催。(N34° 54' 55. 85" / E137° 48' 32. 03") Rowing course in Tenryu, Shizuoka Prefecture.
と 1242	トウ	toe	IN [用具・装置] 操舵漕手の片方のストレッチャーに取り付けられた操舵装置。 →トウ・エクステンション。 [Wikipedia/2006. 7. 7]
1243	トウイング	toeing	[動作] 舵手なし艇で、ストレッチャー・シューズに取り付けられたラダーラインを、つま先を左右に振って舵を切る動作。
1244	トウ・エクステンション	toe extension	IN [用具・部品] ステアズマン(操舵漕手)の操舵側の足先に取り付けられ、左右に振ることのできる延長板。 これにラダーラインをとりつけて操舵が可能となる。
1245	櫂漕 (とうそう)	rowing, sculling	[一般] オールで漕ぐこと。 帆走やエンジンによる機送に対する推進形態としての用語。 [2016-5-24]
1246 **	東独漕法 (とうどくそうほう)	DDR style	[動作] →DDRスタイル。
1247	トウ・バー	toe bar	[用具・部分] ストレッチャーのつまさき部分を支える横棒。 ストレッチャーバー。

no.	用語	English		解説
1248	“トゥー・ミニッツ”	“Two minutes.”		[審判・指示] 競漕における発艇員の一連の指示の言葉の一つ。従来の「スタート2分前」と同義。「ファイブ・ミニッツ」、「フォー・ミニッツ」、「スリー・ミニッツ」と続き、「トゥー・ミニッツ」の後は、クルー名を順に呼ぶロール・コールの後、「アテンション」、「ゴー」となる。
1249	稲門艇友会	Toumon-Teiyu-kai	JP	[団体・OB] 早稲田大学漕艇部のOB会。 [2017-10-30]
1250	動揺 (どうよう)			[用具・挙動] 艇の揺れのモード。全部で6成分に分類できる。平行運動では、前後揺(サージング、艇速変動)、左右揺(スウェイング)、上下揺(ヒービング)、また回転運動では、縦揺(ピッチング)、横揺(ローリング)、偏揺(ヨーイング、方向安定性)。
1251	独漕 (どくそう)			[大会] その種目に1艇のみのエントリー、または他の艇の除外・失格等で1艇だけのレースとなること。なお、場合によって(陸上競技における「独走」と対応させて)「他の艇をひき離し大差の状態を漕いでいること」を「独漕」と記述する可能性や、「ジャーマン・ロウイング;ドイツの漕艇」を「独漕」と記述する事例が生じる可能性もある。 [2007. 2. 9]
1252	トグル	toggle	IN	[用具・部品] ラダー・ロープにとりつけられた持ち手。(Coxswain's Locker/www.coxing.com より) タグ、タブとも。 [2012.5.15]
1253	ドジャー	dodger	IN/T	[用具・艇種] イートンでプレジャーボートのために使われた短い半アウトリガーつきの固定座席艇。(Story of World Rowingより)
1254	トーショナル・スティフネス	tortional stiffness	IN	[用具・性能] 艇のねじれ方向に対する剛性。
1255	*** 戸田漕艇場 (とだそ うていじょう)、戸田 ボートコース	Toda Rowing Course, Tokyo	JP	[地名・水域] 埼玉県戸田市にある埼玉県営戸田公園の中心施設としての漕艇コースおよび周辺施設。主要施設として東端に国立戸田艇庫(艇庫および宿泊・トレーニング施設)がある。コースは1939年に完成し、1964年に東京五輪を開催。関東地区の大学を中心に多数の艇庫があり、全日本選手権他主要レースを開催。(N35° 48' 08" / E139° 40' 38") The most famous Rowing course in Japan. (Founded in 1939, and held the Tokyo Olympic in 1964
1256	戸田艇庫, 国立戸田 艇庫	Toda Boathouse, JISS	JP	[組織・施設] 国立戸田艇庫。略称:国艇(こくてい)など。1964年(昭和39年)東京五輪の際、関連施設として建設された。1967年に国から移管。戸田漕艇場利用者のボートの保管、合宿、研修施設として利用されている。国立スポーツ科学センター(ナショナルトレーニングセンター, NTC)が管理している。
1257	戸田ロングレース (と だ…)	Toda Long Race	JP	[大会] 埼玉県・戸田漕艇場で1月に開催される3kmのロングレース(1500m往復)。2001年に(有)J2主催で始まり、2003年から埼玉県ボート協会主
1258	ドック・マスター	dockmaster	IN	[人・役職] ドック(艇の発艇・着岸場所、発艇場)での管理責任者。レースで、発艇するクルーの安全装備のチェックなどを行なう。(出典例:USRowing Registered Regatta Safety Checklist)
1259 *	トップ	top		[用具・部分] →パウ。艇首。
1260 **	トップ・カール	top curl		[用具・オール] ブレードのキャンバー形状のひとつ。先端付近で曲率が大きい。
1261	トップ・ガンネル	top gunnel		[用具・部分] スプラッシュボード。
1262	トップ・キャンバー	top camber		[用具・オール] トップカール。
1263	トップ・キャンバス	top canvas		[用具・部分] →パウデッキ。パウキャンバス。
1264 **	トップ・コックス	top cox		[用具・艇種] →フロントコックス。パウコックス。
1265	トップサイド	topside	IN	[用具・部分] 船側、(舷側)。ナックル艇の船底に対し、立ち上がった側面部分。喫水より上の部分。
1266	トップ・スピード	top speed		そのクルーの最高速度。
1267 ***	トップ・スライド	top slide		[動作] ロウイング動作の中で、シートが最もパウより来た瞬間、その姿勢。
1268	トップ・デッキ	top deck		[用具・部分] パウデッキ。
1269	トップ・ナット	top nut	IN	[用具・部品] ソール・ピンの最上部に取り付けられ、オールロックを軽く回転させながらも同時に外れないようにとりつけ、またバックステイをとりつけるためのナット(およびナット群)。(Coxswain's Locker/www.coxing.com より)
1270 **	トップ・ボード	top board		[用具・部分] ガンネル上端に取り付けられたフェンダー。キャッピング。
1271 ***	トップ・ボール	bow ball		[用具・部品] →パウボール。安全と着順判定のための、艇先端のゴム製・白色のボール。
1272	トップ・ローラー	top roller	IN	[用具・部品] C2・エルゴのシートに取りつけられるローラーのうち、上側のもの。(⇨ボトム・ローラー) [2015.7.27]
1273	土手評 (どてひょう)	Dote-hyo (Rumor on bank)	JP	[レース・観戦] クルーの優劣を外部から評しての予想、評価、うわさ。一般には、レースに直接関係・責任のない第三者(観戦者)が、根拠の不確かなままあれこれ話す評判、特にクルーの優劣やレースの予想というニュアンスが強い。下馬評とほぼ同義。“Dote” means the bank, “-hyo” means evaluation, estimation or “rumor”. “Dote-hyo” means like “Irresponsible rumors of the spectators on the bank”. [2011.7.19]
1274 *	図南型 (となんがた)	Tonan type	JP	[用具・船型] ハル形状のひとつ。円弧断面を基本とする。摩擦抵抗は少ないがローリングに対するモーメントが小さく、バランスがセンシティブになる。
1275	ドーニー湖	Dorney lake, Eton	IN	[水域・固有名] ロンドン郊外、ヒースロー空港の西約10kmに位置する人工の漕艇コース。2012年ロンドン五輪開催。 [2010.1.5]
1276	ドノラチコ	Donoratico	IN	[会社] イタリアの造船会社。
1277	とびうお型	Tobiuo type	JP	[用具・船型] ハル形状のひとつ。
1278	ドーピング	doping	IN	[スポーツ一般・ドーピング] 競技力を高めるために、特定の薬物(禁止物質)を使用する、血液ドーピングなど、遺伝子ドーピングなどを行なうこと。フェアプレーの精神に対する違反、反社会的行為、競技者の健康阻害の点で、すべてのスポーツ競技において、その競技規則で禁止されている。 [2006. 7. 6]
1279	ドーピング検査		IN	[スポーツ一般・ドーピング] 競技大会での競技と記録の公正さを保つために、競技者がドーピングをしているかどうかを検査すること。その方法は、世界アンチ・ドーピング規定と日本アンチ・ドーピング規定に則って行なわれ、競技会検査と競技外検査がある。具体的には、75mLの採尿を行い、Aボトル(50mL、検査用)、Bボトル(25mL以上、保管用)に分け、Aボトルで検査を行なう。 [2006. 7. 6]
1280	ドーピング・コントロール	doping control	IN	[スポーツ一般・ドーピング] →ドーピング検査を含む、ドーピングに対する管理全般を指す言葉。ほとんどドーピング検査と同義として使用されていることも少なくない。 [2006. 7. 6]
1281	ドーピング・コントロール・オフィサー	doping control officer	IN	[スポーツ一般・ドーピング] 競技会のドーピングコントロールにおける総責任者。

no.	用語	English		解説
1282	ドーピング・コントロール・パス	doping control pass	IN	[スポーツ一般・ドーピング] ドーピング検査となった選手に、その識別のために渡されるIDカード。検査終了まで首にかけておく。[2006. 7. 6]
1283	トマス・ダゲット・コート・アンド・バッジ・レース	Thomas Dogett's coat and badge race	IN	[大会・固有名] トマスタゲットが1716年に創設したスカルのレース(テムズ川)。これに由来してブレザー・コートの名前ができた。現在も続く、最古のスポーツ大会のひとつ。
1284 *	とも(艫, 舳)	stern	IN	[用具・部分] 艇尾。スターン。
1285	豊田湖(とよだこ)	Lake Toyoda	JP	[水域・固有名] 山口県下関市豊田町にある木屋川ダムによるダム湖。1000m。西市高, 山口水産高が活動。
1286	トライアル	trial		[練習] タイムトライアル。
1287 *	ドライシガッカー	Dreissigacker (Racing Oar)	IN	[会社] コンセプトIIのオールブランド名。創始者のドライシガッカー兄弟の名前に由来。
1288	ドライ・スタート	Dry Start	IN	[練習・工程] ロウイングのトレーニング, 技能養成プログラムにおいて、いきなり水上練習を始めるのではなく、ボートの扱いや安全, そしてエルゴを使って陸上でまず適切な運動を身につけさせる養成体系のこと。[Know the Game/Rowing p. 20, 2007. 12. 23]
1289 **	ドライブ	drive		[動作] レグドライブ。脚の進展動作。
1290 ***	ドライブ	drive		[動作] 水中。ストローク。
1291	ドライブ・スタート	drive start		[動作] ビギニング。キャッチ後のドライブの開始の動作。
1292	ドラゴン・ボート	dragon boat	IN	[用具・艇種] 本来ロウイング・ボートの範疇ではなく、「カヌー」の様式に入るが、近年、水上スポーツの普及の中で、ロウイング倶楽部がドラゴンボートも扱うケースが出てきている(例: 瀬田漕艇倶楽部でも保有)。ドラゴンボートは、中国~東南アジアの伝統的な手漕ぎ競漕として各地で盛んに行なわれてきたが、今では欧米でも人気が高まっている。
1293	トラッキング	tracking		[用具・挙動] 艇の航跡。進路。
1294 *	トラック	track		[用具・部品] シートレール。一般に欧米では、レールというのは稀で、トラックまたはスライドと呼ぶことのほうが普通である。
1295	ドラッグ・イット・ダウン	"Drag it down."	IN	[動作・指示用語] ブレード下端を水面に徐々にあて、艇を減速させること。その指示。
1296	ドラッグ・ファクター	drag factor	IN	[用具] エルゴメータの回転に関するブレーキ(抵抗, 抗力)の指標。コンセプトのモニターで表示させることができる。PM2以前ではRESETとREADYを同時に押し表示させ、3本引くと表示される。PM3以降では、メニューから該当のページで表示できる。フライホイールの減速率から計算される。ダンバの開度と機差で変わるものである。[2015.12.7]
1297	ドラフト	draft	IN	[用具] 喫水。水面からハルの最深部までの深さ。
1298 ***	トランスポートーション	transportation training	IN	[練習] トレーニング分類における1カテゴリー。血液循環(特に酸素運搬など)の能力を高めるためのトレーニング。
1299	トランポリン効果	trampoline effect	IN	[バイオメカニクス] シャフトのバンドを、トランポリンのエネルギの弾性貯蔵・放出に対応するものとして効果があるとする概念。特に動作の同期の重要性などの根拠としても多用される。※Ozawa Rowingではロウイング動作やクルーの運動をトランポリンに対応させることについて、全面的に指示するものではない。[2017-1-14, The Biomechanics of ROWING, 2016 p.88]
1300	トリプル(・スカル)	triple scull	IN	[艇種・艇] 3人漕ぎのダブルスカル。稀に見かける。[Wikipedia, 2006. 7. 7]
1301	トリプル・バケット・リグ	triple bucket rig	IN	[リギング・レイアウト] 1艇のエイトのリガーレイアウトについて、3箇所のバケットリグ(タンデムリグ)を配置するリガーレイアウト。SPPSSPPS(S:右舷, P:左舷)といったレイアウト。出典: RowingNews2008.8 [2015.12.7]
1302	ドリーミー・フォワード	Dreamy Forward		[動作] 夢を見ているような、ぼんやりしたフォワード。レイジー・フォワード(Lazy Forward)と同義。[月刊漕艇No.19(1966. 12) p5] [2009.6.15]
1303	トリム	trim	IN	[工学・船舶] トリムとは、「釣り合い」といった意味だが、船艇の挙動を表す用語としては、特に艇の前後方向の傾きのことをいう。なお「ピッチング」というのは「動揺」の一部分で、ここでいうトリムとは異なる。ボートのある瞬間の(あるいは静止状態がある時間区間の平均としての)前後の傾き(水平か、前のめりか、ヘッドアップしているか)がトリムであり、その時間的な変動がピッチングである。
1304 *	ドリュー・ハリソン	Drew Harrison	IN	[コーチ・人名] 1968年にシラキウス大(米国・ニューヨークの名門私立大、スポーツが盛ん。スクールカラーはオレンジ、クルーはオレンジクルーとも呼ばれる)でロウイングを始め、卒業後同大の新人クルーのコーチングに従事し好成績を挙げる。1977年と1981年には米国軽量級も指導、その後、カナダチームのコーチを始め、1984年、1988年には五輪コーチ。1991年7月からの2年間、日本漕艇協会が招請しプロ・コーチとして来日シナショナルクルーを指導し、1992年、96年の五輪参加を支えた。2004年にはウィンテック・レーシングを起業し、中国で生産した艇をカナダ・米国への販売を手がける。[2009. 6. 1]
1305	トーリン、(株)	Torin Co., Ltd.	JP	[会社] 漕艇部品などの輸入販売。青森県むつ市。C2エルゴ, マリンボーチなど扱い。[2015.2.26]
1306	トルキング・スティフネス	torquing stiffness		[用具] →トーショナル・スティフネス。
1307	トルク	torque	IN	[力学・一般] 物体を回転させるときの、回転軸まわりの力のモーメント、能率のことで、「ねじりモーメント」とも言い、「力×距離(半径)」で表される。たとえば、漕手の漕ぐ力のモーメント、トルクは、ハンドルを引く力とインボード長の積で表すことができ、同時に、ブレードが水を押す力とアウトボードの積でもある。
1308	トルク	TORQUE(R)	IN	[用具・艇] ボートビルダーのリヴェイター(Levator)の製品のひとつ。エリートクラスのシングルスカル。
1309	トルクス	Torx(R)	IN	[用具・ネジ・規格] ネジのアタマの形状規格のひとつ。六角穴に似ているが、星型になったものを「ヘックスローブ」と言うが、その登録商標がトルクス。→ヘックスローブ [2017-1-24]
1310	トレーサー	tracer	IN	[用具] 規格化されたシングルスカルの1クラス。一般的な競漕艇より安定している。
1311	トレスル、(トレスル)	trestle	IN	[用具・周辺] 艇を置く台。ウマ。ボート・スリング。ストレッチャー
1312	トレーニング・ボート	training boat	IN	[用具・艇種] 競漕艇に対して、練習専用(または練習向き)の艇のこと。特に幅の広いボートのことなど。
1313 *	ドレハー	Dreher	IN	[会社] アメリカのオールブランド。米国ニューハンプシャー、ダーハムの、ダーハム・ボート・カンパニーが製造。

no.	用語	English		解説
1314	ドレン・プラグ (ドレイン・プラグ)	drain plug	IN	[用具・部分] 水抜き栓。船底に設けられ艇内入った水を排水するための水栓で、艇を容易には裏返せない大型の重量艇(カッターやフィックス)などには必須で、ナクルフォアの古いタイプにも残っていたが、現代のシェル艇にはそのタイプのドレインプラグはない。ただし、デッキ側に設けられた水抜き栓もまた、ドレン・プラグと呼ばれる。→参考:キングストン・バルブ。[2011.4.27]
1315	ドロップ・イン	drop in, drop the blade in		[動作・] フォワード週末のブレードの入り動作で、ブレードを漕手から見て下に落とすイメージ。対語はロウ・イン。[2016-3-5] ※要出典
1316	ドロップ・イン・ユニット	drop in unit		[用具・装備] スライディングリガー機構を一体化して、着脱可能な構造としたもの。カヌーやレクリエーション艇へ取り付けられるもの。
1317	ドロップ・ハンズ	drop hands		[動作・通常] ドライブ終盤のハンドルの下降動作。
1318	ナイオジェル	Nyogel	IN	[用具・商標] コックスボックスのコネクタの接点に使用する導電性のグリスの商品名。一般名称としては、コンタクトグリス、接点グリスなどのことである。[NKウェブサイト, サポート情報, コックスボックスのメンテマニュアルなど]
な 1319	内傾 (ないけい), ピッチの	(lateral) inward pitch	IN	[用具・リギング] ソール・ピン(オールロックのシャフト)が、キール側に傾斜すること。
1320	内傾 (ないけい), 上体の	lean (of the body) into the rigger		[動作・欠陥または推奨] スイブ艇における、上体のリガー側への傾き。特にキャッチのところで発生する。緩やかな内傾は許容(または推奨)されるが、突然の極端な内傾はランジと呼ばれ、避けるべきものとされる。(Coxswain's Locker/www.coxing.com より)
1321	内長 (ないちよう)	inboard	IN	[用具・リギング] インボード長。
1322	ナイフイング	knifing	IN	[動作・失敗] ブレードを深く切り込んでしまう失敗のこと。
1323	内部てこ比 (ないぶー)	inner leverage		[用具・リギング] オール外長/リガースプレッドの比。
1324	ナイロン・クラッチ	nylon oarlock	JP	[用具・部品] プラスチック(ナイロン)製のオールロック。現在はほとんどプラスチック製であるが、古くは金属(真鍮やアルミニウム)製であったため、それに対しての語。商標。
1325	ナイロン・ナット	nylon (-inserted) nut	IN	[用具・部品] ナイロンが挿入されているナット。振動などで勝手に緩んでしまわない機能がある。代表的なものはオールロックのゲートのところに用いられているナットなど。
1326	ナイロン・ローラー	nylon roller		[用具・部品] ナイロン製のシートローラー。
1327	長沼 (ながぬま)ボート場	Naganuma Rowing Course	JP	[地名・水域] 宮城県にある2000m・A級コース。泊川に建設された長沼ダムによる人工湖。宮城県および東北地区の主要大会を開催。N38° 41' 35. 25" / E141° 08' 3. 76" [2015.7.8]
1328	長沼ローイングマラソン (ながぬま…)	Naganuma Rowing Marathon	JP	[大会] 宮城県・長沼漕艇場で10月下旬に開催されるヘッドレース。6kmおよび3km。[2015.7.8]
1329	長良川国際レガッタコース (ながらがわこくさいー)	Nagaragawa International Regatta Course, Gifu		[水域・施設] 岐阜県海津町の長良川、木曾三川公園にある2000m・A級コース。環境問題が取り沙汰された長良川河口堰の建設によって生まれた静水域。2005年世界選手権(アジア初)の開催地。長良川サービスセンターなどの施設が充実。水上バイクの横行が懸案。(N35° 09' 49. 76" / E136° 40' 12. 00") [2015.7.8]
1330 **	なしフォア	coxless four, four without, straight gour	IN	[用具・艇種] 舵手無しシェルフォア。略号4ー。エイトを100としての艇速指数は約92. 5。規定重量は50kg以上。日本での普及率では、なしフォアよりもつきフォアが圧倒的に多いが、ボート先進国ではなしフォアも多い。[2015.7.8]
1331 **	なしペア	coxless pair, pair without, straight pair	IN	[用具・艇種] 舵手無しシェルペア。略号は2ー。エイトを100としての艇速指数は84。規定重量は27kg以上。艇種の中では最もクルーのバランス維持と操舵漕手の操艇能力を要求される艇である。[2015.7.8]
1332	NAASH (なーしゆ)	NAASH, National Agency for the Advancement of Sports and Health		[組織] (独立行政法人)日本スポーツ振興センターの略称。
1333	ナショナル・スコード	national squad	IN	ナショナルチーム。国を代表する(選抜選手などによる)クルー。スコードは、分隊、チームといった意味。
1334	ナチュラル・デス・ルール	Natural Death Rule	IN	[大会] FISAの世界選手権における、エントリー数の少ない種目の存続に関する取り決めで、「6カ国以下の状態が3年続けば、世界選手権の種目から外す」というもの。2005年の軽量級男子エイトが該当したが、当年2月のFISAの総会で結局継続されることが決定され、ルールに「五輪種目とエイトの全種目を除く」という規定が付加された。
1335	ナックル(艇)	knuckle boat	JP	[用具] ハルが底板と側板で構成され、横断面が直線的な艇。安定性はよいが重くて遅い。いくつか艇種があるが、ほとんどナックルフォアが主。コックスシートの後ろにコーチャー(コーチ席, 補助席)がある。Japanese traditional racing boat with plain bottom and plain side planking instead of rounded shell skin.
1336	ナックル・エイト	knuckle eight	JP	[用具] 8人漕ぎのナックル艇。ほとんど見ることはできない。
1337	ナックル・シックス	knuckle six	JP	[用具] 6人漕ぎのナックル艇。ほとんど見ることはできない。
1338 ***	ナックル・フォア	knuckle four	JP	[用具] 4人漕ぎナックル艇。現在では、主要大会の種目から廃止されたが、市民レガッタや社内レガッタなどで初心者向けにまだ見ることも多い。
1339	ナックル・フォア・スカル	knuckle four scull	JP	[用具] ナックルフォアのリガーをスカルに替えた艇。特にジュニア選手の成長のため提唱された。
1340	ナックル・ペア	knuckle pair	JP	[用具] 2人漕ぎのナックル艇。舵手つきで、補助席もある。
1341	ナックル・ライン	knuckle line	JP	[用具] ナックル艇の側板と底板の境界線。
1342	ナット・プレート	nut plate	IN	[用具・オール・部品] コンセプト2のオールのパーツ名称。調整ハンドルを固定する内部部品。クローカーでは、ロック・プレートに相当。[2015-12-24]
1343	7番 (ななばん)	7, number 7	IN	[漕手・ポジション] エイトにおいてパウから7番目の漕手。
1344	ナビセル	Navicel, R		FRP艇の船体造型(積層)において、サンドイッチ工法のコア材として用いられる、硬質塩ビ発泡体の商標。同様の素材として、デビニセル、クニゲセルなどがある。JFC(株)(Japan Foam and Composites Inc., プラスチック製品製造・加工・販売及び輸入, 樹脂販売, 接着剤販売, FRP製品製造・施工等, 大阪市淀川区が2005年に製造開始。現在は, GURIT社(スイス)から欧州製造の製品「NAVICEL-G」
1345	ナラガンセット	Naraganset	IN	[用具] 1900~1960年代頃に作られていた米国・ナラガンセット社のロウイングマシン。タイタニック号のトレーニングジムにも装備されていた。

no.	用語	English	解説
に 1346	ニー (ニー)	knee	IN [動作] (1)膝.
1347	ニー (ニー)	knee	[用具] (2)肘材(ちゅうざい). リガーステイ取付部などを補強する艇内の補強部材.
1348 *	2× (にえっくす, にかげ, にべけ)	double scull	IN [用具] →ダブルスカル. (2は漕手の数, ×はスカルを意味する.)
1349	2×TA	2XTA; 2X Trunk and Arm	IN [大会] パラ・ロウイング(障害者漕艇)のカテゴリーのひとつ. 脚を使わず, 上体と腕だけを使って漕ぐ固定座席の2×.
1350	2脚リガー(にきやくりがー)	2 stayed rig.	JR [用具] センターステイがなく, フォアステイとバックステイで構成されるリガー.
1351	二次安定性		IN [艇設計・要素] 艇がローリングする際の安定性について, 水平状態から最初少し傾くときの傾きにくさが一次安定性, さらに傾いていったときの踏ん張りのようなところが二次安定性である. 船底が平たく側面が鉛直であれば, 一次安定性は高く二次安定性が低い. 全体が楕円断面でも側面が弧がっていけば, 一次安定性は低い二次安定性が高い. [新版カヤック工房, p15 2020-6-4]
1352 *	ニーース・ダウン	knees down	[動作] レグ・ドライブにおいて, 膝間接を伸展させる動きに対し, 膝を下に下げるという動作感覚のイメージ. 指示用語.
1353 *	日ボ (にちぼ)	Nichi-Bo	JR [組織] 日本ボート協会の略称. →日本ボート協会. 日本漕艇協会時代には「にっそう」と略していたのが「にちぼ」になった. 2023年に日本ローイング協会に改称されたらどう略称されるのだろうか? [作成20171010 改訂20230311]
1354	日漕 (にっそう)	Ni('t)sou	[組織] 日本漕艇協会の略称. (→日本漕艇協会) 現在の日本ボート協会. [2017-10-10]
1355	ニードル	needle	IN [用具・オール] 細長い, 古いタイプのオール.
1356 *	2番 (にばん)	2, number 2	IN [漕手・ポジション] ハウから2番目の漕手.
1357	ニーブス	Neaves Rowing Service Ltd.	IN [メーカー] 英国の操艇部品メーカー. リガー等の金属系が主力. [2018-6-26]
1358 *	2+ (にぶらす)	coxed pair	IN [用具] →つきペア. (2は漕手数, +はコックスつきを表現.)
1359	日本アダプティブローイング協会 (にほん)	Japan Adaptive Rowing Association,	IN [組織] 2006年に設立されたNPO →2013年に, 日本パラローイング協会に改称. 2018年に解散し, 日本ボート協会の組織として再編 [2017-10-30]
1360	日本アンチ・ドーピング機構	JADA, Japan Anti Doping Agency	IN [スポーツ一般・ドーピング] 日本のスポーツ競技においてドーピング・コントロールを統括する機関. URLは, www. anti-doping. or. jp. [2006. 7. 6]
1361	日本オアズマンクラブ	Japan Oarsman Club	JR [団体] 1948(S23)年創設. 戸田の大学漕艇部OBらによる親睦団体. [月刊ローイング・No.533 p8 2016.2.3]
1362	2本漕ぎ (にほんこぎ)	2 strokes	[練習] 技術漕のひとつ, 連続2本のハイプレッツシャーを, 間欠的に行う. 1本漕ぎに続いて行う.
1363	日本女子ボート連盟 (にほんじょし…)	Japan Womens Rowing Federation	IN/R [組織] 日本ボート界女子選手の強化を目的として設立された団体. 生涯スポーツとしてのボートの役割を高め, 交流を深めることも視野に入れている. 2007年設立. 初代会長:高村光佐子. 副会長:中村さなえ, 青山美紀. [以上は, 2007. 7. 29. 松江市民レガッタプログラム, p. 27より] なお, 2019年5月現在, 対外的に積極的な活動は確認できていない. 存在意義は高いと思うのでぜひ存在感を発揮してほしい. [2019-5-14]
1364	日本スポーツ協会, 公益財団法人	Japan Sports Association	[組織] 日本体育協会から2018年4月に改称. [2017-11-28]
1365	日本スポーツ振興センター, 独立行政法人	Japan Sports Council	[スポーツ一般・組織] 日本のスポーツ振興, 児童生徒等の健康の保持増進を図るための政府の中核的専門機関. 2003年(平成15年)に設立. 東京都新宿区の国立霞ヶ丘競技場に本部. 前身は, 「日本体育・学校健康センター」. 国立として建設されたスポーツ施設の運営, スポーツ振興の援助, 児童生徒等の災害給付, 調査研究, 資料収集・提供等を行う. 国立スポーツ科学センター(JISS), ナショナルトレーニングセンター, 戸田艇庫などは, この機構下に含ま
1366	日本スポーツ仲裁機構 (にほん…ちゅうさいきこう)	Japan Sports Arbitration Agency, JSAA	IN [スポーツ一般・組織] 略称, JSAA. 2003年に設立され, 本部は, 国立代々木競技場(東京都渋谷区)内にある. 例えば, 代表選手選考や指導に関する組織やコーチと選手間の争い, ドーピング最低に対する不服などを仲裁する役割を担う. ホームページ: www. jsaa. jp [2006. 7. 6]
1367 ***	日本漕艇協会, 公益社団法人 (にほんそうていきょうかい, にっぼん…)	Japan Amateur Rowing Association	IN [組織] 現在の公益社団法人・日本ボート協会の, 改名前の名称. 1920(大正9)年6月に創設され, 日本のボート競技を統括・代表する団体. 1998年に社団法人・日本ボート協会に改称し, その後公益社団法人に改組. [2015-12-24]
1368	日本体育協会, 公益財団法人	Japan Sport Association	IN [組織] 日本のスポーツ活動を統括した公益財団法人. 日本ボート協会を含む各種スポーツ協会の統括, 公認指導者資格の管理など. 2018年4月から, (公益財団法人)日本スポーツ協会(Japan Sport Association, 略称はJSPO, ジェイスポ)に改称された. sportsではなくsportを採用. 2019年6月から事務局を新宿区霞ヶ丘町の「ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクウェア」に移転し
1369	日本パラローイング協会 (にほん…)	Japan Para Rowing Association, JPRA	IN [組織] 2006年に日本アダプティブローイング協会として設立. 障害者のボート競技の普及振興と社会参加の援助, 障害者の体力の向上とスポーツ精神を育成することを目的とした. 2013年に日本パラローイング協会に改称(NPO)し, 略称はJRPAとなった. 日本ボート協会傘下の組織としても位置づけられ, 47都道府県ボート協会と連動し, 世界選手権のアダプティブ種目やパラリンピックのロウイング種目への国内支援・選考・派遣などを管理していた. 2018年6月に解散し, 日本ボート協会の「パラローイング委員会」として再編された. [2018-9-10]
1370	日本ボート・アスリート・コミッション	Japan Rowing Athletes Commision	JR [組織] 日本のロウイングにおける選手同士の直接の意見交換の場として2006年に, 武田大作(愛媛県)を代表(キャプテン)として創設された. 国際アスリートコミッションとのネットワークされた国内組織として位置づけられる. 若手国体では(花巻, 2016.10.6)ではミーティングが開催された. 愛媛国体(今治, 2017)での開催は不明. 関連ウェブサイト: http://jracc.daa.jp/は, 2017-10-10に確認されたが, 2019-5-14には把握できていない. [2019-5-14]
1371 ***	日本ボート協会, (公益社) (にほんぼーときょうかい)	Japan Rowing Association	IN [組織] 日本のボート競技の活動を統括した公益社団法人. 1998年に日本漕艇協会から改名, 2023年に「日本ローイング協会」に改称. 1964~2019年5月まで, 東京都渋谷区神南の「岸記念体育会館」に事務局を置いた. 2019年6月から, 新宿区霞ヶ丘町に新設された「ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクウェア」に移転した. 専門誌, 「ローイング」を発行. [作成20190603 改訂20230311]

no.	用語	English	解説
1372	日本ボートマンクラブ	Japan Boatman Club	JR [団体] 1986(S61)年に創立した1962(S37)年卒の5大学(東京, 早稲田, 慶応, 一橋, 京都)OBによる親睦団体。2016年現在, 50大学約850人が参加。[月刊ローイングNo.533・p8 2016.2.3]
1373	日本ローイング協会 (公社)	Japan Rowing Association	IN [組織] 日本のボート競技の活動を統括している公益社団法人。2023年1月に, 日本ボート協会から改称。「ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクウェア」に事務局がある。専門誌:「ローイング」を発行。[作成20230311]
1374 *	2ー (にまいなす)	coxless pair	IN [用具] →なしペア。(2は漕手数, ーはコックスなしを意味する。)
1375 **	2枚貼 (にまいばり)	2plyed wood shaft	[用具・構造] 木製オールルーム(シャフト)構造のひとつ。円柱状のルームを, 水平に置いてスクウェアにした姿勢で, 上下2枚を貼り合わせたもの。中空にすることと軽量化のための構造。カーボンシャフトに比べれば耐久性に劣り(往時の接着剤の限界でもある), 数年駆使すれば, 接着部がはがれ浸水し寿命となることが多かった。背(バウ側)にもう1枚貼ったものが3枚張り。[2016-2-3]
1376	ニュートン	N: newton	IN [一般・単位] 力の国際単位。1[N](ニュートン)=[kg/m・s ²]=0.102[kgf], 1[kgw]=9.91[N]。ローイングの関係では, 各種物理計測のデータのほか, 救命具の浮力規格などに用いられている(例150N=15.3kgの浮力)。
1377	ニールセン, トール	Nilsen, Thor	IN [コーチ] ノルウェーの著名なコーチ。1990-2000年代で最も成功したコーチの一人。ノルウェーとスウェーデンでの指導のほか, 数カ国でナショナルレーニングセンターの設立を支援。指導したクルーの世界選手権での優勝30, 五輪での優勝8つを数える。
1378 *	ニールセン・ケラーマン社	Nielsen Kellerman	IN [会社] リチャード・ケラーマンとポール・ニールセンが1978年に起こした会社。コックスボックス, ストロークコーチ, クロノストロークなどの周辺機器メーカー。(米国, ペンシルバニア州チェスター。URLはwww.nkhome.com)日本の輸入代理店は桑野造船 [2017-10-10]
ぬ 1379	濡れ面積 (ぬれめんせき)	wet surface (area), wet area, wetted surface area	[造船・設計] 浸水表面積。喫水線より下の, 船体表面の水没する部分の面積。水に対する表面抵抗(摩擦抵抗)に関係する。濡れ面積が大きいほど, 抵抗が増え, 同じパワーでも艇速が落ちる。競漕艇では, 水に対する抵抗の大きな部分が, このハル表面の摩擦抵抗である。濡れ面積を最小にするには, 完全な球形が最も小さいことになるが, 実際には, それでは渦や波が発生し, その抵抗が増えるため, 競漕艇では非常に細長い形状となる。しかし横断面については, 円形断面でなく様々な実際には様々な断面形がある。バランスや直進性など多くの要素で艇の良し悪しが決まる。[2020-6-4]
ね 1380	ネガ	negative? Hold it	[用語・指示] ブレードをスクウェアにして水中に沈め程度制止させる動作, その指示。ホールド, ブレーキ, テイトメ, テイコウ, ストップなど同義。あまるメジャーではないが, 京都および山形で確認。[2018-9-25]
1381	ねこ		[用具] 受け木。キールに取り付けられた, ストレッチャーを固定するための台
1382	ねじれ剛性 (ごうせい)	torsional stiffness	IN [用具] →トーションアルスティフネス。
1383 ***	ネック	neck, blade neck	[用具・オール・部分] ブレードとシャフトの接合部分。古典的にはアウトボードシャフトを指す場合もあったようだ。(要検証) [漕艇術, 1920, 2014-7-9]
1384	ネッド・ハンラン	"Ned" Hanlan	IN [人名・スカラー] →ハンラン
1385	ネヴィル, レン	Neville, Len	[企業・部品] Len Neville - Racing Boat Riggers & Fitters. ボートのリガー等艀装品のメーカー。英国・ロンドン郊外にある。住所: TW15 1AX Ashford, Kent Unit 2 Challenge Road [2017-10-25]
1386 **	ねる, ねかせる	under pitch(ed)	[用具] ブレードカバー角が過小または負の状態。(かぶさるの逆)
1387	ネロ	Nelo	IN [カヌー, メーカー] カヌー(特にスプリント)のトップメーカー。ポルトガル。ユーロチャンピオンネロ製。2016年頃から, ネロブランドでの小艇もラライしている。
1388	粘性抵抗 (ねんせいいていこう)	viscosity	[用具] →表面抵抗。摩擦抵抗。水が持つ粘性に起因する抵抗。[2016-10-19]
1389	濃青会 (のうせいかい)	Nousei-kai	JP [団体・OB] 京都大学漕艇部のOB会。濃青(ダーク・ブルー)のブレードカラーに由来する。[2017-10-30]
の 1390 **	ノー・スライド	no slide	[練習] スライドをつけず, 腕と上体だけで漕ぐこと。
1391	ノッカー	knocker	[用具] ラダーローブに結ばれた小さな取っ手。タブ, タグ(タッグ), トグルなどともいう。同じ機能でも, 大きな握り手のものはハンドルと呼ばれる(傾向にある)。[2012.5.15]
1392	ノービス	novice	新人, 初心者。
1393 ***	ノーマル・リグ	normal rig	IN スタンダードリグ。通常のリガーレイアウト。バウを右舷とし交互に配置。
1394 **	ノーマル・レール技術	rowing technique with normal rail	適度な脚屈曲・上体前傾でキャッチ姿勢を作る動作技術。DDR漕法やローゼンバーク漕法はこれに属する。対語はロング・レール技術(アダム漕法)。
1395	ノルテ, フォルカー	Nolte, Volker, Dr.	IN [コーチ, 学者] ドイツ, ケルン・スポーツ科学大学でバイオメカニクスを研究。何度かの世界選手権にも出場。ブレードに働くハイドロダイナミック・リフト(揚力)の提唱者。2005年現在, カナダ・オンタリオに在住, 西オンタリオ大学の教授。コーチングとバイオメカニクスを教える。ローイング・ファスターの編者。
1396 ***	ノーワーク	no work	[練習] ほとんど水を押さない歩行的なローイング状態。
は 1397	杯(はい)	"hai"; one of counting units for small boat in Japanese.	JP [用具] 艇。ボートを数えるときの単位のひとつ。杯(さかずき)やお椀とボートでは, 入るものが逆(お椀は中に液体, ボートは中に空気)だが, お椀も水に浮かせば排水船型と構造, 浮く原理は同じになるので, 「杯」と数えるのも理解できる。やや古い言い方。
1398	バイオ・スライド	Bio-Slide (R)	IN/R [用具] カシパー社の開発した, コックスを前後にスライドさせる構造で, 漕手の前後運動と対称的に運動させ, 艇速変動を低減するデザイン。
1399	バイオ・リグ	Bio-Rig (R)	IN/R [用具] カシパー社の開発した, 漕手のスライドを艇軸に対し, 斜めに配置する構
1400	バイオリウワ	Biorower	IN [用具・ローイングマシン] ドイツのローイングマシンのメーカー名, 商品名。リガー構造とオール(インボード側)がつき, より実艇に近い動作を再現しようとしている。スクリングタイプと(スイブ)ローイングタイプがある。→ www.biorower.com [2006.11.18]
1401	敗者復活戦 (はいしゃふつかつせん)	repechage	IN [大会] 予選での敗者から上位レースへの通過者を決めるレース
1402	バイスウェプチュアル	bisweptual	IN [漕手・タイプ] スイブの漕手で左右どちらでも漕ぐことができるタイプのこと。[Wikipedia/ 2006. 7. 7]
1403	配艇 (はいてい)	distribution of boats, renting boats	[競漕・手続] レースにおいて, 艇を主催者側が用意すること。その艇の配分, 貸与のこと。その管理を行う係。⇄自艇

no.	用語	English	解説
1404	廃艇 (はいてい)	disused boat, wasted boat	[用具] 老朽化や破損・修復不可となって廃棄された艇。または艇を廃棄すること [2016-12-15]
1405	ハイト	height	[用具] 高さ。→ワーク高, ワークハイト。
1406	ハイト・アジャスタブル・シート	height adjustable seat	[用具] シートの座面の高さを調整できるシート(20-00年代半ばに普及し始めた)。基本的に価値ある構造である。ハイトの調整については、従来の木造艇の時代から設計段階で体重と喫水によってレールの高さが調整されてきたが、一般にハイト調整がオールロックの高さ調整のみで対応される傾向にあり、体格に合わせたシートハイトの調整、適切なシャフトの入水角に気を配るのがおろそかになるきらいがあった。ハイトが容易に調整できるシートは大歓迎である。2016年あたりからWinTechでは標準仕様となった。 [2016-12-16]
1407	ハイト・ゲージ	height gauge	[用具・リギング] ワーク高などを測るための計測器具。Lゲージ、ハイトスティックなど様々な呼び方がされる。 なお、用語としてのハイト・ゲージは、ロウイングだけでなく、機械・工学分野での一般用語でもある。汎用あるいはそれぞれの目的に応じて高さを測定する様々なハイトゲージが存在する。 [2016-12-16]
1408	ハイト・スティック	height stick	[用具・リギング] ワーク高などを測るための計測器具。ハイトゲージ、リガー・スティックと同義。(Coxswain's Locker/www.coxing.com より)
1409 *	ハイドロダイナミック・リフト	hydrodynamic lift (in blade) (in hull)	[流体力学] 水流の中で生じる揚力効果。①主には、ブレードに平行な流れの成分によってブレードに生じる揚力を言う。特にピギニングとファイナルで推進力に寄与するとの考えがある。②前進中に艇体自身に働く下向きの揚力。艇速変動とともに特にフォワード中に艇を沈める作用が生じると考えられる。 [2016-
1410	ハイポサーミア	Hypothermia	[安全, 医学] 低体温症。
1411	ヴァイラス	Virus Boat Company	[会社] レクリエーション用・ビーチ用のボートを作っているフランスのボートビルダー。レクリエーション用可動リガー艇などもある。日本では、J2が扱っていた。 [2016-12-15]
1412 **	ハイ・レイト	high rate	[動作・状態] レイトの高い状態。
1413 ***	バウ	bow	[用具・部分] 船(じく、へさき)。へさき。艇の一番前、先端のこと。競漕艇では「バウ・ボール」がとりつけられている。
1414 ***	バウ	bow	[漕手] 縦に並んだ漕手の中で、最も艇の進行方向の前寄りに位置する漕手。バウマンともいう。漕手全体を見ることができるので(コックスとともに)クルーの状況を把握し、適切な指示・助言あるいは情報提供すべき重要なポジションである。バウコックス艇では、コックスにクルーの状況を知らせるために重要な役割。
1415	バウ・アッパー	bow upper	[用具・部品] ボールタイプのオールロック台座で、球部を挟む部品の上部。
1416	バウ・ウィング・リガー	bow wing rigger	[用具・部品] バウ側(コックピットのバックストップ側)からオールロックの背後に伸びるタイプのウィングリガー。バックウィング、リバーズ・ウィング・リガーとも呼ばれる。通常のスターンマウンテッドウィングリガーがキャッチから前半の強い荷重をほぼウィングに対して横方向にねじられる方向に受けるため、ウィングリガーとしてもバックステイを追加することが多いのに対し、バウ・ウィング・リガーでは、その荷重をウィングの圧縮方向に近く受けることができる利点があるが、どちらが良いかは色々な要素があるので一概には決められない。衝突安全性の点ではより安全とされる。 [2016-12-15他]
1417 *	バウ・キャンバス	bow canvas	[用具・部分] トップキャンバス。
1418	バウ・クリップ	bow clip, bow-clip	[用具・部品] 艇にレーンナンバープレートを取り付けるためのクリップ。ホル
1419 **	バウ・コックス	bow cox	バウにコックスを配置すること。トップコックス。フロントコックス。
1420 ***	バウ・サイド	bow side	[漕手・配置, 用具・部分] バウの漕ぐ側、そのサイドの漕手すべての意味。ノーマルリグでは右舷にあたる。右舷という意味では、「Starboard」が標準的に用いられるが、バウサイドでも通じる。特に日本ではバウサイドを常用。英会話ではバウサイドとポートサイド(Port, つまり左舷)を混同しやすいので注意。
1421 ***	バウサイド整調	starboard stroke	[漕手・配置] 整調を右舷側としたリガーレイアウト。通常のバウサイド(右舷)に整調を配置することから、このように呼ばれる。
1422 **	バウ・シックス	bow six	[漕手] エイトにおいてバウから6番までの漕手。
1423	バウ・ステアード	bowsteered	[用具・艇種] バウに舵手が座り舵をとるタイプのこと、バウコックスと同義。 [wikipedia, 2006. 7. 7]
1424	バウ・チェック	bow check	[用具・挙動] バウ(艇首)の沈み込みの挙動。ピッチングの一部分。ファイナルでの上体の下降動作の大きさや、水中でのブレードのひっかかりなどに起因する。⇔スターン・チェック
1425	バウ・ツー	bow two	[漕手] →バウペア。
1426 *	バウ・デッキ	bow deck	[用具・部分] トップキャンバス。
1427	バウ・ナンバー	bow number	[競漕, 用具] バウ(艇首)にとりつけるレーンやスタートナンバーのプレート。レーンナンバープレート。
1428	バウパーソン	bowperson	[漕手] バウ漕手。
1429 **	バウ・フォア	bow four	[漕手] エイトにおいてバウから4番までの漕手。
1430 ***	バウ・ペア	bow pair	[漕手] バウと2番の2漕手。
1431	バウ・ポスト	bow post	[用具・部分] バウ(艇首)を構成する構造部材。→システム。
1432	バウ・ボール	bow ball, bow-ball	[用具・部品] トップボール。
1433	バウマン	bowman	[漕手] (漕手配置としての)バウ。触手。
1434	バウ・ロア	bow lower	[用具・部品] ボールタイプのオールロック台座で、球部を挟む部品の下部。
1435	バウ・ワード	bow-ward	[用具・方向] バウ方向へ。⇔スターン・ワード
1436	パーオキシサイド	peroxide	[用具・素材] FRPを構成するポリエステル樹脂を硬化させるための硬化剤。M EKPO(メチル・エーテル・ケトン・パー・オキシサイド)の略称。
1437	バケット・リグ	bucket rigged boat	→タンデム・リグ
1438	バージ	barge	[用具・艇] 初心者の練習・指導用の、横にコーチやコックスが立って指導できるほどの、幅の広いボートのこと。はしけとも。
1439	バーシティ	varsity	大学における第一クルー(対抗クルー)。特にエイトを指すことが多い。 [2015.5.31]
1440	バージン・フラッグ	virgin frag	[用具] 昔、艇のバウに立てられていた三角形の小旗。クルーを象徴し、勝利の縁起を担いだ目的のほか、艇の識別にも用いられていた。現在は、これに代えてレーンナンバー・プレートをつける。

no.	用語	English		解説
1441	パスウェイダ	persuader	IN	[工具・リギング] ⇒リガーベンダー、ピッチアジャスター。 persuaderとは、説得する者、言うことをきかせる武器といった意味。 矯正具といったニュアンスだろう。 [WinTechウェブサイト, 2009.8.8]
1442 ***	8+(はちぷらす)	eight	IN	[用具・艇種] エイトの略号。 8は漕手、+は舵手付きを示す。
1443 **	ハチェット・ブレード	hatchet blade	IN	[用具] ビッグブレードの愛称。 hatchetはまさかり、手斧のこと。 非対称形状が似ていることに由来。 日本では(派生して、俗に)チョッパーと呼ばれることが多かった。 [2014-7-9]
1444 **	バック	back	IN	[動作] ボディのスウィング、後傾動作全体。 あるいは特にファイナルでの上体の後傾、その角度。 古来の漕法では、固定座席での技術の名残で、大きなバックが強調されたが、近代ではレグ・ドライブが主役。
1445 **	バック	back, backing, backing water	IN	[動作] バックロウ。 水中でスクウェアにしたブレードを押して、艇を後退させること。
1446	バック・ウイング(リガー)	Back Wing Rigger		[ボート・構造] ⇒パウ・ウイング・リガー。 (ウイングリガーが最初、スターンウイングから発達したこと、3点式リガーのバックステイ側から伸びることからそう呼ばれるが、より混乱のない呼び方としては、「パウ・ウイング」が適当だろう。
1447	バック・ウォーター	back water		[動作] バックロー。
1448 *	バック・キャンバス	back canvas		[用具・部分] ⇒スターン・キャンバス。
1449	バック・クリップ	back clip	IN	[用具・部品] オールのプラスチック・スリーブを構成する部品のうち、ドライブ中、オールロックに押し付けられる平らな部分。 磨耗に備えて交換可能で、スリーブ本体を挟み、また差し込んで使用する構造のため、この名がある。(出典例:クローカーのウェブサイト。 スリーブの交換方法より)
1450 **	バック・スウィング	back swing		[動作] 上体の後傾動作。 キャッチでの前傾姿勢から、上体をパウ方向に動かすこと。
1451 **	バック・ステイ	back stay, top stay	IN	[用具・部分] バックストップ付近とオールロック部を結ぶリガーステイ。 オールロック下部または上部に接続されるため、特に上のものをさす場合は、トップステイともいう。
1452 **	バック・ストップ	back stops	IN	[用具・部品] レールのパウ側の端。 およびそこにある止め具。
1453	バック・ストップ	back stop	IN	[動作、姿勢] バックストップにさしかかった時点。 足を伸ばしスライドを一番後ろに持っていった姿勢。 その指示用語。 [Know the Game/Rowing, p. 54, 2007. 12. 23]
1454	バック・ストップ	back stop	IN	[技術練習、メニュー] バックストップで止めた状態で(つまり脚を伸ばして、スライドさせず)、腕だけで漕ぐ(hands only)、腕と上体で漕ぐ(body swing)ドリルのこと。 [High Performance Rowing, p35, 2020-6-3]
1455 **	バック・スプラッシュ	back splash		[用具・挙動] パウ方向へのスプラッシュ。 キャッチおよびフィニッシュでのバックスプラッシュは、いずれも艇を減速させる方向にブレードが動いていることを意味
1456 **	バック台			[用具・練習] レール、シート、ストレッチャーを備えた簡単な模擬練習装置。 エルゴメータの普及によって減少。
1457	バック・ダウン	back down	IN	[動作・指示用語] 艇を後進させる(艇尾方向に動かす)ために、通常(前進)とは逆の方向に漕ぐ動作。 バックロウ。 [ARAボランティアヘルパーガイド, 2013. 1. 30]
1458	バック・ブレイス	back brace		[用具・部品] ⇒バックステイ。
1459 **	バック・ロウ	"Back row!", "Back it"		[動作] 逆方向に漕ぎ、艇を後進させること。 バックウォーター。 バックダウン。 [2021-1-24]
1460	バック・ワード	backward		(漕手の体の)パウ方向への移動。 その移動中の時間。
1461	ハッチ	hatch	IN	点検用の穴。 インスペクション。
1462 ***	発艇 (はってい)	start		スタート。
1463 **	発艇員 (はっていん)	starter		発艇号令をかける審判。
1464 ***	発艇区域 (はっていき)	starting area		[競漕] スタートから100mまでの区間。 特にこの区間は、艇の故障に対する救済措置がとられる100mルールの適用区間として重要である。
1465	発艇号令 (はっていごうれい)	starting commands	IN	[競漕] レースのスタート時にかけられる号令。
1466	発艇線 (はっていせん)	start line		[競漕] スタートライン。
1467	発艇長 (はっていちょう)			[大会・要員] 発艇部署において発艇業務に当たる発艇員(複数)における代表責任者。 競漕規則には規定されていないが、「審判員の心得と号令・動作」に規定されている。
1468	発艇部署 (はっていぶしよ)	starting station, starting gate		[競漕] スタート位置。
1469	発艇猶予 (はっていゆうよ)			[競漕] スタートに並んだときに、艇の方向がまっすぐ向いていないなどの理由で、クルー、コックスが拳手して発艇員に発艇(スタート)の猶予を求めること。 従来は、スタートの最終コール(Row!/Go!)の直前まで「クルーの権利」として認められていたが、ロールコール以降は認められなくなった(国内競漕規則では05年10月から)。 つまり現在では、艇の準備が整わない(方向がまっすぐ)などの場合に、「ロールコールの開始を猶予する手段として」拳手することで抑制できる「可能性が期待」できるのみである。 「2009. 6. 16」
1470	バッテリー	bateira		[用具・艇] 安土桃山時代、来航のポルトガル船が本線と陸地の行き来に使った小型の手こぎ船。 しめ鯖の押し鮫をバッテリーと呼ぶのは、明治28年頃の大坂で、当時往来していたボートの形に由来。「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男(古城康夫, 2016, p23)[2018-2-8]
1471	バット	butt		[用具・部分] ハンドルの端。(尻の意味)
1472	バットロジック	Batlogic		[用具・メーカー] プラスチック製のシューズプレートで、クイックリリースが可能になるアタッチメントを開発、販売。 [2016.1.20]
1473	"ハード・オン・○○(サイド)"	"Hard on port/starboard"	IN	[動作・指示] 左/右のいずれかのサイドに強く漕がせるための指示。 [Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1474	ハドソン・ボート・ワークス	Hudson Boat Works	IN	[会社] カナダ・オンタリオの造艇会社。 URLは, www. hudsonboatworks. com. [2005. 4. 6]
1475	ハード・チャイン	hard chain	IN	[艇設計, カヌー, 船型] ナックルフォアのような直線的な(1次曲面; 1方向には直線的)横断面形状の船型のこと。 [新版カヤック工房, p5, 2020-6-4]
1476	ハドル	huddle	IN	レース前や練習開始時に輪になって声をかけること。 ウォークライ。

no.	用語	English	解説
1477	ハドル	huddle	IN [安全・姿勢] 落水時に、クルーが集まって輪になって浮き(PFDをつけて、あるいは立ち泳ぎで)、体温の低下を防ぐこと。特に体温の低下が激しく弱った者を、輪の中に入れることもある。
1478 ***	パドル	paddle	[動作・出力状態] コンスタント。力漕。(次の英語でのパドルの項に注意!)
1479	パドル	paddle	IN [動作・出力状態] ブレッシュャーをかけないで緩やかに漕ぐこと。緩漕。(Coxswain's Locker / www.coxing.com より)。これはつまり日本語で言うノークワである。英語では、パドルが日本で言う力漕・全力漕とは全く逆の意味で使われていることに注意しなければならない。
1480	パドル	paddle	[用具] オールのブレード、櫂
1481	パドル	puddle	IN [流体现象] 漕いだ後の渦巻いた水塊。漕ぎ跡。puddleの原意は、水溜りとかこねた粘土。櫂や漕ぐ意味のpaddleとは綴り、発音が異なる。混同に注意。
1482	パドル・クリアランス	puddle clearance	IN [動作] スペーシング。前のストロークでのパウのパドル(puddle、漕ぎ跡)と次のストロークでの7番のパドルの間隔。リカバリーフェイズでの艇の進行の距離を反映する。一般に大きいほど良い。
1483	バトルシップ・リグ	battleship rig	IN [リギング・リガーレイアウト] バウペア(バウ、2番)と整調ペア(7番、整調ペア)が左舷を、ミドルフォア(3番～6番)が右舷を漕ぐような極端なりガーレイアウト。初出:2012年スタンフォードのコーチ、サイモン・カルカノ(Simon Carcagno)が、新人漕手の配置の工夫として、男子対抗イトに採用。バトルシップ(戦艦)の呼び名は、戦艦が船首と船尾の砲塔と内側の砲塔とを逆サイドに振り分けて打つレイアウトに似ていることからつけたようだ。[2015.12.7]
1484 **	ボタン	button	IN [用具・部品] ビボット。カラーのこと (Story of World Rowing)
1485 **	ボタン・アップ	button up	[動作] ビボットがオールロックから抜けないように、オールロック方向に押しつけること。
1486 *	ハニカム	honey comb	IN [用具・素材] いわゆる蜂の巣状の六角柱中の集合体構造。ハルなどの軽量化・強化に用いられる。(参照: サンドイッチ構造)
1487 **	パネル・デッキ	panel deck	[用具・部分] モノコック艇のcockpit内のデッキ部分。
1488	パフォーマンス・モニター	performance monitor	IN [用具・周辺機器] 商標。コンセプトII製エルゴメータのモニター(表示部)。cf: PM, PM2, PM2+, PM3, PM4のバージョンがある。
1489	ハーフ・クリップ	half clip	IN/R [用具・部品] ストレッチャーボードの裏にとりつけ、ストレッチャーパイプを固定するための半円状の帯金具。[2016-8-17, エンパツハ・パーツ]
1490	バフ、バフ研磨、バフがけ	buff polishing	IN [整備補修・工法] Buffはバッファローに由来し、淡黄色のなめし革のことを意味する。1920年頃のニューヨークの消防士が着用する上着が淡黄色で、転じて火事現場物の野次馬の代名詞になり、ファンやマニアの意味としても使われるようになった。歴史マニアのことで"history buff(s)"がよく使われる。「バフ」は、整備・補修の用語では、「バフ研磨、バフがけ」として、皮革や羊毛のバッドに研磨剤を浸ませて、艇のゲルコートや塗膜の表面を研磨する工程のことを指す。(日本での「バフ」は、他にJISの色彩名称、電子ゲーム用語としても使われる。)
1491 **	ハーフ・スライド	one-half slide	IN [動作] スライドをフル・スライドの半分だけ使って漕ぐドリル。腕漕ぎから始めてフルスライドに至る練習の途中の1ステップ。
1492	ハーフ・ボタン	half button	IN [用具・部品] 古典的なオールのボタン(カラー)の構造。ロウイング状態でのフェイス(スリーブのフェイス、つまりオールロックに押し付けられる面)と、下部の一部(フェイス近く)だけにボタンが形成されているタイプのもの。フィックスピンと同時に用いられた。1940年代の英国漕艇の映像に残る。[British Pathe/ "cambridge crew in training, Video Newsreel film Cambridge, 2011.3.24]
1493	ハーフ・ブレズ	half breadth	IN [艇設計・図面] ボートの上面図。デッキ・プランとも。上半分は上から見た平面図、下半分は底面から見たハルの平面図。[新版カヤック工房, p23, 2020-]
1494 **	ハーフ・プレッシャー	half pressure	IN [動作・出力状態] 出力を約半分にして漕ぐこと。
1495	浜寺漕艇センター (はまでらそうてい…)	Hamadera Rowing Center	JP [施設] 大阪府高石市高砂にある(正式名)「大阪府立漕艇センター」。公認B級コース、1000m。臨海工業地帯の埋立地に作られた浜寺水路に建設された。浜寺は昔水練場があった地である。指定管理者制度を採用し、2016年度から大阪ボート協会が管理・運営。(N34° 32' 06. 61" / E135° 25' 52. 41") [2016-12-15] Rowing course in Hamadera, Osaka city.
1496	バム・ショヴィング	bum shoving	IN [漕技・欠陥] 尻逃げ。ドライブにおいてレグドライブに対し上体が保持されず、肩の動きが遅れること。[Know the Game/Rowing, p. 26, 2007. 12. 23]
1497	パーメック	PermeK	[造船・資材] ポリエステル樹脂を硬化させるための硬化剤、MEKPOの商品名称。[2015.11.25]
1498 ***	腹切り (はらきり)	"harakiri" = crab, catch a crab	IN [動作・失敗] ブレードを水から抜きあげること失敗し、水にブレードを押しされ、腹部をハンドルで強く押される状態。当然艇はひどく減速され、またイトなどで高速漕行中は、漕手が飛ばされ落水する可能性がある。 In japan, we say "harakiri" as "catch a crab", because, it is similar to "harakiri" of samurai.
1499	茨戸川 (ばらとかわ)	River Barato, (lake Barato)	JP [地名・水域] 札幌市郊外の人工河跡湖(石狩川の改修により形成された)。北海道大学などが活動しており、北海道選手権、朝日茨戸レガッタなど道の主要大会を開催。(N43° 10' 27" / E141° 21' 15") [2015.4.30]
1500	茨戸レガッタ (ばらと…)	Barato Regatta	JP/(in) [大会] →朝日茨戸レガッタ。1973年に始まり1978年大会から朝日新聞社も主催になり改称。[2009.10.24]
1501	パラレル・ピン・ピッチ	parallel pin pitch	IN [用具・構築] ソールピンの艇軸に平行な前傾角度。
1502	パラレル・ロウ	parallel row	IN [動作] スクラッチングとも。スタートに着けた艇の方向を、効率よく迅速に適切な方向に向けるために、オールを艇に[ほぼ平行にして漕ぐ方法。パウ寄りの漕手のオールを一つ前(スターンより)の漕手が持って操作する。 [http://www.curtinuniversityboatclub.org/faqs/rowing-terminology/, 2018-5-9]
1503	パラローイング		[種目] パラローイングの日本における一般表記 [2017-2-13]
1504	パラ・ロウイング	Para-rowing	IN [種目] 障害者のためのロウイング競技。アダプティブ・ロウイングと同義。2013年に、競技の公式名称として(従来の名称: アダプティブロウイングから)パラ・ロウイングに改訂された。競漕距離には変遷があり、2017年にFISAは(従来の1000mから)2000mに変更した。(主に運営負荷軽減のため)。[2017-]
1505 ***	バランス	balance	IN [用具・艇の挙動] ローリングに対するバランス。
1506 ***	バランス	balance	[動作] ブレードを水面に当て艇を安定させること。

no.	用語	English	解説
1507 **	バランス・ケア	balance care	[動作・指示] 「バランス(特に上記のうちの(2))をとるように」の指示用語。例: 「両舷, バランス・ケア。」
1508	バランス・フォワード	balance forward, forwarding with care for balance	[動作] バランスをとりながらのフォワード。
1509	バランスポイント・ハンドル	balance point (oar) handles	IN [用具・オール・商品名] パワー・アスレチック(米国, マサチューセッツ)が開発した, スイブオールのハンドルの特殊機構。通常のハンドルにおける両手の中間に, シャフトとハンドルを分離してリンク機構で接続し, 両腕をより均等に動員できるようにした工夫。競漕規則では禁止されている。[2017-10-6]
1510 **	梁(はり)	beam	IN [用具・部分] →ビーム。
1511	ハリー・クラスパー	Harry Clasper	IN [人名, プロスカラー, ボートビルダー] 1812. 7. 5-1870. 7. 13. 英国・タインサイド(Tyneside)の有名なプロスカラーでありボートビルダー。革新的なボートデザイナーで, 競漕用のシェル艇, アウトリガーを開発した。スプーン型のブレードの発明者とも言われている。タインサイドの偉大なる3人のオアズマンの最初の一人である。(他の二人は, Robert ChambersとJames Renforth。) (Wikipediaに, Harry Clasper の項)[2007. 9. 16]
1512	ハリソン・(コーチ)	Harrison, Drew	IN [人名・コーチ] →ドリュー・ハリソン
1513 ***	ハル	hull	IN [用具・部分] 船体。水に接触する外板部分(スキン)。
1514 **	バルクヘッド, (バルケッド)	bulkhead	IN [用具・部分] 隔壁。特にコックピットとデッキ部(空気室)の間の隔壁。
1515 *	バルクヘッド・ニー	bulkhead knee	[用具・部分] フォアステイ取り付け部のガンネルを補強する金具, 金属板。バルケッドニー。
1516	バルサルバ効果	Valsalva Effect	IN [運動生理学] 「呼吸を止めて力む」ことで, 想像以上の力が出る, 血管・心臓が圧迫され血圧が上昇, 心筋に負荷がかかる, 赤面するなどの現象。カールなどのウェイトトレーニングによる心筋の圧迫で心筋を強くできるのも, バルサルバ効果によるものといえる。イタリアの解剖学者, アントニオ・バルサルバ(1666-1723)に由来する。 ちなみに, 水泳での耳抜き(耳管の自己通気法)として, 鼻と口を閉じ強く息を吐こうとする方法も, バルサルバ法 (Valsalva maneuver)と言う。
1517	バルーン, (マイクロバルーン)	balloon, micro-balloon	[造艇・素材] ⇒マイクロバルーン。樹脂に添加する素材の一つ。中空・軽量の粒子で, 軽量なまたは切削が比較的しやすい素材を調製することができる。[2015-12-25]
1518	バレル・シェイプ・ブレード	barrel shape blade	IN [用具・オール] 古典的なブレード形状のひとつ。マコン以前の細長いタイプだが, 最大幅がブレードのほぼ中央にある。日本ではスタンダードとも。[Rowing and Sculling, 1904, Learning To Row for Children, ARA 1977, 2014-7-9]
1519	パワー・クリーン	power clean	[練習・陸トレ] ウェイトトレーニングの一種目。立位で, しゃがみ込みからオールを胸の高さまで挙げる動作。
1520 *	パワー10(テン), パワー20	"Power ten", "Ten firm"	IN [練習・乗艇] より強力なパワーレベルで, 10本とか20本を漕ぐこと。一般的には, レイトの上昇を伴わないで行う。テン・ファーム(firm)とも言う。[Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1521	パワー・テン・フット・ストレッチャー	Power 10 Foot Stretcher	IN [用具・部品・商標] ヴェスポリが1990年代にリリースした, 回転式のフットストレッチャー。[Rowing News 2005-2, 2010.3.23]
1522	パワー・トレイン	power train	jp/in [動作・機構] 駆動系(一装置)。動力伝達系(一装置)。本来は機械工学用語で, 例えば自動車のエンジンからタイヤまでの間の「動力を伝達する系統(装置群)」, 具体的には「トランスミッション, ドライブシャフト, 差動ギア, 車軸, ハブ」を指す極めて明確で具体的な部分名称。この用語をロウイングに用いる場合, 力を発揮するエンジン(筋肉)に対し, パワートレインは(力の伝達経路という意味では)「足-脚-脊柱-肩関節-腕-手までの一連の骨格系」を指すが, 人体ではエンジンとパワートレインとが(全身の筋肉と骨格系として)複合的に共存するため, この用語はしばしば曖昧に使用されている。[2015-7-28]
1523	パワー・フェイズ	power phase	IN [動作・区間] ⇒ドライブ・フェイズ [Know the Game/Rowing, p. 56, 2007. 12. 22]
1524	パワーリンク	Powerlink (R)	IN [用具・商標] 米国, ミューザー・インクが供給する汎用型のトップステイ。参考: www. muserinc. com [2007. 3. 10]
1525 *	パワー・ロック・ブレード	Power Rock Blade	IN [用具・オール(商標)] イギリス系の非対称ブレード。
1526	漢江漕艇コース (ハンガン〜)		IN [地名・水域] 韓国・ソウルの人工漕艇コース。漢江沿いに造成された。1988年ソウル五輪開催。(N37° 33' 24" / E127° 12' 40")
1527	ハング	hang	IN [動作・欠陥] キャッチでの動作の停止。ブレードが空中にぶら下がった状態に見えることから, スカイの一部分をなす。(Coxswain's Locker/www. coxing. com より)
1528	ハング	hang	[動作・欠陥] フェザリングが途中で止まること。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]
1529 **	ハング・オーバー	hung over	[動作・欠陥] キャッチ前にブレードが上昇すること。フライアップ。
1530 **	ハンザウェイ	hands away	IN [動作・部分] フィニッシュ後ハンドルを膝の前まで戻す動作。ハンドルを体から遠ざける動き。アウト・オブ・パウとも呼ばれることがある。
1531	ハンジ	bung	IN [用具・部品] 水抜き栓。ドレン・プラグ。
1532	斑蛇口湖 (はんじゃくこ)	Lake Hanjaku	JP [地名・水域] 熊本県菊池市斑蛇口にある竜門ダムの人工湖。九州地区の中心的漕艇水域。2000mのA級コースで, ジュニア五輪カップなどを開催。(N 33° 02' 49. 54" / E130° 51' 06. 58") [2014.3.10]
1533	ハンズ・アウェイ	hands away	IN [動作・部分] →ハンザウェイ。
1534	ハンズ・オフ	hands off	[動作・操艇] 乗艇し離岸する際に, 「蹴りだす」のではなく, 漕手がシートにすわってから手で棧橋を丁寧に押してから離岸する動作。艇にとってはやさしく, 安全な方法。 [JARAテキスト2007・エントリーレベル(掲載予定)] (ただし, 水域・コンディションによっては, このような方法が採れないこともある。例: ラフコンで岸の施設・形状によっては, 強くけりださなければ危険となるケース。)
1535	半スパン	"Han-span"; half of span	[用具・艀装] スパンの1/2, つまりスプレッドと同義。スラング(だらう)。[2014-7-9]
1536 **	判定員 (はんでいいん)		[大会・要員] ゴールの着順を判定する係。

no.	用語	English	解説
1537	判定長 (はんていちょう)		JP [大会・要員] 複数で構成される判定員を統括する責任者。「審判員の心得と号令・動作」に記述されている。
1538	バンディング	punting	IN [活動] バント(棹で漕ぐ平底の舟遊び用の艇)を漕ぐこと。[画像検索⇒punting, oxford] [2015-12-27]
1539	バン・デューセン	Van Dusen (Composit Engineering)	IN [会社・造船] アメリカの造船会社。ボート、カヤックなど小艇中心。可動リガーを建造したことがある。[2018-6-26]
1540	バント	punt, punts	IN [用具・艇] (1)平底の艇。特に、英国のオックスフォードなどの浅い運河で発達した艇で、一人が船尾に立って長い棹(さお)を使って漕ぎ、数名のお客様が座って舟遊びを楽しむもの。英国ではよく知られた日常的な貸しボートの感覚で楽しられている。浅く流れの緩やかな運河の発達と共に育ったスタイルである。([画像検索⇒punting, oxford] [2015-12-27])
1541	バント	punt, punts	IN [用具・艇] (2)ステイクボート用の艇。バントに使われる艇がそのまま使われ得るし、同様の平底で平面形状が四角の艇が、ステイクボートとして使いやすい。[2015-12-27]
1542 ***	ハンドル	handle	IN [用具・オール] (1)オールの手で持つ部分。グリップ。
1543	ハンドル	handle of rudder line	IN [用具・部品] (2)ラダーラインに取り付けられた持ち手。
1544	ハンドル・ロック・プレート	handle lock plate (R)	IN [用具・オール・部品] クローカーオールの調整型ハンドルの調整・固定ネジをとめるための内側の板状部品。[2014.12.26]
1545	バンピング・レース	bumping race	IN [大会・様式] いわゆる「追突レース」。時差(または距離差)をつけて発艇し、先行艇に追いつき追突すれば追っ手の勝ち。逃げ切れれば先行艇の勝ち。日本では現在行われていないが、英国には伝統的なレースとして残っているようだ。
1546	ハンラン, エドワード・”ネッド”	Hanlan, Edward "Ned",	IN [人名・スカラー] 19世紀末のカナダの伝説的なスカラー(1855-1908)。5歳でトロント湾を横断、1876年にプロデビュー。当時大人気だった賭け競漕のスーパースター。1880年にロンドンのテムズ川でオーストリアのトリケットを破り、世界チャンピオンとなり1883年までその座を守った。173cm・68kgと小柄だったが、幼い頃からの熟練と、当時始まったスライディングシート艇にいち早く習熟し、レイトに頼らずスムーズで大きな漕ぎをしたことが強さの要因。
ひ 1547 **	B (びー, ばう)	bow	IN [用具, クルー配置] バウ。へさき(艇首), バウ漕手, バウサイドなどの意味(後述)。[2016-8-17]
1548	B (びー, バウサイド)	B, Bowside	IN [艇, サイド] ノーマルリグのスイーブ艇における標準配置で、バウ漕手が漕ぐサイド。つまり右舷を指す。ただし下記(ドイツ語でのB;左舷)もあるので注意する必要がある。[2016-8-17]
1549	B (びー, バックボード)	B, Backbord	GER [艇・サイド・ドイツ語] ドイツ語のBackbordの略で「左舷」をBで指す。エンパッなどドイツ製の艇のリガーにBと刻印してある場合、これをバウサイド(右舷)と誤認することがあるので注意。なお、右舷がSteuerbord(英語のStarboard)と対になるのでなお間違えやすい。[2016-7-17, Empacher rigging]
1550	B (びー, シニアB)	Senior B	IN [種目・年齢カテゴリー] 23歳以下。U23, シニアBと同義。[2010.8.4]
1551	B (びー, ブロンズ)	B, Bronze	IN [大会・順位] 決勝3位, 銅メダル。[2010.8.4]
1552 **	P (ぴー, ぱどる)	paddle	[練習] パドル。
1553 **	P (ぴー, ぴっち)	pitch/rate	JP レイトの意味としてのピッチとして、Pとかかれることがある(あった)。レイトというほうが適切であり、RまたはSRと書く方がよい。
1554	p	ply	[用具・構造] ハルなどの素材の積層数。(4p:4層構造)
1555	BRC(ビーアールシー)	BRC; Biwako Rowing Club	JP [組織・RC] 琵琶湖ローイングクラブの略称。→琵琶湖ローイングクラブを参照。
1556	PR1(ビーアールワン)	PR1	IN [パラロウイング, 種目] パラロウイングの種目カテゴリー。自足歩行不可の車いす常用者。バックレストつき固定シートに体を固定し腕と肩だけで漕ぐ種目。フロートをつける。従来のAS種目からの名称改訂(2018年から)。PR1M1×, PR1W1X。[2017-10-7]
1557	PR2(ビーアールツー)	PR2	IN [パラロウイング, 種目] パラロウイングの種目カテゴリー。下肢切断など。固定シートに腰~下腿部を固定し、体幹と腕とで漕ぐ種目。従来のTA種目からの名称改訂(2018年から)。PR2Mix2×。[2017-10-7]
1558	PR3(ビーアールスリー)	PR3	IN [パラロウイング, 種目] パラロウイングの種目カテゴリー。上下肢障害, 脳性まひ, 視覚障害などが対象。通常のスライディングシート艇で漕ぐ種目。従来のLTA種目からの名称改訂(2018年から)。PR3Mix4+。舵手は健康者可能。[2017-10-7]
1559	B&G ROWING (ビーアンドジー...)	B&G Rowing	IN [会社] Brookes and Gatehouse Rowing N. A. Speed Bossのメーカー。
1560	PSO(ピー・エス・オー)	PSO; Provincial Sport Organization	CAN [組織・カナダ] Provincial Sport Organizationの略。地方スポーツ機構。フランス語表記では、OPS; Organisme Provincial de Sport となる。(Rowing Canada Avironより)[2007. 9. 17]
1561	PAD.(ピーエーディー, またはパッド)	PAD; Public Access Defibrillation	IN [一般・医療] 一般人による除細動処置。AED(自動体外式除細動器)を用いる。(→心室細動, AED)
1562	ピエディルコ湖		[地名・水域] イタリア, ローマ近郊の湖。イタリア漕艇協会のトレーニングセンターがある。
1563	PF(ピー・エフ・ディー)	Personal Flotation Device	IN [一般・安全] 個人用浮力装備。救命具。救命胴衣などの総称。(出典例:頻出)
1564	PM(ぴーえむ)	PM, Performance Monitor	IN [用具・練習機器] コンセプト2社のロウイングマシンのモニター(ディスプレイ)の総称。または初期タイプ(PM1)のこと。
1565	PM2(ぴーえむつー)	PM2, Performance Monitor 2	IN [用具・練習機器] コンセプト2社のロウイングマシンのモニターの第2世代。モデルCの途中から採用。
1566	PM2+(ぴーえむつーぷらす)	PM2+, Performance Monitor 2+	IN [用具・練習機器] コンセプト2社のロウイングマシンのモニターの第2世代PM2の拡張機能型。外部接続端子がありパーソナルコンピュータに接続できる。
1567 *	PM3(ぴーえむすりー)	PM3, Performance Monitor 3	IN [用具・練習機器] コンセプト2社のロウイングマシンのモニターの第3世代。2003年~。漕力カーブの表示などが可能となった。モデルDに標準装備。モデルCに装備できるレトロキットもある。(同社ウェブサイト他)[2007. 1. 30]
1568	PM4(ぴーえむふぉー)	PM4, Performance Monitor 4	IN [用具・練習機器] コンセプト2社のロウイングマシンのモニターの第4世代。2006年9月~。モデルEに標準装備。
1569	PL(ピーエル)	Poids Legers	IN [大会・種目] 軽量級。フランス語。
1570	BLS(ビーエルエス)	BLS; Basic Life Support	IN [一般・医療] 一次救命処置。遭難者(溺水など)に対し、救助が到着するまでのまず最初に行なう救命処置のこと。反応の確認から心肺蘇生(CPR)~回復体位などの全体を指す。

no.	用語	English		解説
1571	BC (ビーシー)	boat club	IN	[組織・RC] ボートクラブ。漕艇部。
1572	ピース	piece	IN	[練習・一般] 練習メニューを構成する一部分。
1573	引き上げ			[練習] パドルの開始。艇速の上昇。
1574	引き下ろし	settle down		[練習] パドルの終了、ノーワークへの移行。
1575 **	ビギニング	beginning		[動作] ドライブの前半。概念的には約3分の1の区間。ミドル、ファイナルへと続く。
1576	B級コース (びーきゅうこうす)	B class course		[施設] 水流20cm/sec以下、4レーン以上のコース。
1577	B級コーチ、公認 (びーきゅうこうし)		JP	[資格・旧規格] 日本体育協会制定の公認コーチ制度の資格のひとつ。2005年4月から、(A級コーチとともに)「上級コーチ」のカテゴリーに統合された。
1578	B級審判員 (びーきゅうしんぱんいん)	B class umpire	JP	[資格] 日本漕艇協会公認審判員制度の資格のひとつ。C級審判員資格取得後4年以上の実務経験で受験できる。
1579	非対称ブレード (ひたいしょうぶれーど)	Assymmetric Blade	IN	[用具・オール] シャフトの中心線を軸として、左右が非対称のブレード。マコンブレードなどの従来型のブレードのほとんどは対称であったが、現在はビッグブレードのような非対称が主流。
1580	PW (ぴーだぶりゅー)	PW: Personal Watercraft		[用具・水辺の乗り物] 個人用の水上の乗り物。特に動力を有する水上バイクの類。PWCと同義。(PW安全協会関連資料より)[2007. 1. 30]
1581	PW安全協会 (ピーダブリュー…)	PWSA: Personal Watercraft Safety Association	JP	[組織・安全] ヤマハ発動機をはじめPWCの製造・販売会社、PWC販売店で組織された協会(会員数400社、特別会員:ヤマハ発動機、カワサキモーターズジャパン、ボンバルディアジャパン)。水上バイクなどの安全な活動を推進・啓蒙活動を展開する。背景には、水上バイクでの事故の多発や、海水浴場や都市河川での乱暴な運転・騒音による迷惑の深刻化がある。(PW安全協会関連資料より)[2007. 1. 30]
1582	PWSA(ピーダブリューエスエー)	PWSA: Personal Watercraft Safety Association	JP	[組織・安全] →PW安全協会 (PW安全協会関連資料より)[2007. 1. 30]
1583	PWC (ピーダブリューシー)	PWC: Personal Water Craft		[用具・周辺乗り物] パーソナル・ウォーター・クラフトとは、(個人用の)水の上の乗り物。いわゆる、水上バイクの類の総称。(PW安全協会関連資料より)[2007. 1. 30]
1584	ビーチ・ロウイング	beach rowing	IN	[競漕・種目] FISA競漕規則(2017年版)付則23で定義・規定される浜辺での競漕様式。コースタル艇と同規格のうち1×、2×、4×+で行う。[2017-10-
1585 ***	ビッグブレード	Big Blade	IN	[用具・商標/通称] コンセプト2社が1991年にリリースした非対称の大型ブレードの商標。ハチェットと呼ばれたり、日本でのスラングで「チョッパー」と呼ばれることもある。現在の競漕レベルの標準的の形状となっている。[2008. 4. 16]
1586 **	ピッチ	pitch	IN	[用具・オール・リギング] オールの固有のカバー角、ブレードのカバー角など、角度(傾斜)を表す言葉。
1587 *	ピッチ	pitch	JP	[動作・誤用] レイト。日本では従来、レイトの意味で、ピッチという誤用が多かったが、最近ではレイトというように改善が進みつつある。
1588	ピッチ・プレートアジャスター	pitch adjuster	IN	[工具・リギング] ⇒リガーベンダー、パスウェイダ(persuader)とも。リガーにせとしてソールピンの立ち上がりを強制的に調整する器具。注: Ozawa Rowingでは一般的なクルーの安易な乱用を推奨していない。[WinTechウェブサイ
1589	ピッチ計	"pitch-kei" in Japanese	JP	[用具・周辺機器] 英語にすればピッチメーターで、ピッチ(角度)を計測する機械だが、日本で「ピッチ計」といえば、レイトを計測する機器のこと。レイト計というほうが相応しいが、通常(特に年配の方が)「ピッチ計もってきて」と言われて角度計を持っていくよりは、レイト計を持っていく方が良いだろう。
1590	ピッチ・プレート	pitch plate	IN	[用具・部品] ピッチを調節するために一定の角度(テーパー、楔(くさび)状の厚みの変化)のついた部品、補助具。例1: マルチノリのオールロックフェイスにとりつけてオールロック固有角度を調整するためのプレート。例2: ソールピンを固定するベースに挟み、前傾・外傾を調整するための角度のついたプレート(スベーサ)。例3: リガーとガンネルの間に挟んで外傾を調整するプレートなど。(出典不詳の取扱説明書資料、その他より)[2007. 7. 13]
1591	ピッチマスター	pitch master	IN	[用具・周辺機器] ピッチ(1)を計測する器具。商標。
1592 *	ピッチメーター	pitch meter		[用具・周辺機器] ブレードのカバー角を計測する器具。傾斜計。
1593 ***	ピッチング	pitching	IN	[用具・艇の挙動] アビーム方向を軸とする艇の縦揺れ。パウとスターンがシーソーのように上下する動き。特に1×などではピッチングの発生が大きなエネルギー損失につながる。
1594	ピッチング・ベンチ	pitching bench	IN	[用具・整備] オールのブレード・ピッチを計測したり、スリーブの交換時に正確なピッチを形成するためのジグとして使用する専用の台座。(出典: クローカーのウェブサイト、スリーブの交換より)。
1595	ビーディング	beading	IN	[用具・部分、工程] ビード、モールドと同義。または、ビード、モールドを貼る(組む)作業のこと。
1596	ビデオ・パフォーマンス・モニター(VPM)	VPM, Video Performance Monitor		[用具・周辺機器・商品名] YSDIの開発した計測装置。
1597	ビート	beat	IN	→Rating. ストロークレイト
1598	ビード	bead	IN	[用具・部分] 構成部品・部分の縁を飾る、補強する棧木、モールド材のこと。溶接部分の盛り付けの意味もある。関連用語: →フィレット (ちなみにビーズも同じ綴り(bead)である。もともと、数珠状の縁飾り・化粧板のことをいう。)[2007. 9. 5]
1599	ビニル皮	vinyl sleeve		従来のオールに用いられていた、熱収縮プラスチック製のスリーブ。
1600	BB (ビービー)	Big Blade	IN	[用具・オール]→ビッグブレード
1601	BBG (ビービージー)	BBG: Bootbau Berlin GmbH	IN	[会社・造船] 造船会社。ボーツパウ・ベルリン社の略称である、ブランド名。
1602 **	ヒーピング	heaving	IN	[用具・挙動] 艇の上下動。艇全体の上昇・下降。ピッチングは回転運動成分であり、ヒーピングとは並行運動成分である。波(うねり)、深すぎるブレードや過大なブレードカバー角、上体スウィングの上下動成分などのために発生し、減速要素となる。
1603	B final (ビーファイナル, B決勝)	B final	IN	[大会・レース階層] 準決勝の2着を集めて競われる。(A)決勝進出クルー以下の順位を決める競漕。順位決定戦とほぼ同義。大会によっては、さらにC, D…と、より下位まで順位決定を行う場合もある。[2019-8-26]
1604	PVCフォーム	Poly Vinyl Chloride Foam		[用具・素材] ポリ塩化ビニル発泡材。サンディッチ艇のコア材の一つ。デビニセル(商標)など。

no.	用語	English	解説
1605	ピボッティング・フット・ストレッチャー	pivoting foot stretcher	IN [用具・部品] 通常の固定されたストレッチャーボード&シューズ機構に対し、シューズの取り付け面の傾斜がロウイング中に自由に可変できるストレッチャー。 ローテティング・フット・ストレッチャーと同義。 ベスポリのパワー10フットストレッチャー、オランダのロトストレッチャー、シマノのSRDなどが該当する。 [RowingNews2005.2 他。 2010.3.23]
1606 **	ピボット	pivot	IN [用具・部分] オールの支点部分。 バトン。
1607	ピボット	pivot	IN [動作] 旋回する軸、旋回する動作のこと。 特に、キャッチへ向かって体を外へ旋回させて(身を乗り出して)水をつかみに行く動作イメージを表わす技術用語。
1608 *	ピボット・テーパー	brade pitch, inbuilt pitch, pitch on oar	[用具・オール・部分] オール固有のピッチ。 ピボットのフェイス(オールロックに押し付けられる平面)に対するブレード面のかぶせ角。
1609 *	ビーム	beam	IN [用具・部分] 艇内部の横方向の梁。
1610 *	ビーム	beam	IN [用具・リギング] 艇体の(最大)幅。 ガンネルではなく、ハル主体(シアーライン)での最大幅など。 参考:外周長さは、girth(ガース)。 [2012.5.16]
1611	100mルール(ひやくめーとるーる)		jp/in [競漕規則] スタートから100m以内の艇の故障などに対してアピールし、競漕の中止(再レース)を求めることができたクルーの権利。 2013年の競漕規則改訂で第45条から削除され、権利が失われた。 [2014.3.10]
1612	百間川漕艇場(ひやっけんがわ…)	Hyakken-gawa Rowing Course	JP [水域・固有] 岡山県岡山市にある放水路。 県立艇庫、岡山大艇庫などがある。 岡山県の主要な公式大会が行われる。 [2012.5.16]
1613	BUW(ビーユーダブリュー)	BUW	IN/R [競漕・記録記述略号] Boat Under Weight の略。 艇が、規定重量より軽かった場合の記述。 [2009. 4. 20 FISA ウェブサイト, Result/Database より。]
1614 **	表面抵抗(ひょうめんていこう)	skin friction drag, skin drag	IN [流体力学] 摩擦抵抗ともいう。 水上を移動する船体には、表面抵抗、形状抵抗、造波抵抗の3つが作用する。 表面抵抗(摩擦抵抗、粘性抵抗)は、ハル表面の水に対する摩擦抵抗で、流線型で形状抵抗(圧力抵抗)の小さい競漕艇では、抵抗の中でも最も重要な抵抗要素である。
1615	ピラー	pillar	IN [用具・部分] 艇の構造のうち、キールから立ち上がってデッキやキャンバスのフレームを支える鉛直支柱。 [Rowing and Sculling,1904, 2014-7-9]
1616	(ヒール・コード)	(heel cord)	x [用具・部品] ヒール拘束のためのかかとの紐。 ただし、ヒール・コード(heel cord)にはアキレス腱の意味もあるため、この用法は適切でないかもしれない。(調査中)。
1617	ヒール・リストレインツ(ヒールの拘束)	heel restraints	IN [用具・仕様] ストレッチャーシューズの踵(かかと)を拘束する、シューズとストレッチャーボードとを結ぶ紐。 ヒール・コード、ヒール・ロープ、ヒール・ストラップとも。 転覆時に容易に脱げるようにする安全装備の一つ。 FISAの安全ガイドラインでは5cm以下と指定される。 [Know the Game/Rowing, p56,
1618	ヒール・ロープ	heel rope	[用具・部品] ヒール・リストレインツのための踵とストレッチャーボードを結ぶ紐。 (2007. 6. 12)
1619	琵琶湖漕艇場、滋賀県立(びわこそうていじょう)	Lake Biwa Rowing Course	JP [地名・水域] 滋賀県大津市にある滋賀県営の漕艇場。 琵琶湖の南端、近江大橋以南の東岸に公認1000mコースがある。 滋賀県の他京都府のの大学・高校、クラブもその周辺に活動拠点を持っている。 毎年5月の大型連休に開催される「朝日レガッタ」(朝日新聞社主催)は、国内最大規模のレガッタとして有名である。 (N34° 59' 01. 37" / E135° 54' 30. 05") Rowing course in Lake Biwa. One of the biggest rowing area in Japan. [2012-5-16記述 2020-3-16改訂]
1620	琵琶湖ローイングクラブ	Biwako Rowing Club	JP [団体・固有] 以前に存在したローイングクラブ。 主宰者は中川良太郎。 琵琶湖一周11時間(乗艇時間積算値)の記録を持つ。 メンバーが高齢化し自然消滅し、メンバーの一部は、その後、瀬田漕艇倶楽部に所属して活動。 なお、現在の滋賀県ボート協会艇庫のある場所に艇庫があったため、滋賀県ボート協会艇庫をBRCと呼ぶ人もいるが、瀬田漕艇倶楽部・漕艇通信2006-7によれば、「それは正確ではない」と言われるようだ。 [2020-3-16改訂]
1621	琵琶湖ローイング CLUB, NPO法人	Biwako Rowing Club,NPO	jp/in [団体・固有] NPO法人 琵琶湖ローイングCLUBは、2014年に小原隆史(おばらたかし、同志社大OB)が設立したローイングクラブ。 登録所在地は、大津市湖城が丘(自宅)、活動拠点は琵琶湖漕艇場。 詳細はウェブサイト参照: http://www.biwarow.jp/ パラローイングの活動を主体とする。 [2020-3-16初記
1622	B1, B2, B3	B1, B2, B3 category for Blind/ Adaptive.	IN 「パラローイング」種目」視覚障害者スポーツのための、障害の程度の区分。 B1からB3まで3つのクラスに分類される。 B1は、全盲か光覚(光を混じることができ、距離や方向が認知はできない)。 /B2は、手の形を認知できる(手動弁)~視力0. 03まで、または視野が5度以下。 /B3は、視力が0. 03以上~0. 1以下、または視野が5度以上~20度以下。 これらの判定は専門の眼科医によらなければならない。 なお、パラ・ローイングでは、どの段階でも結局、アイマスクを着用してのレースとなる。 [2006-6-16記載 2020-3-16改訂]
1623 **	ピン	pin, thole pin	IN [用具・部分] オールロックの回転軸。 ソールピン。
1624	ピン	pin, gate	[用具・部分] オールロックのゲートピン。
1625	ヒンジ	hinge	IN 蝶番(ちょうつがい)。 例:古い木製ラダーなどのラダー・ポスト(ラダー・バー)に取り付け、左右に旋回する構造を形成する構造とその金具。
1626 *	ピンチ	pinch	IN [用具・応力] ビギニングの際、オールロックに発生する、オールロックを艇側に押そうとする力の成分。 両舷のこの成分はほぼ相殺されるが、スイブ艇(特になしベア)ではヨーイングの一因となる。
1627	ピントル、ピントルズ	pintle, pintles	IN [用具・部分] 舵針。 ヒンジ。 古典的な挿し込み式ラダーの軸受けに挿し込む軸針。 [漕艇術,1920, 2014-7-9]
1628	ピン・ヒール	pin to heal (distance)	[用具・構築] ピンを基点としたヒール(ストレッチャーシューズの内面・後端)の前後距離。 フットストップ・ディスタンスと、基点が若干ずれるが、ほぼ同じ意味を持ち、ストレッチャーシューズの前後位置を測定・調整するための要素である。
1629	ピン・メーター	pin meter, oarlock-	in [計測具・商品名] オールロック・ピン・メーター。 エンバツハのオールロック用のピッチゲージ(傾斜計測器)の商品名。 ピンの上下を尖った軸芯ではさみ、前傾・外傾を計測する気泡式の水平器を見て調整するもの。 [2015-7-29記載 2020-3-16改訂]
1630	ピン・レイアウト	pin layout	[用具・構築] ピンの外傾。 ラテラル・ピン・ピッチと同義。
ふ 1631 **	ファイナル	final	[動作] ドライブの後半3分の1。 またはフィニッシュ直前。
1632	ファイナル	final	IN [大会] 決勝。 国際大会などでは同じ種目でも複数の決勝(ファイナルA, ファイナルB…)が行なわれ、入賞クルーだけでなく下位まで順位がつけられるシステムもある。

no.	用語	English	解説
1633 *	ファイナル・ウィップ	final whip	[動作] ファイナルにおいて、ペンドの戻りが水を押すというイメージ。あるいは、ブレードが水を後方に押しやりリリースした後、素早くフォワードに移るイメージ [練習・乗艇] レース終盤のラストスパート。
1634	ファイナル・スプリント	final sprint	IN
1635	ファインシステム (株)	Fine System	JP [会社] 兵庫県高砂市を拠点とする、レースの記録処理、写真判定、ライブ中継などを行なう会社。日本ボート協会公認。 出典:月刊ローイング
1636 *	ファスト・インターバル	fast interval	
1637	ファスナー	fastener	IN [用具・部品] シャックル。ラダーステイにラダーワイヤーと留める際に使われるD字型(U字の本体と1字のピン)の部品。エンパツハ艇などでの呼称 [2015.7.8]
1638	ファスニング・シャック	fastening shackle	IN [用具・部品] →ファスナー、シャックル、エンパツハ艇などでの呼称 [2015.7.8]
1639	ファット2346/ファット2754、ブレード	"Fat" 2346, Smoothie Scull, "FAT" 2754 Smoothie Sweep.	IN [用具・ブレード] 2005年初頭にコンセプトがリリースしたさらに幅広のブレード。ファット2346は、幅23cm×長さ46cm、スイズでは、幅27cm×長さ54cm。
1640	ファット2 (FAT2)	FAT 2	IN [用具・ブレード] 2005年初頭にコンセプトがリリースした幅広ブレードの断面形状を、(スムーシー2と同様に改良した)第2世代。 [2009.6.6]
1641	ファーム・プレッシャー	firm pressure	IN [動作・出力] 出力状態のレベルのひとつ。ライト・プレッシャーとフルプレッシャーの間のレベル。 ⇨ライト・プレッシャー、フル・プレッシャー [Know the Game/Rowing, p. 56, 2007. 12. 23]
1642	ファルコン・レーシング	Falcon Racing	IN [ディーラー] 米国カリフォルニアのボートディーラー。生産は中国、ペイシェン。 [2018-6-26, ウェブサイト]
1643 **	ファルトレック漕	faltrek	[練習] レイトコントロールと持久力向上を目的とする変化漕。レイトと艇速を変化させた組合せを繰り返す。
1644	フィクスト・ピン	fixed pin	IN [用具・部品] 鉛直に立てられた2本のソールピンの間をオールを滑らせる機構。古いタイプ。
1645 **	FISA(ふいさ)	FISA	IN Federation Internationale des Societes d'Aviron. 国際漕艇連盟。1892年創立。
1646 *	FISA Coach(ふいさコーチ)	FISA Coach	IN [図書] FISAが発行していた季刊のコーチ向け技術レポート。
1647	FISA定款(フィサていかん)	FISA Statutes	IN [組織・規約] FISAの組織、基本理念、漕艇競技の基本的性格、基本原則などを定めた定款。
1648	FISA競漕規則(ふいさきょうそうきそく)	FISA Rules of Racing	IN [競漕・規則] FISAが主催する競漕に適用される規則。
1649	FISA船型(ふいさせんけい、ふいさがた)	FISA shape	[用具・デザイン] FISAがリリースしている標準船型(クラウス・フィルタール氏が監修)。日本ボート協会の規格艇の基準は2003年に改定され、シングルカルとダブルスカルで、船体のモールドはFISA船型を採用した(艀装関係は日本固有)
1650	FISA選手権規程(フィサせんしゅけんきてい)	Regulations for FISA Championship Regattas	IN [競漕・規則] FISAが主催する漕艇選手権の、組織運営にかかわる規程
1651 *	フィックス(艇)	fixed seat boat, "fix"	[用具・構造] 固定席艇。特に、1960年代まで漕がれていた6人漕ぎの幅広の艇。アウトリガーがなく、漕手は舷側に置かれたクラッチを、反対側の舷近くに座ってインボードを稼ぐレイアウトだった。長さ13.5m(45尺)、幅1.2m(4尺)、重量263kg(70貫)。 [2009.10.25]
1652 *	フィックス・ロー	fix row	[練習] ノースライド漕。
1653	フィッシュ・フォーム	fish form	IN [艇設計・要素] 船体の平面形状で、最大幅が艇の前後中心よりバウよりにある船型をフィッシュフォーム、ほぼ中心にあつて前後がほぼ対称な船型をシンメトリカル・フォーム、スターンよりにある船型を「スウェード・フォーム」という。 [新版カヤック工房, p18, 2020-6-4]
1654 ***	フィニッシュ	finish	IN [動作] ブレードを水から出す動作。リリースとも言う。
1655 **	フィニッシュ	finish	IN [競漕] 決勝線。(いわゆる、ゴールライン)
1656	フィニッシュ・オーバーラップ	finish overlap	[用具・リギング] フィニッシュ時のハンドル端の、艇軸を通る鉛直面からの距離。
1657	フィニッシュ・アングル	finish angle	[用具・リギング] (①オールシャフトのフィニッシュでの角度。) ②フィニッシュでの上体の後傾角度。
1658 **	フィニッシュ角(…かく)	finish angle	[用具・リギング] ①フィニッシュ時のオール角。オール(シャフト)と、艇軸に直角な面のなす角度を、上方から見たときの角度。(②フィニッシュでの、上体の後傾角度。)
1659	フィニッシュ・ドリル	finish drill	[練習・技術練習] フィニッシュの姿勢で腕だけを伸ばして漕ぎ(=腕漕ぎ)、次に上体のスウィングをつけ(上体漕ぎ)、ハーフスライド、フルスライドと動作を拡大していくルーティン。
1660	フィニッシュ・ライン	finish line	JARAテキスト2007・エントリーレベルで提唱(予定)。
1661	フィニッシュ・レングス	finish length	[競漕・施設] 決勝線。一般用語として「ゴール」(goal)に、目標地点、スポーツ競技の「決勝線」、「得点」といった意味があるが、英文の中には競漕の決勝線という意味での「goal」はほとんど出てこない。)
1662 **	フィリップ	Fillippi	IN [用具・リギング] フィニッシュ時のハンドル端のオールロックフェイスからの前後距離。
1663	フィレット	fillet	IN [会社・造船] イタリアの漕艇メーカー。ドイツのエンパツハとともに、最も商業的に成功してきたメーカーの一つ。URLは、www.EliteRowing.com。
1664 **	フィン	fin	[用具・構造] ビードとも。接合部に形成される接着剤のはみ出し。特に適度なみ出しがスムーズな形状を形成することで接合部の耐久性、剛性向上に寄与するが、その一方で過剰であれば無駄な重量となる。造船用語としてのfilletの発音は、[fill-i] (フィリット)もある。 例1:ハニカムサンドイッチ構造で、ハニカム層とスキンの接合部に、スキン側からハニカム側への樹脂の浸透で形成される構造。 例2:スティッチ&グルー工法でパネルの接合部にエポキシ樹脂を充填しヘラでフィレットを整形。(出典:桑野造船・「ボートタイムス」、舵社「新版カヤック工房」p94) [2012.3.10]
1665	フィン・ラダー	fin rudder	[用具・部分] ハルに取り付けられた保針性向上のための安定板。ローリングに対する安定性にも若干寄与する。(Story of World Rowingより)
			[用具・部分] フィン後部に取り付けられたラダー。スターンラダーと比較すると造波抵抗がほとんどなくなるが、反面ローリングに対する影響は増える可能性がある。

no.	用語	English	解説
1666 *	フェアバーン、ステイブ	Fairbairn, Steve	IN [人名・コーチ] イギリスの著名なコーチ(1862-1938)。歴史上の著名なコーチとしては世界で最も有名と良いだろう。英国オーソドックススタイルの時代に、スライディング・シートに適した近代漕法の基礎を開拓した。著書「ロウイング・ノート」が有名。
1667 **	フェイス	face of oarlock	IN [用具・部分] (1)オールロックの部分名称。ドライブ中にオールが押し付けられる面のこと。
1668	フェイス	face of pivot	[用具・部分] (2)オールロックフェイスに押し付けられるオールのスリーブの平坦
1669	フェイズ・シフト・ドライ	phase shift drive	IN [ボート設計・開発] →フェイズ・シフト・ドライブ。 [2016-3-5]
1670	フェイズ・シフト・ロウイング	phase shift rowing	IN [ボート設計・開発] 位相をずらして漕ぐクルー・ロウイング技術。艇設計。1980年代にはその構想がみられた(図書・Rudern)が、具体的にはロンドンRCの1929年のエイト(動画が残っている)や、1970年代のソビエト連邦の女子つきフォアのミドルコックス艇(レースでは通常ロウイングだった)などがある。また2005年には米国で特許が登録された。シンクペーティッド・ロウイング、ジャズ・ロウイングとも言う。 [2016-3-5]
1671 **	フェザー	feather	IN [動作] ブレードを水平にすること。水平にした状態。フィニッシュ後、フォワードの際に空気抵抗を受けないために必要。
1672	フェザリング	feathering	IN [動作] →フェザー。フェザーすること。
1673	フェニックス・レーシング	Phoenix Racing	IN [ボートメーカー] 英国のトウイッケナム(ロンドン郊外)に拠点を置くボートメーカー(ディーラー)。中国のペイシェンボート(上海培生船艇有限公司)でOEM生産。 [2015.7.28]
1674 ***	フォア	four	IN [用具・艇種] 4人漕ぎ艇。特にスィブ艇の、4+および4-のこと。
1675 *	フォア・スカル	four scull	IN [用具・艇種] →クオドルプル。
1676 **	フォア・ステイ	fore stay/ pull bar	IN [用具・部分] オールロックとストレッチャー付近を結びリガーステイ。
1677 **	フォア・スプラッシュ	fore splash	IN [用具・挙動] スターン方向に跳ねる水しぶき。
1678	フォー・オアズ・ルール(4-オアズ…)	4-oars rule	IN 「安全・ルール」 冬季の乗艇条件として、4本オール以上の艇に限る(つまりシングル、なしペア、つきペアの乗艇を制限)とする水域ルールの事例。転覆リスクへの対処である。例:ポトマック・ロウイング・センター [2015-7-28]
1679 ***	フォワード	foward	IN [動作] 漕手の艇尾方向、ブレードのバウ方向への動き。
1680 **	フォワード・エンド	foward end	[動作] フォワード動作の終末。スライドの前進終了時点。
1681	フォワード・デッキ	forward deck	IN [用具・部分] バウ側デッキ。
1682 **	フォワード・トップ	foward top	[用具・部分] フォワードエンド。
1683	フォワード・フェイスング・ロウイング・システム	Forward Facing Rowing System	IN [用具・機構] ギグ・ハーバー・ボート・ワークス(米国・ワシントン州・ギグハーバー)による前向きロウイングを実現する付属品(TM)。ガンネルに取り付ける簡単なリンク機構で、簡単な平面的なリンクでハンドルとブレードの前後運動を同一方向に転換し、その機構全体が、傾くようになっていて、ブレードの上下運動は、そのまま通常のオールと同様に運動する機構である。
1684 **	フォワード・リーチ	foward reach	[動作] フォワードエンドでの前傾姿勢。艇尾方向への伸び。
1685	副審判長(ふくしんばんちょう)		JP [大会・要員] 大会における審判団を構成する役員のひとつ。審判長の次位。代行。競漕規則には規定されていないが、「審判員の心得号令、動作」において規定されている。
1686	不正スタート(ふせいすたーと)	false start, faux-depart(FR)(flying/JPN)	[競漕] 発艇号令(コー)の前に、艇が動くこと。(前進だけでなく、後退も含む。)なお、艇が動かなければ、オールや身体への動きは制限されない。一般には日本では「フライング」と広く呼ばれる。
1687	伏せ角(ふせかく)	covering pitch	[用具・リギング] カバー角。
1688 *	フック	hook	[用具・リギング] キャンバーからブレードネックの厚みを引いた値。
1689	ブッシュ	bush	IN [用具・部品] コンセプト2などのオールロックのピンの軸受けとして差し込む部品。インサートとも言う。「偏心ブッシュ」はオールロックの固有ピッチ(カバー角)を調整する役目もある。 [2007. 7. 13]
1690 *	フット・ストップ	foot stop	IN [用具・部分] ストレッチャー・ボード。フット・プレート。
1691	フットストップ・スプリット・アングル	foot stop split angle	IN [用具・リギング] ストレッチャーの両足の開き角度。
1692	フットストップ・ディスタンス	foot stop distance	IN [用具・リギング] オールロックのフェイスからヒールカップまでの前後間隔。ピン・ヒールとは、オールロック位置の測定ポイントが若干(オールロックのフェイスか、ピン中心か)異なるが、ほぼ同じ意味を持つ。
1693	フットストップ・トラック	foot stop track	IN [用具・部品] ストレッチャートラック。スライダー。
1694 *	フットストップ・ハイト	foot stop height	IN [用具・リギング] ヒールカップとシート上面の最低部との高低差。
1695	フット・ストレッチャー	foot stretcher, foot-stretcher	IN [用具・部品] ストレッチャー。フット・ボード(ストレッチャー・ボード)、シューズ、バーなどで構成される足回りの固定装置全体をさす。
1696	フット・プレート	foot plate	IN [用具・部分] =ストレッチャーボード。
1697	フット・ボード	foot board, foot-board	IN [用具・部分] =ストレッチャーボード。(Coxswain's Locker/www.coxing.comより)
1698	ブビンガ	Bubinga	IN [用具・素材] リガーを支えるフレーム等に使われてきた硬質の木材。アフリカン・ローズウッド、ケバジンゴ(Kevazingo)、エシガン(Essingang)、オベシ、ワカ等とも呼ばれる。マメ科・ジャケツイバラ亜科の常緑広葉樹でカメルーン、ガボンなどが原産、アフリカ種(13種)と南米種(3種)がある。心材はチークやカリンに似た派手な橙-赤褐色~赤で、派手な葡萄空(ぶどうもく)などが現れる。辺材は淡黄色。重硬で強度があり、折れや裂けに対して粘りがあり、耐腐性に優れた虫害に強いが、加工や乾燥が困難。一般には高級家具(テーブル)、床、ドア、室内装飾、彫刻材などに使用。響きがよくギター、打楽器、和太鼓等にも使われる。ただ、乾燥で変形しやすい傾向もあり、通常はウレタン塗装で乾燥を防止す
1699 **	部分漕(ぶぶんそう)		[練習] ロウイング動作の一部分を取り出して行う技術漕。ノースライド、腕漕ぎ、キャッチ&ローなど。
1700	不飽和ポリエステル樹脂	unsaturated polyester resin	IN [用具] 一般的呼称:ポリエステル樹脂の正式名称。→ポリエステル樹脂
1701	フュージョン・ブレード	Fusion Blade	IN [用具・オール・商品名] ブラーチャスポーツのブレード・ラインナップ。ビッグブレード形状で、中央にスプラインが入っているタイプ。 [2015.4.30]
1702	フェニックス・レーシング	Phoenix Racig	IN [会社・造船] 中国のボートメーカー。 [2015.7.8]
1703	フライ	frei (in Germany)	JP [練習] 練習オフの日のこと。ドイツ語のfrei(=英語のフリー、free)に由来する。明治期の大学スポーツではドイツ語からの用語が多くみられる。エッセン(essen)なども同類。 [2015.7.8]

no.	用語	English	解説
1704 **	フライ・アップ	fly up	[動作] オーバーハング。フォワード終盤でブレードが上昇する欠陥動作。 [2015.7.8]
1705	フライ・ウエイト	fly weight	IN [漕手・区分] 稀に用いられる体重のクラス区分で、非常に軽いグループ。定義の一例としては、男子で135ポンド(61.2kg)未満、女子で100ポンド(45.3kg)未満など。(Coxswain's Locker/www.coxing.comより)
1706	プライヤー	plier	IN [一般・工具] 物をつかみ回したりするための汎用工具。スリッジョイント・プライヤー(コンビネーション・プライヤーとも)、ウォーターポンププライヤーなど様々なものがある。
1707	フライング	(flying) false start, (premature start, break away (US), jump(beat) the gun.	[競漕・違反] 競漕のスタートにおいて、発艇号令(ゴ-)の以前に艇を動かし始めること。ただし、競漕規則に「フライング」の用語・定義があるわけではなく、「不正スタート」があるのみだが、フライングは日本で一般用語として広く使われているのが現状。
1708	フライング・イーグル(飛鷹)	Flying Eagle Boat Company, Hangzhou	IN/R [会社・造船] 中国の造船会社。杭州飛鷹船艇有限公司。1985年創業。2015年現在、世界最大規模の施設と造船数。WUDI(ウディ)はその中国国内向けブランドネーム。Wintechは海外市場向けブランド(北米ブランドでOEM生産していたが、ブランドごと買収。)日本には、桑野造船がWintTechブランドを輸入販売。[2015-7-28]
1709	ブラインド・ポート	blind boat	[用具・艇種] 舵手なし艇の総称。舵手がないため、前方に対して視覚が(注意しなければ、十分には)確保できていない艇種としてこう呼ばれる。(例:2-, 2x, 4-, 4xなど) [2015.7.8]
1710	ブランク	plaque	IN [規則・造船] →プロダクション・ブランク。(生産銘板)。ポートに貼り付けられる製造者、製造年月、設計体重、重量を記した銘板。
1711	ブラーチャ	Braca Sport	IN [用具・オール・メーカー] リトアニアとハンガリーの共同出資会社で、カヌーやロウイングのオールを製造販売。上縁に極端なピッチをつけた「ウィングブレード」をリリースしていた。[2015.4.30]
1712	フラッグ座	Lane number holder	IN [用具・部品] 直接の意味は、「旗座」だが、現在の意味はレーンナンバーホルダーのこと。造船の現場などで用いられる。もともとフィクス、ナックルなどではバウに旗を立てるための円筒穴の台座が埋め込まれ、レーンナンバーの書かれた「旗」を立てていた。これが現在は(旗から)レーンナンバープレートに代わったが、それを留める台座に「フラッグ座」の名が残っている。[2015.7.8]
1713	ブラック・スリーブ	Black Sleeve (R)	IN [用具・オール・品名] コンセプト2の2002後半からの黒いタイプのスリーブ。特にスクウェア。フォワードでの安定化を向上させた断面形状に改良された。しかし、対磨耗性が低く、2003年11月には材質を変更し、グリーン・スリーブの世代に交代した。
1714	ブラック・テープ	black tape	[用具・リギング] オールロックに巻きブレードピッチを応急的に微調整する時に使うテープ。コックスは常時携帯、ともいわれる(Coxswain's Locker/www.coxing.com)。ブラックテープとは、電工用の絶縁ビニルテープが黒を基調としていたことに由来し、テーピングの「ホワイト・テープ」の対語としての意味もある。
1715	“フラッター”	Flutter, Shunt	IN [競漕・戦術] 接戦の展開の中で、終盤に導入されることがある、6本程度のハイレイトの漕ぎ。数シート分前に出ることができるとは限らないが、それはぎりぎりの選択であり、多くの場合は、他に打つ手をもう使い果たしての、悪あがきの最後の手段にすぎない。シャントとも言う。[Wikipedia: Rowing Terms, 2006. 7.]
1716	フラットアウト	flat-out	[練習・乗艇、一般] 全力漕。全速力。
1717	フラットアウト・スプリント	flat-out sprint	[練習・乗艇] なりふりかまわない全力でのスパート。
1718	フラットウォーター	Flat Water	JP [会社・ショップ] カヌーショップ。カヌーの世界ブランドであるネロや、ユーロチャンプ、ブラーチャオールなど取り扱い。
1719	ブランキング	plunking	IN [用具・艇・工法] 木造船の外板、外板を張ること。[2008.6.7]
1720	ブランク	plunking	IN [用具・艇・構造] 木造船の外板。[2008.6.7]
1721	プーリー	pulley	IN [用具・部品] 滑車。ラダーラインに取り付けられている滑車。
1722	フリーウエイト・トレーニング	free weight training	IN [トレーニング・一般] バーベル、ダンベル、アレイなど、単純な重量器具によるウエイト(重量負荷)トレーニング。⇔マシントレーニング、ウエイトマシントレーニング。[2009.5.5]
1723 **	ふりこみ	roll ups	JP [練習・メニュー] キャッチロー。ロールアップス。技術練習のひとつで、フォワードシブレードを水に置く(キャッチ)のところまでを丁寧に動かし、そこで再び抜く動作。[Know the Game/Rowing, p37, 2007.12.22]
1724 ***	フリー・ニーズ	free knees	[動作・時点] フォワード動作において膝を曲げ始めること、つまりスライドを開始すること。およびその時点。
1725 *	プリブレグ	Pre-Preg	IN [用具・素材] 強化繊維に樹脂を含浸させ半硬化状態で供給されるシート材。気泡が入らず高品質で成型できる。バキュームバック&ヒート、オートクレーブなどの方法で加圧・加熱して硬化させる。繊維推を一方に並べたUDと織物がある。[2010.8.4]
1726 *	フリー・ボード	free board	IN [用具・部位] 乾舷。水面からシアーまでの部分、その高さ。(参照: 喫水, ドラフト)
1727	ブルー	(the) Blue	IN [組織・固有名] オックスフォードあるいはケンブリッジの、大学を代表するクルー。代表クルーだけがブルーのユニフォームを着ることができる。
1728	古川 宗寿 (ふるかわ そうじゅ)	Soju Furukawa	IN [人名・コーチ] 1944-2013。瀬田工高で漕ぎ始め東レ滋養で活躍。瀬田漕艇倶楽部を主宰。ナショナルコーチを務めた後、桑野造船を継承(2000-2012)。
1729 **	フル・ストローク	full stroke	IN [動作・部分] ハーフストロークに対して、全レンジを使用したストローク。
1730 ***	フル・スライド	full slide	IN [動作・部分] ハーフスライドなどに対して、全レンジを使用したスライド。
1731	フルーデザイン	Fluidesign (R)	IN/R [会社・造船] カナダ・オンタリオのボートメーカー。1999年創立。www.rowfluidesign.com。[2018-6-26]
1732	プル・バー	pull bar	[用具・部分] リガースティのうちのフォアスティのこと。
1733 ***	フル・プレッシャー	full pressure	[動作] 全力漕。パドル。最大限のパワーで水を押すこと。
1734 **	フル・レンジ	full range	[動作] フルストローク。
1735	ブレーキ	brake	jp/in [動作] ブレードを水中でスクウェアにして艇を制動・制止させること、その指示用語。JARAテキスト2007・エントリーレベルで提唱(予定)。ストップロウ、ホールド・ハーなども同義。
1736 *	ブレイク・ウォーター	break water	IN [用具・部分] スプラッシュボード。ガンネルに続く波除け部分。
1737	ブレース	brace	IN [用具・部分] ナックルフォアなどの舵を取り付ける軸受け。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]

no.	用語	English	解説
1738	プレス・アウェイ	press away	[動作] オールのハンドルを前に押し出す動作。 ハンズアウェイ
1739	プレス・ダウン	press down	[動作] フィニッシュ後もハンズアウェイ終了まで膝をゆるめず、伸ばしたまま下に押さえておくという技術イメージ。 [「漕艇術の基本」(日漕, 1975), 2008. 7.]
1740	ブレスト漕艇コース	Brest Rowing Course, Belarus	[地名・漕艇コース] ベラルーシ(旧ソ連の一国, ポーランドの東隣)の西端の都市。そこに2007年に完成した人工コース。2010年U23世界選手権開催。[2010.8.4]
1741	フレックス-フット	flex-foot (R)	[用具・部品・商標] コンセプト2社のロウイングエルゴメータの部品の名称(商標)。柔軟性に富むストレッチャーの足固定部分。[2015.7.8]
1742 **	プレッシャー	pressure	[用具・挙動] オールを押す圧力の程度。漕ぎの強さ。ライト(light)・プレッシャー, ファーム(firm)・プレッシャー, フル(full)・プレッシャーなどと表現される。[Know the game/Rowing, p56, 2007. 12. 22]
1743 ***	ブレード	blade	[用具・オール] オールの部分名称。水を押す部分。
1744	ブレード	blade, ruder blade	[用具・部品] 舵刃。ラダーの舵板のこと。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]
1745 **	ブレード・エリア	blade area	[用具・オール] ブレードの面積。(投影面積)
1746 **	ブレード・エントリー	blade entry	[動作・時点] エントリー。
1747 ***	ブレード・カバー角	blade pitch	[用具・艀装] ブレード面と鉛直面のなす角度。ブレードピッチ
1748 **	ブレード・ケア	"Blade care!" "Watch your blade(s)"	[動作・指示] ブレードが浮遊物に当たらないよう注意を促す場合の指示。
1749	ブレード先端真鍮板	blade tip brass	[用具・オール] 木製ブレードのチップ保護のために使われていた真鍮板。
1750 **	ブレード・ピッチ	blade pitch	[用具・艀装] →ブレードカバー角。
1751 ***	ブレード・ワーク	blade work	[動作] ブレードの水に対する動き。
1752 **	フレーム	frame	[用具・部分] ハル内面に肋骨のように配置されている骨組み。肋材。リブ。(参照:ビーム)
1753	プロセッションナル・レース	Processional Race	[大会] ヘッド・オブ・ザ・リバー・レース とほぼ同義。プロセッションナルとは行列, 行進のこと。順番にスタートし, タイムレースとするタイプのもの。
1754	プロダクション・プラーク	production plaque	[規則・造艇] 生産銘板。ボートに貼り付けられるラベルで, 製造者, 製造年月, 設計体重, 重量を記したものの。FISAの競漕規則で明示することが義務付けられている。
1755	フロッグライト	Frog Light (R)	[用具・商品名] クローカーが販売する漕艇用のライト。2018年5月現在, オーストラリア国内限定。[2018-5-9, クローカーウェブサイト掲載より]
1756	プロテスト	protest	[競漕] →提訴。水上でのクルーから主審艇への提訴(objection)が認められなかった場合に, チームマネージャーから審判長に, 速やかに(FISAでは1時間以内)に文書で提出する申し出。[2017-10-30]
1757	プロファイル	profile	[艇設計・図面] ボートの側面図。[新版カヤック工房, p23, 2020-6-4]
1758	ブロンズ・コーチ	bronze coach	[資格] 英国のコーチの資格認定システムの一つ。(ゴールド>シルバー>ブロンズ)
1759 *	フロント・キャンバス	front canvas	[用具・部分] →パウキャンバス。
1760 ***	フロント・コックス	front cox	[用具・部分] →パウコックス。
1761 ***	フロント・ストップ	front stops	[用具・部品] レール前端(スターン側の端)のストッパー。
1762	フロント・ストップ	"Front Stop" "At Front Stops"	[動作・姿勢] 足を曲げシートを一番前にした状態, 姿勢。その指示用語。例えば, 静止状態から漕ぎ始める直前の姿勢の指示で使う。[Know the Game/Rowing, p55, ARA Junior Rowing Leaders Junior Officials Handbook, 2008. 3. 27]
1763	フロント・デッキ	front deck	[用具・部分] フロントキャンバス。
1764	フロント・ロウワー	Front Rower (TM)	[用具・部品] ロン・ランティラ・ロウイング・システムズ(Ron Rantilla Rowing Systems, 米国米国・ロードアイランド州ウォーレン)により開発・市販されている前向きロウイングの装置。ビルトインユニットとなっていて, カヌーや幅の広いボートに取り付けられる。その機構は, オールの支点を艇の中央に置くことと, ストレッチャーペダルの動きを(ケーブルを経由して)オールに接続していて, 通常のロウイングと同様に, 腕の引きと脚の進展動作を動員でき, 前向きで漕ぐことができる。[2009. 6. 16]
1765	フロント・ローダー	front loader	[用具・艇種] パウに舵手が載るタイプの艇。パウコックス。(Story of World Rowingより)
1766 **	分割艇(ぶんかつてい)	sectional boat	[用具] 搬送の利便性のため分割可能な構造を持つ艇。艇の重量増加の点では不利。FISAは, エイトの搬送性と平等化のため, 分割艇を義務化している。
1767	分漕(ぶんそう)		[練習] クルーの一部漕手による練習漕。
へ 1768 ***	ペア	pair	[用具・艇種] 2人漕ぎのボート。特にスィブ艇の, なしペアあるいはつきペアのこと。
1769 ***	ペア	pair	[漕手・配置] 漕手の内, 前後の2人の組。例: パウペア, エッジペア。
1770	ペイシェン	Shanghai Pei Sheng Boat Corporation Ltd.	[ボートメーカー] 上海培生船艇有限公司。中国上海にあるボートメーカー。1995年にFRP工場として設立, 2000年からボートを主力とし, 2006年からは風力発電機のナセルカバーなども生産。Phoenix Racing, Falcon Racing はペイシェンのOEM艇。[2016.11.27]
1771 *	平水(へいすい)	still water	[環境・水象] →静水。
1772	平水無風換算(へいすいむふうかんさん)	conversion time to still water (without wind nor current)	[練習・解析] 実際のタイムから静水無風状態でのタイムに換算すること。順風・逆風のタイムからの換算, タイムと流速・風速などからの換算式がある。
1773	ベイラー	bailer	[用具・補助具] 艇内に入った水を汲み出す汲み取り容器。「あかみ」とも, なお, セルフベイラーといって, 船底にとりつけ, 艇速を利用して自動排水する装置もある(ディンギークラスのヨットでは一般的)。[2014-7-9]
1774	ベガ(ヴェガ)R. C.	Vega Realisations Composites	[会社] 1991年に創立したフランスのボートメーカー。
1775 *	へさき(舳)	bow	[用具] パウ。艇の最先端部分。
1776 *	ペース・コーチ	Pace Coach	[用具] ニールセン製の艇載用自動ペース計測・指示装置。
1777	ベスト・ボート	best boat	[用具・古典] ウィフ(whiff; 競漕用スカル)から発展して, スライディングシートと広いリガーを持ち, 長く細くなった競漕用シングルスカル。[Rowing and Swculling, 1904, The Story of World rowing/C.Dodd 2014-7-9]
1778	ベスポリ(ヴェスポリ) USA	Vespoli USA	[会社] アメリカの漕艇メーカー。

no.	用語	English	解説
1779	ヘックスローブ、ヘクスローブ	hex-lobe, 6-lobe, Torx	IN [用具・ネジ・規格] ネジのアタマの形状規格で、六角穴に近いが星型になったもの。C2のエルゴやオールグリッパ端などに拡大されつつある。「カムアウト(脱落)」しにくく、強く締め・緩めができる。同義で、商標の「トルクス」もよく使われる。ロウイングで用いられるのは、ヘッドの呼びでT20, T25, T27など。
1780	“ヘッズ”・(アップ)	“Heads”, “Heads up”	IN [動作・指示] 陸上で、何かに接触しそうなときに叫んで注意喚起すること、そのための指示 [Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1781	“ベッティング・シャツ”	“Betting Shirts”	IN [慣習] (米国) 大学・男子の競技では競漕にシャツ(ユニフォーム)を“賭ける”ことがある。レース後、(伝統的には水上で、現在は上陸後に)敗者がシャツを勝者に渡す習慣である。女子競技では、NCAAがスポーツ競技での賭けを禁止しており、男子のみの習慣である。負けたときに渡す専用の(安めの)シャツを用意するクルーもある。 [Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1782 **	ヘッド・オブ・ザ・リバー(レース)	Head of the River (Race)	IN [大会] 河川で行われる中～長距離レース。1艇ずつタイム差で発艇する場合などがある。
1783	ヘッド・オブ・加古川(…かこがわ)	Head of Kakogawa	JP [大会] 兵庫県加古川で開催されるヘッドレース。
1784	ヘッド・オブ・神通(…じんずう)	Head of Jinzu	JP [大会] 富山県・神通川(富山県漕艇場)で10月下旬に開催されるヘッドレース。8km。1日目に1×, 2日目にクルーボート。
1785	ヘッド・オブ・瀬田(…せた)	Head of the Seta	JP [大会] 滋賀県大津市の瀬田川で11月に開催されるヘッドレース。瀬田漕艇倶楽部が主催。国道1号線～南郷洗堰往復の約8.4km。2005年には2日間で、のべ約800名、400クルーが参加し、カヌー部門も新設。
1786	ヘッド・オブ・チャールズ	Head of Charles	IN [大会] 米国ボストンのチャールズ川で、ケンブリッジRCが開催する世界最大規模のヘッドレース。3マイル(約5km)に、2007年は、1700以上のクルー、8200人が参加。 [BoatTimes/桑野造船, Vol45, 2007. 10. 25]
1787	ヘッド・オブ・天竜(…てんりゅう)	Head of Tenryu	JP [大会] 浜松市・天竜漕艇場で10月下旬に開催されるヘッドレース。
1788	ヘッド・オブ・茨戸(…ばらと)	Head of Barato	JP [大会] 北海道札幌市・茨戸川で10月末に開催されるヘッドレース。
1789	ヘッド・オブ・百間(…ひゃっけん)	Head of hyakken	JP [大会] 岡山市・百間川で2月下旬に開催されるヘッドレース。1.5km×2往復。岡山県ボート協会主催。
1790	ヘッド・レース	Head Race	IN [大会・一般] ヘッド・オブ・ザ・リバー・レース と同義。
1791	ベベル	bevel	IN [造船] 斜めの意味。(斜線, 斜面, 斜角など。斜角をつける, はすに切る, 斜になった, 傾斜したなど)。例: スカーフジョイントのために部材を斜めに整形すること。(ベベルを切る。～をとる)。参考: 象徴的なベベルは、はす歯歯車(ベベルギア)。他に、「角度定規」をさすこともある。 [2007. 9. 5]
1792	ベルギー・スタイル	Belgian style	[動作・漕法] 1906-1907年頃の漕艇技術。Julian Pedryer開発。
1793	ペンギン型	Penguin style	JP [用具・船型] ハルの船形のひとつ。こだま型と図南型の中間的なハル形状。
1794	偏心ブッシュ(へんしん…)	eccentric bush	IN [用具・部品] オールロックの軸受けとなるブッシュのうち、特に、オールロック固有のピッチ(カバー角)を調整できるように、軸の中心がずらしてあるタイプのもの。コンセプト2の標準的なブッシュは、偏心ブッシュである。(出典不明の取扱説明書) [2007. 7. 13]
1795 **	変則リガー(へんそく…)	irregular rigger layout	[用具] 変則的なリガーレイアウト(漕手の左右舷配列)。主に左右舷の漕力のバランスをとるために行う。cf: ノーマル・リグ。パウサイド整調。ジャーマン・リグ。イタリアン・リグ。
1796	ベンディング・アーム	bending arm	[動作] ①腕の屈曲。ベンディングアーム。アームブル。 ②ストロークフェイズで腕を早くから曲げる動作上の欠陥。
1797 ***	バンド	bend	IN [オール・仕様] オールのしなり。ネックに一定の静的荷重をかけたときのバンドを計測する。バンドの大きいオールを柔らかいオールという。バンドはピギニングでの衝撃的負荷を軽減するなどの効果が期待できる一方、エネルギー損失の課題や流体力学的効果の要素もあり複雑である。
1798 **	バンド・アーム	bend arm	[動作] 腕の屈曲。ベンディングアーム。アームブル。
1799	ヘンリー・ウイメンズ・レガッタ	The Henley Women's Regatta, HWR	GB [大会・固有名] 女性のためのレガッタ。ヘンリー・ロイヤル・レガッタにオプションで女子種目が組まれた時代もあったが、女性のためのヘンリーレガッタとして1988年に2001mで始まり、2006年は1500mで開催された。(詳細は、公式ウェブサイト: www.hwr.org.uk 参照)。 [2007. 2. 9]
1800	ペンリス湖	Penrith Lake	IN [地名・水域] オーストラリア・シドニーの人工コース。シドニー五輪開催(メイン会場の西北西約40km, S33° 43' 27" / E150° 40' 14")
1801 *	ヘンリー・ディスタンス	Henley distance	IN [大会・規格] ヘンリーロイヤルレガッタで採用されている競漕距離。1マイル550ヤード=1.83マイル=2112m。(⇒オリンピックディスタンス), (Story of World Rowingより)
1802	ヘンリー・ネック(シャツ)	Henley (neck) shirt	IN [一般・服飾] ヘンリーシャツ、ヘンリーネックとは、丸首のTシャツやセーターの正面に、胸あたりまで開きがあり、ボタンで留めたり紐で結んだりできるデザイン。この名前は、ヘンリーレガッタで、クルーが身につけていたシャツの形に由来する。漕艇用語というより服飾用語だが、ロウイング由来の言葉として、ここ
1803 ***	ヘンリー・ロイヤル・レガッタ	Henley Royal Regatta, HRR	IN [大会・固有名] 英国のテムズ川上流、ヘンリー・オン・テムズの町で毎年7月上旬に開催される伝統的なレガッタ。1839年に始まり、1851年にロイヤルレガッタとなった。ロイヤルアスコット(競馬)、ウインブルドン(テニス)、全英オープン(ゴルフ)と並ぶ4大スポーツイベントである。1マイル550ヤード(2112m)で競漕。 [2016-1-28]
ほ 1804	ボア	bore	IN [競漕・違反] →レーン侵害。(Story of World Rowingより)
1805	妨害(ぼうがい)	interfere	[競漕・違反] 競漕中に他艇の進行を妨げること。
1806	ボギー	bogie	IN [用具・部品] シートのこと。なお、鉄道などで言う「ボギー車」とは水平回転機構を持つ台車のことだが、スライディング・シートに水平回転機構があるわけではない。(マルチリ・ウェブサイト・部品リストより) [207. 3. 17]
1807	ボギー(R)	Poggy, Poagie	IN [用具・装具] ロウイング用の保温手袋。商標。
1808 *	補強ビーム(ほきょうびーむ)		[用具] 持ち上げバー。艇を持つときのビーム。
1809	補強フレーム(ほきょうふれーむ)		[用具] キールとガンネル(特にセンターステイ取り付け部など)をほぼ直線的に結ぶフレーム。

no.	用語	English		解説
1810	ホギング	hogging, hog(v.)	IN	[用具・挙動] 艇が、浮力や荷重の配分などの影響を受け、艇体中央部を押し上げ、前後端を押し下げるような力を受け変形すること。艇の前後が波の谷、中央部が山に乗ったときにホギングが発生する。(その逆がサギング)。競漕艇の場合、その漕行可能な波況(特に波長)との関係では、乗艇中には問題となるようなホギングはあまり発生しない。しかし、フォアやエイトなどの長い艇を伏せておく場合に、ウマの間隔を両端によせて中央を開けすぎると、艇の自重で中央が下がり、ホギングと同じような負荷がかかり続け、艇の変形、剛性減少の原因となる。⇔サギング [2015.7.8]
1811	ポコック・レーシング・シェルズ	Pocock Racing Shells	IN	[会社] カナダの造艇会社。ジョージ・ポコックは、英国で育ちボートを漕ぎ、その父はイートン校に艇を納めたボート職人だった。カナダに渡り1911年にシアトルで創業。 [2015.7.8]
1812	ポジティブ・スリップ	positive slippage	IN	[動作] ブレードが、水中で(岸から見た座標系で)、ドライブ前半で、艇の進行方向と同じ方向に進行する現象。ハイドロダイナミック・リフトと関連づけて、リフトが艇の推進に寄与することとして捉えられている。(ノルテ, 1984) [2015.7.8]
1813	ホースシュー	horse shoe (R)	IN	[用具・部品・商品名] クローカー・オールインボードの簡易調整用の馬蹄型(C型)クリップ。C2社のCLAMシェルに相当する付加部品。 [2012.4.12]
1814	ポスチュア、ポスター	posture	IN	[動作・姿勢] 動作の姿勢。特にストロークサイクルにおける各部分での正しい姿勢のこと。 [Know the Game/Rowing, p. 56, 2007. 12. 22]
1815	ポーズ(・ドリル)	pause drill		[動作、技術練習] 上体前傾完了時(フリーニーズ直前)と、ハンザウェイ完了時に静止(ポーズ, pause)を入れる技術練習。フリーニーズ直前のみを入れるのを1ポーズ・ドリル、2つのポーズを入れるのを2ポーズ・ドリルなどと呼ぶ。ドリルの標準的シーケンス(手順)としては、2ポーズ~1ポーズ~通常ストローク。JARAテキスト2007・エントリーレベルで提唱(予定)。
1816	ポズナン	Poznan	IN	[施設・固有名] ポーランドの都市名。国際コースでは多くの世界選手権が開催されてきた。2009年世界選手権など。N52° 24' 6" / E16° 58' 49" [2009. 11. 22]
1817	ボスバーン漕艇場	Bos Baan Rowing Course	IN	[施設・固有名] オランダ・アムステルダムにある、1936年に(景気・雇用対策および青少年のスポーツ振興のために)建設された世界初の人工コース。戸田漕艇場のモデルともなった。(N52° 19' 42" / E004° 51' 04")
1818	補漕(ほそう)	supplement rower		[漕手] 補欠の漕手。 [2007. 12. 13]
1819	補舵(ほだ)	supplement cox		[舵手] 補欠の舵手。 [2007. 11. 13]
1820 *	ボタン	button	IN	[用具] →カラー。バトン。ピボット。
1821 *	ボックス	box		[用具] 1漕手に割り当てられた艇の空間。
1822	ホット・シーティング	Hot seating	IN	[レース] 大会で、2つのクルーが1つの艇を交代で使用する場合に、艇を陸に揚げないで、フィニッシュライン付近または桟橋でクルーが乗り代えること。 [2016-11-17]
1823 **	ボディ	body	IN	[動作] 漕手の体全体。あるいは体幹部、上体。
1824 *	ボディ・アングル	body angle		[動作] 上体の傾斜角。
1825	ボディ・アングル	body angle	IN	[動作] 特に、脚をまだ緩めていないときの、これからフォワード方向(艇尾の方向)にスライドしようかという瞬間の上体の傾斜角。(Coxswain's Locker / www.coxing.comより)
1826 **	ボディ・スウィング	body swing	IN	[動作] 上体の後傾動作。主として背筋を動員。
1827	ボディ・セット	body set		[動作] スライドの前進開始時につくる上体の準備姿勢。参考:ボディ・ブレップ
1828 *	ボディ漕(…そう)、ボディ漕ぎ(…こぎ)			[練習・ドリル] ノーズスライドで腕だけで漕ぐ技術漕。キャッチとフィニッシュのオール角がミドル付近になり、キャッチやフィニッシュの技術練習になる。
1829	ボディ・プラン	body plan	IN	[艇設計・図面] 前面図を左半分に、背面図を右半分に描いた、横断面図。セクションズとも。[新版カヤック工房, p23, 2020-6-4]
1830	ボディ・ブレップ	body prep. (-preparation)	IN	[動作] キャッチへ向っての、腕、肩、背中(体幹)の準備の姿勢、または状態。ボディセットという言い方も、ほぼ類似の概念である。(参考:Coxswain's Locker / www.coxing.comほか)
1831	ボディリフト	body lift		[動作] ボディスウィング開始時の上体の鉛直上方への運動成分。上下運動の成分は、必然的にゼロにはできないが、ピッチングやヒービングの主因のひとつであり、できるだけ低減するテクニックが求められる。
1832 **	ボディワーク	body work	IN	[動作] 上体または体全体の動作、その技術。(参照:ブレードワーク)
1833	ボート	boat	JP	[一般] いわゆる船全般について、英語では比較的大きなものを「ボート」、大型のものを「シップ」(ship)と呼び分ける。ロウイングをするものはボートに含まれ、シップとはいわない。
1834 **	ポート	port	IN	[用具] 左舷。ノーマルリグではストロークサイド。港(ポート)と同じ語源で、昔は船の右舷に舵取りオール(ステアリング・オール)が取り付けられたスターボードがあり、逆の左舷を港に船を横付けし、荷物を積み下ろしていたことに由来する。関連→スターボード。starboard.
1835	ポート	port	IN	[用具・部分] 排水口、点検口など。インスペクション・ポートの略称など。
1836	ボートサミット	Boat Summit	JP	[組織] 全国ボート場所在市町村協議会の首長会議。1988(昭和63)年から。 [2016-8-10]
1837	ボート人口増大フォーラム		JP	[普及・固有名] 2006年1月に開催されたボートの普及を探るフォーラム。日本ボート協会主催。
1838	ボートスリング	boat sling(s)	IN	[用具・周辺] 艇を置く台。ウマ。
1839	ボートの三人男(…さんにおとこ)	Three Men in a Boat		[図書] 原題"Three Men in a Boat"。1889年出版のユーモア小説。著者:ジェローム・K・ジェローム。キングストンからオックスフォードまでのテムズ川のボート旅。邦訳は、岩波文庫、中公文庫より。
1840	ボートハウス	boat house, boathouse	IN	[施設・一般用語] →艇庫
1841	ボートハウス	Boat House (R)	IN	[会社・固有名] ローウイングウェアのメーカー。米国。
1842	ボートハウスジャパン	Boat House Japan		[会社・固有名] カスタムメイドのロウイングウェア他。神奈川県平塚市。
1843	ボート・ホルダー	boat holder	IN	[人・役職] ステイクポート・ホルダー、日本での通称:「ウォーターマン」と同義。発艇桟橋(スターティングゲート)に伏せ、またはステイクポートに乗り、ボートを保持するスタッフ。日本でも2015年からウォーターマンに替わって「ボートホルダー」を正式呼称とすることになった。(Rowing Canada Aviron, Glossary)
1844 *	ボートマン	boatman		[人・漕手] 漕手。
1845	ボートマン	boatman	IN	[人・役職] 艇整備員。ボートライト。リガー。

no.	用語	English	解説
1846	ボートマン・シップ	boatman ship	[技能・概念] ボート取扱およびロウイングの(包括的・総合的な)技術・技能。ただ、オアズマンシップと同様に、精神的な意味合いを含めて記述・発言されることも少なくない。[2009.10.25]
1847	ボトム	bottom	IN [用具] (1)オールロックの底の部分。シルと呼ばれることもある。
1848	ボトム	bottom	IN [用具] (2)艇の底。
1849	ボトム・ストリンガー	bottom stringer	[用具] ナックル艇の底板を補強する縦通材。
1850	ボトム・プランキング	bottom plunking	[用具] ナックル艇の艇面部分。底板。
1851	ボトム・ローラー	bottom roller	IN [用具・部品] C2・エルゴのシートに取りつけられるローラーのうち、下側のもの。(⇨トップ・ローラー) [2015.7.27]
1852	ボートライト	boatwright	[人・役職] ボートマン。整備員。リガー [20211112 改訂]
1853	ポート・リグ(ド)	port-rigged	IN [用具・リギング] スイブ艇における漕手配置のひとつで、ポートサイド(左舷)に整調を配置するレイアウトのこと。ノーマル・リグともいう。通常はポート・リグである。⇨スタボード・リグ (Coxswain's Locker/www.coxing.com より)
1854	ボート・レース	boat race	IN [一般] ボートによる競争、競漕。
1855	ボート・レース, ザ	The Boat Race	IN [大会・固有名] 定冠詞をつけ大文字でザ・ボート・レースと言えば、テムズ川で毎年復活祭の前に開催されるオックスフォード大とケンブリッジ大の対抗レースのことを指す。(多くの英語の辞書にも載っていることが多い。)
1856	堀内 浩太郎 (ほりうち こうたろう)	Horiuchi Kohtarō	IN,JP [人名・ボートデザイナー, 指導者] 1926(T15).10.13-2016(H28).1.18。東京大学漕艇部OB(工学部卒)。横浜ヨット(株)を経てヤマハ発動機で舟艇事業を立ち上げ数々の船艇・移動体の開発に携わる。ローマ五輪・東京五輪で日本代表クルー監督、東北大学漕艇部監督など歴任、調和漕法を提唱。人力ボートの開発・普及にも尽力。[2016-3-5]
1857	堀内 寿郎 (ほりうち じゅろう)	Horiuchi Juro	JP [人名・指導者] 1901(M34).9.17-1979(S54).6.27。札幌生まれ、二高(仙台)→東大理学部。姫路高教授→独英留学→北大教授、北大学長(S42-46)。北海道、北大の漕艇発展に貢献。堀内浩太郎氏は寿郎氏の長男。
1858 ***	ポリウレタン(樹脂塗料)	polyurethane resin paint	IN [用具・素材] 木造艇に使用される最も一般的な塗料。主剤と硬化剤の2液式が多い。
1859 ***	ポリエステル樹脂	polyester resin	IN [用具・素材] 不飽和ポリエステル樹脂。FRPにおいて強化繊維を固める樹脂として使う最も一般的なもの。高粘度の液状の物質で、硬化剤(MEKPO)を添加し、硬化させる。商品名としては、ポリベスト(サイデーペイント)、ユビカ(日本ユビカ)、ポリライト(大日本インキ)、ポリエステル(日本合成化学)、リゴラック(昭和高分子)などがある。
1860	ボーリング	boring	IN [競漕・古典] 相手の進路を奪うこと。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]
1861 *	ボルテックス・エッジ	Vortex Edge (R)	IN, R [用具・オール・商標] コンセプト2社の2000年からのブレードタイプ。スムーシーより一部平面形状が微調整され、ブレード先端に流体力学的効果をもたらすエッジを追加したもの。
1862	“ホールド・イット(or ハー)・アップ, ホールド・ウォーター”	“Hold it/her up (all)”, “hold water”	IN [動作・指示] 艇を止めること, その指示。日本では、ホールドだけではなく、テイトメ(テイドメ)、テトメ(テドメ)、テイクウ(抵抗)、ブレーキ、ネガなど様々な言い方がされる。[Wikipedia: Rowing Terms, Know the Game/Rowing, p56, 他] ※JARAテキスト2007・エントリーレベルでは「ブレーキ」を提唱 [2018-9-25]
1863	“ホールド・イット/ハー・ハード”	“Hold it/her hard”	IN [動作・指示] (英国)艇を緊急ですぐに止めること。[Wikipedia: Rowing Terms/2006. 7. 7]
1864	ホワイト・キャップ	white cap	IN [環境・水象・波] いわゆる白波。波頭(頂上部)が砕けている状態で、風波のコンディションの悪化を示す指標のひとつ。通常、平均風速約6~7m/s以上で顕著になり、明らかに一般シェル艇では乗艇できないレベルである。「白波が出たら乗るな」とはよく言われるが、出艇可否の判断は白波がまだ出ていないレベルで分かれる [2017-1-24]
1865	ホワイト・テープ	white tape	[用具] マメの保護などに使われるテーピング用のテープ。(Coxswain's Locker/www.coxing.com より)。どうも、ブラックテープ(塩ビテープ、絶縁テープ)との対照でこういう呼ばれ方がされるようである。⇨ブラックテープ
1866	“ホワイト・フラッグ”	“White Flag.”	IN [競漕・号令] パラロウイング種目で、視覚障害者のために、審判艇が白旗を掲げるとき同時に発する号令。[FISA/パラ規定より, 2014-7-9]
1867	ボンツーン	pontoon	IN [用具・パラ] パラ種目の1×などのリガーに装着される転覆防止のためのフロート。日本での呼称は、スカル・フロート(桑野造船)とも。[FISA/パラ種目規定, 2007. 12. 23]
1868	ボンツーン	pontoon	IN [一般用語・施設] 発艇場の浮き桟橋, 浮き船台 [2007. 12. 24]
1869	ポンド	pound	IN [一般・物理単位] 重さの単位。1ポンド=0.4536kg。[2007. 12. 23]
1870	ポンド	the Pond	[施設・固有名(愛称, スラング)] 戸田漕艇場の俗称(愛称)。[2007. 12. 24]
1871	マイク・ダベンポート	Mike Davenport	IN [人名・コーチ, ボートマン] ワシントンカレッジのヘッドコーチ。元米国ナショナルチームのボートマンなど。「The Nuts and Bolts Guide to Rigging」(2006年現在第10版)の著者。ウェブサイト: http://maxrigging.com
1872	マイクロ・バルーン	micro balloon, balloon	[造船・素材] ⇨略称・バルーン。樹脂に添加する素材の一つ。中空・軽量の粒子で、軽量なまたは切削が比較的しやすい素材を調製することができる。[2015-12-25]
1873	マイルズ・メイク・ア・チャンピオン	“Miles make a champion.”	IN [格言] 練習でより多く(長く)漕いだものがチャンピオンになる。勝利は練習の賜物、という意味。
1874	マウス	mouse	IN [用具・部品] コンセプト2のインドアロウワ(エルゴ)・モデルD以降の、前後接続部の主要部品の名称。(2010.10.04)
1875	マウント・ドック	mount-doc	IN [用具・部品] NKのストロークを艇にとりつけるときに使う取り付け用の部品。[2015.7.27]
1876	前(と後)(まえと後ろ)	front (and back)	[用具・呼称] ボートでは漕手が進行方向後ろ向きに座るため、前と後ろについて屡々混乱する。手の動作および周辺部分のインボード(オールロックより内側)については、スターン方向を前と呼ぶ。
1877	前皮(まえかわ)	leather	[用具・部分] クロッグ(ゲタ)タイプのストレッチャーの部分名称。の甲を包む部
1878	前田 正(まえだ ただし)	Tadashi Maeda	JP [人名, コーチ] 1963(S38)~1971(S56)の一橋大学監督。1970~90年代に日本漕艇協会関係の多くの図書を著す。一橋大監督時代に、2件の遭難事故(1963, 1970)を経験、特に安全対策・安全教育に注力された。
1879 ***	マコン(ブレード)	macon blade	IN [用具・オール] 前ビッグブレード時代の代表的な対称型ブレード。フランス・マコン市で開催された欧州選手権(1959)で、カール・アダム指導の西独クルーが初めて使用したこと由来。それまでは、細長いブレード(スタンダード、ニードル)が主流。(2010.10.5)

no.	用語	English	解説
1880	摩擦抵抗 (まさつていこう)	friction drag	IN [用具] →表面抵抗.
1881	マジックロウイング社	Magik Rowing	IN [ボート部品の会社] オーストラリアの会社. 衝撃干渉機構のついた新しいタイプのオールロック, MK1を2005年1月にリリース. [2007. 12. 23]
1882	マーシャリング・エリア	marshalling area	IN [施設] 式典エリア. 漕艇コースで行われる大会での, 式典(ウィニング・ラン～表彰)などのためのエリア.
1883	マーシャル	marshal	IN [大会・係] 式典会場における案内, 進行係. 後述マーシャル艇の略称. [2016-2-25]
1884	マーシャル・ボート (マーシャル艇)	marshal boat(s)	IN [施設・装備] 警備艇, 監視・誘導艇. 練習水域や, レースコースと発艇場から移動する漕路の交差点所などで, 交通整理や安全状況を案内・監視・誘導する役目のモーターボート. (出典例: USRowing Registered Regatta Safety Checklist)[2016-2-25]
1885 **	マシン・ロウイング	Machine Rowing	IN [練習・陸トレ] ロウイングマシン(ロウイングエルゴメータ)によるトレーニングや競漕のこと. 従来, エルゴメータ大会と呼んでいたものは, マシンロウイングと言われることが多い.
1886	マーズ	MAAS Rowing Shells	IN [会社・造船] 米国カリフォルニア州リッチモンドの漕艇メーカー. 海洋・小艇系. [2018-6-26]
1887	マーズオア	MAAS Oar Company	IN [会社・造船] 米国ワシントン州シアトルのオールメーカー. グラファイトスカルなど. [2018-6-22]
1888	マックスラート, ディー トヘルム	Maxrath, Diethelm	IN,JP [人物・コーチ] 1955(S30)年生まれ, ドイツ人. 1977-1978年西独代表8+整調. 1998-2000カナダ・ヘッドコーチ, ドイツ軽量級スィープのプロジェクトコーチ, Mainzer Ruder-Verein 1878(マインツRC1878)のヘッドコーチ. 2009-2011年, 日本ナショナルチームのヘッドコーチ(ロンドン五輪を目指して招聘したが前年に解約. 通称: マックス. [2016-2-25]
1889	マッドウッド	Mattwood	IN [会社・造船] イギリスの漕艇部品メーカー [2018-6-26]
1890	マープ	MAAP	JPN [用具・部品・商品名] 浜寺マスターズ・宮内彬生氏が開発, ストローカー・ジャパンが2008年に発表したピン. 8本のネジの調整で, ピッチを調整できる. M's Adjustable Angle Pinの略. 台座部が2枚の円板で構成され, 上側円板の8方位に埋め込まれた8方位の六角孔付止めネジを調整する. 下面側は球面座金による. ストローカー・ジャパン廃業後, 桑野造船が継承. [2016-3-5]
1891	マリン・ポーチ	Marine Porch (R)	IN [用具・安全] 救命具のひとつ(商標). 落水時に自動膨張する.
1892	マルチノリ	Martinoli	IN [会社・部品] イタリアの艀装品メーカー. 1980年創業. [2016-3-5]
1893	マルチ・レーン	multi lane	IN [施設] 6レーン以上ある競漕コースのこと.
1894	円山川漕艇場 (まるやまがわ～)	Maruyama-Gawa Rowing Course	JP [施設・水域] 兵庫県城崎(きのさき)町(日本海側, 温泉保養地として有名)の円山川にある漕艇場. 1000m. 2006年兵庫国体(のじぎく)国体, 2015年高校総体開催地. (N35° 37' 37" / E134° 49' 04") [2016-2-25]
み 1895	ミッシング・ウォーター	missing water	[動作・欠陥] フォワードの週末でブレードが空中で停止し, 大きく艇尾方向に戻りながらタッチ(着水)する状況. トップスライドで水をとらえていない状態. [2016-3-5]
1896 ***	水があく (空く, 開く)	(more than one boat length), daylight	[競漕・艇差] 1艇身以上の差がつくこと. デイライトとも.
1897 **	水が重い/軽い		IN [動作・感触] ドライブ中の負荷感覚の表現. 漕ぐ側のコンディション, 風と流れの向き, 水温などに関係.
1898	水が入る	(more than one boat length)	[競漕・艇差] 艇差の表現の一つ. 1艇身以上になること. 水が開くと同義.
1899	水船(みずぶね)	swamped boat	[安全] 漕艇用語としては「浸水して水で満たされた船」のこと. (注: 一般には飲料水などの運搬船や, 派生して貯水槽などのこと) [2016-3-5]
1900	三田漕艇倶楽部 (み たそうていくらぶ)	Mita Rowing Club	JP [団体・OB] 慶応義塾端艇部のOB会. [2017-10-30]
1901	ミッド・ウェイト	mid weight	IN [漕手・区分] 体重区分のうち真ん中のクラス. 軽量級(ライトウエイト)と同義. (Coxswain's Locker/www.coxing.com より) フライ・ウェイト/ミッド・ウェイト/ヘビー・ウェイトと3区分するときの用語だが, ふだんはあまり使わない.
1902	見通し装置 (みとおし そうち)	slit	[施設・装備] スリット. スタートでの並び, 中間点や決勝線での通過順位を計測するために縦に細いワイヤーラインを2本, 前後(コースに対し直角の線上)に張った装置.
1903	見通し板 (みとおしばん)		[施設・装備] スタートおよびゴールラインで, 線審・判定員がラインを見通すため, 審判より反対側に設置された標識.
1904 **	ミドル	middle, mid drive	IN [動作] ドライブ中盤の約1/3(参照:ピギング, ファイナル). またはオール角ゼロの瞬間.
1905	ミドル・クルー	middle crew	IN [漕手・ポジション] エイトにおける3～6番の4人. エンジンルームとも. 艇の重心近くに座り, ピッチングへの影響がより少ないために, クルーの中で最もパワーがある漕手が配置されるのが一般的. エンジンルーム, エンジンフォアなどとも呼ばれる. (出典例: Wikipedia/Sport Rowing より)[2006. 7. 6]
1906	ミドル・ステイ	middle stay	[用具] センターステイ. フロントストップ付近からオールロックに出ているリガーステイ. 伝統的なりガーステイ構造としてはオールの重力方向の重さを最も支えるステイである.
1907 *	ミドル・スパート	middle spurt	[競漕・ペース] レース中盤でのスパート.
1908 ***	ミドル・フォア	middle four	IN [漕手] エイトにおける漕手のうち, 艇の中央, 3～6番に配置される4人の漕手. ミドルクルー, エンジンルームとも呼ばれる. 一般的に, 艇のピッチングやヨーイングを抑え艇をより円滑に進めるために, 強力なそして/または重い漕手は中央部に配置される. [2006. 7. 6]
1909 ***	ミドル・ペア	middle pair	[漕手] フォアにおける2・3番の2漕手.
1910	ミニマックス	minimax (R)	IN [計測器・商標] AIS(オーストラリアスポーツ研究所)が開発したGPS(5Hz)と3軸加速度センサを組み合わせた位置・艇速・艇速変動・レイトの計測・表示・記録装置. 2005年に発表, 2008年に商品化. [2009.5.5]
1911	ミネルバ, ボートハウス	Minerva, Boat House	[会社] スポーツショップ. ロウイングユニフォーム, ボート部品, オールなど取り扱い. 埼玉県戸田市.
1912	ミュザー	Muser Inc.	IN [会社・用具] 米国ワシントン州イサカのボート用品メーカー. 汎用タイプのトップステイ;「パワーリンク」をリリース. www.muserinc.com [2007. 3. 10]

no.	用語	English	解説
む 1913	向島(むこうじま)	Mukojima	[地名・漕艇水域] 明治初期から約70年、日本の漕艇の中心だった水域。隅田川に面し、現在の墨田区堤通1丁目、首都高向島線・向島ランプ出口付近に、東大ほかの大学艇庫があった。 [2016-4-3]
1914 **	迎える(むかえる)、 (身体が)迎えに行く	"Mukaeru"	[動作] フィニッシュ以前にボディが前傾を開始する不良状態。ボディスウィングを終了した姿勢を維持して腕を引くことができず、「迎えにいい」ことで、手への負荷を軽減し、ファイナルの引きを弱めてしまう。 Faulty forwarding (recovering) the upper body too early before the finish (while the last of the drive phase).
1915 **	無風静水換算(むふう せいすいかんさん)	conversion from actual time to the analytical time in virtual perfect conditions; no wind and no current.	[練習・解析] 実漕タイムを無風状態のタイムに換算すること。 換算式の例: 補正タイム = $((1+R)(vT+(vT/2)^2)/3-1) \times 1000T$ (v:風速 m/s, R:10.6~14.6, T:タイムs)
め 1916	名誉審判員 (めいよ しんぱんいん)	honorary umpire	JP 公認審判員規定で規定され、多年、審判長・審判委員長として功績のあった審判員が、審判委員会の推薦により委嘱される名誉職。
1917	メチル・エチル・ケトン・ パーオキシサイド	MEKPO; Methyl ethyl ketone peroxide	IN [用具・素材] FRP整形における、不飽和ポリエステル樹脂の硬化剤。通称、MEKPO(メクポ)。商品名は、カヤメック、パーメック、メボックスなど。 [2016-
1918 **	メニュー	training menu	[練習] 練習の内容。トレーニングメニュー
も 1919	木レール (もくれー る)	wooden track base	JP [用具・部分] レールの台座部分。現在のレールは、軽合金の引抜材で一体化しており、それをデッキパネルまたはビーム上に直接とりつけるが、古い木造船のレール構造は、ローラーの前後する溝を彫り込んだ木レールに、薄い金属板をかぶせた構造だった。
1920	モジュール艇	Moduler Shells	IN [用具・艇] 1漕手のコックピット部分を追加接続可能なタイプの艇。つなぎ合わせることで任意の漕手数の艇ができる。実験レベルのみ。(月刊漕艇No. 3 23/1993. 3)
1921 *	モダン・ロウイング	Modern Rowing	IN [図書] アダム漕法について記述した書籍。P. G. Willson, 1968.
1922 **	持ち上げバー		[用具] 補強ビーム。
1923	モデルA, C2	Model A of Concept2's Rowing Erg.	IN [用具・陸上TR] 1981年に登場したコンセプトII社のロウイングエルゴメータの初期タイプ。基本的な原理は現在のモデルEまで連続と続くホイール+ファンであるが、ごくシンプルなものだった。 [2006. 7. 24]
1924	モデルB, C2	Model B (of C2's Erg)	IN [用具・陸上TR] コンセプトII社のロウイングエルゴメータの第2世代。1986年にリリース。本格的な量産タイプとして登場。 [2006. 7. 24]
1925	モデルC, C2	Model C (of C2's Erg)	IN [用具・陸上TR] コンセプトII社のロウイングエルゴメータの第3世代。1993年に登場。最も多く普及し、1時代を築いたモデルと言える。モデルD, EもこのモデルCがベースとなっている。
1926	モデルD, C2	Model D (of C2's Erg)	IN [用具・陸上TR] コンセプトII社のロウイングエルゴメータの第4世代。2003年に登場。モニターの改革が進んだ。 [2006. 7. 24]
1927	モデルD2, C2	Model D2 (of C2's Erg)	IN [用具・陸上TR] コンセプトII社のロウイングエルゴメータの第4世代、モデルDはマイナーチェンジでD2がある。それより以前はD1と呼ばれることも多い。 [2012-2-25]
1928	モデルE, C2	Model E (of C2's Erg)	IN [用具・陸上TR] コンセプトII社のロウイングエルゴメータの第5世代。2006年9月にリリース。 [2006. 7. 24]
1929	もどる		[動作・欠陥] フォワードトップからタッチまでの間に、ブレードが艇尾方向に戻る。このブレードの動きは、前傾姿勢から無駄な動作の部分をつくり、大きな損失となる。
1930 **	モノコック構造, モノ コック艇	monocoque construction, monocoque boat, frameless construction, unitized construction	IN [用具・艇] 堅いデッキとパネルデッキを使用し横断面で閉じた構造を形成し、フレーム(骨組み)を持たず、外形の形成と強度確保の両方を外皮(外殻)だけが受け持つ一体構造のこと。またその構造を持つ艇、またはその構造部分のこと。フレームレス構造、一体化構造(unitized construction)、応力外皮構造、張殻(はりから)構造などともいう。「mono-」はギリシャ語で「ひとつの」、「-coque」はフランス語で「貝殻」の意味。1930年代から比較的小型の航空機で開発され、第二次世界大戦後に、自動車、鉄道、船舶に用いられるようになった。フレーム構造とモノコック的な設計思想を複合させたもの、中間的な構造様式のもの、完全に閉じていないモノコック的構造は、セミ・モノコック構造と呼ぶ。
1931	モール	mold, mould	IN [用具・部分] →モールド(2)
1932	モールディング	molding, moulding	[用具・部分] キャンバスをとめている棧木(さんぎ)、モールド、ビード(ビーディングとも)のこと。ビーディング、サイディングとも。
1933	モールド (1)	mold, mould	IN [用具・造艇] FRP艇を造るとき、船の(雌)型。モールドの内側に、GFRP, CFRPなどを積層して船体を作る。
1934	モールド (2)	mold, mould	IN [用具・部分] 艇を構成する艇の各部材(の主要部)に対し、その外周・輪郭を形成する枠材、棧木のこと。モールやビードとも言う。たとえば、木造船のガンネル上縁部(棧)をカバーする部材や、FRP艇の一部にみられるガンネル上縁部をキャップするアルミのモールド、モールディングなど。
や 1935	谷中湖 (やなかこ)	Yanaka Lake	JP [地名・水域] 栃木県の渡良瀬遊水地に造成された人工湖のコース。(N36° 13' 00. 85" / E139° 40' 23. 37")
1936	ヤヌセク・アンド・スタ ンプリー・レーシング・ ボート	Jonousek and Stampfli racing boat	IN [会社・造艇] 英国のボートメーカー。ヤヌセレーシングとスタンフリーが合併して誕生。2002年に、ブライアン・マクムラーン(Brian McMullan)が、ヤヌセレーシングボートに参画した。ブライアンは、アイリングスで働き、1980, 90と2000年代初頭にスティーブ・レドグレイブ(Steve Redgrave)とマチュー・ピンセツト(Matthew Pinsent)が使用した艇の造艇責任者だった。 [2017-10-17]
1937	ヤヌセク, ボブ	Janousek, Bob	IN [会社・造艇] 英国の漕艇コーチ。チェコ出身。 [2017-10-17]
1938 *	ヤヌセク・レーシング	Janousek Racing	IN [会社] 英国の漕艇メーカー。1981年にボブ・ヤヌセクと、フィリップ・グレゴリー(Philip Gregory)によって創業した。2017現在は、ヤヌセク&スタンフリーとして営業。 [2017-10-17]
1939	山型金具 (やまがた かなぐ)		JP [用具・部品] 木製ストレッチャーバーの両端にとりつけられる「山の字」型のメネジ部品。 [2018-3-20]
1940 **	山漕ぎ (やまこぎ)	dig	JP [動作] ミドルで深くなる不良状態。ハンドルの軌跡が、ミドルで高くなることに由来。=山に引く。
1941	山に引く	dig	[動作] 「山漕ぎ」と同義。ハンドルを水平でなく、ミドルで高くしてしまうこと。

no.	用語	English	解説
1942 **	ヤマハ発動機(株)	Yamaha Boat	IN [会社] パイク、舟艇(漁船、プレジャーボート、ヨットなど)、水上バイクなどを製造する会社。1986年-1994年には、堀内浩太郎を中心として、競漕艇も生産・供給していた。
ゆ 1943 **	USRA (ゆーえす…)	United States Rowing Association	IN [組織・米国] 米国漕艇協会(前身はNAAO)。American Rowing誌(隔月刊)を発行。
1944	USTS (ユーエス…)	United States Traditional Style	[動作] 漕法のひとつ。ローゼンバーグスタイル。ポールウィルソンのモダンローイング(1968)あたりに記述され、月刊漕艇のテクニカルコラムNo.120(1977)で紹介されている。[2015-5-2]
1945 **	UT (ユーティー)	utilization training	IN [練習] →ユーティリゼーション
1946	UD (ユーディー)	UD, Unidirectional (Fabrics)	IN [用具・素材] 一方向性の繊維素材(多くは炭素繊維)。その方向の引っ張り、曲げ強度に優れている。(反面、直角方向には弱い)。 (⇒2D)
1947 ***	ユーティリゼーション	utilization training	IN [練習] トレーニング分類の1カテゴリー。有酸素的なエネルギー供給・出力形態での酸素利用能力の向上をはかる、持久的トレーニング。
1948	U-23レガッタ (ユー23)	U23; Under 23 Regatta	IN [大会] FISA主催の23歳未満のカテゴリーのレガッタ(2004年まで)。2005年から"World Rowing Under 23 Championships"に、名称変更。
1949	U23選手権	World Rowing Under 23 Championships	IN [大会] FISA主催の23歳未満のカテゴリーの国際大会。2005年から、この選手権の名称"World Rowing Under 23 Championships"に変更。従来は、U-23 Regatta。年齢カテゴリーU23は、シニアBとして艇種記号にBをつける場合がある。2010年ベラルーシのプレストでは、軽量級女子1×で福本温子(明治安田生命)が2位獲得。[2010.8.4]
1950	ユニバーサル(ブルー)プッシング	Universal Blue Busing (concept2)	IN [用具・部品・商品名] コンセプト2が2007年にリリースした、3-4-5°の調整ができるプッシュ。形状の設計変更で、3-5プッシュを上下同じ方向に挿入すれば、プッシュによる角度がつかず、4°のオールロック本体固有のピッチにできることを原理とする。[2017-8-21, Concept2ウェブサイトより]
1951 **	弓 (ゆみ)	bow hoop	IN [用具・部品] オールロックを保持する弓形の金具。
1952 **	弓座金 (ゆみざが)		[用具・部品] 弓の下に取付け、前傾角を調整するオールロックの下部軸受け。
1953 *	弓ボルト (ゆみぼると)		[用具・部品] 弓に取り付け、オールロックの上部軸受けとして機能するボルト。
よ 1954 ***	用意して (よいしで)	"ready", "Come Forward"	IN [動作] 漕ぎの開始準備を指示する用語。カムフォワード(または「スライド前」)から「レディ」(用意)、「ロウ」と流れる。[2007. 12. 22]
1955 *	ヨーイング	yawing	IN [用具・挙動] 鉛直軸周りの艇の、艇の針路のふらつき。左右の漕力やタイミングの違い、スイブ艇のリガーレイアウトなどに起因して発生する。
1956	ヨーク	yoke	IN [用具・部品] ラダー・ティラー、T-バー、舵柄(だへい)、ラダーの軸(ラダー・ポスト、ラダー・バー)の上端に取り付けられた水平に伸びた柄の部分。
1957	ヨーク・ライン	yoke line	[用具・部品] ラダーロープ。ラダーを操作するひも。[2014-7-9]
1958 **	横キャンバー (よこ…)		[用具・オール・リギング] ブレードの横断面方向の丸み。(参照:カップは、凹面内側で計測するのに対し、横キャンバーは、背面(凸面)側で計測)
1959	横浜漕艇倶楽部 (よこはまそうていくらぶ)	Yokohama Rowing Club	JP [組織] かめかめ会(東海大OB会)、鶴見川マスターズRC、東芝京浜RC、アメンボウ(市民RC)が連携し、2006(H18)年に発足した地域型RC。横浜市・鶴見川漕艇場を拠点に活動。[2016-2-25]
1960	横浜ボートマラソン (よこはま…)	Yokohama Boat Marathon	JP [大会] 横浜市鶴見川で12月上旬に開催されるロングレース。横浜市ボート協会主催。7kmと3.5km、8+〜フォア、KFなど。2002年より。
1961	横張り (よこばり、よこはり)		[コース・設置工法] コースのブイを張る工法のひとつ。レーンを横断する方向にワイヤーを張り、レーンを分ける横断方向のブイを連ねて設置する工法。(⇒[漕手・配置] エイトにおいてバウから4番目の漕手。
1962 **	4番 (よばん)	4, number 4	IN [人名・指導者] 1924-12-13~2018-11-25(93)。富山県生まれ。高岡中(現高岡高)でボートを始め、早稲田大。1949年トヨタ自動車に入社。1951年にボート部創設。愛知、中部地区から全国の市町村レガッタの普及、全日本中学選手権の立ち上げなどに貢献。「日本のボートを世界に通用させるには大学からボートを始めていたのでは遅い!」を持論としていた。2015年、愛知池漕艇場に顕彰碑序幕。逝去時、中部ボート連盟名誉顧問、愛知県ボート協会常任顧問。[参考:愛知県ボート協会・訃報 2018-11-28]
1963	鎧塚 一 (よろいづかはじめ)	Hajime Yoroizuka	JP [用具・艇・構造] クリンカーと同義。木造艇のハルの板の張り方のひとつ。少しづつ重ねて鎧状にする。(重ねない張り方を「カーベル」という)[2015-5-2]
1964	鎧張り (よろいばり)	clinker built hull	JP [用具] クワドルプル。
1965 ***	4× (よんかけ、よんべけ、くおど)	quadruple	IN [用具] クワドルプル。女子種目としてあったが86年に廃止。日本では、1997年頃から、ジュニアおよび女子種目で、4+に代わる種目として検討。
1966	4×+ (よんかけがらす、つくくおど)	coxed quadruple	IN [用具] →つきフォア。
1967 ***	4+ (よんがらす、つきふおあ)	coxed four	IN [大会] パラロウイング(障害者漕艇)のカテゴリーのひとつ。片足の障害や知的障害などがあっても脚・上体・腕を使って漕ぐ4+。
1968	4+LTA	4+LTA; 4+LegTrunkArm	IN [用具] →なしフォア。
1969 ***	4- (よんまいなす、なしふおあ)	coxless four	IN [練習] スライドをフルスライドの4分の1だけ動かすドリル。腕漕ぎから順に始めてフルスライドに至る中間ステップのひとつ。
1970	4分の1スライド (よんぶんのいち…)	one-quarter slide	IN [練習] スライドをフルスライドの4分の3だけ動かすドリル。腕漕ぎから順に始めてフルスライドに至る中間ステップのひとつ。
1971	4分の3スライド (よんぶんのさん…)	three-quarters slide	IN [用具・素材・繊維] ポリウレタン繊維のこと。デュボン社の登録商標。ロウイング・スーツなどで弾力性のある素材として使用される。
ら 1972	ライクラ	Lycra ®	IN [用具・安全] ーレスキュー・スレッド。(救助用の水上バイクの後に接続する浮体で、被救助者を容易に引き上げるための補助器具。(PW安全協会関連資料より)[2007. 1. 30]
1973	ライフ・スレッド	life thread	JP [用具] オールロックのフェイスを通り、キールと直角な線。
1974	ライン(オブ・ザ・ワーク)	line (of the work)	[練習] (1)水中をフルプレッシャーとし、フォワードをゆっくりして全体としてローライトとするロウイングモード。
1975 *	ライト・パドル	light paddle	JP [練習] (2)ハーフプレッシャー。
1976 **	ライト・パドル	light paddle	JP [動作・出力] 出力状態のレベルのひとつ。ライト・パドル、ライトワーク等と同義。⇒ファーム(firm)、フル(full) [Know the Game/Rowing, p56, 2007. 12.]
1977	ライト・プレッシャー	light pressure	IN [練習] コンスタントより低出力・低レートの漕ぎ。ライトパドル。
1978 **	ライト・ワーク	light work	

no.	用語	English	解説
1979	ライブリー・リカバリー	lively recovery	[動作] 上体の前傾動作あるいはフォワードの速度を高くしたリズムおよび技術手法。現代の技術論では、極端な動作は不要な艇速変動を生み損失となるので推奨されない。
1980 *	ラウンド・カール	round curl	[用具・オール] ネックからチップまで一定のキャンパー曲率のブレード。(参照: チップカール)
1981	ラウンド・キャンパー	round camber	[用具・オール] →ラウンドカール。
1982 *	ラウンド・ムーブメント	round movement	[動作] 漕動作において軌跡・速度を鋭角的に急変させないという技術イメージ。艇と動作の機構上、すべてを丸くする訳にはいかないが技術イメージとして重
1983 **	落水 (らくすい)	falling in the water immersion	[競漕] 漕手または舵手が水に落ちること。漕手の落水は、腹切りなどによって発生する。レースでは、漕手の不可抗力による落水以外は、漕了を認められ
1984	ラゴア・ロドリゴ・デ・フレイタス(湖)	Lagoa Rodrigo de Freitas	IN [地名・コース] ロドリゴ・デ・フレイタス湖。リオデジャネイロ五輪(2016)における漕艇競技開催地。海に面した閉鎖湖。ラゴアとはラグーンを意味し、ロドリゴ…はポルトガルの人物の名前に因む。水質の悪さが指摘されたほか、500～1500mのコンディションが悪く、沈や延期が相次いだ。[2016-8-13]
1985	ラストィーズ	rusties	IN [練習] 1本漕ぎ。ハンザウェイまたはハーフスライドのポジションから、1本だけ漕ぐドリル。コックスの「ロウ」の合図で、フィニッシュまでもどりそれから前進してキャッチし、1本を漕ぐ。コーチは、それぞれのポーズ(停止)の間に、1本以上漕ぐように指示することもある。(Carnegie Lake Rowing Association/Coxing/Manuals/Drill より) rustyは「さびた、錆付いた、へたった」といった意味で、1本ずつ止まってしまうドリルを、ばてて動かなくなったようにみだてて名づけたものだろう。[2018-5-30]
1986 **	ラスト・スパート	last spurt, final sprint, finishing sprint	[競漕] レース終盤のスパート。2000m競漕では、概ね第4クォーター(1500m～2000m)の中で始まり、フィニッシュまで継続する。最終スパートは、(効率性や持続性ではなく)ひたすら艇速を上昇させ、他艇との位置関係を上位(優位)にするために最大限の漕力発揮がはかれる。しかし、乱暴なスパートでは、いたずらにレイトをあげるだけで艇速が伸びない徒労に終わることもよくある。
1987	ラズロ	Laszlo Boats	IN [ボート・メーカー] ニュージーランドのボートメーカー。創立は1980年代。[2018-6-26]
1988 ***	ラダー	rudder	IN [用具・部品] 舵。艇の進行方向のコントロールのために使用され、舵手または舵手無しタイプの操舵漕手が操作する。スカルにはない。舵の過度な操作は、減速要素となるので、先行的に最小限に操作することが重要。なお、「艇尾(スターン)」の意味で転用されることもある。(なお、「梯子(はしご)」もラダーというが、そのつづりはLadderである。ちなみにRaderはレーダー。)(2007. 3. 30)
1989	ラダー・キャンバス	rudder canvas	[用具・部分] →スターンキャンバス。(ラダーのある側のキャンバス)。
1990	ラダー・ケーブル	rudder cable	IN [用具・部品] →ラダー・ロープ、ラダー・ライン、ラダー・ワイヤ
1991	ラダー・ステム	rudder stem	IN [用具・部分] →ラダー・ポスト。(Coxswain's Locker/www.coxing.com)
1992	ラダー・ティラー	rudder tiller	IN [用具・部品] →ティラー。T・バー。ヨーク。
1993	ラダー・デッキ	rudder deck	[用具・部分] スターンデッキ。
1994	ラダー・バー	rudder bar	IN [用具・部品] ラダー・ティラー。ラダーの回転軸にとりつけられ、ラダー・ロープを取り付ける柄の部分。
1995	ラダー・バー	rudder bar	IN [用具・部品] ラダー・ハンドル。パウ・コックス艇において、舵手が操作するハンドル部分。水平左右に振れるようになっていて、ラダーケーブルを解してラダーを操作できる。(Coxswain's Locker/www.coxing.com) [2016-10-19]
1996	ラダー・ハンドル	rudder handle	IN [用具・部品] ラダー・バー。上記参照。[2016-10-19]
1997	ラダー・ピン	rudder pin	IN [用具・部品] ラダーの回転軸、ラダーポスト。[月刊漕艇No.149(1978. 1)p 6 2009.6.25]
1998	ラダー・ブレード	rudder brade	IN [用具・部品] ラダーの舵板。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]
1999	ラダー・ポスト	rudder post	IN [用具・部品] ラダーの回転軸を形成する柱軸。
2000	ラダー・ヨーク	rudder yoke	IN [用具・部品] ヨーク。ラダー・ティラー。T・バー。舵柄(だへい)。ラダーの軸(ラダー・ポスト、ラダー・バー)の上端に取り付けられた水平に伸びた柄。[2015.7.8]
2001	ラダー・ライン	rudder line	IN [用具・部品] ラダーを操作するための紐、ロープ。ラダー・ロープ、ラダー・ケーブルなど様々な呼び方がなされる。
2002 ***	ラダー・ロープ	rudder rope	IN [用具・部品] ラダーライン。ラダーを操作するためのロープ
2003	ラダー・ワイヤ	rudder wire	IN [用具・部品] ラダーライン。特に金属(ステンレス)のワイヤで作られたもの。[2015.7.8]
2004 *	ラック	rack	[施設・装備] アーム。艇やオールを収納する腕木のこと。日本では「アーム」ということも多いが、ラックのほうが良い。
2005 ***	ラッシュ	rush	IN [動作] ①フォワード方向に急激に速く動きすぎる技術的問題。艇速変動に悪影響を与え、また持続可能な漕状態から逸脱してしまう。 ②フォワード動作にボディリカバリーが追いついていないままのフォワード。 ③他の漕手・クルーの標準よりも、早い(速い)フォワード。それによるズレの状
2006 **	ラッシュ・フォワード	rush foward	[動作] →ラッシュ
2007	ラッチ	latch	IN [用具・部品] オールロックのゲート、留め金 [2007. 12. 24]
2008	ラッツェブルグ漕艇アカデミー	Ratzburg Rowing Academy	IN [施設・固有名] ドイツのラッツェブルグにある漕艇センター。[2016-10-19]
2009 *	ラッツェブルグ漕法	Ratzburg Style	[動作] アダム漕法。
2010 **	ラップ・タイム	lap time	[競漕] 中間点でのタイム。区間ごとのタイム。2000mのレースでは、500m(または250m)毎のタイムが一般的。
2011 **	ラテラル・(ピン)・ピッチ	lateral (pin) pitch	IN [用具・リギング] オールロック回転軸の外傾角。
2012	ラテラル・ピン・アングル	lateral pin angle	[用具・リギング] オールロック回転軸の外傾角。
2013 *	ラテラル・プレッシャー	lateral pressure	[用具・応力] オールシャフトの軸方向に一致し、オールを外側(ハンドルからオールロック方向)に押し付ける力。最小限とすることが必要。
2014	ラテラル・ロス	lateral loss	IN [用具・応力] ラテラルプレッシャーなど、艇を横方向に押すことによる無駄な力。損失。
2015 ***	ラフ・ウォーター	rough water	[環境] 波が高く、コースのコンディションが悪い状態。
2016	ラボード	larboard	IN [用具・部分] 左舷のこと。Starboard(右舷)の対語。港につける意味の「ポート」とより古い言い方。[漕艇術, 1920, 2014-7-9]

no.	用語	English	解説	
2017	ラック	row lock	IN [用具・部分] ローロック。 →オールロック。	
2018	ラワン	Lauan	IN [艇・素材] フタバガキ科の南洋広葉樹の総称で、比重が0.38-0.64と比較的軽いものを言う。 ナックルのラダー、シェルの補強ビーム、ガンネル等に使われていた。 [木材関係サイト、「漕艇術の基本」他。 2008. 7. 18]	
2019 ***	ラン	run	IN (1)ブレードが水を離れて、艇が慣性走行にある状態。	
2020	ラン	run	IN (2)ひと漕ぎによって進む距離。 (Story of World Rowingより) これはつまり、DPSと同義である。	
2021	ランジ	lunge	IN [動作・欠陥] スイブ・ロウイングで、キャッチ前に上体が突発的・不安定にリガー側に傾くこと。 ボディ・セットやキャッチのタイミングのずれなどが原因で発生するとされる。 (Coxswain's locker/www.coxing.com より)[2006. 7. 6]	
2022	ランダン	randan, ran dan	IN [用具・艇種] 3人漕ぎの艇。 パウと整調がスイブを漕ぎ、2番(センターマン)がスカルを漕ぐ。 [Rowing and Sculling,1904, Story of World Rowing 2014-7-9]	
2023	ランチ	launch	[一般] 出艇, 進水。 (一般用語)	
2024	ランチ	launch	IN [一般] モーターボート。 コーチ用モーターボート, 審判艇, 救助艇等々。 (出典例: 頻出)	
2025	ランディング・ステージ	landing stage	[施設] 発艇場。 船着場。 浮き桟橋。	
2026 **	ランド・マーク	land mark	[施設] (1)頭上懸架標識板。 レーンマーク。 ただし、これをランドマークというのは、レーンマーク(英語では、landとlaneで1字違い、発音も似ている)の勘違いに起因するのではないかと思う。 (2) コースタルロウイングの規定で、スタートやフィニッシュのラインを示すための地上の2本の標識(FISA コースタル・ロウイング・レギュレーション2013 14. 2. [2017-4-7])	
2027	ランナー	runner	[用具・部品] レール。 スライド。	
2028 **	ランニング・ウォーター	running water	IN [動作・環境, 感触] 艇に基準をおく座標系での、水の艇尾方向への流れ。 ロウイング中(艇が動き、水が静止しているのだが)、艇上からは、水が艇尾方向へ流れているように見える、その流れのこと。 [2006. 7. 6]	
2029	ランニング・スタート	running start	IN [競漕・様式] スタートラインを漕ぎながら通過し競漕を開始する様式。 ⇨スタンディング・スタート [Know the Game/Rowing, p56, 2007. 12. 23]	
り	2030	リアドス	Reredos	[会社] 英国の漕艇メーカー。
2031 ***	リガー	rigger	IN [用具・部品] 艇本体から張り出してオールロックを支える部品。アウトリガー。	
2032	リガー	rigger	IN [人・役職] 艇整備要員。艇庫に居て艇庫と艇の維持管理に責任を持つ人。リグ(艀装)を組む人。	
2033	リガー当て板	rigger spacer	[用具・部品] リガーとガンネルの間にはさむ板。	
2034	リガー・サイド	rigger side	IN [用具・部分] スイブオール艇で、漕手の(漕ぐのとは)反対側のサイドのこと。	
2035 **	リガー・ステイ	rigger stay	IN [用具・部品] リガーの構成部品のうち、特にパイプ状の部分。	
2036	リガー・スティック	rigger stick	IN [用具・リギング] ハイト・スティック, リギング・ゲージなどと同義。 (Coxswain's Locker/www.coxing.com より) [2006. 7. 6]	
2037 ***	リガー・スプレッド	rigger spread	IN [用具・艀装] 艇の中心軸を通る鉛直面からソールピンまでの水平距離。	
2038	リガー・ディップス	rigger dips	IN/R [動作・ドリル] 左右のハンドルの高さを上下に開くことで艇を傾け、リガー(オールロックの下端)が水につかるところまで傾ける、バランスの確認ドリル。 [2020-8-26]	
2039	リガー・ベンダー	(rigger vender) rigger pitch adjuster, persuader	IN [工具・リギング] ピッチ・アジャスター, パスウェイダなどとも。 リガーにセットし、ソールピンのピッチを強制的に矯正する工具。 Ozawa Rowing では、一般クルーの安易な使用を推奨しない。 (2020-8-26)	
2040 ***	リガー・レイアウト	rigger layout	IN [用具・部位] スイブ艇での漕手の左右配置。 基本はパウを右舷として交互に配置する。(参照: ノーマルリグ, 変則リグ)	
2041 **	リカバリエ	recovery	[動作] (1)フィニッシュ後、後傾した上体を前傾姿勢に戻す動作。	
2042 **	リカバリエ	recovery	IN [動作] (2)フォワードと同義。 フィニッシュからキャッチまで。	
2043	力漕 (りきそう)	full pressure	[練習] 全力漕。 パドル。 一生懸命漕ぐこと。	
2044 ***	リギング	rigging	IN [用具・艀装] 艀装。 特に艇・オールの調整可能な要素を、効率的かつ快適な漕状態を形成するために調整すること。 主な調整要素は、ワーク高, ブレードカバー角, スプレッド, ワークスルー, ストレッチャーハイトおよびレイク(傾斜角), インボードなど。	
2045 **	リギング・ゲージ	rigging gauge, stick	[用具・艀装] リギングのうち、特にワーク高やリガースプレッドを計測するための棒状の器具。 ハイト・ゲージ, ハイト・スティック, リガー・スティック, Lゲージなど様々な呼び方で呼ばれる。)	
2046	リギング・スティック	rigging stick	[用具・艀装] リギング作業において、艇の横揺れを抑えるために支える棒(杖)上の道具。 伸縮式のものや手作り様々なタイプがある。 [月刊漕艇No.149 (1978. 1), 他 2009.6.25]	
2047 *	リギング棒	rigging bar	[用具・艀装] →リギングゲージ。 Lゲージ	
2048 **	リグ	rig	IN [用具・艀装] 艀装。 艀装を組むこと(→リギング)。 →リガーレイアウト。	
2049	陸上トレーニング	land training	IN [練習] 乗艇練習を補う陸上でのトレーニング。 エルゴメータ, サーキット系, ウェイト系, ランニング系など。	
2050 **	陸トレ (りくとれ)	land training	[練習] 陸上トレーニングの略称。	
2051	離水 (りすい)	release	[動作・通常] フィニッシュ。 リリース。	
2052	リスト・フラット	wrist flat	[動作・通常] ドライブ中、手の甲を平にすること。 巻き込んで猫の手のようにして漕ぐと、力が有効に伝達できない。	
2053	リバー・アンド・ロウイング・ミュージアム	River and Rowing Museum	IN [施設] 英国ヘンリーにある、川とロウイングの博物館。 漕艇の歴史をたどれる数々の展示物がある。 (N51° 31' 55. 67" / W000° 53' 44. 70")	
2054	リバーズ・ウィング・リガー	Riverse Wing Rigger	IN [用具] ウィングリガーの内、初期タイプ(ストレッチャー付近からオールロックに向かってウィングが張り出している)に対して、パウ側(バックストップ)付近からオールロックに向かってウィングが張り出しているタイプのウィングリガー。 パウ・ウィング・リガーと同義。 [2012.3.12]	
2055	リバース・スターン	reverse stern	[用具] 通常のスターンの側面からみた形状は、ほぼ水平なデッキに向かって徐々に船底のラインが上がっているか、またはそれを鉛直に切り落とした形状であるが、リバース・スターンとは、デッキ後端よりも、船底側の最後尾が後方に突き出している形状のことである。 [2006. 7. 6]	
2056 *	リブ	rib	IN [用具] ハル内面を肋骨状に補強するフレーム。 肋材。	

no.	用語	English		解説
2057 **	リフト・アンド・ロワー	lift and lower, Raise and Lower		[動作] ワッグル(揺り動かすこと)。アップ・ダウンとも。 バランス把握のため、左右のハンドルを交互に上下させてみること。
2058	リヴェイター・ボートワークス	Levator Boat Works.Ltd.	IN	JARAテキスト2007・エントリーレベルでは「アップ・ダウン」を提唱(予定) [会社・造船] 米国オハイオ州トレドの造船会社。 Levatorとは、「引き上げるもの、拳筋」の意味。 製品名: TOPRQUE(エリート向けシングル)など。 www.levator.com
2059	リープ・フロッグ	leap frog (training)	IN	[練習・トレーニング手法] 短い本数の高速(負荷)漕(スプリント・レジステッド)と緩漕(負荷軽減漕, スプリント・アシステッド)の反復。 日本ボート協会のテキスト「Rowing For All」では、トレーニングカテゴリーとしてはV(ユートイリゼーション)において記載され、低強度の持久的トレーニングとして例えば12kmを漕ぐことが紹介されている。 リープフロッグはいわゆる蛙飛び、馬跳びに由来するが、トレーニングでは陸上(走)で、2人の選手をチューブで結び、交互に引っ張り・引っ張られるトレーニング法(およびそのゴムチューブ)にこの名がつけられている。
2060 **	リブレット	riblet coating	IN	[用具] ハルに貼り付けて使用する。表面抵抗を低減するために約80μmの溝をつけたシートフィルム。 NASAの開発による。 ロス五輪(1984)などでアメリカ・クルーの一部が使用したが、現在では禁止されている。 ヨットのアメリカズ・カップなどでも使用された。
2061	リミット・フラッグ	limit frag		[施設] コースの外縁を示す標識。フラッグ。 蛇行する河川でのヘッドレースなどで、漕行可能な幅を標示する。 [(漕艇教本)第11章(手島太郎)p.151.]
2062	リヤンジン (良金)	Liangjin (Hangzhou) Liangjin Boat Company Limited)	IN	[会社・造船] 中国のボートメーカーの一つ。 浙江省・杭州市富陽区。 杭州良金船艇有限公司。 1986年創業(木造船時代から)。 デルタジャパンの艇はリヤンジンが作っている。 http://www.liangjinsells.com 桑野BoatTimesVol33(2006. 7)によれば、2005年の売上は115万米ドル(輸出70万米ドル)。 中国5社のうち第2位。
2063 **	両舷 (りょうげん)	all men		[用具・部位] 艇の左右両サイドのこと。 漕手全員のこと。
2064 **	リリース	release		[動作・通常] ドライブ終末のブレードの抜き上げ動作。 フィニッシュ。
2065	リーワード	leeward	IN	[環境] 風下側。
2066	リーン・バック	lean back		[動作] 上体の後傾動作あるいは後傾姿勢。
2067	リーン・フォワード	lean foward		[動作] 上体の前傾動作あるいは前傾姿勢。
る 2068	ルーイ	roei, roeien	nl	[用語・一般・オランダ語] オランダ語でロウイング、漕艇のこと。
2069	ルーイ・スプル	Roeispul.nl	nl/in	[会社・用具] オランダ・グロニンゲン所在のボート用品の製造・販売会社。 スプルとは、もの・品物(stugg), 定期市の小屋・屋台(booth), 装具一式(turn-out)といった意味。 英訳/和訳するとすれば、ロウインググッズ(Rowinggoods), ボート屋, 漕艇屋台といったところか。 デジタルピッチメータ(角度計)など。 www.roeispul.nl [2007. 9. 16]
2070	ルーイ・スポーツ	roeisport (NDL)	nl	[用語・一般・オランダ語] オランダ語でロウイング・スポーツ, 漕艇競技のこと。
2071	ルダー・ゲンガー	Rudergänger	GER	[クルー・舵手] 舵手のこと。 Steuermann(ステアマン)と呼ぶこともある。 [2016-8-17]
2072	ルダー・シュポルト	Ruder Sport	IN	[図書] ドイツの漕艇誌。
2073	ルダラー	Ruderer	GER	[クルー・漕手] 漕手, Rower. [2016-8-17]
2074	ルツェルン	Luzern	IN	[地名・水域] スイスの町。 ロート湖(ロート・ゼー)があり、ルツェルン・レガッタで有名。 毎年国際レベルの大会が開催される。
2075 **	ルデルン	rudern	IN	[一般] ドイツ語でのロウイングのこと。 ルーダー・スポーツも同義。 [2006. 7.]
2076	ルデルン	Rudern	IN	[図書・固有名] ドイツの著名なロウイングテキスト。 1974年初版, 1983年に第4版の当時は、バイブル的存在だった。 [2006. 7. 6]
2077	ループ	loop	IN	[用具・部分] 輪。 ラダーラインの持ち手として結ばれた単純な輪の部分。
2078 *	ルーム	loom	IN	[用具・部分] オールのシャフト部分。 古典的な呼称では、特にインボード側やハンドルをさす言葉としていたようだ。 [Rowing and Sculling,1904, 漕艇術,1920, 2014-7-9]
れ 2079	レイ・アウト	lay out	IN	[用具, リギング] オールロックのピンを外側(艇軸とは逆の方向)に傾けること。 [2016-8-17].
2080	レイ・アウト	lay out	IN	[動作] スイープ・ロウイングにおいて、漕いでいるのとは逆のサイド(=外側)に上体を傾けること。 [2016-8-17].
2081	レイク, レーキ	rake	IN	[用具] ストレッチャー傾斜角。 一般的には約43±3°程度。 寝かせるほど上体の前傾姿勢がとりやすくなるがボードを押す足の方向とストレッチャーボードの方向が斜交する。 立てるほど押す足の方向とボードの方向が直交に近づき効率率はあがるが特に柔軟性の小さい漕手では前傾姿勢がとりづらくなる。 [2016-
2082	レイジー・フォワード	Lazy Forward	JP	[動作] Lazyとは怠けた、けだるい、眠たげなどといったネガティブな意味だが、レイジー・フォワードとは、リラックスしてできるだけフォワードで休めという良い意味での技術ポイントを示す言葉である。 ドリーミー・フォワードも同じ意味。 いずれも2009年頃はあまり使われないかもしれない。「月刊漕艇No.19(1966. 12)
2083 ***	レート	rate		[動作] レート, ストロークレート。 1分間当りの漕ぎ数。 ロウイングの漕状態を示す重要な指標のひとつ。
2084 **	レート・タイマー	rate timer		[用具] レート計測用のストップウォッチ。
2085	レイノルズ数	Reinolds number, Re	IN	[流体力学・係数] 流体力学で用いられる、「慣性力と粘性力の関与の比」を表す無次元数。 1851年にストークスが紹介, 1883年にレイノルズが利用法を普及させた。 $Re = \rho VL / \mu = VL / \nu$ (V:平均速度(m/s), L:特性長さ(※1)(m), μ :粘性係数(Pa・s, N・s/m ² , kg/(m・s)), ν :動粘性係数($\nu = \mu / \rho$)(m ² /s), ρ :流体の密度(kg/m ³)) Reは、異なる流体力学的現象・実験での力学的相似性の評価, 層流/乱流のような異なる流れの特徴づけに利用できる。 滑らかで安定した層流は、粘性力が支配的な低レイノルズ数で発生し、無秩序で不安定な乱流は、慣性力が支配的な高レイノルズ数で発生する。 実際には、物体の形状や、表面粗さの非常に小さな変化も流れに影響するため、Reだけでは流れの相似性を保証できない。 しかし、Reは非常に重要で、広く使われている。 ※1:「特性長さ」は慣習的に選択される。 例:航空機や船舶では、縦の長さや幅が使われる。 配管流れやその中の球の運動では、内径が利用される。 他:の形状で「等価直径」が用いられることもあり、(圧縮性気体など)粘性や密度が不定の流体では、特別な規則も用いられる。 [2016-10-21, Wikipediaほか]
2086	レイ・バック	lay back		[動作] フィニッシュでの上体の後傾姿勢。

no.	用語	English		解説
2087	レオ・ブロックレイ記念 キャンペーン	Leo Blockley Memorial Campaign	IN	[安全活動] 2000年にスペイン合宿で遭難死したオックスフォード軽量級RCのレオ・ブロックレイの遺族が展開している安全改善を求めたキャンペーン。ARAの浮力規定の改善(2004年)、FISAの最低浮力の提言を競漕規則に盛り込む(2005年)などの安全向上につながった。 [2016-10-21]
2088 ***	レガッタ	regatta	IN	[大会] ボートの試合。競漕会。ヨットなども含めて水上スポーツの大会がレガッタと呼ばれることは多い。語源は、イタリア語で「覇を争うこと」からゴンドラレースを経て競漕のレースに。
2089	レク・スポーツ・ロウイ ング、(ニュース・グ ループ)	rec.sport.rowing (newsgroup)	IN	[インターネット・情報網] 1981年に解説されたユーズネット(Usenet)・掲示板サービス(ニュースグループ)をヤフーが引き継いだニュース・グループの、ロウイング関連のサイト。ユーズネット時代の膨大なデータを含め、通常のウェブブラウザと同様に閲覧できるようになった。略称:RSR。http://groups.google.co.jp/group/rec.sport.rowing [2007.7.6]
2090 ***	レグドライブ	leg drive	IN	[動作] 脚の伸展動作。脚蹴り。ロウイング動作のうちドライブ相は、大きくレグドライブ・ボディスウィング・アームブルの3要素が動員されるが、レグドライブは其中で最も強力な大きな動きをもたらす。
2091	レザー	leather		[用具] (1)スリーブ。現在、スリーブはプラスチック製であるが、古くは牛皮などでできていた。
2092	レザー	leather		[用具] (2)クロッグの前皮。
2093	レサシ	resusci, Resusci(R)	IN	[一般・救急(略語/ブランド)] レサシテーションの略語。救急医療用品を販売するレルダルの救急用品のブランド名。その商品であるレサシ・アン(CPR用マネキン)、レサシ・フェイスシールド(人工呼吸用器具)の略称、俗称。レサシだけでは判らないので、レサシ・アン(またはマネキン、シミュレータ)とか、(レサシ)フェイスシールドと略さず言いたい。
2094	レサシテーション	resuscitation	IN	[一般・救急] 蘇生、蘇生処置。CPR(Cardiopulmonary Resuscitation)のRに相当。
2095	レサシ・アン	Resusuci(R) Anne		[安全・器具(製品名)] レルダル(Laerdal)社の、レサシ(Resusci)ブランドのアンという名前の人工呼吸練習用マネキン。その顔は、セーヌ川に入水自殺した身元不明の少女のデスマスクから作られた。
2096	レサシ・フェイスシール ド	Resusci(R) Face Shield (R)	IN/R	[一般・救急・器具(製品名)] レルダル(Laerdal)社製品の、レサシ(Resusci)ブランドの、人工呼吸を施す際の汚染・感染予防のために顔を覆う、口の部分に逆止弁のついたポリエチレン製シート。
2097	レシオ	ratio	IN	[用語] オールのてこ比。ロードレシオ。
2098	レース	race	IN	[大会・一般] 競漕。
2099	レスキュー・スレッド	rescue thread	JP	[用具・安全] 救助用の水上バイクの後部に接続する浮体で、被救助者を容易に引き上げるための補助器具。ライフ・スレッドと同義。(PW安全協会関連資料より)[2007.1.30]
2100	レース番号、レース ナンバー	race number	IN/R	[大会] 大会の個々のレースにつけられた識別番号。通常No. 1から通し番号で振られる。
2101	レゾリュート	Resolute Racing Shells	IN/R	[会社] 米国の造船会社。1994年に創業。1×~8+, ボートトレーラーなども扱う。 [2018-6-26]
2102	“レット・イット・ラン” or “Glide it out”	“Let it run” or “Glide it out”	IN	[動作・指示] 漕ぐのをやめ、イージーオールのまま(つまり、ブレードを水面につけないで)、艇を自然に走らせながら自然に減速させること、その指示。 [Coxswain's Locker/www.coxing.com, Wikipedia:Rowing Terms/2006.7.]
2103	“レッド・フラッグ”	“Red Flag.”	IN	[競漕・号令] パラ種目において、視覚障害者のために、発艇員や審判艇が赤旗を掲げるときに、同時に発する号令。 [FISAパラ規定より。2007.12.23]
2104	“レディ”	Ready	IN	[動作・指示] 「用意して。」コックスの指示用語のひとつ。メインのコマンド(コール)の前に予告するための一言。
2105	“レディ?...ゴー!”	“Ready?” “Go!”	IN	[競漕・号令] スタートの合図。「用意、ロー」。日本ボート協会競漕規則は2005年10月に改訂され、「アテンション、ゴー」に代わった。蛇足:レディのあとに?をつけるかどうかは好みだが発音としてはレディ↑と上げ、用意は整ったかと尋ねる姿勢を感じる。これに対して、アテンションとは一方的な注意喚起であり、個人的にはレディのほうが心に馴染む。
2106	レート	rate	IN	[動作・一般] →レイト。
2107	レドグレイブ、ステー ブ	Redgrave, Steven	IN	[人名・漕手] →ステーブ・レドグレイブ
2108	レトロ・キット	retrokit, Retro(-)kit	IN	[一般、用具] 新しい形式の用具・システムが登場している時点での、古いバージョンの用具・システム。または、レトロフィットと同義。商品名としてもよく使わ
2109	レトロ・フィット	retrofit, Retro(-)fit	IN	[一般・用具] 古い型式の用具・システムに、新しい用具を装着・追加する際に、その機能が適切に発揮するように仲介する装具、システム。あるいは適合するように調整・調製された新しい用具・システムの旧スタイルとの適合可能なバージョンそのもの。商品名としても用いられる。レトロフィット・キットとも。ロウイングでの一例は、エルゴメータの旧バージョンの本体に適合した新しいモニターなど。 [2009.9.24]
2110	レバレッジ	leverage	IN	[用具・艦装] オールのてこ比。ロードレシオ。レシオ。
2111 **	レペティション漕	repetition		[練習・乗艇] 反復練習。特に完全休息をはさむ力漕の反復パターンの練習のこと。
2112	レベル	level	IN	[用具・計測機器] 水準計。水平器などとも。傾斜(主に水平)を計る角度計で、軽合金製の直線的なフレームに気泡式の水準器を組み込んだものが一般的だが、電子的な傾斜センサを組み込んだデジタル・レベルも普及しつつある。
2113 **	レール	rail, track		[用具・部分] シート前後移動のためのレール。英語では、スライドとかトラックと呼ばれることのほうが一般的である。 [2012.3.12]
2114	レルダール	Laerdal	IN	[会社名] Laerdal [レルダル]社。レサシ・アン(≒Resusci(レサシ)ブランドのアンと呼ばれる)人工呼吸練習用マネキンで有名な医療機器メーカー。
2115 **	レール・テーパー	rail taper		[用具・艦装] レールの傾斜。一般にバックストップ側がフロントストップ側よりもわずかに高くなっている。
2116 ***	レーン	lane	IN	[競漕] レースコースの各艇に割り当てられた水路。標準幅13.5m(最小12.5m~最大15m)。標準幅13.5mは、国内では2005年の競漕規則改定による。それ以前は、12.5mが標準だった。 [2012.3.12]
2117 **	レーン境界浮標 (... きょうかいふひょう)	lane separating buoy		[競漕] ブイ。コースブイ。標準仕様は、直径15cm×高さ15cm。
2118 ***	レンジ	range	IN	[動作] 漕ぎ幅。キャッチからフィニッシュまでのオール角の水平移動成分。

no.		用語	English		解説
2119	**	レーン侵害 (れーんしんがい)			[競漕・違反] 他のレーンに侵入すること。
2120		レーン水深 (れーんすいしん)	depth of the lane		[施設・規定] 各レーンで均等ならば2m以深, 不均等ならば3m以深と規定。
2121		レンチ	wrench	IN	[一般・工具] ボルトやナットなどを回す工具の総称。オープンエンド, コンビネーションなど様々な種類がある。日本では, スパナと呼ばれることも多い。
2122	**	レーン・ナンバー	lane number	IN	[競漕] 各レーンの番号。通常は判定所のある側が1レーン。
2123		レーン・ナンバー・プレート	lane number plate		[用具・部品] レーン番号の書かれたプレート。レースの時, 艇首に取付ける。バウ・ナンバーとも。
2124		レン・ネヴィル	Len Neville		[企業・部品] Len Neville - Racing Boat Riggers & Fitters。ボートのリガー等艗装品のメーカー。例: ヤマセクのリガーマウントなど。英国・ロンドン郊外にある。住所: TW15 1AX Ashford, Kent Unit 2 Challenge Road [2017-10-25]
2125		レーン・マーク	lane mark, target	IN	[施設・装備] レーンの上空に懸架されるレーン番号を示す標識。頭上懸架標識。
ろ	2126	ロイヤル・セント・ジョーンズ・レガッタ	The Royal St. John's Regatta	IN	[大会・固有名] カナダ東岸のニューファンドランド島セント・ジョーンズのクイディビディ湖(Quidi Vidi Lake)で毎年8月上旬に開催されているレガッタ。1816年に始まり, 北米最古・現存のスポーツイベントとして有名。[2006. 7. 7]
2127		ローイング・フォー・ピース	Rowing For Peace	JP	[図書] 古城康夫著・発行の, 近代スポーツの父・岸清一の生涯を記した, 創作伝記小説。2023年2月発行。[作成20230311]
2128	***	ロウ, (ロー)	row	IN	[動作] 漕ぐこと。
2129	**	ロウ・アウト	row out		[動作] 漕ぎ果てること。オールアウト(all out)。全力漕の直後に動作を完全停止すると, 貧血状態となりオールアウトしやすい。ゴール後にノーワークを付加し, 「不良なロウアウト」は防ぐことが大切である。
2130		ロウ・アウト精神	row out spirit	JP	[方針・精神] ロウアウトする位に全力で漕ぎ果てよという精神。ただし, 上記のように不良なロウアウトを薦めるものであってはならない。
2131	**	ロウ・イン	row in, row the blade in	IN	[動作・(欠陥)] ブレードを艇に対してスターン方向に動かしながら漕ぎ入れる動作のイメージ。(ネガティブにとらえた場合は)ブレードが完全に水没しないうちに漕ぎ始めること。対語として, ドロップ・インは, ブレードを(漕手からみて)フoward終末で下に落とすイメージ。[2016-3-5]
2132	****	ロウイング, ローイング	rowing	IN	[一般] (1)漕艇。漕ぐこと。 ※漕艇の英語: rowingは発音の標記としては, 「ロウイング」, rowは「ロウ」が近く, 長音(ローイング, ロー)ではないため, 「ロウイング」, 「ロウ」との標記がより正しく, それを好む人はそのように標記する。(Ozawa Rowing では, 従来は「ローイング」で標記してきたが, 2006年以降は基本的に「ロウイング」と標記することとした。)もちろん, 固有の標記として定着しているもの・明確に「ローイング」と確定しているもの(例: 月刊ローイング, マシンローイング大会)は, そのままローイングである。[2006. 7. 7]
2133	**	ロウイング, ローイン	rowing	IN	[一般] (2)特に(スクリングに対する用語として)スイブオールを漕ぐこと。
2134	**	ロウイング, ローイン	rowing		[練習] (3)漕ぎの強さの1レベル。パドル。コンスタント。
2135		ロウイング・イノベーションズ	Rowing Innovations Inc.	IN	[企業名・練習機器] 円弧運動を再現したスウィングローターを製造販売している企業。2011年頃設立。[2016-5-25]
2136	***	ロウイング・エルゴメータ, ローイング...	rowing ergometer	IN	[練習・器具] 漕動作を取り入れた陸上トレーニングマシンの一般呼称。コンセプトII社のものが良く知られているが, 他にロウパーフェクト(オランダ)や, ウォーターロウワー(英国)などもある。
2137		ロウイング・カナダ・アビロン	Rowing Canada Aviron	IN	[図書] カナダ漕艇協会発行の漕艇誌。Avironはフランス語のロウイング。カナダは公用語としての英語, フランス語の併記が基本である。
2138	**	ロウイング・シューズ	rowing shoes		[用具・部品] ストレッチャー・ボードに取り付ける靴。耐水性, 軽量, 柔軟性が必要。靴の前半部で固定する。また踵(かかと)に紐(ヒール・コード)がついていて, ストレッチャー・ボードとの間がむやみに開かないように制限され, 転覆の際に靴が脱げやすいようになっている。他にも脱げやすいように, ベルクロ式のフラップが主流である。
2139		ロウイング・ショルダー	rowing shoulder		※検索中 あるいは, rower's shoulder
2140		ロウイング・スーツ	rowing suit	IN	[用具・衣類] 漕艇用の衣類。特に, ツナギになった水着のようなもの。略して, ローサーと呼ばれることもある。[2007. 3. 6]
2141	*	ロウイング・スペース	rowing space	IN	[用具] 1漕手に与えられた空間。バックストップから前の漕手のバックストップまでのスペース, 長さ。
2142	**	ロウイング・タンク	rowing tank		[施設] 水槽を使った模擬ロウイング施設。水流の方式として, 動力式(モーター等による)と自流水式(ロウイングによって自然に流れる)がある。
2143		ロウイング・ニュース	Rowing News	IN	[図書] 米国の独立系月刊漕艇誌。
2144	**	ロウイング・ノート	Rowing Note	IN	[図書] フェアバーン著。スタイリッシュ漕法からの脱却を図った歴史的な一冊。以降, 個人や団体によるロウイングに関する著作物に「ロウイング・ノート」と名づけられる例は少なくない。
2145		ロウイング・パンツ	rowing pants	IN	[用具・衣類] 漕艇用の衣類。特に下に履くもの。略して, ローパンと呼ばれることもある。[2007. 3. 6]
2146		ロウイング・ファスター	Rowing Faster	IN	[図書] フォルカー・ノルテ(Volker Noite)編纂の漕艇技術書。初版が2004年に, 第2版が2011年に発行(初版と第2版の内容は章立てでも大幅に異なり, 別の図書と考えたほうが良い。ヒューマン・キネティクス社(米国)発行 [2016-8-17])
2147		ロウイング・マガジン	Rowing Magazine	IN	[図書] 英国の漕艇誌のひとつ。ローイングセンター発行。
2148	**	ロウイング・マシン, ローイングマシン	Rowing machine	IN	[用具] ロウイング動作を模した動作を再現するトレーニングマシン。ロウイング・エルゴメータと同義。ロウイングマシンで漕ぐワークアウトや競漕(大会)をマシン・ロウイングという。[2016-8-17]
2149		ロウイング・ミトン	rowing mitton	IN	[用具・装具] ロウイング用の保温用手袋。(cf. ポギー)
2150		ロウイングUSA	Rowing USA	IN	[図書・雑誌] アメリカンロウイングの旧称。1987年まで。
2151		ロウウェア・オーガナイザー	Row-Ware Organiser	IN	[商品] ロウパーフェクトの取り扱い説明書およびその附属ソフト(SEAN)のCD-ROMなどを収録したA4版のシステムノート。[2007. 4. 15]
2152		ロウエクス・アウトドア	RowX outdoor (R)	IN/R	[用具] オーストリアのウィーバススポーツが販売しているオールロックの角度センサー, オールのバンド, 加速度, 艇速, 心拍などを計測・収録し, 艇上で表示するシステム。計測・収録システムのRower Expert Lightとも組み合わせて使用でき

no.	用語	English		解説
2153	ロウエルゴ, ローエルゴ	RowERG(R)	IN	[用具] コンセプト2社のロウイングエルゴメータの商品名。日本国内では約2021年までは、インドアロウワーという名称であったが、2022年からロウエルゴ(RowERG)に改称された。またモデルDはスタンダード(Standard)に、モデルEはトル(Tall)に改称された。[20220128, スララインジャパン公告より]
2154	ロウ・グライド	Lo-glide (R)	IN	[用具] カールダグラス社の軽量シート(商標)。
2155	ロウ・パーフェクト	Row Perfect (R)		[用具・練習機器] オランダのロウイング・エルゴメータ。ホイールとストレッチャー・ユニットがスライドする構造が特徴。
2156	ロウ・バランス	Row Balance Inc.	IN/R	[会社名] WILIS(ロウイングエルゴにローリングバランスを再現する懸架装置を販売する会社 [2011.8.15])
2157	ロウフィット・インターナショナル	Rowfit International	IN	[会社・装具] オーストラリア・タスマニアの擬装メーカー。アングル・チューナーなどユニークな計測器にも注目。http://rowfit.com
2158	ロウ・プロ	Row Pro	IN	[製品・ソフトウェア] ロウイングエルゴメータ用のサードパーティの記録解析ソフト。デジタルロウイング社。[2011.5.4]
2159	ロウ・ボード	Row Board(R)	IN	[製品・商標] WinTechが2017年にリリースした艇。(サーフィンボードやSUPに似た)平板的な浮体に、可動リガー型ロウイングユニットをとりつけて漕ぐもので、高い安定感により初心者やマスターズのレクリエーション用ロウイングに適している。ロウイングユニットを外せばSUP(スタンドアップパドル)としても利用できる。[2017.1.3, WINTECH商品情報]
2160	ロウロック	rowlock, rowlocks	IN	[用具・部品] オールロック。古くは2本のピン(ソールピンとストッパー)が立ち上がっていたため、1個でもrowlocksと複数形だったようだ。上にSTRINGまたはメタル・バーが渡されていた。[Rowing and Sculling,1904, The Story of World Rowing/C. Dodd他 2014.7.9]
2161	ロウワー	rower	IN	[漕手] 漕手。漕ぐ人のこと。(⇨コックス, 舵手), cf: ローヤーと表記されることも多い。
2162	ロウワー・エキスパートライト	Rower Expert Light (R)	IN/R	[用具・計測機器] オーストリアのウィーバ・スポーツが販売しているオールロックの角度センサ、オールの本端、加速度、艇速を計測・収録するシステム。表示するシステムのRowX outdoorとも組み合わせて使用できる。
2163	ロウワー・エルゴ	Rower Ergo (R)	IN/R	[用具・計測機器] オーストリアのウィーバ・スポーツが販売しているエルゴメータ用の計測装置。計測・解析・表示ソフトのExpert2.0と合わせて使う。
2164	ロウワーズ・コフ	rower's cough	IN	[動作・状態] レースや激しい練習の後、咳がとまらずに続くこと。アレルギー性喘息の運動誘発発作などが可能性として考えられる。/出典例:「追憶の夏-水面にて-」(3.7/p123/扶桑社)。
2165 *	6番 (ろくばん)	6, number 6	IN	[漕手・配置] エイトのバウから数えて6番目の漕手。
2166	ローサー	row-su, rowing suit	JP/S	[用具・衣類(スラッグ)] ロウイング・スーツの略語(スラッグ)。この気の抜けた日本特有のスラッグが実は嫌いで載せたくはなかったのだが、よく耳にするので、あえて掲載。ロウイングの現場で耳にすることを、何でも収録するという編集方針を曲げるわけにはいかない(涙)。[2007.3.6]
2167 **	ローゼンバーク, アラン	Rosenberg, Allen	IN	[人名・コーチ] 1931年生まれ。米国の有名なコーチ。1961-1976年に多数のナショナルチームを指導し成功を収める。ローゼンバーク漕法にその名を残す。[2010.3.23]
2168 **	ローゼンバーク・スタイル	Rosenberg style	IN	[動作・漕法] アラン・ローゼンバークによる、脚-上体-腕の順序を重視した技術。特に、脚進展終了間際に上体スウィングを開始することが、DDRスタイルと異なる。2016年現在でも、この「レグとスウィングのオーバーラップを最小限にする」スタイルを理想とする指導者もいるが、現実には(程度の差はあるが)レグとスウィングはある程度〜かなり重複させ(並行的に)動員するのが一般的である。ローゼンバークスタイルの最大の弱点は、相応の身体的強度があれば、腰部への負担が大きく腰部の障害発生の主因となる点である。[2015-12-26]
2169	ロッカー	rocker	IN	[艇設計・要素] キールラインの、最深部から前後の「反り上がり」の曲線形状のこと。ロッカーが大きいとは、大きく反り上がった形状。競漕艇やシーカヤックでは、ロッカーはとても小さいが、ターン性能を重視する場合はロッカーを大きくする。[新版カヤック工房, p19, 2020-6-4]
2170	ロック	lock	IN	[動作] ブレードを水中に固定するという技術イメージ、現象。(ただし、実際には、ブレードは水中で完全に「固定」されない。艇に対しては円弧運動し、水(陸)から見れば、艇の前進運動が加わり、ブレードはドライブ中に、前半で(少なくとも)艇から離れる方向に動き、ミドルでは少しスターン方向に動き、後半では艇に近づく方向に動く。[2020-6-4]
2171	ロック・オーバー	rock-over	IN	[動作] 骨盤を前傾させる動作。フィニッシュで後傾した
2172	ロック・プレート	lock plate	IN	[用具・オール・部品] ハンドル・ロック・プレート。クローカーオールの調整型ハンドルを固定する内部部品。コンセプト2のナットプレートに相当。[2015-12-
2173	ロト・ストレッチャー	Roto stretcher	IN	[用具・部品・商標] 回転式のストレッチャー機構(商品名)。オランダ。⇒ピボッティング・フット・ストレッチャー [2010.3.23, Rotostretcher.com]
2174 **	ロード・レシオ	load ratio	IN	[用具・機装] てこ比。レシオ, レバレッジ。
2175	ローバー, (ローヴァー)	Rover (R)	IN/R	[用具・計測装置] AIS(オーストラリアスポーツ研究所)のヘッドコーチ・レイノルドバスタが提唱、トニーライスらによって開発された、GPSと加速度センサを利用したモニタリングシステム。2001年に開発着手し、2004年版まで進化。艇の位置、速度(10msのサンプリングレートで、艇速変動まで記録できる)を記
2176	ローパン	row-pan, rowing pants	JP/S	[用具・衣類] ロウイング・パンツの略語(スラッグ)。これはローサーほど気の抜けた感じではないが、やはり、略語スラッグ嫌いの私としては…(ローサー参照)。ローサーとローパンの違いは?ツナギがセパレートかってどこかな。
2177	ロフティング	lofting	IN	[艇設計・製造, 工程] 艇の設計図面(縮小された図)から、素材や実物大の型板などに、実寸を移し描く作業工程。[2020-6-4]
2178 *	ロープ止め, ロープ止め金具 (…どめかなぐ)			[用具・部品] ナックル艇のスターンキャンパスにある、ラダーロープの端を留める突起状の金具。ナックル艇のラダーは、このロープ止め金具を固定点として、ラダーティラーにとりつけられたブリーを動滑車として用い、操舵の際の負荷を軽減し、一方で動かす幅を大きくして容易な制御を実現している。
2179	ローヤー	rower	IN	[漕手] 漕手。漕ぐ人のこと。(⇨コックス, 舵手) cf: ロウワー
2180	ローヤン		JP	[漕手] 漕手。漕ぐ人のこと。ローヤーと同義だが、なぜ「…ヤン」と言うのかは不明。ドイツ語? [2016-8-17]
2181 **	ローラー	roller, wheel		[用具・部品] シートの車輪。コロ。ウィール (ホイール) [2016-8-17]
2182	ロラ・アイリングス	Lola Aylings	IN	[メーカー・造船] ⇒アイリングス。Lola Grpupがアイリングス(1859-)を買収した2001年から閉業した2007年までの会社名。[2016-10-24]

no.	用語	English		解説
2183	ローラー止金 (…とめがね)			[用具・部品] シートメタルとともに、ローラーをはさんで、シートに取り付ける金具。古いタイプのシートに使用。
2184 **	ローリング	rolling	IN	艇の中心軸(長軸)を回転軸とする横方向の揺れ。エネルギーを損失し、また漕ぎにくく出力自体を低減するので、極力低減することが必要。
2185	ローリング・スタート	rolling start	IN	[競漕・スタート様式] 艇が進みながら発艇線を通じたときをスタートとするスタート手順。ヘッドレースなどで用いられる。⇨スタンディングスタート [ARA ボランティアヘルパーガイド, 2008. 6. 17]
2186	ロール	roll (the boat)	IN	[動作・指示用語] 艇を表/裏に返す動作, その指示。(Coxswain's locker/ www. coxing. com より)
2187	ロール	roll (the blade), turn	IN	[動作・指示用語] ブレードをフェザー/スクウェアに回す動作。ターン。およびその指示。(Coxswain's locker/ www. coxing. com より)
2188	ロール・アップス	roll ups	IN	[練習・ドリル] 技術練習のひとつ。キャッチの振込み。フォワードシブレードを水中にまっすぐ落としておくところまでを丁寧に行う。[Know the Game/Rowing, p37, 2007. 12. 22]
2189 ***	ロール・コール	roll call	IN	点呼。スタート直前に1レーンから順に艇(クルー)の名を順番に呼び、スターと準備を確認する。標準的な発艇号令の一部。なお、クイックスタートでは、ロールコールが省略される。
2190 ***	ロング漕 (ろんぐそ)	over distance rowing		[練習・乗艇] レース距離よりもかなり長く漕ぐこと。
2191 *	ロング・フェザー	long feather		[動作] フォワード中、フェザー状態を長く維持すること。キャッチ直前でスクウェアに戻すシャープターンを併用する。空気抵抗の点で有利だが、シャープターンがハングオーバーを誘起するリスクに注意が必要。
2192 *	ロング・レース	long race		[練習] 長距離の競漕。標準的な2000m(または1000m)のレースに対し、数km以上の競漕距離のレースを言う。
2193 **	ロング・レール技術	long rail tech.	IN	[漕法] アダム漕法など長いレールを使い脚伸展を重視した技術。脚の最大圧縮をねらい、一方で上体の前傾は少なくなる。現在ではほとんど用いられぬ
2194	ロングレンジ	Long Range (R)	JP/R	[会社・ショップ] スポーツショップ。ロウイングウェアなど取り扱い。埼玉県戸田市。
わ 2195	YSDI (株) (わいえすでいーあい)	YSDI (R)	JP	[会社・ディーラー] 鈴木正保氏によるエンパツハなどの輸入代理。スポーツ計測・解析など。神奈川県横浜市。
2196	wind・アップ	wind up		[動作・欠陥] フライアップ。キャッチ前のブレードの舞い上がり。
2197 ***	ワーク	work	IN	[動作] 動作。動作のための技術。
2198 **	ワーク	work	IN	[用具・艀装] オールロックの位置。
2199 **	ワーク	work	IN	[動作、艀装] オールの移動の範囲、あるいは位置。
2200 ***	ワーク・スルー	work through	IN	[用具・艀装] オールロックの前後位置。シート前端(またはフロントストップ)からオールロック軸までの前後距離。オールのキャッチ角フィニッシュ角の設定などに影響し、技術レベルとの関係で重要。
2201	ワーク・セクター	work sector		[用具・艀装] インボードの軌跡で描かれる扇の部分。アーク(arc)が、円弧の円周上の「線」の部分の指すのに対し、セクター(sector)は、扇形の「面」を指す。
2202 ***	ワーク高 (わーくだか)	work height, height of the work	IN	[用具・艀装] オールロックの高さ。シート(中心線上)最低部からミドル位置でのオールロックのボトム(シル)まで。ブレードの深さや、ハンドルを引く高さの設定に関連して重要。
2203 **	ワーク・ディスタンス	work distance	IN	[用具・艀装] キャッチからフィニッシュまでのハンドル端の前後移動距離。⇨ストローク・レンジス [2012.2.21]
2204 *	ワーク・ハイト	work height	IN	[用具・艀装] →ワーク高
2205	ワーク・パー・ストローク	Work Per Stroke, WPS	IN	[トレーニング・指標] 略称WPS。1ストロークサイクルあたりの発揮エネルギー量、仕事量。エルゴメータでは、表示される平均ワット数[watt]÷平均レイト[stroke/min]×60=WPS[J/sec]で計算でき、数値としては、数百前後(例:500~900程度)となる。レイトにあまり依存せず(つまり、レイトとWPSを使って、ロウイングパフォーマンスを記述するのに活用できるとして、バイオメカニクスでは有用な指標とされるが、2016年現在では、レイト、DPSと比較すると、認知度は低い。 補足: 類似の記述として(日本では)、WPSをワット・パー・ストロークと読み、ワット数÷レイト=WPS[J/stroke・min/sec]として10前後の指標を用いた場合もある。本質的には、上述の定義での記述を推奨する。[2016.12.15, Rowing
2206	ワグル, ワググル	waggle	IN	[練習・乗艇] 揺り動かすこと。→リフト・アンド・ロワー。アップ・ダウンとも。(リフト・アンド・ロワーは、左右同時の上げ下げの意味で使われるかもしれない。) JARAテキスト2007・エントリーレベルではワグルではなく、「アップ・ダウン」を提唱。[2009.6.11]
2207	ワセダ・クラブ	Waseda Club	JP	[組織・RC] 早稲田大学が2003年に設立したNPO法人。青少年の健全育成、市民の健康増進、地域コミュニティの活性化を図り、広く公益に貢献することを目的とし、市民を対象として各種スポーツ(ボートを含む)の普及・振興事業を行う。ボートでは、ボートスクールなどを開催している。 website: http://www.wasedaclub.com/ [2015.5.2]
2208	ワックス	wax	IN	[用具・素材] ハル表面の保護用ワックス。水をはじく「撥水(はっすい)」性の表面処理、塗装は、従来「抵抗軽減」のためにはむしろ逆効果とされている。半面、超撥水性塗料・皮膜が、抵抗軽減になり得るのではないかとの見解もみられる。競漕艇の規模・拳動・艇速における実験検証はまだないようで、評価は定まっていない。 [2015-5-2].
2209 *	ワッシャー	washer	IN	[用具・部品] 座金。ワーク高を変えるときに差し替えるリング。スペーサとも。
2210	ワット	watt	IN	[運動・指標] 漕手が発揮するパワー(力×速度[N/m/sec]、またはエネルギー÷時間[J/sec])の単位。左記の単位と同じ意味で[watt]と記述。 [2016.12.15]
2211	ワット・パー・ストローク	watt per stroke	JP	[運動・指標] ⇨ワーク・パー・ストローク [2016.12.16]
2212	ワトソン・ピッチ	Watson pitch	IN?	[リギング・要素] マルチノリのリギング用ピッチゲージに表記されている角度目盛の表記。ピッチ(前傾)と同義だが、「Watson」の由来はわからない。ネットで検索したがヒットせず。 [2015.10.20]
2213	ワールド・クラス・スタート(アンド・ポテンシャル・プログラム)	The World Class Start and Potential Programme		[事業・強化事業] ARA(英国漕艇協会)が2001年に開始した、潜在的なオリンピック選手を発掘し育成しようとするプログラム。ARAと提携する地方のRCとネットワークを組み、潜在的なエリートを選抜して育成しようとするもの。
2214	ワールド・ロウイング・コム	worldrowing.com	IN	[ネット] FISAの公式ウェブサイト。 www.worldrowing.com

no.	用語	English	解説
-----	----	---------	----

IN: 国際的 JP: 日本のみ /T: 旧語・古語 /R: 商標 NG: 日本での誤用